

柏市障害者計画策定のための基礎調査結果報告書
(案)

令和5年2月

《目次》

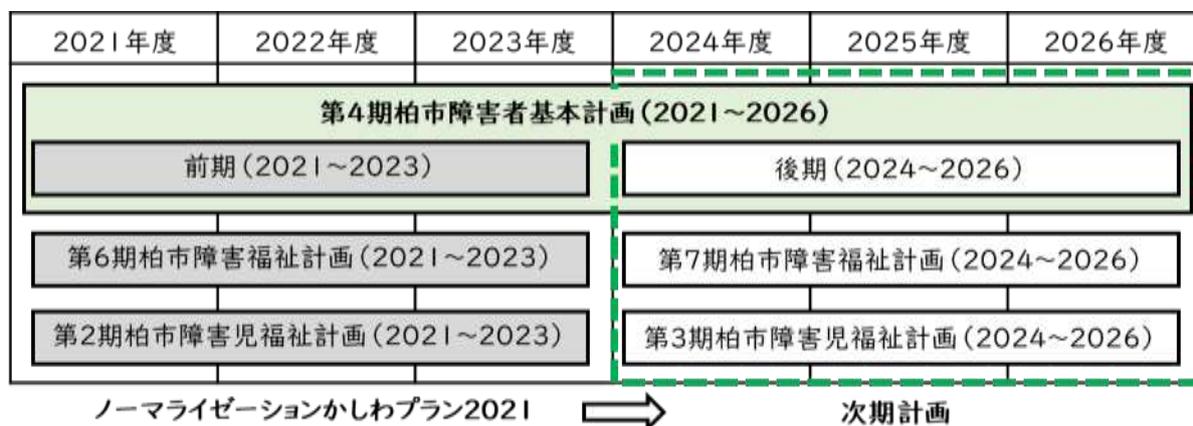
第1章 基礎調査の実施概要	1
1. 基礎調査の全体像	2
2. 調査の概要	3
第2章 基礎調査結果の概要	7
柱1 みんなで守り寄り添う共生のまちづくり	10
柱2 みんなで支え安心して暮らせる共生のまちづくり.....	16
柱3 みんながその人らしく社会参加できる共生のまちづくり.....	22
柱4 みんなが健やかに成長できる共生のまちづくり	28
第3章 基礎調査結果の詳細	35
I. 障害者向けアンケート	36
1. 質問項目一覧.....	36
2. 調査結果を見る際の留意点.....	39
3. 前回調査結果との比較上の留意点	40
4. 各質問項目の回答結果.....	41
ご本人のことについて	41
お住まいについて	49
障害の状況.....	62
情報アクセシビリティ	70
障害理解・差別解消.....	81
相談体制	95
暮らしを支えるサービス	114
健康・医療.....	126
安全・安心な生活環境.....	137
こども(小学校入学前(乳幼児期))	150
こども(小学校入学後(学齢期))	156
こども(乳幼児期・学齢期共通)	164
就労.....	166
社会参加・余暇活動.....	189
全体を通して.....	202
5. 自由意見のまとめ	207
II. 市民向けアンケート	218
1. 質問項目一覧.....	218
2. 調査結果を見る際の留意点.....	219
3. 各質問項目の回答結果.....	220

ご本人のことについて	220
興味・関心	221
障害のある人に対する意識	229
障害のある人との交流	236
障害のある人の地域移行	240
全体を通して	242
III. 障害福祉関係団体ヒアリング	243
1. 対象団体	243
2. ヒアリングの内容	243
3. ヒアリングの結果	244
IV. 委託相談支援事業所ヒアリング	257
1. 対象事業所	257
2. ヒアリングの内容	257
3. ヒアリングの結果	258

第1章 基礎調査の実施概要

1. 基礎調査の全体像

柏市では、障害のある方への福祉施策の一層の充実を図るため、現行の「ノーマライゼーションかしわプラン2021」を見直し、2024年度からスタートする新たな計画を策定する予定です。



この計画の策定に当たって、アンケート調査とヒアリング調査からなる基礎調査を2022年度に実施し、本報告書に結果をまとめました。

《基礎調査の概要》

調査方法	調査対象	調査数	調査内容
アンケート	障害者	3,500人 (配布数)	障害当事者の実情や日常生活における困りごと、障害福祉に対するニーズなどを把握することを目的として、各種手帳や受給者証所持者を無作為抽出し、アンケートを配布。
	18歳以上の市民 (上記障害者に該当しない方)	1,000人 (配布数)	地域共生社会の実現に向けて、障害当事者以外の障害福祉に関する意識や関心、障害者との交流機会などを把握することを目的として、18歳以上の市民を無作為抽出し、アンケートを配布。
ヒアリング	障害福祉関係団体	9団体	当事者団体及び家族会等の団体における活動実態や優先的取組など、アンケート調査からは見えてこない困りごとや課題を把握することを目的として、事前調査票を配付した上でヒアリングを実施。
	委託相談支援事業所	5事業所	委託相談支援事業所における相談内容や、相談を通じて把握する地域課題など、アンケート調査からは見えてこない課題や当事者等のニーズを把握することを目的として、事前調査票を配付した上でヒアリング調査を実施。

2. 調査の概要

(1) 障害者向けアンケート

- ・目的: 障害当事者の日常生活の実態や障害福祉に対するニーズなどを把握するため
- ・調査地域: 柏市全域
- ・調査期間: 2022年8月10日(水)~9月16日(金)
- ・調査方法: 郵送で調査票を配布・回収(インターネットでの回答可)
- ・調査対象: 下表の対象者要件に該当する方について、無作為に対象者を抽出

なお、18歳以上の年齢区分における対象者ごとの人数については、市内の対象者要件に該当する人数(令和3年度末時点)の割合に応じて設定を行った。

年齢区分	対象者要件	人数
18歳以上	身体障害者手帳	1,400人
	療育手帳	250人
	精神障害者手帳+受給者証(精神通院)	950人
	特定疾病療養者見舞金	400人
18歳未満	各手帳+受給者証(福祉サービス)	500人
	合計	3,500人

- ・調査票の記入にあたる留意点: 調査票は基本的に障害当事者である宛名の本人に回答を依頼しているが、障害当事者が18歳未満の児童の場合など、本人が記入できない場合は代理の方が本人の立場になって記入している。

・回収結果:

	今回調査	前回調査(RI実施)
配布数	3,446票 (対象3,500票-郵便不着54票)	3,472票
回収数	1,583票(白票12票含む) 回答方法内訳: 紙1,281票, インターネット302票	1,861票 (無効票1票・白票5票含む)
回収率	45.9%(有効回答率45.6%)	53.6%(有効回答率53.4%)

(2) 市民向けアンケート

- ・目的:一般市民の障害に関する意識や関心,障害者との交流機会などを把握するため
- ・調査地域:柏市全域
- ・調査期間:2022年8月10日(水)~9月16日(金)
- ・調査方法:郵送で調査票を配布・回収(インターネットでの回答可)※前回調査から方法変更
- ・調査対象:18歳以上の市民1,000人を無作為に抽出
- ・回収結果:

配布数	991票(対象1,000票-郵便不着9票)
回収数	389票(白票5票含む) 回答方法内訳:紙273票,インターネット116票
回収率	39.3%(有効回答率38.7%)

(3) 障害福祉関係団体ヒアリング

- ・目的:各団体における活動実態や課題,優先的取組などを聞き取るため
- ・調査期間:2022年9月28日(水)~9月30日(金),11月9日(水)
- ・調査方法:事前に調査票を配付し,後日詳細について聞き取り調査を実施
- ・調査対象:以下の9団体

団体名	略称	関連する障害種別
柏市視覚障害者協会	視覚	視覚障害
柏市聴覚障害者協会	柏聴協	聴覚障害
特定非営利活動法人 千葉県中途失聴者・難聴者協会柏地区会	中難協	聴覚障害
柏市肢体不自由児(者)を育てる会	育てる会	肢体不自由
柏市手をつなぐ育成会	育成会	知的障害
柏市自閉症協会	自閉症	発達障害
精神障害者家族会よつば会	よつば	精神障害
東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」	高次脳	高次脳機能障害
千葉県パーキンソン病友の会 第6ブロック	友の会	難病

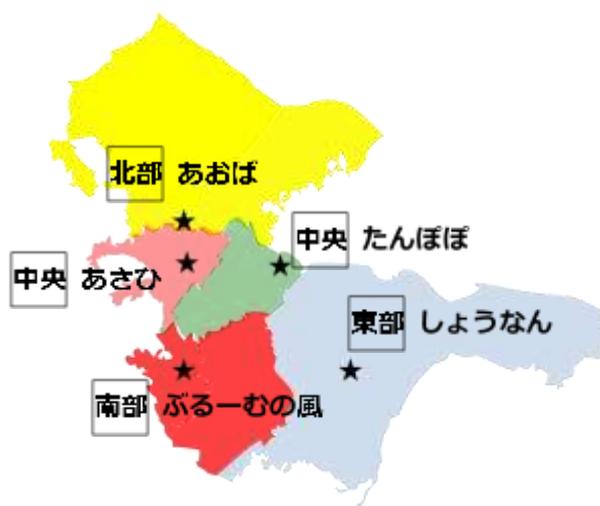
(4) 委託相談支援事業所ヒアリング

- ・目的:各事業所における地区ごとの活動実態や課題,対応策などを聞き取るため
- ・調査期間:2022年9月27日(火)及び9月30日(金)
- ・調査方法:事前に調査票を配付し,後日詳細について聞き取り調査を実施
- ・調査対象:市内の4つの地区をそれぞれ担当する以下の5事業所

事業所名	担当地区
社会福祉法人青葉会 地域生活相談センターシャル	北部
社会福祉法人ワナーホーム たんぼぼセンター	中央
特定非営利活動法人権利擁護あさひ	中央
社会福祉法人ぶるーむ ぶるーむの風相談室	南部
社会福祉法人桐友学園 サポートセンター沼南	東部

*委託相談支援事業所とは

本市では,地域で身近な相談ができるように,柏市指定相談支援事業所のうち5か所に相談支援事業を委託しています。これら委託相談支援事業所では,福祉サービスの利用やその他さまざまな相談に対応するほか,地域における相談支援・ケアマネジメント体制強化のための研修や人材交流等を行っています。



第2章 基礎調査結果の概要

ノーマライゼーションかしわプラン2021は、4つの柱を基本方針とし、柱ごとに施策や具体的な取組を実施しています。

第2章では、現行プランの施策ごとに、本調査の結果概要をまとめます。

《ノーマライゼーションかしわプラン2021施策体系表》

大施策【柱】	中施策【施策】	小施策【取組】
柱1 みんなで守り寄り添う 共生のまちづくり	1 包括的相談支援体制 の構築	相談支援・ケアマネジメント体制の充実 (重点)
		福祉の総合相談窓口の設置(重点)
	2 権利擁護体制の充実	成年後見制度の利用支援
		虐待防止・権利擁護体制の充実
		障害者差別解消法の周知及び理解啓発
	3 情報提供の充実	情報提供の充実
意思疎通支援の充実		
柱2 みんなで支え安心して 暮らせる 共生のまちづくり	1 暮らしを支える 基盤整備	地域生活を支える場の充実(重点)
		高齢障害・重度障害に対応した居住環境の 整備(重点)
	2 暮らしを支える サービスの充実	訪問系サービスの支援
		日中活動系サービスの支援
	3 安全・安心な 生活環境の整備	災害や感染症, 犯罪等から守る体制の整備
		バリアフリー化等の推進
柱3 みんながその人らしく 社会参加できる 共生のまちづくり	1 就労支援の強化	就労支援体制の充実(重点)
		工賃向上の取組強化
	2 拠点機能の整備に よる社会参加活動・ 交流事業の推進	多様な社会参加・交流の場の拡充(重点)
		学びの場の充実
	3 共生意識の醸成と 支え合いの 地域づくりの推進	共生意識の醸成
		協働による福祉活動の充実
柱4 みんなが健やかに 成長できる 共生のまちづくり	1 乳幼児期における 支援の充実	障害の早期発見から健やかな成長の ための療育支援の充実
		こども園・幼稚園・保育園等への支援の強化
	2 学齢期における 支援の充実	インクルーシブ教育システムの構築
		放課後等支援の充実
	3 医療・ケア体制の充実	医療的ケア等の支援体制の充実(重点)
		精神障害にも対応した支援及び 医療サービス等の充実(重点)

《施策ごとのページの見方》

- ・次ページ以降, 施策ごとに「①アンケート調査結果」, 「②ヒアリング調査結果」, 「③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ」, 「④アンケート調査・ヒアリング調査から見てきた課題」を記載しています。
- ・重点施策となっている取組が含まれる施策には, 施策名の後に(重点)と記載しています。
- ・「①アンケート調査結果」には, 調査対象(障害者または市民), 質問番号, 質問内容, 調査結果の要点を示しています。文頭の記号は各質問の調査対象を示しており, 障は障害者, 市は市民を指します。また, 回答者が限定される質問は, 年代(就学前/就学後/成人/高齢者)または他の質問の回答による条件を記載しています。
- ・「就学前」は5歳以下, 「就学後」は6~17歳, 「成人」は18~64歳, 「高齢者」は65歳以上を指します。
- ・「①アンケート調査結果」には, 冒頭に施策に関する主要な質問をグラフで示しているほか, 関連する質問の要点を示しています。
- ・「②ヒアリング調査結果」には, 障害福祉関係団体ヒアリングまたは委託相談支援事業所ヒアリング調査結果の要点を示しています。
- ・「③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ」には, ①アンケート調査結果及び②ヒアリング調査結果からみた現状やニーズを記載しています。
- ・「④アンケート調査・ヒアリング調査から見てきた課題」には, ③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめからみた取組ごとの課題を記載しています。

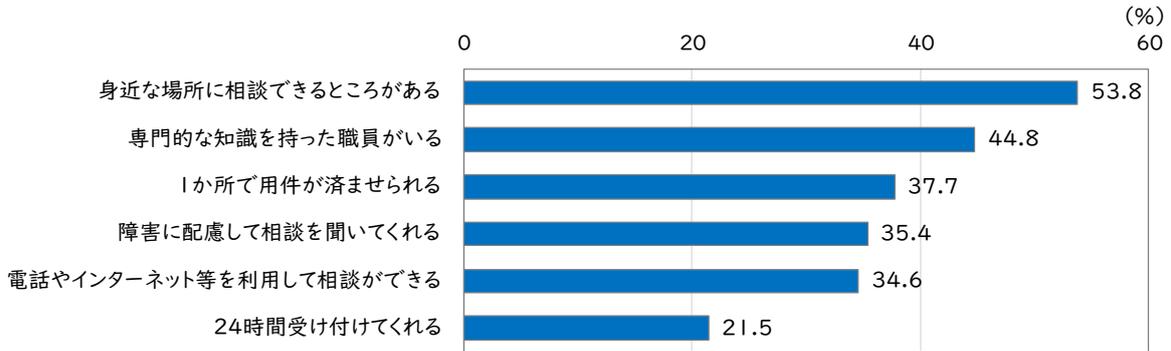
柱Ⅰ みんなで守り寄り添う共生のまちづくり

【施策Ⅰ】包括的相談支援体制の構築（重点）

①アンケート調査結果

障問30 必要な時に気軽に相談するために必要だと思うこと

「身近な場所に相談できるところがある」が最も多く5割前半，続いて「専門的な知識を持った職員がいる」が4割半ばとなっています。（以下グラフはその他等を除き選択肢を抜粋）



◆その他の質問の傾向

障問25 現在悩んでいることや困っていること

「医療や健康のこと」が最も多く3割後半，続いて「お金関係のこと」が2割後半となっています。

障問26 悩みや困りごとの相談先

「家族」が最も多く6割前半，続いて「友人・知人」が2割半ばとなっています。「医療機関」は1割後半，「市役所（保健所を除く窓口）」は1割前半となっています。

障問27 利用している相談先に関して評価していること（問26で各種機関のいずれかを回答）

「すぐに相談に応じてもらえる」が最も多く5割半ば，続いて「問題や不安を解決してくれる」が2割後半となっています。

障問28 利用している相談先に関する不満（問26で各種機関のいずれかを回答）

「面談や支援，医療機関予約等までに時間がかかる」が1割半ばとなっています。一方，「特に不満はない」が最も多く5割となっています。

障問29 相談できていない理由（問26で「相談したいのにできていない」と回答）

「相談先がわからない」と「相談しても無駄，解決しないと思う」が最も多く5割となっています。

障問38 地域で自立した生活を続けていくために必要な支援

「困った時の相談や対応支援」が最も多く4割前半となっています。

障問51 学校を卒業して社会に出た時に希望する支援（就学後）

「就労支援」と「仕事や職場での悩み相談」が6割前半，続いて「将来に関する相談」が5割半ば，「障害特性等に関する相談」が5割前半となっています。

障問70 今後，柏市の障害福祉の取組について特に優先して力を入れてほしいもの

「相談支援体制の強化」が3割前半で，上位3項目に入っています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- ・ 相談支援体制の充実を評価する意見とともに、新設された総合相談窓口を含む相談先の周知の必要性や相談支援専門員による対応の違いなどの課題が挙げられました。また、看取りまでの連続的な相談支援体制の構築が求められています。
- ・ 肢体不自由児者、重度重複障害者、医療的ケア児者の相談支援体制の充実が求められています。

【委託相談支援事業所ヒアリング】

- ・ 地域の方からの身近な相談先としての機能は果たせていると感じている事業所が多く、包括的相談支援体制の枠組みは整備されたと評価しています。
- ・ 関係機関間での一段深い、顔の見える関係づくりが構築できていないことや、委託相談支援事業所としての役割が曖昧になっていることなどから、効果的な運用には至っていないとの課題が挙げられました。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・ 悩みや困りごとの相談先は「家族」が最も多く6割前半で、「医療機関」や「市役所」を始めとした各種機関の利用は2割となっています。
- ・ 地域で自立した生活を続けていくために、「困った時の相談や対応支援」が重視されています。
- ・ 必要な時に気軽に相談するためには、身近な相談場所に専門的な知識を持った職員がいるなど相談支援体制の充実が求められています。
- ・ 相談支援専門員による対応の違いを解消することや、委託相談支援事業所の役割を明確にすることが求められています。
- ・ 包括的相談支援体制の整備は評価されていますが、生涯を通じた連続的な相談支援体制、関係機関の顔の見える関係づくりなど、相談支援体制の効果的な運用が求められています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見てきた課題

〈相談支援・ケアマネジメント体制の充実〉

悩みや困りごとを相談しやすいよう、身近な相談場所の周知とともに、相談支援専門員等の相談支援におけるさらなる質の向上やライフステージに応じた相談支援体制の構築、特に支援が難しい分野に関する専門性の高い相談にも対応できる人材の育成が必要です。また、委託相談支援事業所の役割を明確化し、さらなる充実を図ることが求められています。

〈福祉の総合相談窓口の設置〉

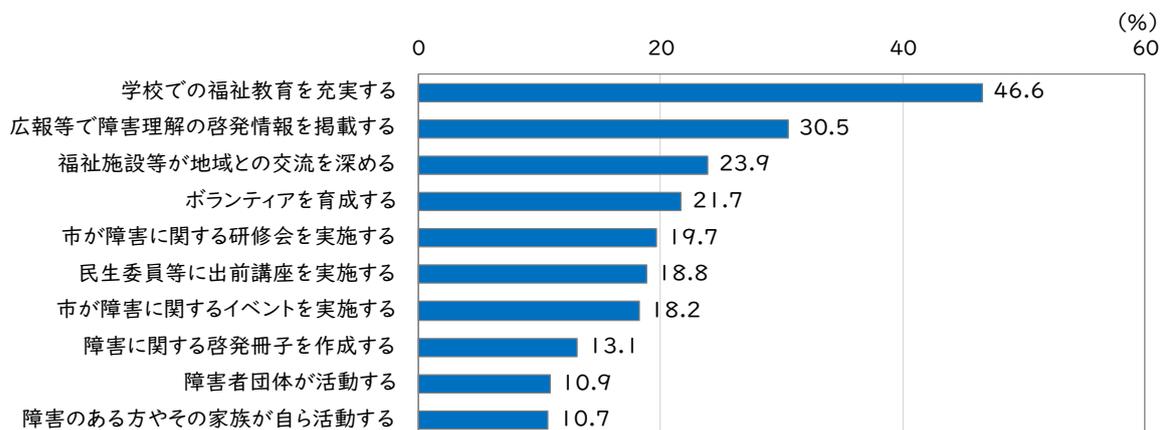
相談窓口において、さまざまな悩みや困りごとに対応するため、関係機関間での顔の見える関係を作る仕組みを構築するなど、地域全体で課題解決に取り組む体制が求められています。

【施策2】権利擁護体制の充実

①アンケート調査結果

障問24 全ての人々が差別や偏見を持たずに暮らしていくために必要なこと

「学校での福祉教育を充実する」が最も多く4割半ば、続いて「広報等で障害理解の啓発情報を掲載する」が3割前半、「福祉施設等が地域との交流を深める」が2割前半となっています。(以下グラフはその他等を除き選択肢を抜粋)



◆その他の質問の傾向

障問19 / 市問3(5) 障害者差別解消法の認知度

障害者向けアンケートでは、「名前は聞いたことがある」が2割前半、「内容も含めて知っている」は1割未満となっています。一方、「知らない」が最も多く7割前半となっています。

市民向けアンケートでは、「用語の意味や内容は概ね知っている」が2割半ば、「用語は聞いたことがある」が3割半ば、「用語を聞いたことがない」が最も多く3割後半となっています。

障問20 差別を受けたり嫌な思いをする、またはしたこと

「よくある」、「ときどきある」、「ごくまれにある」を合わせると、差別を受けるなどの経験がある人は3割半ばとなっています。一方、「ない」が5割前半となっています。

障問21 差別や嫌な思いをした場所や場面(問20であると回答)

「交通機関(鉄道、バス等)」と「店舗(飲食店・商業施設・金融機関等)」が2割半ばと多くなっています。続いて「学校等の教育機関」、「病院等の医療機関」、「勤務先」が2割程度となっています。

障問22 / 市問3(6) 成年後見制度の認知度

障害者向けアンケートでは、「聞いたことがある」が最も多く4割半ば、「内容も含めて知っている」が2割、「利用している」はわずかとなっています。一方、「知らない」が3割半ばとなっています。

市民向けアンケートでは、「用語の意味や内容は概ね知っている」が最も多く5割前半、「用語は聞いたことがある」が2割後半、「用語を聞いたことがない」が1割後半となっています。

障問23 柏市が設置する成年後見制度についての相談窓口の認知度

「知っており利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせると1割後半、「知らなかったが利用してみたい」が1割未満となっています。一方、「知らない」が7割半ばとなっています。

㊦問8 障害のある人に対する偏見や差別は社会全体としてあると思うか

「あると思う」が最も多く5割前半、続いて「少しはあると思う」が2割後半となっており、これらを合わせると8割前半となっています。

㊦問9 偏見や差別があると思う場所や場面(問8であると回答)

「学校等の教育機関」が最も多く5割半ば、続いて「交通機関(鉄道、バス)」が4割半ば、「勤務先」と「店舗(飲食店、商業施設、金融機関等)」が4割程度となっています。

㊦問10 障害のある人に対する偏見や差別を自身が持っていると思うか

「あると思う」と「少しはあると思う」を合わせると4割前半となっています。一方、「あまりないと思う」と「ないと思う」を合わせた割合も4割前半となっています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- ・若年層で障害理解が広がる一方、個々の障害に対する理解が十分ではないという意見が多く挙げられました。また、障害理解や差別解消のさらなる促進に向け、行政による広報活動の強化やイベント等の実施が求められています。

【委託相談支援事業所ヒアリング】

- ・周知活動があまり行えていないこともあり、成年後見制度に関する直接的な相談が少なく、知識やスキルの蓄積が困難という課題が挙げられました。一方で、相談等を通じてニーズを把握し、必要に応じて、情報提供や適切な機関へつなぐ等の対応を行っています。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・成年後見制度の認知度は、障害者、市民ともに高い傾向ですが、相談窓口は知られていません。
- ・障害者差別解消法の認知度は、障害者が2割後半、市民が6割前半となっています。
- ・差別を受ける経験をしたことがある障害者は3割半ばで、交通機関、店舗、学校、病院、勤務先などあらゆる場所が挙げられています。
- ・全ての人が差別や偏見を持たずに暮らしていくためには、学校教育や広報、地域での交流などを通じて、障害理解や差別解消をさらに促進していくことが求められています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見てきた課題

〈成年後見制度の利用支援〉

地域で必要な支援を得ながら安心して生活できるよう、他機関と連携して、成年後見制度及び相談窓口を周知することで、必要な人が相談につながるができる環境が求められています。

〈虐待防止・権利擁護体制の充実／障害者差別解消法の周知及び理解啓発〉

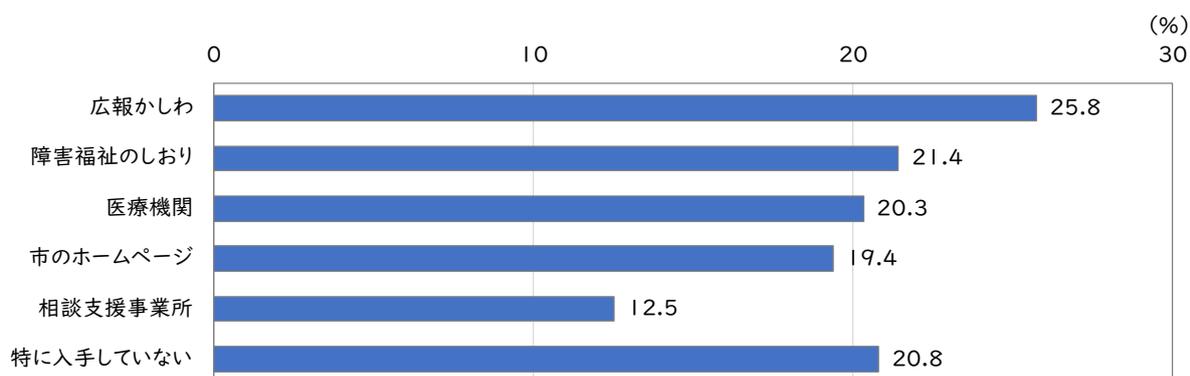
共生社会の実現に向けて、障害者差別解消法について周知し、学校教育や広報、交流などを通じて障害理解を広め、権利擁護体制の充実や差別解消につなげていくことが必要です。

【施策3】情報提供の充実

①アンケート調査結果

障問16 障害福祉に関する情報の入手先

「広報かしわ」が最も多く2割半ば、続いて「障害福祉のしおり」、「医療機関」、「市のホームページ」が2割程度となっています。一方、「特に入手していない」が2割前半となっています。（以下グラフは上位5項目と「特に入手していない」を抜粋）



◆その他の質問の傾向

障問14 持っている情報通信機器

「携帯電話（スマートフォン）」が最も多く7割前半、続いて「パソコン」が3割前半となっています。一方、「情報通信機器は持っていない」が1割前半となっています。

障問15 普段の生活で情報通信機器を使って行っていること（問14で情報通信機器を回答）

「電話」が最も多く8割前半、続いて「電子メールの送受信」と「SNS等のアプリを使った連絡・閲覧・投稿」が6割程度で多くなっています。また、「ホームページ・ブログの閲覧・情報検索」が5割前半となっています。

障問17 これまでに福祉サービスの情報を得るために困ったこと

「制度・サービスがわかりにくい」が2割後半、「どこで情報を得られるかわからない」が2割半ばとなっています。一方、「困ったことはない」が3割後半となっています。

障問18 市などの情報提供を充実させるために必要なこと

「障害福祉のしおりの内容を充実させる」が最も多く3割半ば、続いて「市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる」が2割後半となっています。

障問34 現在、障害福祉サービスを利用していない理由（問33で「利用したい」と回答）

「利用の方法がわからない」が最も多く4割後半、続いて「サービスのことを知らなかった」が2割後半となっています。

障問70 今後、柏市の障害福祉の取組について特に優先して力を入れてほしいもの

「情報提供の充実」が3割前半で、上位3項目に入っています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- 行政による積極的な情報発信を求める意見が多く挙げられました。各種制度の新設や変更に関する情報、相談につながるための団体の紹介など、情報を必要とする人に必要な情報が確実に提供されるような取組が求められています。
- インターネットを活用しない人に配慮した紙媒体での情報提供など、障害や年代に応じた合理的配慮の提供が求められています。

【委託相談支援事業所ヒアリング】

- 支援が必要な状況の人は自分から情報にアクセスできないという現状があり、例えば、8050問題を抱えてひきこもっている家庭では、インターネット環境が整っていないことも多いという現状があります。
- 社会資源の情報にアクセスしにくいいため、福祉関連情報が一括でわかるホームページが求められています。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・障害福祉に関する情報の入手先は、広報かしわ、障害福祉のしおり、医療機関、市のホームページなどが挙げられており、さまざまな媒体が活用されています。
- ・福祉サービスの情報を得るためには、わかりやすい制度・サービスの説明や、情報入手方法のわかりにくさの解消が求められています。
- ・今後の柏市の障害福祉の優先取組として、「情報提供の充実」が上位に入っており、内容の充実とともに、障害や年代に応じた提供方法が必要とされています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見えてきた課題

〈情報提供の充実／意思疎通支援の充実〉

情報を必要とする人に必要な情報が確実に提供されるよう、障害福祉サービスを始め情報の内容を充実するとともに、多様な媒体を活用するなど、障害や年代に応じて、わかりやすく、伝わる情報提供が必要です。

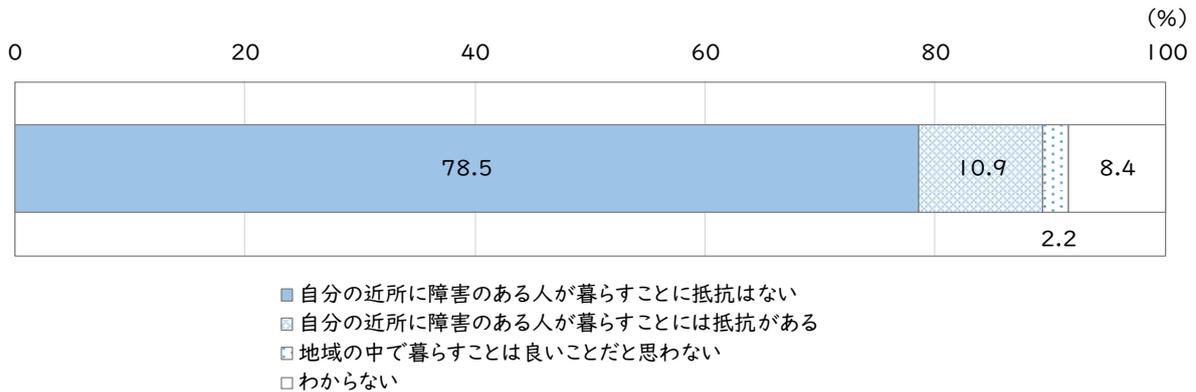
柱2 みんなで支え安心して暮らせる共生のまちづくり

【施策1】暮らしを支える基盤整備（重点）

①アンケート調査結果

㊦問15 障害のある人が施設ではなく地域の中で暮らすことについて

「自分の近所に障害のある人が暮らすことに抵抗はない」が最も多く7割後半となっています。一方、「自分の近所に障害のある人が暮らすことには抵抗がある」が1割前半となっています。



◆その他の質問の傾向

㊦問9 将来、生活したい場所

「自宅（家族や親族と同居）」が最も多く5割後半，続いて「自宅（一人暮らし）」が1割半ばとなっています。また、「施設（障害者支援施設，老人ホーム等）」と「グループホーム」は1割未満となっています。

㊦問10 将来、家族と一緒に生活できなくなった時、生活したい場所（問9で自宅（同居）と回答）

「自宅（一人暮らし）」が最も多く4割前半，続いて「施設（障害者支援施設，老人ホーム等）」が2割半ばとなっています。

㊦問39 高齢化に伴い不安なこと

「病気やけが等の健康面」が最も多く5割後半，続いて「面倒を見てくれる人がいない（経済的な支援を含む）」が3割前半となっています。

㊦問16 障害者が自分の近所に暮らすことを良いことだと思わない理由（問15で抵抗ありと回答）

「どう接していいかわからないから」が最も多く4割前半，続いて「障害のある人のことがわからないから」が3割半ばとなっています。また、「その他」が3割後半となっており、「障害のある人が地域で暮らすための支援体制が十分ではない」等の意見が挙げられています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- ・ 地域における障害者の暮らしを支えるために、高齢障害者や重度重複障害者等にも対応できる共生型のグループホームの充実に関する意見が多く挙げられました。
- ・ 親亡き後の生活を心配する声が多く、最期まで在宅で暮らし続けるためには、看取りまでつながるような一貫した制度や、暮らしを支える基盤整備とサービスの充実の一体的な取組が求められています。

【委託相談支援事業所ヒアリング】

- ・ 地域生活支援拠点を始め関係機関間の会議開催のみでなく、避難訓練などの行事と一緒に企画して取り組むなど、一段深い、顔の見える関係づくりが必要とされています。
- ・ グループホームは入居希望者を探す一方、医療的ケアが必要な方、行動障害のある方等特別な支援が必要な方はなかなか入居できないなど、個々の利用者が抱えるニーズに対応できない状況があります。また、グループホームの増加に伴う支援の質の維持が課題に挙げられています。
- ・ 65才になって介護保険が適応されると、利用しているサービスの内容や費用に変更があるか不安な方への適切な支援が課題に挙げられています。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・ 将来は自宅で家族や親族と暮らしたいという人が多く、親などが一緒に生活できなくなった時も、自宅で一人暮らしをしたいという人が多くいます。
- ・ 高齢化に伴い、健康面の不安や、面倒を見てくれる人に関する不安が挙げられています。
- ・ 自分の近所に障害のある人が暮らすことに抵抗はない人が7割後半で、抵抗がある人の中には、障害のある人が地域で暮らすための支援体制が十分ではないという意見が見られます。
- ・ 障害者の地域生活を支えるため、地域生活支援拠点を始め関係機関間の顔の見える関係づくりが必要とされています。
- ・ 高齢障害者や重度重複障害者等にも対応できるグループホームが求められているほか、グループホームの増加に伴う支援の質の維持が求められています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見えてきた課題

〈地域生活を支える場の充実〉

障害者が地域で安心して暮らせるようにするため、地域生活支援拠点を始め関係機関によるネットワークの深化が課題です。

〈高齢障害・重度障害に対応した居住環境の整備〉

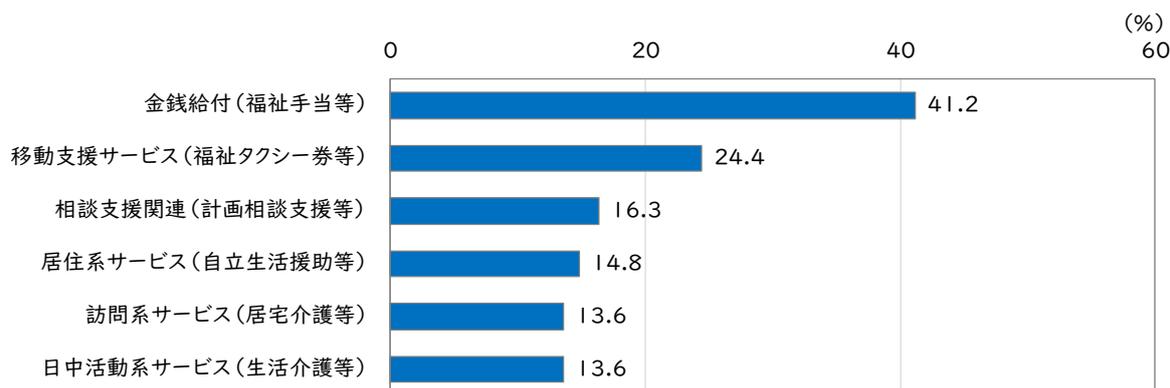
障害者が地域で暮らし続けられるよう、高齢障害者や特別な支援が必要な人にも対応できるグループホームの拡充など、暮らしの場の整備が必要です。

【施策2】暮らしを支えるサービスの充実

①アンケート調査結果

障問35 各サービスについて充実してほしいもの

「金銭的給付(福祉手当等)」が最も多く4割前半, 続いて「移動支援サービス(福祉タクシー券等)」が2割半ばとなっています。このほか「居住系サービス(自立生活援助等)」、「訪問系サービス(居宅介護等)」、「日中活動系サービス(生活介護等)」が1割前半～1割半ばとなっています。(以下グラフは上位6項目を抜粋)



◆その他の質問の傾向

障問8 自宅で主に介護や支援をしている方(問6で「自宅」と回答)

「親」「配偶者(夫または妻)」が2割半ば～2割後半で同程度となっている一方、「介護や支援は必要ない」も2割後半となっています。

障問17 これまでに福祉サービスの情報を得るために困ったこと

「制度・サービスがわかりにくい」が2割後半, 「どこで情報を得られるかわからない」が2割半ばと多くなっています。一方, 「困ったことはない」が3割後半となっています。

障問31 障害福祉サービスの利用状況

「現在利用している」が3割半ば, 「過去に利用したことがある」が1割未満, 「利用したことはない」が5割半ばとなっています。

障問32 サービスを利用する上で困ったこと(問31で現在または過去にサービスを利用と回答)

「気を遣う」が1割後半, 続いて「経済的負担」が1割半ば, 「サービスの量や回数が足りない」と「支援スキルが低い」が1割前半となっています。一方, 「特にない」が4割前半となっています。

障問33 今後の障害福祉サービスへの利用意向(問31で「利用したことはない」と回答)

「利用したい」が2割前半, 「利用しないと思う, 利用する必要がない」が2割半ば, 「わからない」が5割前半となっています。

障問34 現在, 障害福祉サービスを利用していない理由(問33で「利用したい」と回答)

「利用の方法がわからない」が最も多く4割後半, 続いて「サービスのことを知らなかった」が2割後半となっています。

障問38 地域で自立した生活を続けていくために必要な支援

「困った時の相談や対応支援」が最も多く4割前半, 続いて「食事や掃除といった身の回りの手伝い」が2割半ばとなっています。

市問17 市が障害福祉について今後力を入れるべきこと

「自立や社会参加を促す支援を充実させる」が最も多く5割半ば, 続いて「障害のある人が受けられるサービスを充実させる」が4割前半となっています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- ・暮らしを支えるサービスについては多くの団体が重点的な取組が必要と答えました。障害者に対するサービスの種類が増え, それらの提供も充実してきたことから, 障害者支援サービスの充実が評価されています。今後は, 暮らしを支える基盤整備とサービスの充実の一体的な取組が求められています。
- ・地域生活を継続するための在宅福祉サービスの充実に関する意見が多く, 単身生活の場合の訪問サービスの充実, より豊かな生活を送るための日中活動の充実, 障害特性に応じた移動環境の整備などが挙げられています。

【委託相談支援事業所ヒアリング】

- ・障害の程度にかかわらず, 一人暮らしを望む人はそれを叶えられるような社会が求められています。自立生活援助だけでなく, 障害福祉サービス以外の支援も必要とされています。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・主な介護や支援の担い手は「親」, 「配偶者」がそれぞれ2割後半となっています。
- ・障害福祉サービスを利用していない人は5割半ばとなっており, サービスを利用していない理由として, 「利用方法がわからない」, 「サービスのことを知らなかった」などが挙げられています。
- ・地域で自立した生活を続けていくためには「食事や掃除といった身の回りの手伝い」が必要であり, 移動支援, 居住, 訪問, 日中活動など多様なサービスが求められています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見えてきた課題

〈訪問系サービスの支援／日中活動系サービスの支援〉

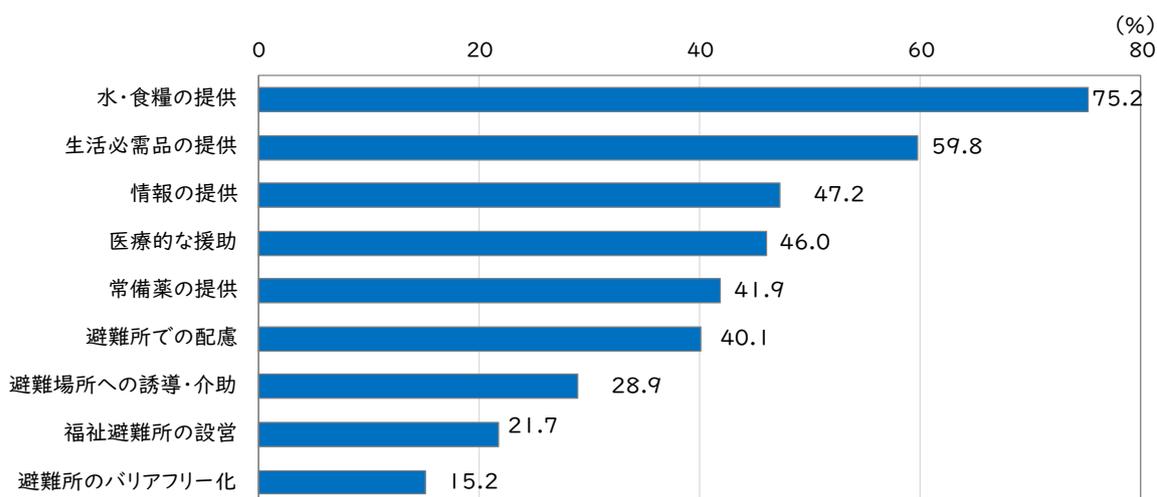
障害者が地域で自立した生活を送ることができるよう, 暮らしの基盤整備と一体的にサービスの充実に取り組んでいくことが必要です。また, サービスを必要とする人が障害特性や生活状況に応じて選択できるよう, わかりやすい周知や説明が求められています。

【施策3】安全・安心な生活環境の整備

①アンケート調査結果

障問44 災害が起きた時に支援してほしいこと

「水・食料の提供」が最も多く7割半ば、「生活必需品の提供」が5割後半となっています。このほか、「情報の提供」、「医療的な援助」、「常備薬の提供」、「避難所での配慮」が4割台となっています。(以下グラフはその他等を除き選択肢を抜粋)



◆その他の質問の傾向

障問40 災害時に近所に助けを求められる人の有無

「いる」が6割前半、「いない」が3割後半となっています。

障問41 自分一人で避難すること(問40で「いない」と回答)

「できる」が6割前半、「できない」が3割半ばとなっています。

障問42 助けを求められる人(問40で「いる」と回答)

「同居または近所に住む家族」が最も多く6割半ば、続いて「隣近所の人」が3割前半となっています。

障問43 日頃から災害に備えていること

「水・食料の備蓄」が最も多く5割後半、続いて「常備薬の準備」が4割前半となっています。

障問64 外出する際の手段

「一人で外出できる」が最も多く6割前半、続いて「家族と一緒に出かける」が5割前半となっています。

障問67 外出するために必要なこと

「公共交通機関による支援や整備」が3割後半、続いて「移動支援サービスの充実」が3割半ばとなっています。一方、「特にない」が2割後半となっています。

㊦問3(1) ヘルプマークまたはヘルプカードの認知度

「用語の意味や内容は概ね知っている」が最も多く4割半ば、「用語は聞いたことがある」が2割後半、「用語を聞いたことがない」が2割半ばとなっています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- ・安全・安心な生活環境の整備については多くの団体が重点的な取組が必要と答えており、K-N etの活用を含む地域における助け合いや、災害時における障害に配慮した適切な支援の提供が重要との意見が多く挙げられました。
- ・災害時に障害者が安心して避難できる場所や、避難所での障害者に対する配慮などについて明確にするとともに、災害対策に関する障害者向けの情報の充実、福祉避難所の設営に対する障害者の意見の反映などが求められています。
- ・災害時に適切に行動するためには、民生委員や地域の人との日常的なつながりが必要とされています。
- ・社会参加や余暇活動、就労をしやすいするため、街や施設のバリアフリー化が求められています。
- ・歩行者の安全を守るとともに、バスや電車等の交通機関における安全対策、市役所や教育福祉会館を始めとする公共施設への交通手段の充実が必要とされています。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・災害時に近所に助けを求められる人が「いない」という人は3割後半おり、このうち、自分一人で避難できない人が3割半ばとなっています。
- ・災害発生時においては、医療的な援助、常備薬の提供、避難所における受入体制など、障害に配慮した適切な支援が必要とされています。
- ・災害時に適切に行動するため、障害者と地域の人が日頃からつながることにより、災害に備えた地域づくりが求められています。
- ・障害者が外出しやすいよう、「公共交通機関による支援や整備」、「移動支援サービスの充実」が求められており、街や施設のバリアフリー化が必要とされています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見てきた課題

〈災害や感染症、犯罪等から守る体制の整備〉

緊急時に障害者が公助と合わせ地域からの支援を得られるよう、日常的なつながりや共助の仕組みづくりが必要です。また、災害発生時に安心できる場所で過ごせるよう、障害に配慮した適切な支援を提供できる体制が求められます。

〈バリアフリー化等の推進〉

障害者が安全で利用しやすいまちとするため、道路や施設などの都市基盤や公共交通機関におけるバリアフリー化を推進するとともに、移動にかかる利便性の確保が必要です。

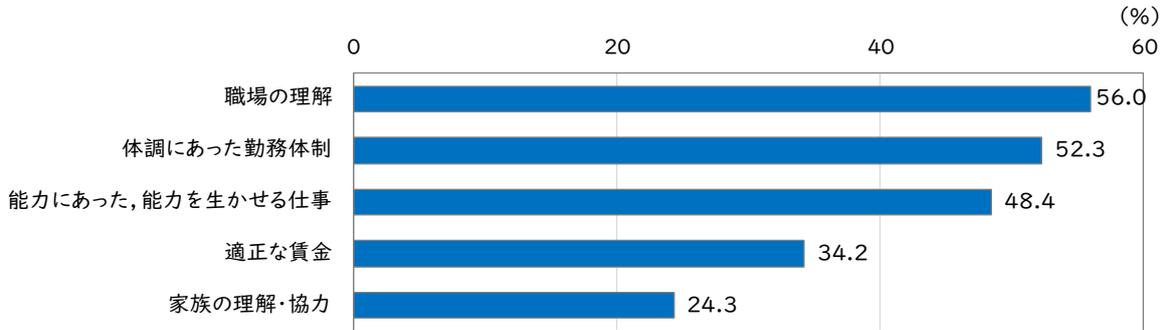
柱3 みんながその人らしく社会参加できる共生のまちづくり

【施策1】就労支援の強化(重点)

①アンケート調査結果

障問62 就職するために必要なこと(成人・高齢者)

「職場の理解」が最も多く5割半ば、続いて「体調にあった勤務体制」が5割前半、「能力にあった、能力を生かせる仕事」が4割後半となっています。(以下グラフは上位5項目を抜粋)



◆その他の質問の傾向

障問54 収入源(成人・高齢者)

「老齢年金」が最も多く3割半ば、続いて「自分の給料・工賃」と「障害年金」が3割前半となっています。

障問55 現在の就労状況(成人・高齢者)

「就いている(一般就労)」が2割後半、「就いている(福祉的就労)」は1割未満となっています。一方、「就職活動中」が1割未満、「就いていない」が6割前半となっています。

障問56 現在の仕事を継続して行っている期間(成人・高齢者/問55で就いていると回答)

「3年以上」が最も多く6割半ばとなっています。一方、「6か月未満」が1割前半となっています。

障問57 仕事内容(成人・高齢者/問55で就いていると回答)

「事務」が最も多く2割半ば、続いて「作業労働(清掃や設備管理, 工事等)」が1割半ばとなっています。また、「その他」が2割前半となっており、「接客や販売等のサービス業」等が挙げられています。

障問58 賃金・工賃の平均月額(成人・高齢者/問55で就いていると回答)

「20万円以上」が最も多く3割前半、続いて「5万円~10万円未満」が1割後半、「10万円~15万円未満」が1割半ばとなっています。

障問59 今後の就労意向(成人・高齢者/問55で「就いていない」, 「就職活動中」と回答)

「働きたい」と「どちらでもない」が2割半ば、「働きたくない」が4割後半となっています。

障問60 働きたい場所(成人・高齢者/問59で「働きたい」と回答)

「一般企業(障害者枠)」が最も多く5割、続いて「一般企業(一般枠)」が4割前半となっています。

障問61 希望する仕事内容(成人・高齢者/問59で「働きたい」と回答)

「事務」が最も多く4割前半、続いて「技術職(エンジニア, 調理等)」が1割後半となっています。

障問63 長期的に働くために必要なこと(成人・高齢者)

「職場の理解」が最も多く6割前半、続いて「体調にあった勤務体制」が5割半ば、「能力にあった、能力を生かせる仕事」が4割後半となっています。

市問11 障害のある人との関わりや交流

「家族や親戚、友人など身近に障害のある人がいる、またはいた」が最も多く3割半ば、続いて「職場で一緒に働いている、または働いた」が2割前半となっています。一方、「関わったことはない」が2割半ばとなっています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- ・ 障害のある人の就労をさらに進めるために、就労先での障害理解の促進や合理的配慮の提供、生活支援を含めた就労支援体制の強化が求められています。
- ・ 障害者の職場が隔離されるのではなく、一般の職場で共に働くことが重要との意見も挙げられました。

【委託相談支援事業所ヒアリング】

- ・ コミュニケーションが苦手なため、対人関係等で挫折を余儀なくされ、就労が継続しない場合が少なくない状況があります。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・ 現在の就労状況について、「一般就労」が2割後半、「福祉的就労」が1割未満となっています。仕事内容は「事務」が2割半ば、「作業労働(清掃や設備管理、工事等)」が1割半ばとなっています。
- ・ 障害者の就労を推進するためには、就労先における障害理解の促進、体調にあった勤務体制や能力を生かせる仕事などの配慮が必要とされています。長期的に働くために必要なこととしても、同項目が上位に入っています。
- ・ 障害者と職場で一緒に働いている(または働いた)人は2割前半となっていますが、障害者と健常者が共に働ける職場が求められています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見えてきた課題

〈就労支援体制の充実／工賃向上の取組強化〉

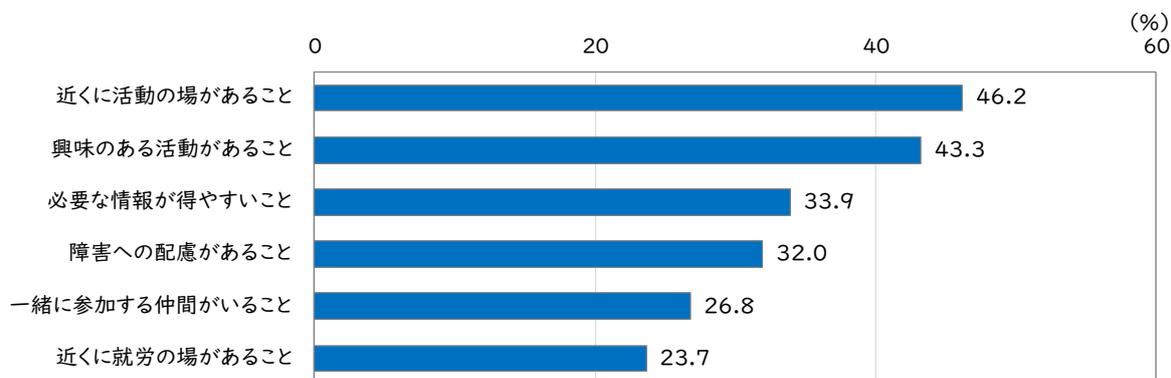
障害者の多様な就労ニーズに対応するため、就労先における障害理解を促進するとともに、障害特性に応じた配慮、就労後の定着支援などが必要です。また、障害者と健常者が共に働く機会を増やすことが求められています。

【施策2】拠点機能の整備による社会参加活動・交流事業の推進（重点）

①アンケート調査結果

④問69 今後社会参加する、または社会参加を続けるために必要なこと（成人・高齢者）

「近くに活動の場があること」が最も多く4割半ば、「興味のある活動があること」が4割前半となっています。（以下グラフはその他等を除き選択肢を抜粋）



◆その他の質問の傾向

④問64 外出する際の手段

「一人で外出できる」が最も多く6割前半、続いて「家族と一緒に出かける」が5割前半となっています。

④問65 ここ1年間の外出頻度

「週4日以上」が最も多く4割後半、続いて「週2～3日」が2割前半となっています。

④問66 外出目的（問65で「わからない」以外を回答）

「買い物」が最も多く8割前半、続いて「医療機関の受診」が7割半ばとなっています。このほか、「その他趣味やサークル活動」が1割半ばとなっています。

④問68 今後社会参加する、または社会参加を続けるとしたら参加したい活動（成人・高齢者）

「その他趣味やサークル活動」が最も多く2割後半、「音楽や絵画等の芸術活動（鑑賞も含む）」が2割半ばとなっています。

⑤問4 障害福祉や障害のある人について知る・学ぶ機会

「テレビやインターネット等で見た」が最も多く4割半ば、続いて「学校で学んだ」、「障害のある人やその家族と交流した」、「職場で学んだ」が2割半ばとなっています。

⑤問17 市が障害福祉について今後力を入れるべきこと

「自立や社会参加を促す支援を充実させる」が最も多く5割半ば、続いて「障害のある人が受けられるサービスを充実させる」が4割前半となっています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- 社会参加や余暇活動を推進するためには、地域における障害理解の促進や街のバリアフリー化等の環境整備、障害に応じた配慮が必要との意見が挙げられました。
- お祭りなど地域の行事、一般市民向けのイベントや教室等に参加しやすいような配慮が求められています。

【委託相談支援事業所ヒアリング】

- 地域には社会参加の機会は多数あるが、一人では参加しづらいため、余暇活動等への参加をサポートする機関が必要とされています。
- 同じような境遇の本人や家族同士が話せる場所があれば、居場所や家から出る機会になるが、障害当事者団体や家族会、勉強会の情報が少ないとの意見が挙げられました。
- ひきこもりの方が気軽に行ける居場所や、地域活動支援センターの充実が必要とされています。
- 肢体不自由者など自宅から出ることが難しい方が社会と交流できる手段が少ない状況です。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・現在の外出目的として、「買い物」、「医療機関の受診」が上位に入っており、「その他趣味やサークル活動」は2割未満となっています。
- ・今後社会参加する、または社会参加を続けるために必要なこととして、「近くに活動の場があること」や「興味のある活動があること」が上位に入っています。
- ・障害福祉や障害者について知る・学ぶ機会として、「障害のある人やその家族と交流した」は2割半ばとなっています。
- ・社会参加や余暇活動を推進するため、気軽に参加しやすい居場所づくり、日中活動の充実、障害に応じた配慮などが求められています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見えてきた課題

〈多様な社会参加・交流の場の拡充／学びの場の充実〉

障害者が希望する社会参加や交流の機会を充実するとともに、活動に参加しやすいような配慮や支援が求められます。また、市民との交流による障害理解を促進するためにも、一般市民向けのイベント等にも参加しやすい環境とすることが必要です。

【施策3】共生意識の醸成と支え合いの地域づくりの推進

①アンケート調査結果

㊦問5 障害福祉や障害のある人への関心

「関心があり、何らかの形で行動に移している」が1割半ば、「関心はあるが、特に何もしていない」が最も多く7割前半、「関心はない」と「わからない」が1割未満となっています。



◆その他の質問の傾向

㊦問24 全ての人々が差別や偏見を持たずに暮らしていくために必要なこと

「学校での福祉教育を充実する」が最も多く4割半ば、続いて「広報等で障害理解の啓発情報を掲載する」が3割前半、「福祉施設等が地域との交流を深める」が2割前半となっています。

㊦問3(4) 地域共生社会の認知度

「用語の意味や内容は概ね知っている」と「用語は聞いたことがある」が3割半ば、「用語を聞いたことがない」は2割後半となっています。

㊦問4 障害福祉や障害のある人について知る・学ぶ機会

「テレビやインターネット等で見た」が最も多く4割半ば、続いて「学校で学んだ」、「障害のある人やその家族と交流した」、「職場で学んだ」が2割半ばとなっています。

㊦問6 障害福祉や障害のある人に関心を持ったきっかけ(問5で関心があると回答)

「テレビやインターネット、書籍等で見聞きした」が最も多く3割後半、続いて「家族、友人など身近な人に障害がある」と「職場で見かけた、または関わった」が3割半ばとなっています。

㊦問11 障害のある人との関わりや交流

「家族や親戚、友人など身近に障害のある人がいる、またはいた」が最も多く3割半ば、続いて「職場で一緒に働いている、または働いた」が2割前半となっています。一方、「関わったことはない」が2割半ばとなっています。

㊦問12 街なかで困っているように見える障害のある人への対応

「自ら声をかけるし、声をかけられても対応する」が3割半ば、「自ら声はかけないが、もし声をかけられたら対応する」が最も多く6割前半となっています。

③問13 障害のある人に関するボランティア活動への参加状況

「現在、参加している」と「参加したことがある」を合わせると1割後半、「参加したことはないが、したいと思う」が2割半ばとなっています。一方、「参加したいと思わない」と「わからない」が2割後半となっています。

③問14 ボランティア活動に参加するために必要なこと(問13で参加経験や参加意向ありと回答)

「ボランティア活動に関する情報や説明会」が最も多く6割後半、続いて「時間的余裕」が6割前半、「ボランティア活動の体験」と「家庭や社会の理解」が3割台となっています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- 団体の活動にボランティアや一般市民の参加を募集しても、なかなか人数が集まらない状況です。
- 社会福祉協議会等の公的機関との共催や季節に合わせたイベントなどにより、一般市民の参加を増やす工夫が必要との意見が挙げられました。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・全ての人々が差別や偏見を持たずに暮らしていくために必要なこととして、「学校での福祉教育」、「広報等での障害理解の啓発」、「地域との交流」が上位に入っています。
- ・障害福祉関係団体の活動へのボランティアや一般市民の参加を募ることが難しい状況であり、募集方法やイベントの内容などに工夫が必要とされています。
- ・障害福祉や障害者に「関心があり、何らかの形で行動に移している」が1割半ばとなっており、「関心はあるが、特に何もしていない」が最も多く7割前半となっています。
- ・障害者に関するボランティア活動について、現在あるいは過去に参加経験がある人は1割後半、「参加したことはないが、したいと思う」が2割半ばとなっています。
- ・ボランティア活動に参加するために必要なことについては「ボランティア活動に関する情報や説明会」が最も多く6割後半となっています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見えてきた課題

〈共生意識の醸成〉

障害福祉や障害者に関心を持ち、共生意識を育むためには、学校での教育、広報等による情報発信、地域や職場での交流体験などを充実することが必要です。

〈協働による福祉活動の充実〉

障害福祉や障害者に関心がある人がボランティア活動に参加しやすいよう、情報の提供方法を工夫するとともに、障害福祉関係団体への支援が求められています。

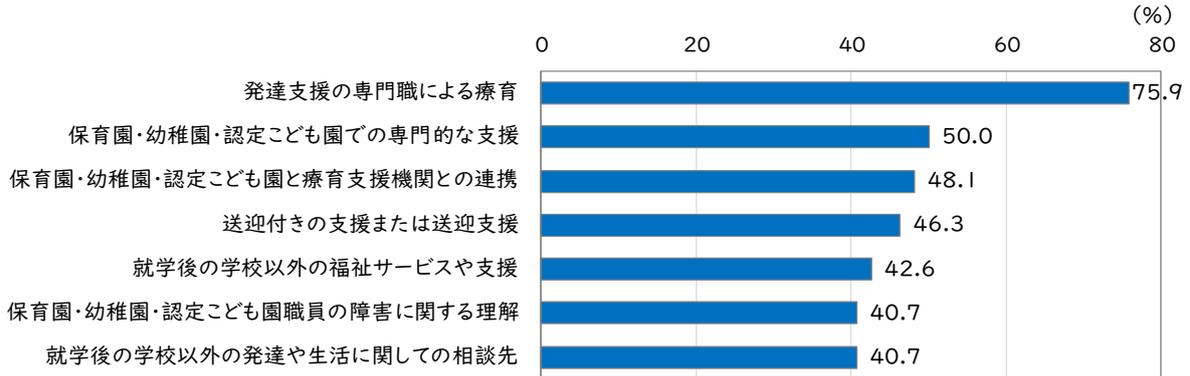
柱4 みんなが健やかに成長できる共生のまちづくり

【施策1】乳幼児期における支援の充実

①アンケート調査結果

障問47 今後充実してほしい支援・サービス(就学前)

「発達支援の専門職による療育」が最も多く7割半ば、続いて「保育園・幼稚園・認定こども園での専門的な支援」と「保育園・幼稚園・認定こども園と療育支援機関との連携」が5割程度となっています。(以下グラフは回答が4割以上の選択肢を抜粋)



◆その他の質問の傾向

障問45 小学校入学前のことで、現在悩んでいることや困っていること(就学前)

「発育や発達の遅れ」が最も多く8割半ば、続いて「就園・就学への不安がある」が7割前半となっています。

障問46 悩みや困っていることを相談したきっかけ(就学前)

「父母が気づいた、気になった」が最も多く4割後半、続いて「健診(1歳6か月児, 3歳児)」が4割半ば、「保育園・幼稚園・認定こども園」が4割前半となっています。

障問52 柏市サポートファイルの使用状況(就学前・就学後)

「使っている」は1割前半、「使っていないが、サポートファイルを持っている」が1割半ば、「使っていないが、サポートファイルを知っている」が1割前半となっています。一方、「サポートファイルを知らない」が6割前半となっています。

障問53 サポートファイルを使って不便に思うこと、または使っていない理由(就学前・就学後)

「どのように活用するのかがわからない」が最も多く4割後半となっています。このほか、「入手先や入手方法がわからない」と「書き方がわからない」が1割前半となっています。一方、「特になし」が2割前半となっています。

障問71 親や介護者の立場からの意見(自由記述)

健診時の丁寧な面談や、発達センターでの面談を受けやすくすることで、早期発見や支援につながる必要があるという意見が見られます。また、幼稚園における発達障害のこどもへの理解の促進、受入れや適切な対応が求められています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- ・ 障害児の保護者の就業支援のため、幼稚園・保育園の受入体制強化が必要とされています。
- ・ 障害のあるこどもの特性理解と学習や生活の計画が適切に行われているかなどがわかりづらい状況があります。
- ・ 幼い時からの相談先が年齢で区切られてしまうため、その後の引継ぎが求められています。

【委託相談支援事業所ヒアリング】

- ・ 家庭全体を支えるサポートにおける各機関の連携や役割分担が不明瞭な状況です。
- ・ 保護者へのサポート(障害理解, 関わり方, 親同士の交流など)や相談先が不足しており, 特に一人親世帯に対する育児支援の充実が必要とされています。
- ・ 指定相談支援事業所の数が不足しており, 児童の計画相談を行える事業所も少ない状況です。新規立案を希望する待機者数を把握・管理することが求められています。
- ・ 児童を対象とした短期入所の受入先が少なく, また, 母子で受入可能な宿泊場所がない状況です。児童の施設入所支援も受入先が少ない状況です。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・ 小学校入学前の悩みや困りごととして、「発育や発達の遅れ」、「就園・就学への不安がある」が上位に入っています。
- ・ 悩みや困っていることを相談したきっかけとして、「父母が気づいた, 気になった」、「健診(1歳6か月児, 3歳児)」、「保育園・幼稚園・認定こども園」が上位に入っています。
- ・ 今後充実してほしい支援・サービスとして、「発達支援の専門職による療育」が最も多く、「保育園・幼稚園・認定こども園での専門的な支援や療育支援機関との連携」が上位に入っています。
- ・ 障害児の保護者に対しても多様な支援が必要とされています。
- ・ 柏市サポートファイルの使用状況については、「使っている」は1割前半となっています。サポートファイルを使って不便に思うこと, または使っていない理由としては、「どのように活用するのかわからない」が最も多く4割後半となっています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見えてきた課題

〈障害の早期発見から健やかな成長のための療育支援の充実〉

就学前の悩みや困りごとに対応するため, 健診や保育園等での早期発見, 療育, 保護者への支援や相談対応が必要です。また, サポートファイル利用促進のため, 活用方法を含め周知が必要です。

〈こども園・幼稚園・保育園等への支援の強化〉

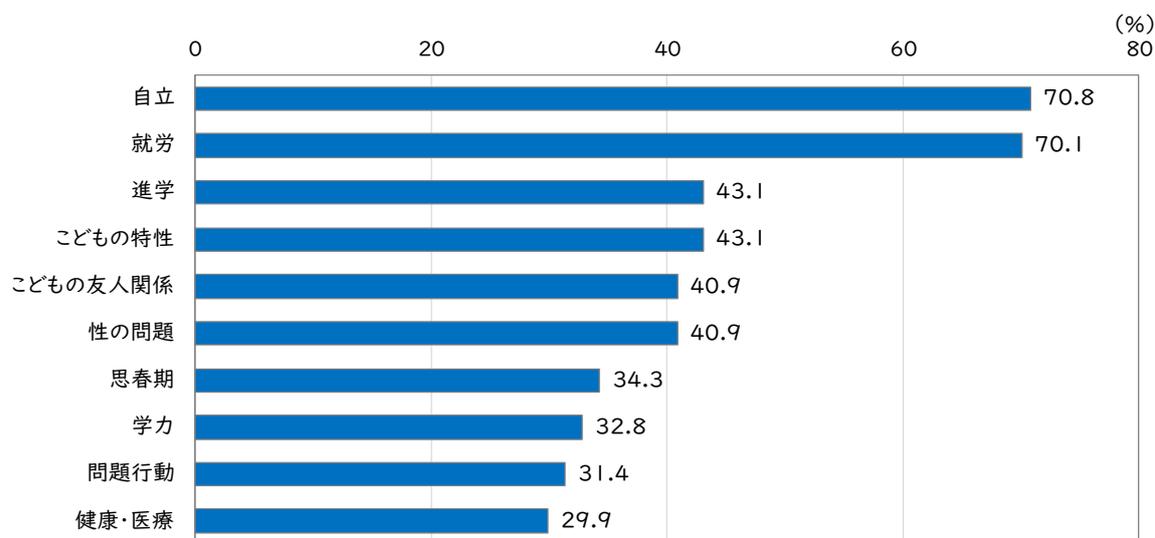
障害のあるこどもが地域で適切な支援を受けられるよう, 保育所等訪問支援の充実により, こども園・幼稚園・保育園等において専門的な支援を受けられる体制づくりや, 療育支援機関との連携が必要です。

【施策2】学齢期における支援の充実

①アンケート調査結果

障問49 学齢期に子育てをする上で不安なこと(就学後)

「自立」と「就労」が7割前半、「進学」、「こどもの特性」、「こどもの友人関係」、「性の問題」がいずれも4割前半となっています。このほか、「学力」や「問題行動」などとなっています。(以下グラフは上位10項目を抜粋)



◆その他の質問の傾向

障問48 学校生活で困った、困っていること(就学後)

「友達ができづらい」、「先生の障害への理解が足りない」、「長期休暇の時の支援」が2割前半となっています。

障問50 学齢期に子育てをする上で希望する援助(就学後)

「福祉的就労に関する情報提供」が最も多く6割前半、「進学に関する情報提供」が4割後半となっています。このほか、「長期休暇の支援」と「放課後の支援」が3割台となっています。

障問51 学校を卒業して社会に出た時に希望する支援(就学後)

「就労支援」と「仕事や職場での悩み相談」が6割前半、続いて「将来に関する相談」が5割半ば、「障害特性等に関する相談」が5割前半となっています。

障問70 今後、柏市の障害福祉の取組について特に優先して力を入れてほしいもの

「情報提供の充実」、「相談支援体制の強化」、「保健・医療サービスの充実」が3割前半で上位に入っていますが、児童全体では「学校教育の充実」が最も多く5割前半となっています。

障問71 親や介護者の立場からの意見(自由記述)

高校までは放課後等デイサービスを利用できたが、卒業後に利用できる福祉サービスが限られているため、保護者自身の就労継続のためにも、福祉就労後や日中の居場所の充実が必要という意見が見られます。

㊦問3(7) インクルーシブ教育の認知度

「用語の意味や内容は概ね知っている」が1割前半,「用語は聞いたことがある」が1割後半,「用語を聞いたことがない」が最も多く7割前半となっています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- ・ 障害のある子どもとない子どもが個に応じて同じ場所で共に学ぶインクルーシブ教育システムの進展を求める意見が複数挙げられました。
- ・ 義務教育期間後の相談支援の充実や引継ぎ,学校卒業後の余暇を始めとしたサービスの不足が課題に挙げられました。

【委託相談支援事業所ヒアリング】

- ・ 18歳以降の支援へのつながりに難しさを感じており,支援が途切れてしまうことがあります。
- ・ 放課後等デイサービスの増加に伴う支援の質の維持が課題に挙げられています。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・ 「インクルーシブ教育」の用語を聞いたことがない人は7割前半となっています。
- ・ 学齢期の子育ての不安として,「自立」と「就労」が多いほか,「進学」,「こどもの特性」,「こどもの友人関係」,「性の問題」,「学力」,「問題行動」などとなっています。
- ・ 学齢期に子育てで希望する援助として,「福祉的就労に関する情報提供」が最も多く,続いて「進学に関する情報提供」,このほか「長期休暇の支援」,「放課後の支援」が挙げられています。
- ・ 学校卒業後に希望する支援として,「就労支援」と「仕事や職場での悩み相談」などの就労関連と,「将来に関する相談」や「障害特性等に関する相談」などに加え,18歳以降の相談支援の引継ぎ,日中の居場所や余暇活動の充実が求められています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見えてきた課題

〈インクルーシブ教育システムの構築〉

こども一人一人の教育ニーズに応じた支援を提供するため,インクルーシブ教育システムを推進するとともに,学齢期や卒業後の困りごとを解消するため,必要な情報の提供と支援が求められています。

〈放課後等支援の充実〉

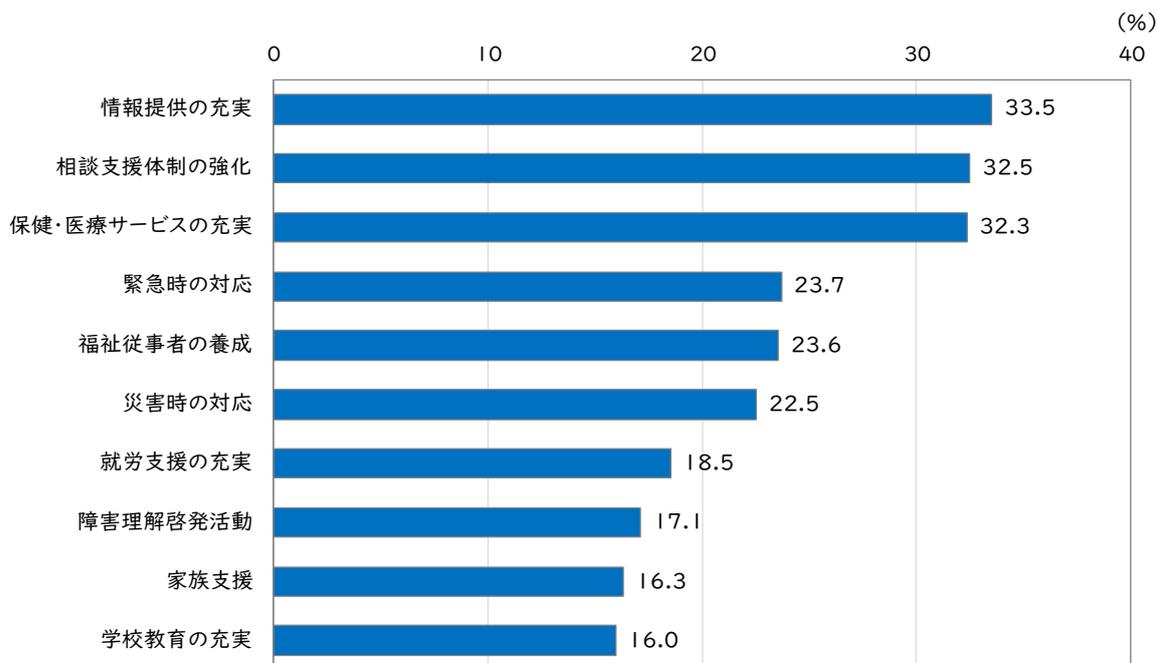
放課後や長期休暇の時に,必要な支援が得られるよう環境整備が必要です。

【施策3】医療・ケア体制の充実（重点）

①アンケート調査結果

⑩問70 今後、柏市の障害福祉の取組について特に優先して力を入れてほしいもの

「保健・医療サービスの充実」が3割前半で上位3項目に入っています。（以下グラフは上位10項目を抜粋）



◆その他の質問の傾向

⑩問36 医療を利用する上で困ったこと

「待ち時間が長い」が3割半ば、続いて「通院先まで行きづらい」と「お金の負担が大きい」が2割程度となっています。一方、「特にない」が3割半ばとなっています。

⑩問37 障害の重度化予防のためにしていることや、これからしたいこと

「定期的に病院に通う」が最も多く5割前半、続いて「食生活に気をつける」が4割半ばとなっています。

⑩問38 地域で自立した生活を続けていくために必要な支援

「困った時の相談や対応支援」が最も多く4割前半、続いて「食事や掃除といった身の回りの手伝い」が2割半ばとなっており、第7位で「体調管理や服薬管理の支援」が1割半ばとなっています。

⑩問3(8) 医療的ケア(医ケア)の認知度

「用語の意味や内容は概ね知っている」が3割前半、「用語は聞いたことがある」が最も多く4割前半、「用語を聞いたことがない」が2割後半となっています。

②ヒアリング調査結果

【障害福祉関係団体ヒアリング】

- ・ 障害への配慮がある病院も増えているとの意見とともに、待ち時間など、医療機関において、個別対応が必要な人への合理的配慮の提供が必要との意見が多く挙げられました。また、通院、入院における保護者の付き添いの負担に対する支援を求める意見も挙げられました。
- ・ 重度重複障害者、医療的ケア児者を訪問で診療する病院が少なく、またそのような訪問診療病院の情報も限られている状況です。

【委託相談支援事業所ヒアリング】

- ・ 日常的に生命維持のためのケアが必要な医療的ケア児への支援や、働かなければならない保護者（特に、ひとり親、低所得、共働き）への支援も求められています。
- ・ 基幹相談支援センターや地域生活支援拠点を周知するなどして、医療機関との関係づくりが必要とされています。
- ・ 依存症や発達などにおける専門の医療機関や、障害者に対する訪問診療・在宅医療の充実が必要とされています。

③アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- ・ 「医療的ケア（医ケア）」の用語の認知度は7割を超えています。また、医療的ケア児者とその家族への支援が必要とされています。
- ・ 医療を利用する上で困ったこととして、「待ち時間が長い」、「通院先まで行きづらい」、「お金の負担が大きい」が上位に入っています。待ち時間など、個別対応が必要な人への配慮や、通院、入院における保護者の付き添いの負担に対する支援も必要とされています。
- ・ 地域で自立した生活を続けていくために必要な支援のうち、「体調管理や服薬管理の支援」も1割半ばとなっています。
- ・ 地域生活支援拠点の周知等による医療機関との関係づくりが必要とされています。
- ・ 専門の医療機関や、訪問診療・在宅医療の充実が求められています。

④アンケート調査・ヒアリング調査から見てきた課題

〈医療的ケア等の支援体制の充実〉

医療的ケアに関する社会の認知は進んでおり、今後のさらなる周知と、医療的ケアを必要とする当事者及びその家族への支援の充実が求められます。

〈精神障害にも対応した支援及び医療サービス等の充実〉

地域で医療を安心して利用するためには、医療と福祉の連携強化を図るとともに、専門の医療機関等による適切な医療提供体制を確保する必要があります。

第3章 基礎調査結果の詳細

I. 障害者向けアンケート

I. 質問項目一覧

ご本人のことについて
問1. 回答を記入していただく方はどなたですか。
問2. あなたは何歳ですか(2022年4月1日現在)。
問3. あなたの性別をお答えください。
問4. 昼間に主に通っているところはどこですか。
問5. あなたがお住まいの地域はどちらですか。
お住まいについて
問6. どこで生活していますか。
問7. 誰と一緒に暮らしていますか。(問6で「1. 自宅」と答えた方にお伺いします。)
問8. 主に介護や支援をしている方はどなたですか。(問6で「1. 自宅」と答えた方にお伺いします。)
問9. 将来どこで生活したいですか。17歳以下のお子さん(児童)は成人した時のことを、18歳以上の成人の方は将来の希望についてお考えください。
問10. 将来、親や親族が病気等で一緒に生活できなくなった時は、どこで生活したいですか。(問9で「1. 自宅(家族や親族と同居)」と答えた方にお伺いします。)
問11. いつ施設を利用したいですか。(問9で「4. グループホーム」と答えた方にお伺いします。)
障害の状況
問12. 障害の種類は何ですか。
問13. 障害者手帳や以下の受給者証をお持ちですか。
情報アクセシビリティ
問14. 今お持ちの情報通信機器は何ですか。
問15. 普段の生活で情報通信機器を使って行っていることは何ですか。(問14で「6. 情報通信機器は持っていない」「7. わからない」と答えた方以外の方にお伺いします。)
問16. 主にどこから障害福祉に関する情報を入手していますか。ご家族から情報を入手している場合には、ご家族がどこから情報を入手しているかお答えください。
問17. これまでに福祉サービスの情報を得るために困ったことは何ですか。
問18. 市などの情報提供を充実させるためにはどのようなことが必要だと思いますか。
障害理解・差別解消
問19. 障害者差別解消法を知っていますか。
問20. 差別を受けたり嫌な思いをする、またはしたことがありますか。
問21. どのような場所や場面で差別や嫌な思いをしますか、またはしましたか。(問20で「1. よくある」「2. ときどきある」「3. ごくまれにある」と答えた方にお伺いします。)
問22. 成年後見制度を知っていますか。
問23. 柏市が設置する成年後見制度についての相談窓口を知っていますか。

問24. 障害の有無にかかわらず, 全ての人々が差別や偏見を持たずに暮らしていくには, どのようなことが必要だと思いますか。
相談体制
問25. 現在悩んでいることや困っていることは何ですか。
問26. 悩みや困りごとを誰(どこ)に相談しますか。
問27. 利用している相談先に関して評価していることはありますか。(問26で「1. 友人・知人」「2. 家族」「3. 親族」「25. 相談する必要がない」「26. 相談したいのにできていない」「27. わからない」と答えた方以外の方にお伺いします。)
問28. 利用している相談先に関する不満はありますか。(問26で「1. 友人・知人」「2. 家族」「3. 親族」「25. 相談する必要がない」「26. 相談したいのにできていない」「27. わからない」と答えた方以外の方にお伺いします。)
問29. 相談できていないのはどのような理由からですか。(問26で「26. 相談したいのにできていない」と答えた方にお伺いします。)
問30. あなたが必要な時に気軽に相談するために必要だと思うことは何ですか。
暮らしを支えるサービス
問31. 障害福祉サービスを利用したことがありますか。
問32. サービスを利用する上で困ったことはありますか。(問31で「1. 現在利用している」「2. 過去に利用したことがある」と答えた方にお伺いします。)
問33. 今後, 障害福祉サービスを利用したいと思いますか。(問31で「3. 利用したことはない」と答えた方にお伺いします。)
問34. 現在, 障害福祉サービスを利用していないのはどのような理由からですか。(問33で「1. 利用したい」と答えた方にお伺いします。)
問35. 障害のある方に対する各サービスについて, あなたが充実してほしいものは何ですか。
健康・医療
問36. 医療を利用する上で困ったことはありますか。
問37. 障害の重度化予防のために何かしていることや, これからしたいことはありますか。
問38. あなたが地域で自立した生活を続けていくために, 必要だと思う支援は何ですか。
問39. 高齢化に伴い不安なことはありますか。17歳以下のお子さん(児童)は保護者の方の高齢化, 18歳以上の成人の方はご自身の高齢化についてお考えください。
安全・安心な生活環境
問40. 災害時に近所に助けを求められる人はいますか。
問41. 自分一人で避難することはできますか。(問40で「1. いない」と答えた方にお伺いします。)
問42. 助けを求められる人は誰ですか。(問40で「2. いる」と答えた方にお伺いします。)
問43. 日頃から, 災害に備えていることはありますか。
問44. 災害が起きた時に支援してほしいことは何ですか。

こども <小学校入学前(乳幼児期)>
問45. 小学校入学前のお子さんのことで、現在悩んでいることや困っていることは何ですか。
問46. お子さんについての悩みや困っていることを相談したきっかけは何ですか。
問47. 今後充実してほしい支援・サービスは何ですか。
こども <小学校入学後(学齢期)>
問48. 学校生活で困った、困っていることはありますか。
問49. 学齢期に子育てをする上で、どのようなことに不安がありますか。
問50. 学齢期に子育てをする上で、どんな援助を希望しますか。
問51. 学校を卒業して社会に出た時に、どんな支援を希望しますか。
こども <乳幼児期・学齢期共通>
問52. あなたは柏市サポートファイルを使っていますか。
問53. サポートファイルを使っている方は使っていて不便に思うことは何ですか。使っていない方は使っていない理由をお答えください。(問52で「1. 使っている」「2. 使っていないが、サポートファイルを持っている」「3. 使っていないが、サポートファイルを知っている」と答えた方にお伺いします。)
就労 <18歳以上の方>
問54. 収入源は何ですか。
問55. 現在、仕事に就いていますか。
問56. 現在の仕事をどのくらい継続して行っていますか。(問55で「3. 就いている(福祉的就労)」「4. 就いている(一般就労)」と答えた方にお伺いします。)
問57. 仕事内容は何ですか。(問55で「3. 就いている(福祉的就労)」「4. 就いている(一般就労)」と答えた方にお伺いします。)
問58. 賃金・工賃は平均でいくらですか(月額でお答えください)。(問55で「3. 就いている(福祉的就労)」「4. 就いている(一般就労)」と答えた方にお伺いします。)
問59. 今後、働きたいですか。(問55で「1. 就いていない」「2. 就職活動中」と答えた方にお伺いします。)
問60. どこで働きたいですか。(問59で「2. 働きたい」と答えた方にお伺いします。)
問61. 希望する仕事内容は何ですか。(問59で「2. 働きたい」と答えた方にお伺いします。)
問62. 就職するために必要だと思うことは何ですか。すでに働いている方は就職する際のことをお答えください。
問63. 長期的に働くために必要だと思うことは何ですか。
社会参加・余暇活動
問64. 外出する際はどのような手段を使いますか。
問65. ここ1年間でどのくらい外出しましたか。
問66. 外出の目的は何ですか。(問65で「8. わからない」と答えた方以外の方にお伺いします。)
問67. 外出するために必要だと思うことは何ですか。

問68. 今後社会参加する,または社会参加を続けるとしたら,どんな活動に参加したいですか。
問69. 今後社会参加する,または社会参加を続けるために必要だと思うことは何ですか。
全体を通して
問70. 柏市の資源や財源は限られており,特に必要な取組から優先して実施していかなければなりません。今後,柏市の障害福祉の取組について,特に優先して力を入れてほしいものは何ですか。
問71. 全体を通して,また,親や介護者の立場として何かご意見があればご自由に記入してください。

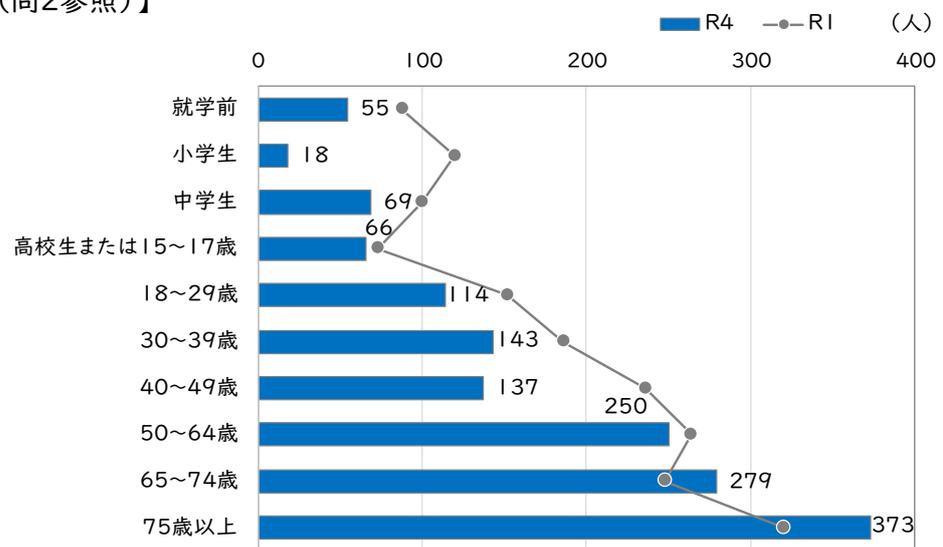
2. 調査結果を見る際の留意点

- ・回答は各質問の有効回答数(n)を基数とした百分率(%)で示しています。
- ・回答の比率(%)は,各質問の有効回答数を母数として算出しているため,複数回答の質問については,選択肢ごとの比率を合計すると100%を超えることがあります。
- ・回答の比率(%)は,小数点以下第2位を四捨五入しているため,属性ごとの回答比率の合計が100%にならないことがあります。
- ・「児童」は17歳以下,「成人」は18~64歳,「高齢者」は65歳以上を指します。
- ・原則として,回答者本人が回答したとおり集計していますが,明らかに論理的に矛盾した回答については,集計から除外しています(例:問2で年齢を「就学前」と答えた方が,問7で「配偶者」と暮らしていると答えた場合は問7の回答を除外)
- ・割合の表記は,1割前半は10~13%,1割半ばは14~16%,1割後半は17~19%を指します。また,1割程度は8~12%,1割台は10~19%を指し,複数の比率をまとめて言及する場合に使用しています(小数点以下は切り捨て)。
- ・原則として,全体の有効回答数が151人(有効回答総数の約1割)以上あるものについて傾向を記載しています。
- ・クロス集計分析に当たっては,属性ごとの有効回答数が30人未満の場合は傾向に記載しません。
- ・障害種別の集計に当たっては,本アンケート調査の問12で回答者本人が回答した障害種別に基づいて集計しており,問13で回答した障害者手帳等の取得状況との整合は考慮していません。なお,問12と問13の回答については,概ね整合がとれています(例:問13で療育手帳を取得していると答えた方は概ね,問12で知的障害を持っていると回答しています)。
- ・障害種別の集計表の合計数については,重複して障害を持っている方はそれぞれの障害でカウントするため,全体の合計数にならない場合があります。
- ・問71の自由記述は,代表的な回答を抜粋し概要を記載しています。なお,自由記述の件数は,年代や障害種別などの属性が無回答であった方も含め,記載のあった全ての意見数を掲載しています。

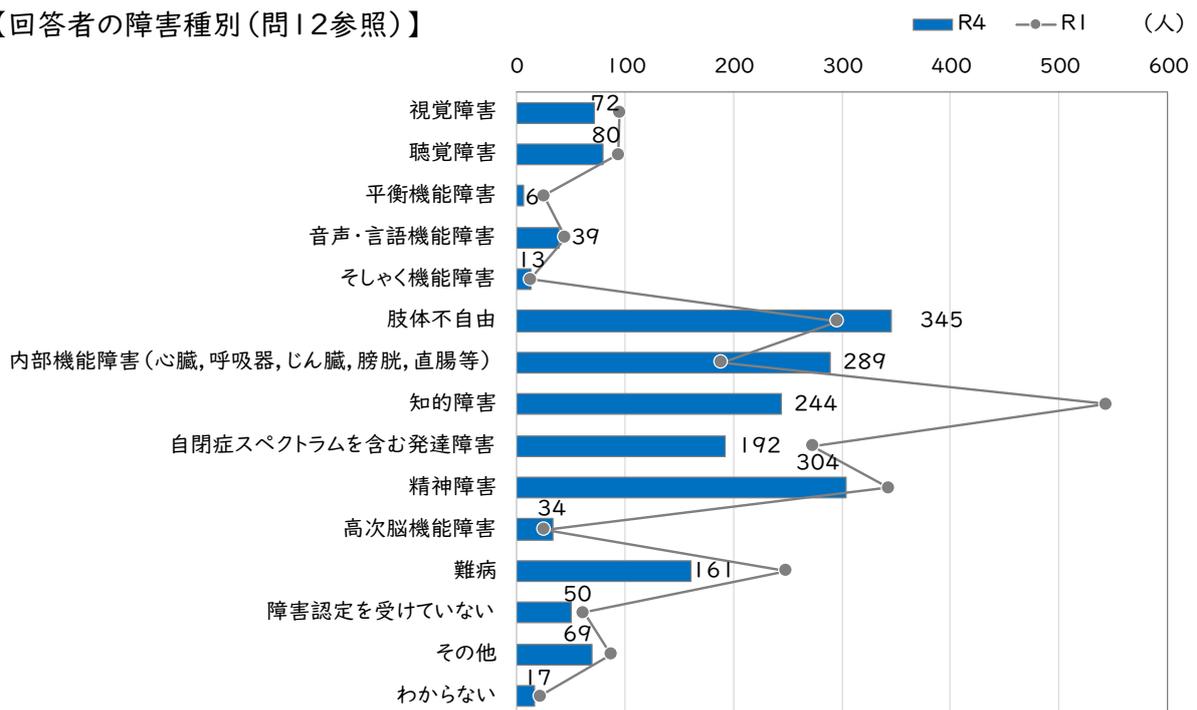
3. 前回調査結果との比較上の留意点

- ・質問ごとに前回調査の結果と比較している場合があります。この前回調査とは、2019年度に実施した「障害者計画策定のためのアンケート調査」を指し、グラフ内ではR1と表記しています。
- ・本アンケート調査では、市内障害者の障害種別の割合に応じて調査票を配布したため、回答者の年齢分布を前回調査と比較した場合、児童が少なく高齢者が多いという傾向がありますが、前回比較に当たっては考慮しておらず、純粋にポイント同士を比較しています。
- ・なお、質問ごとに掲載しているグラフ(棒グラフと折れ線グラフを組み合わせたもの)内の数値は令和4年度実施の本調査結果(R4)を示します(以下グラフ参照)。

【回答者の年齢分布(問2参照)】



【回答者の障害種別(問12参照)】



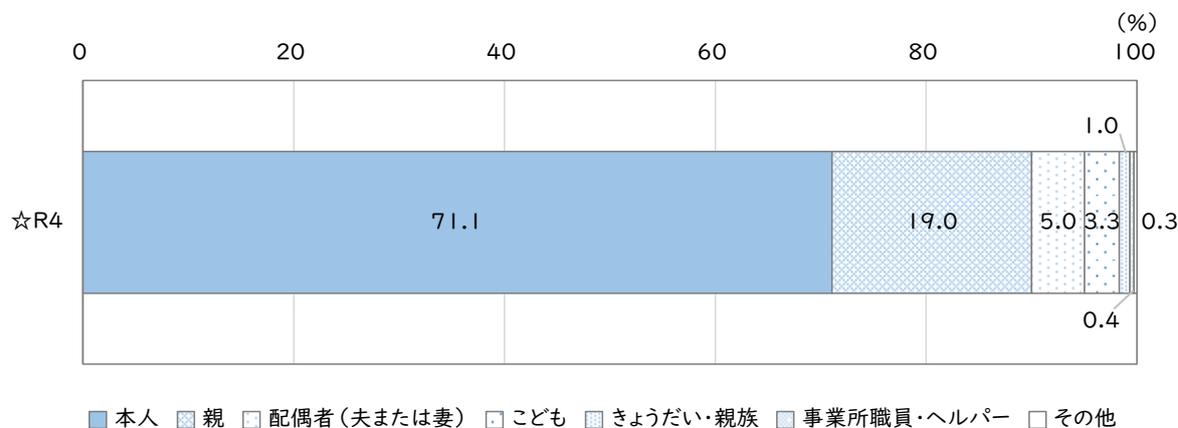
4. 各質問項目の回答結果

ご本人のことについて

問1. 回答を記入していただく方はどなたですか（○はひとつ）。

全体 「本人」が最も多く7割前半，続いて「親」が1割後半となっています。
属性別 年代別に見ると，児童は「親」が8割半ば，成人と高齢者は「本人」が8割程度となっています。

【全体】



(単位: %)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,493	71	120	337	284	241	190	299	33	158	49	82
本人	71.1	50.7	70.0	72.4	89.4	24.5	36.8	90.0	42.4	78.5	49.0	72.0
親	19.0	7.0	10.8	9.2	2.1	71.0	62.1	6.4	12.1	5.1	49.0	19.5
配偶者 (夫または妻)	5.0	19.7	10.8	10.1	4.6	0.8	0.5	2.0	30.3	9.5	2.0	6.1
子ども	3.3	14.1	4.2	5.3	3.5	0.4	0.5	0.3	6.1	6.3	0.0	1.2
きょうだい・親族	1.0	4.2	4.2	2.1	0.4	1.7	0.0	0.7	9.1	0.6	0.0	0.0
事業所職員・ヘルパー	0.4	1.4	0.0	0.9	0.0	1.2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.3	2.8	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	205	1	6	18	3	102	102	13	0	7	24	14
本人	14.6	100.0	0.0	11.1	0.0	16.7	13.7	38.5	0.0	0.0	0.0	7.1
親	85.4	0.0	100.0	88.9	100.0	83.3	86.3	61.5	0.0	100.0	100.0	92.9
配偶者(夫または妻)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子ども	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうだい・親族	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所職員・ヘルパー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	639	21	31	96	63	130	86	245	15	70	16	32
本人	80.3	61.9	71.0	78.1	93.7	30.8	62.8	94.3	66.7	95.7	100.0	87.5
親	16.1	23.8	22.6	14.6	3.2	63.8	34.9	3.7	26.7	1.4	0.0	9.4
配偶者(夫または妻)	1.6	9.5	0.0	4.2	1.6	0.0	1.2	0.8	0.0	2.9	0.0	0.0
子ども	0.5	4.8	3.2	0.0	1.6	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうだい・親族	0.6	0.0	3.2	1.0	0.0	1.5	0.0	0.4	6.7	0.0	0.0	0.0
事業所職員・ヘルパー	0.6	0.0	0.0	2.1	0.0	2.3	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1

(単位:%)

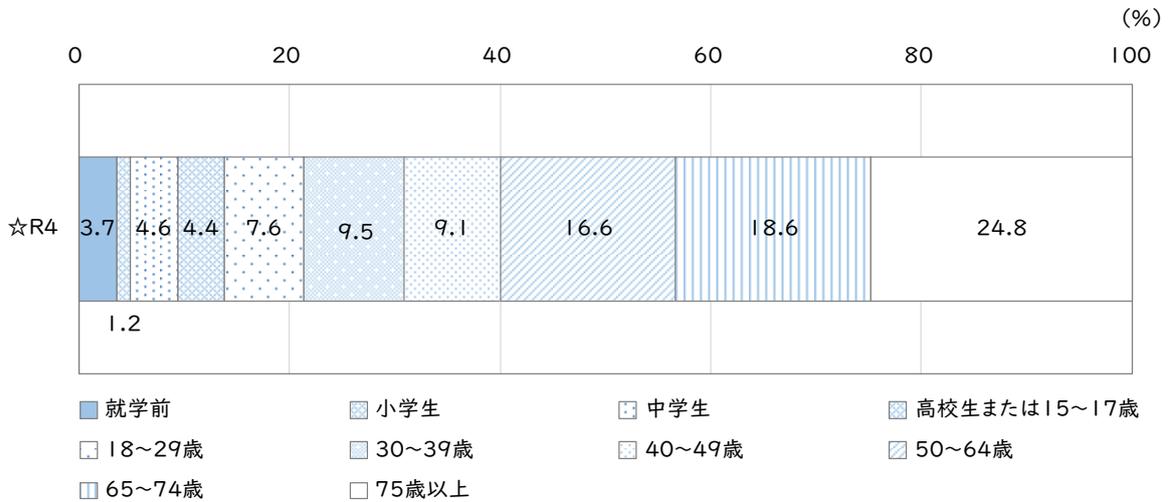
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	648	49	83	222	218	9	2	41	18	81	9	36
本人	79.8	44.9	74.7	74.8	89.4	22.2	100.0	80.5	22.2	70.4	88.9	83.3
親	0.8	0.0	0.0	0.5	0.5	33.3	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0
配偶者(夫または妻)	10.0	24.5	15.7	13.5	5.5	22.2	0.0	9.8	55.6	16.0	11.1	13.9
子ども	7.1	18.4	4.8	8.1	4.1	0.0	0.0	2.4	11.1	12.3	0.0	2.8
きょうだい・親族	1.7	6.1	4.8	2.7	0.5	22.2	0.0	2.4	11.1	1.2	0.0	0.0
事業所職員・ヘルパー	0.3	2.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.3	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問2. あなたは何歳ですか(2022年4月1日現在)(○はひとつ)。

全体 「成人」が644人,「高齢者」が652人とそれぞれ4割前半,「児童」は208人と1割前半となっています。

属性別 年代別に見ると,児童は知的障害,発達障害,成人は精神障害,高齢者は肢体不自由,内部障害が多い傾向が見られます。

【全体】



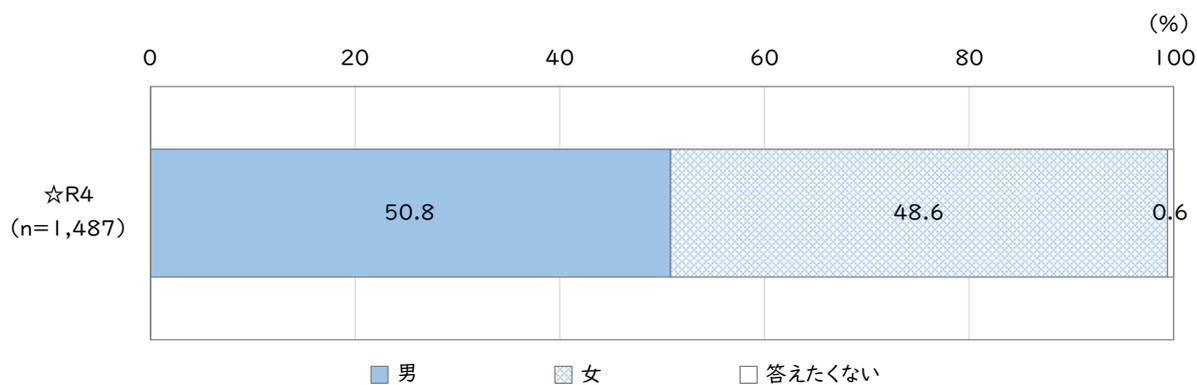
(単位:人)

全体		★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数		1,504	71	122	338	285	243	191	301	34	159	50	84
児童	就学前	55	0	2	0	0	4	23	0	0	1	23	6
	小学生	18	0	0	1	1	3	14	0	0	0	2	2
	中学生	69	0	2	9	2	49	36	4	0	2	0	3
	高校生または15~17歳	66	1	2	8	0	47	30	9	0	4	0	3
成人	18~29歳	114	2	5	11	7	44	33	40	2	6	5	7
	30~39歳	143	2	5	11	4	47	33	71	1	7	2	5
	40~49歳	137	3	7	16	10	27	12	65	4	8	2	10
	50~64歳	250	14	15	58	43	13	8	69	9	49	7	12
高齢者	65~74歳	279	20	25	82	86	7	0	33	10	36	8	16
	75歳以上	373	29	59	142	132	2	2	10	8	46	1	20

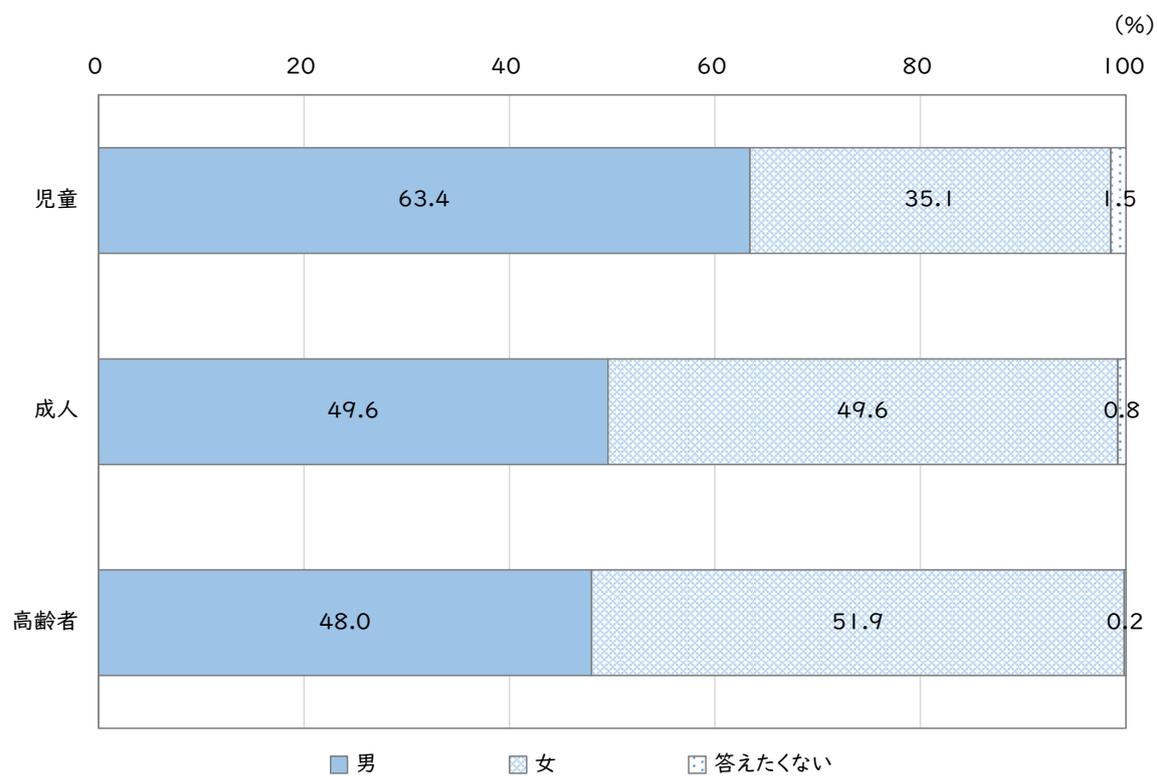
問3. あなたの性別をお答えください(○はひとつ)。

全 体 「男」と「女」が概ね半数ずつとなっています。

【全体】



【年代別の障害種別】

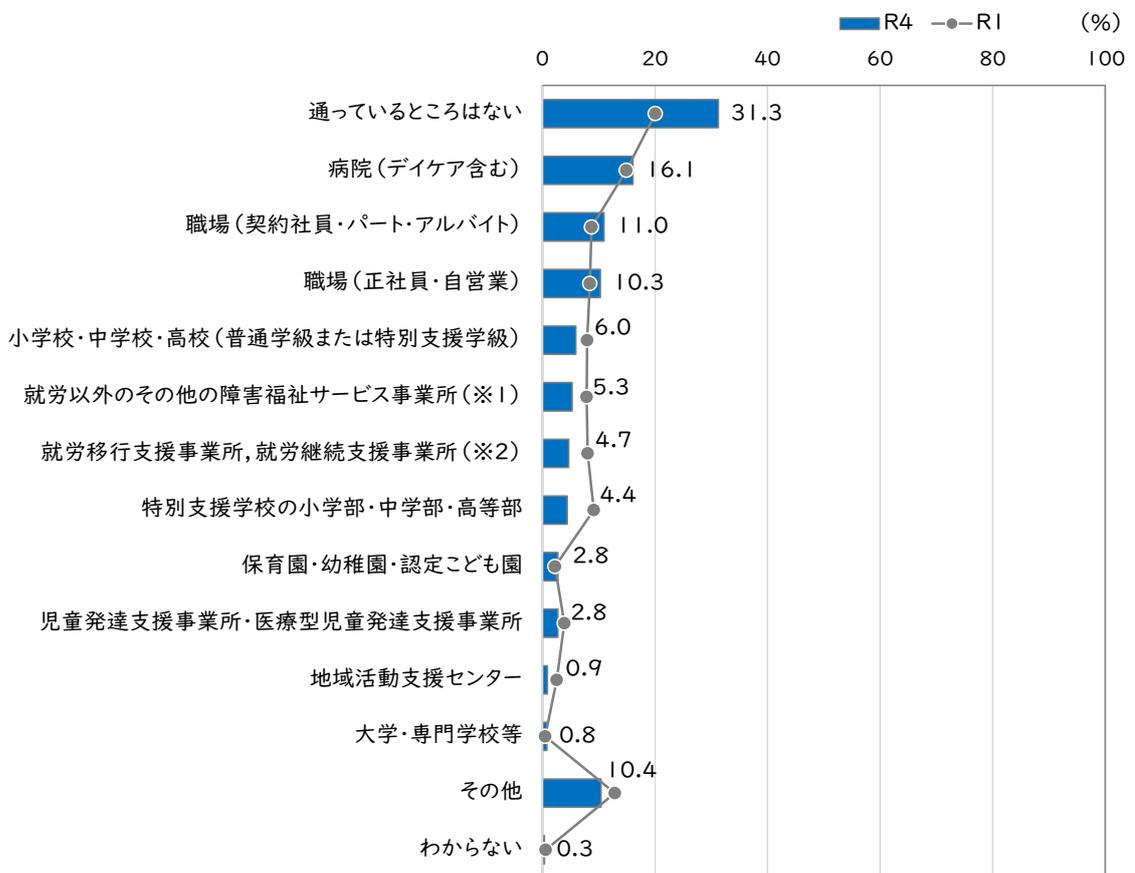


問4. 昼間に主に通っているところはどこですか(○はいくつでも)。

全体 「通っていないところはない」が最も多く3割前半となっています。また、「その他」が1割前半となっており、「スポーツクラブ」や「買い物」等の意見が挙げられています。前回調査と比べ、「通っていないところはない」が11ポイント程度増加しています。

属性別 年代別に見ると、年代が高いほど「通っていないところはない」が多くなっています。また、児童は「小学校・中学校・高校(普通学級または特別支援学級)」が4割前半,成人は「職場(契約社員・パート・アルバイト)」と「職場(正社員・自営業)」が2割程度,高齢者は「病院(デイケア含む)」が2割半ばで多くなっています。

【全体】



(※1) 就労以外のその他の障害福祉サービス事業所(生活介護事業所等)

(※2) 就労移行支援事業所, 就労継続支援事業所(A型・B型), または就労の支援をする障害福祉サービス事業所

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
全体	1,477	70	119	330	275	242	190	299	34	153	50	83
通っているところはない	31.3	40.0	34.5	36.7	39.3	6.6	13.2	36.1	23.5	35.9	20.0	33.7
病院(デイケア含む)	16.1	21.4	23.5	21.8	28.7	1.7	3.7	19.7	23.5	17.6	0.0	13.3
職場(契約社員・パート・アルバイト)	11.0	4.3	3.4	6.4	7.3	13.6	8.9	17.4	0.0	12.4	10.0	7.2
職場(正社員・自営業)	10.3	12.9	10.9	10.0	10.5	3.3	4.7	6.7	2.9	19.6	10.0	8.4
小学校・中学校・高校(普通学級または特別支援学級)	6.0	1.4	0.0	2.4	0.4	16.9	26.8	2.0	0.0	1.3	4.0	8.4
就労以外のその他の障害福祉サービス事業所(※1)	5.3	7.1	5.9	9.1	1.5	17.8	6.8	2.7	11.8	3.3	0.0	1.2
就労移行支援事業所, 就労継続支援事業所(※2)	4.7	4.3	2.5	1.8	0.4	13.2	7.4	9.4	11.8	1.3	0.0	7.2
特別支援学校の小学部・中学部・高等部	4.4	0.0	2.5	2.7	0.7	24.4	16.3	2.0	0.0	2.6	0.0	1.2
保育園・幼稚園・認定こども園	2.8	0.0	1.7	0.0	0.0	1.2	7.9	0.0	0.0	0.7	38.0	4.8
児童発達支援事業所・医療型児童発達支援事業所	2.8	0.0	1.7	0.0	0.0	2.1	11.6	0.0	0.0	0.7	26.0	3.6
地域活動支援センター	0.9	2.9	0.8	0.0	1.5	0.4	0.0	1.3	2.9	1.3	0.0	0.0
大学・専門学校等	0.8	0.0	0.0	0.3	1.5	0.0	1.1	0.7	0.0	0.7	6.0	2.4
その他	10.4	12.9	16.8	13.9	14.9	5.0	3.2	8.0	29.4	9.8	6.0	14.5
わからない	0.3	0.0	1.7	0.0	0.4	0.4	0.5	0.3	0.0	0.7	0.0	0.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	208	1	6	18	3	103	103	13	0	7	25	14
通っているところはない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院(デイケア含む)	0.5	0.0	16.7	5.6	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職場(契約社員・パート・アルバイト)	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
職場(正社員・自営業)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小学校・中学校・高校(普通学級または特別支援学級)	41.3	100.0	0.0	44.4	33.3	37.9	48.5	46.2	0.0	28.6	8.0	50.0
就労以外のその他の障害福祉サービス事業所(※1)	1.9	0.0	0.0	5.6	0.0	3.9	1.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
就労移行支援事業所, 就労継続支援事業所(※2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特別支援学校の小学部・中学部・高等部	30.8	0.0	50.0	50.0	66.7	56.3	29.1	46.2	0.0	57.1	0.0	7.1
保育園・幼稚園・認定こども園	19.7	0.0	33.3	0.0	0.0	2.9	14.6	0.0	0.0	14.3	76.0	28.6
児童発達支援事業所・医療型児童発達支援事業所	19.7	0.0	33.3	0.0	0.0	4.9	21.4	0.0	0.0	14.3	52.0	21.4
地域活動支援センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学・専門学校等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	1.0	7.7	0.0	0.0	4.0	7.1
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(※1) 就労以外のその他の障害福祉サービス事業所(生活介護事業所等)

(※2) 就労移行支援事業所, 就労継続支援事業所(A型・B型), または就労の支援をする障害福祉サービス事業所

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	638	21	31	94	64	130	85	244	16	68	16	34
通っているところはない	26.8	28.6	25.8	28.7	28.1	10.8	27.1	34.4	31.3	33.8	25.0	38.2
病院(デイケア含む)	12.1	14.3	16.1	10.6	21.9	2.3	8.2	20.1	18.8	5.9	0.0	2.9
職場(契約社員・パート・アルバイト)	20.5	9.5	6.5	14.9	14.1	24.6	20.0	20.5	0.0	17.6	31.3	14.7
職場(正社員・自営業)	19.7	33.3	29.0	29.8	34.4	5.4	10.6	8.2	6.3	33.8	25.0	14.7
小学校・中学校・高校(普通学級または特別支援学級)	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就労以外のその他の障害福祉サービス事業所(※1)	7.4	14.3	6.5	11.7	1.6	28.5	14.1	2.9	0.0	1.5	0.0	2.9
就労移行支援事業所, 就労継続支援事業所(※2)	10.2	9.5	6.5	4.3	1.6	23.1	16.5	11.5	18.8	2.9	0.0	17.6
特別支援学校の小学部・中学部・高等部	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育園・幼稚園・認定こども園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援事業所・医療型児童発達支援事業所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域活動支援センター	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	1.6	6.3	0.0	0.0	0.0
大学・専門学校等	1.7	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	2.4	0.8	0.0	1.5	18.8	5.9
その他	5.3	0.0	9.7	2.1	1.6	4.6	5.9	7.4	25.0	5.9	0.0	11.8
わからない	0.6	0.0	6.5	0.0	0.0	0.8	1.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	629	48	82	217	208	9	2	42	18	77	9	35
通っているところはない	46.3	45.8	40.2	43.3	43.3	22.2	100.0	57.1	16.7	41.6	66.7	42.9
病院(デイケア含む)	25.3	25.0	26.8	27.6	31.3	0.0	0.0	23.8	27.8	29.9	0.0	28.6
職場(契約社員・パート・アルバイト)	4.8	2.1	2.4	3.2	5.3	0.0	0.0	4.8	0.0	9.1	0.0	2.9
職場(正社員・自営業)	4.0	4.2	4.9	2.3	3.4	11.1	0.0	0.0	0.0	7.8	11.1	5.7
小学校・中学校・高校(普通学級または特別支援学級)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就労以外のその他の障害福祉サービス事業所(※1)	4.3	4.2	6.1	8.3	1.4	22.2	0.0	2.4	22.2	3.9	0.0	0.0
就労移行支援事業所, 就労継続支援事業所(※2)	0.6	2.1	1.2	0.9	0.0	22.2	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0
特別支援学校の小学部・中学部・高等部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育園・幼稚園・認定こども園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援事業所・医療型児童発達支援事業所	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域活動支援センター	1.3	4.2	1.2	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0
大学・専門学校等	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	18.1	18.8	20.7	20.3	19.2	22.2	0.0	11.9	33.3	14.3	22.2	20.0
わからない	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0

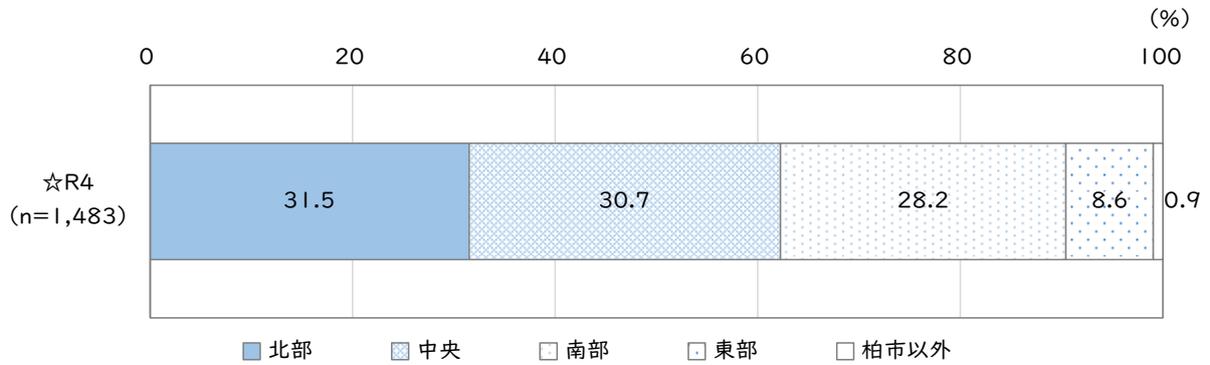
(※1) 就労以外のその他の障害福祉サービス事業所(生活介護事業所等)

(※2) 就労移行支援事業所, 就労継続支援事業所(A型・B型), または就労の支援をする障害福祉サービス事業所

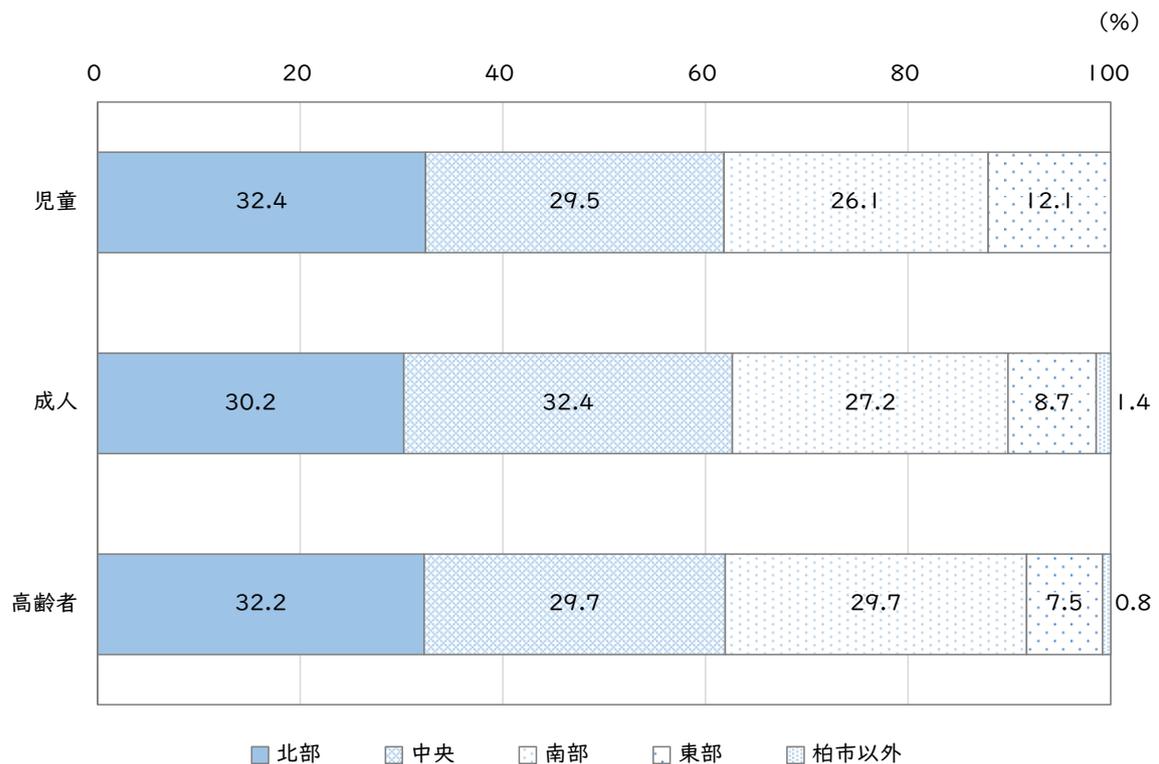
問5. あなたがお住まいの地域はどちらですか(○はひとつ)。

全 体 「北部」と「中央」が3割前半, 「南部」が2割後半, 「東部」が1割未満となっています。

【全体】



【年代別の障害種別】

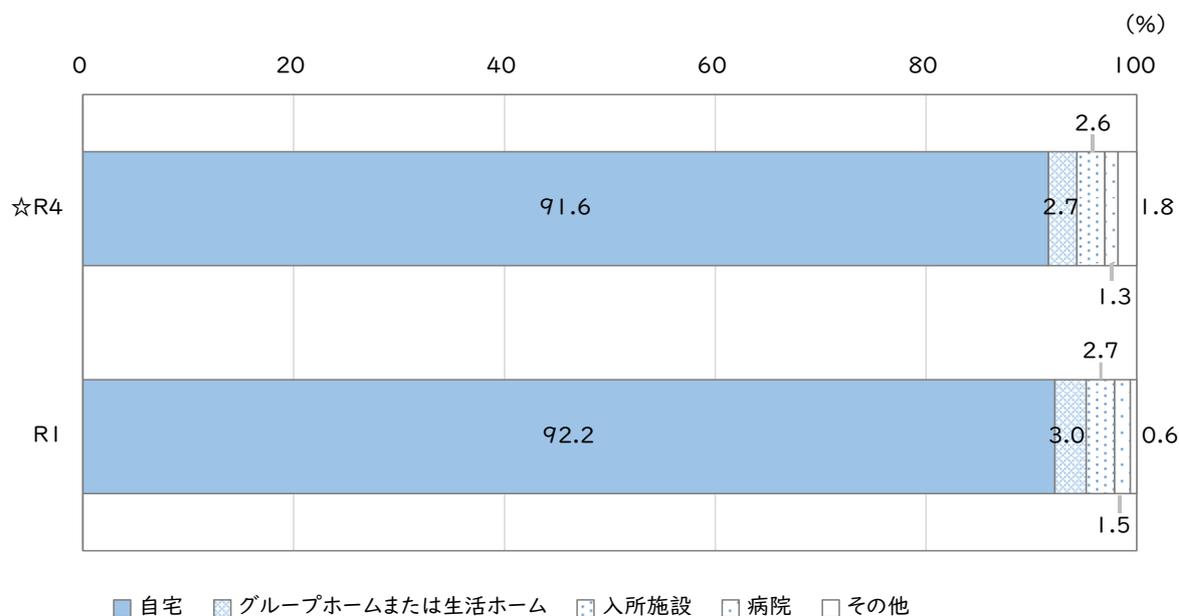


お住まいについて

問6.どこで生活していますか(○はひとつ)。

全体 「自宅」が9割前半となっています。前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,514	71	124	345	282	243	191	303	33	161	50	85
自宅	91.6	85.9	87.1	88.4	93.6	89.7	94.8	89.8	72.7	93.8	100.0	90.6
グループホームまたは生活ホーム	2.7	4.2	1.6	1.2	0.7	7.4	4.2	5.3	0.0	0.0	0.0	3.5
入所施設	2.6	4.2	4.8	6.1	1.4	1.6	0.5	2.3	15.2	2.5	0.0	3.5
病院	1.3	4.2	2.4	3.5	2.1	0.4	0.0	0.3	12.1	1.2	0.0	0.0
その他	1.8	1.4	4.0	0.9	2.1	0.8	0.5	2.3	0.0	2.5	0.0	2.4

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	208	1	6	18	3	103	103	13	0	7	25	14
自宅	99.0	100.0	66.7	94.4	100.0	98.1	99.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0
グループホームまたは生活ホーム	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
入所施設	0.5	0.0	16.7	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院	0.5	0.0	16.7	5.6	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	639	21	32	96	62	130	85	244	16	70	16	33
自宅	90.0	81.0	93.8	87.5	95.2	84.6	89.4	89.3	81.3	100.0	100.0	87.9
グループホームまたは生活ホーム	5.6	9.5	0.0	4.2	1.6	13.1	9.4	6.1	0.0	0.0	0.0	9.1
入所施設	1.7	4.8	3.1	4.2	0.0	1.5	0.0	1.6	6.3	0.0	0.0	0.0
病院	0.8	4.8	0.0	3.1	1.6	0.0	0.0	0.4	12.5	0.0	0.0	0.0
その他	1.9	0.0	3.1	1.0	1.6	0.8	1.2	2.5	0.0	0.0	0.0	3.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	645	48	83	224	213	9	2	43	17	82	9	36
自宅	90.5	87.5	85.5	87.9	93.0	66.7	100.0	88.4	64.7	87.8	100.0	88.9
グループホームまたは生活ホーム	0.8	2.1	2.4	0.0	0.5	11.1	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
入所施設	4.3	4.2	4.8	7.6	1.9	11.1	0.0	7.0	23.5	4.9	0.0	8.3
病院	2.0	4.2	2.4	3.6	2.3	0.0	0.0	0.0	11.8	2.4	0.0	0.0
その他	2.3	2.1	4.8	0.9	2.3	11.1	0.0	2.3	0.0	4.9	0.0	2.8

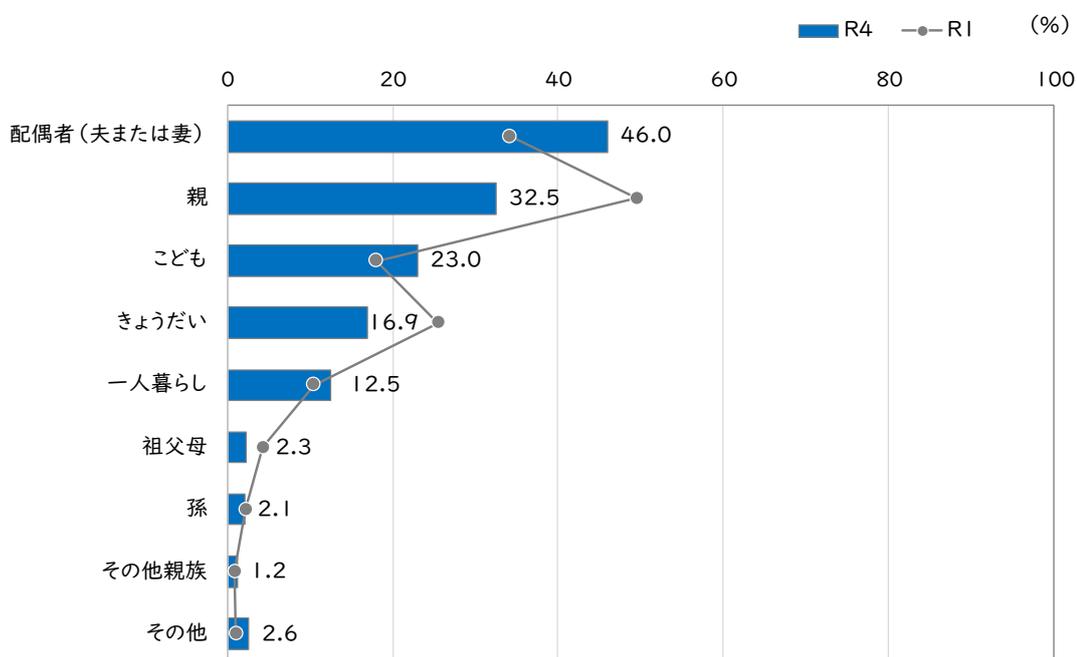
問7. 誰と一緒に暮らしていますか(○はいくつでも)。

(問6で「1.自宅」と答えた方にお伺いします。)

全体 「配偶者(夫または妻)」が最も多く4割半ば、続いて「親」が3割前半、「子ども」が2割前半となっています。前回調査と比べ、「配偶者(夫または妻)」が12ポイント程度増加し、「親」が17ポイント減少しています。

属性別 年代別に見ると、児童は「親」が最も多く9割後半、続いて「きょうだい」が6割半ば、成人は「親」と「配偶者(夫または妻)」が4割程度、高齢者は「配偶者(夫または妻)」が最も多く6割後半、続いて「子ども」が3割前半となっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
全体	1,378	60	108	305	262	217	179	270	24	151	48	77
配偶者(夫または妻)	46.0	60.0	50.9	57.0	70.2	2.3	7.3	41.9	58.3	57.6	31.3	46.8
親	32.5	10.0	19.4	17.4	8.4	93.1	81.0	25.2	25.0	20.5	62.5	28.6
子ども	23.0	28.3	32.4	27.5	31.3	1.4	5.6	17.8	41.7	35.1	22.9	18.2
きょうだい	16.9	10.0	6.5	8.9	3.8	53.5	44.1	11.5	8.3	7.3	43.8	18.2
一人暮らし	12.5	13.3	15.7	15.1	10.7	1.4	6.7	20.7	8.3	11.3	8.3	14.3
祖父母	2.3	0.0	1.9	1.3	0.4	9.2	3.9	0.7	0.0	1.3	2.1	1.3
孫	2.1	5.0	1.9	3.0	4.2	0.5	0.0	0.4	0.0	4.6	0.0	0.0
その他親族	1.2	3.3	1.9	0.7	0.8	0.9	1.7	1.5	0.0	0.0	4.2	0.0
その他	2.6	3.3	2.8	1.6	0.4	1.4	2.8	8.1	4.2	2.0	0.0	3.9

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	203	1	4	17	3	101	101	13	0	7	23	14
配偶者(夫または妻)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親	99.0	100.0	75.0	100.0	100.0	100.0	99.0	84.6	0.0	100.0	100.0	100.0
こども	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうだい	66.5	100.0	25.0	70.6	100.0	80.2	59.4	53.8	0.0	42.9	69.6	71.4
一人暮らし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母	7.9	0.0	0.0	17.6	33.3	9.9	5.9	0.0	0.0	0.0	4.3	7.1
孫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他親族	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0
その他	1.0	0.0	25.0	0.0	0.0	1.0	1.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	572	17	30	84	59	109	75	216	13	70	16	29
配偶者(夫または妻)	38.1	47.1	30.0	54.8	54.2	1.8	16.0	38.9	53.8	54.3	37.5	41.4
親	40.7	23.5	56.7	35.7	28.8	89.9	58.7	25.9	38.5	32.9	37.5	27.6
こども	23.1	41.2	26.7	29.8	32.2	0.9	13.3	17.1	38.5	42.9	31.3	27.6
きょうだい	14.3	11.8	10.0	9.5	5.1	31.2	24.0	11.1	7.7	5.7	31.3	10.3
一人暮らし	14.7	17.6	13.3	9.5	15.3	2.8	14.7	23.1	7.7	5.7	25.0	17.2
祖父母	2.8	0.0	6.7	1.2	0.0	9.2	1.3	0.9	0.0	2.9	0.0	0.0
孫	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
その他親族	1.2	0.0	6.7	0.0	0.0	1.8	1.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.7	5.9	3.3	3.6	0.0	1.8	5.3	9.7	7.7	1.4	0.0	10.3

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	581	41	71	197	196	6	2	38	11	72	9	32
配偶者(夫または妻)	69.4	65.9	60.6	62.9	76.0	50.0	50.0	73.7	63.6	66.7	100.0	71.9
親	1.9	2.4	1.4	2.5	0.5	33.3	0.0	2.6	9.1	1.4	11.1	0.0
こども	31.0	24.4	38.0	29.4	31.1	33.3	0.0	26.3	45.5	30.6	66.7	18.8
きょうだい	2.4	7.3	4.2	3.0	2.0	16.7	0.0	0.0	9.1	5.6	0.0	3.1
一人暮らし	14.3	12.2	18.3	18.8	9.7	0.0	50.0	10.5	9.1	16.7	0.0	15.6
祖父母	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
孫	4.8	7.3	2.8	4.6	5.6	16.7	0.0	2.6	0.0	8.3	0.0	0.0
その他親族	0.9	4.9	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.2	2.4	1.4	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0

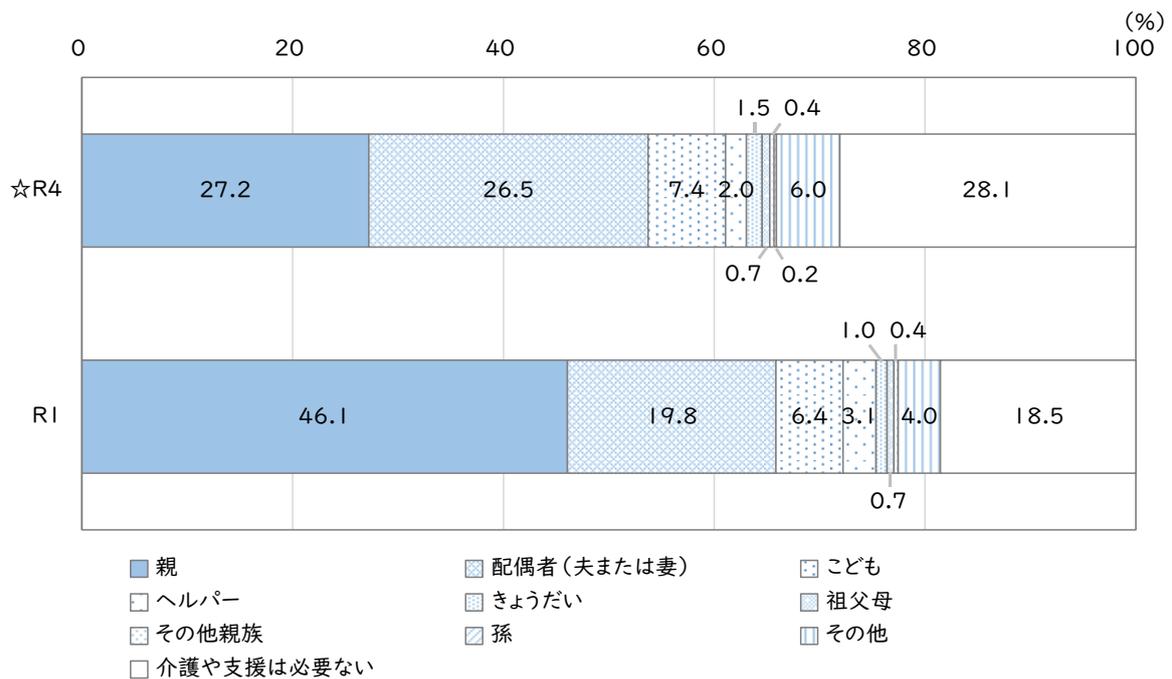
問8. 主に介護や支援をしている方はどなたですか(○はひとつ)。

(問6で「1. 自宅」と答えた方にお伺いします。)

全体 「親」と「配偶者(夫または妻)」が2割半ば～2割後半となっている一方、「介護や支援は必要ない」も2割後半となっています。前回調査と比べ、「親」が19ポイント程度減少しています。

属性別 年代別に見ると、児童は「親」が最も多く9割半ば、成人は「介護や支援は必要ない」と「親」が3割台、高齢者は「配偶者(夫または妻)」が最も多く4割前半となっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,264	52	99	275	244	199	164	248	20	139	46	70
親	27.2	5.8	16.2	12.7	3.7	88.4	73.8	17.3	15.0	13.7	56.5	30.0
配偶者(夫または妻)	26.5	32.7	29.3	39.3	45.1	1.0	4.3	24.6	60.0	26.6	6.5	22.9
こども	7.4	15.4	11.1	9.8	9.8	0.5	2.4	4.0	10.0	10.1	0.0	5.7
ヘルパー	2.0	11.5	2.0	3.6	1.2	0.5	1.2	2.0	0.0	2.9	0.0	1.4
きょうだい	1.5	1.9	4.0	2.9	1.2	0.5	0.6	0.8	15.0	2.9	0.0	2.9
祖父母	0.7	0.0	3.0	0.0	0.0	2.0	1.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他親族	0.4	1.9	0.0	0.7	0.0	0.0	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
孫	0.2	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6.0	9.6	8.1	4.7	7.0	2.5	3.7	11.7	0.0	5.8	2.2	8.6
介護や支援は必要ない	28.1	21.2	26.3	25.1	32.0	4.5	11.0	37.5	0.0	38.1	34.8	28.6

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	189	1	4	15	3	93	91	13	0	6	24	13
親	94.2	100.0	75.0	93.3	100.0	94.6	95.6	84.6	0.0	100.0	95.8	100.0
配偶者(夫または妻)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こども	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ヘルパー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうだい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
祖父母	1.6	0.0	25.0	0.0	0.0	1.1	2.2	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他親族	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
孫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護や支援は必要ない	4.2	0.0	0.0	6.7	0.0	4.3	2.2	7.7	0.0	0.0	4.2	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	524	15	28	75	53	99	70	199	9	66	13	25
親	30.3	13.3	42.9	26.7	9.4	85.9	48.6	15.1	33.3	19.7	23.1	28.0
配偶者(夫または妻)	18.3	20.0	17.9	26.7	35.8	0.0	10.0	24.1	55.6	15.2	0.0	16.0
こども	3.4	6.7	0.0	2.7	3.8	0.0	4.3	3.5	0.0	7.6	0.0	4.0
ヘルパー	1.9	26.7	0.0	1.3	0.0	1.0	2.9	2.5	0.0	0.0	0.0	4.0
きょうだい	1.5	0.0	0.0	2.7	1.9	1.0	1.4	1.0	11.1	1.5	0.0	4.0
祖父母	1.1	0.0	7.1	0.0	0.0	3.0	1.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他親族	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
孫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.6	6.7	10.7	5.3	7.5	5.1	8.6	13.1	0.0	7.6	0.0	20.0
介護や支援は必要ない	35.5	26.7	21.4	34.7	41.5	4.0	21.4	39.2	0.0	48.5	76.9	24.0

(単位:%)

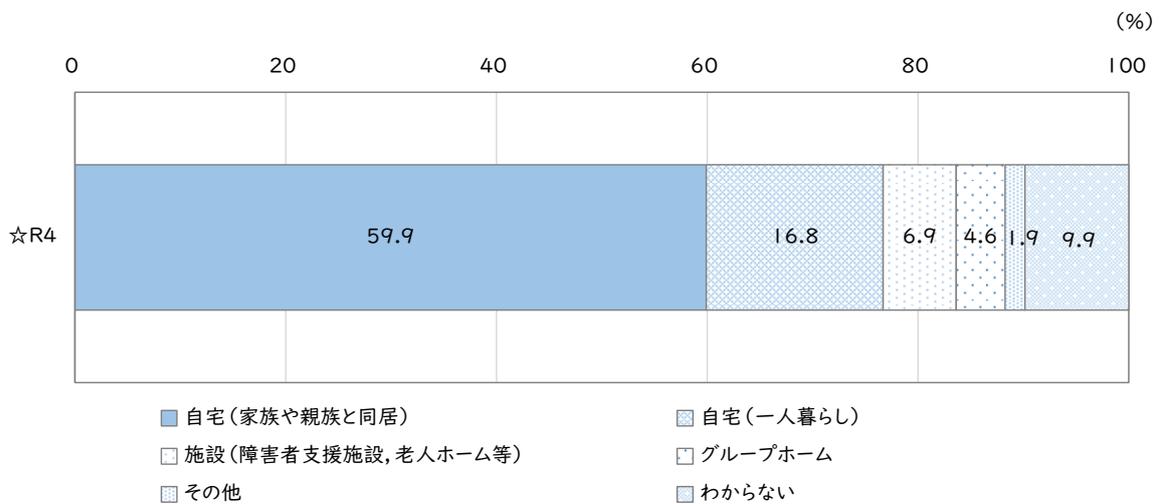
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	533	35	65	179	185	6	2	35	11	65	9	30
親	1.1	0.0	1.5	0.6	0.5	33.3	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	3.3
配偶者(夫または妻)	43.3	37.1	35.4	46.9	48.1	33.3	0.0	34.3	63.6	41.5	33.3	40.0
子ども	14.1	20.0	16.9	14.0	11.9	16.7	50.0	8.6	18.2	13.8	0.0	10.0
ヘルパー	2.8	5.7	3.1	5.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0	0.0
きょうだい	1.9	2.9	6.2	2.8	1.1	0.0	0.0	0.0	18.2	4.6	0.0	3.3
祖父母	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他親族	0.8	2.9	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
孫	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6.4	11.4	7.7	4.5	7.0	0.0	0.0	8.6	0.0	3.1	11.1	3.3
介護や支援は必要ない	29.1	20.0	29.2	23.5	29.7	16.7	0.0	40.0	0.0	30.8	55.6	40.0

問9. 将来どこで生活したいですか。17歳以下のお子さん(児童)は成人した時のことを、18歳以上の成人の方は将来の希望についてお考えください(○はひとつ)。

全体 「自宅(家族や親族と同居)」が最も多く5割後半、続いて「自宅(一人暮らし)」が1割半ばとなっています。

属性別 いずれの障害も「自宅(家族や親族と同居)」が最も多くなっていますが、知的障害では「グループホーム」が2割前半と他の障害に比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,472	65	116	333	277	234	186	300	31	158	50	82
自宅(家族や親族と同居)	59.9	56.9	64.7	61.6	69.7	49.6	52.2	54.7	61.3	67.1	44.0	57.3
自宅(一人暮らし)	16.8	18.5	13.8	15.3	13.7	11.1	16.1	22.3	16.1	13.3	32.0	23.2
施設(障害者支援施設, 老人ホーム等)	6.9	7.7	8.6	11.7	9.0	8.1	3.8	4.0	16.1	7.0	2.0	4.9
グループホーム	4.6	1.5	2.6	2.1	1.1	21.4	13.4	4.3	0.0	0.6	0.0	1.2
その他	1.9	3.1	1.7	1.5	1.1	1.3	2.7	3.3	3.2	1.9	4.0	2.4
わからない	9.9	12.3	8.6	7.8	5.4	8.5	11.8	11.3	3.2	10.1	18.0	11.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	204	1	6	18	3	101	100	13	0	7	25	14
自宅(家族や親族と同居)	59.3	0.0	50.0	61.1	66.7	65.3	62.0	69.2	0.0	85.7	20.0	71.4
自宅(一人暮らし)	15.7	0.0	0.0	16.7	0.0	10.9	10.0	7.7	0.0	0.0	40.0	21.4
施設(障害者支援施設, 老人ホーム等)	2.5	0.0	16.7	0.0	0.0	4.0	3.0	7.7	0.0	0.0	4.0	0.0
グループホーム	5.4	0.0	16.7	5.6	0.0	8.9	8.0	15.4	0.0	14.3	0.0	0.0
その他	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	15.7	100.0	16.7	16.7	33.3	8.9	14.0	0.0	0.0	0.0	36.0	7.1

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	624	19	29	94	61	123	83	242	16	70	16	33
自宅(家族や親族と同居)	53.4	63.2	62.1	56.4	65.6	37.4	39.8	52.1	43.8	64.3	56.3	51.5
自宅(一人暮らし)	19.6	21.1	10.3	13.8	26.2	11.4	22.9	25.2	25.0	12.9	31.3	21.2
施設(障害者支援施設, 老人ホーム等)	5.8	5.3	10.3	12.8	6.6	8.9	4.8	2.5	25.0	8.6	0.0	3.0
グループホーム	8.5	0.0	6.9	5.3	1.6	32.5	20.5	4.5	0.0	0.0	0.0	3.0
その他	2.7	0.0	0.0	2.1	0.0	0.8	2.4	4.1	0.0	2.9	12.5	6.1
わからない	10.1	10.5	10.3	9.6	0.0	8.9	9.6	11.6	6.3	11.4	0.0	15.2

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	622	44	78	214	209	9	2	42	15	79	9	33
自宅(家族や親族と同居)	66.4	54.5	65.4	63.6	70.8	33.3	100.0	66.7	80.0	68.4	88.9	57.6
自宅(一人暮らし)	14.1	18.2	16.7	16.4	10.5	11.1	0.0	7.1	6.7	13.9	11.1	24.2
施設(障害者支援施設, 老人ホーム等)	9.5	9.1	7.7	11.7	9.6	44.4	0.0	11.9	6.7	6.3	0.0	9.1
グループホーム	0.6	2.3	0.0	0.5	1.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.3	4.5	2.6	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	6.7	1.3	0.0	0.0
わからない	8.0	11.4	7.7	6.5	6.7	0.0	0.0	14.3	0.0	10.1	0.0	9.1

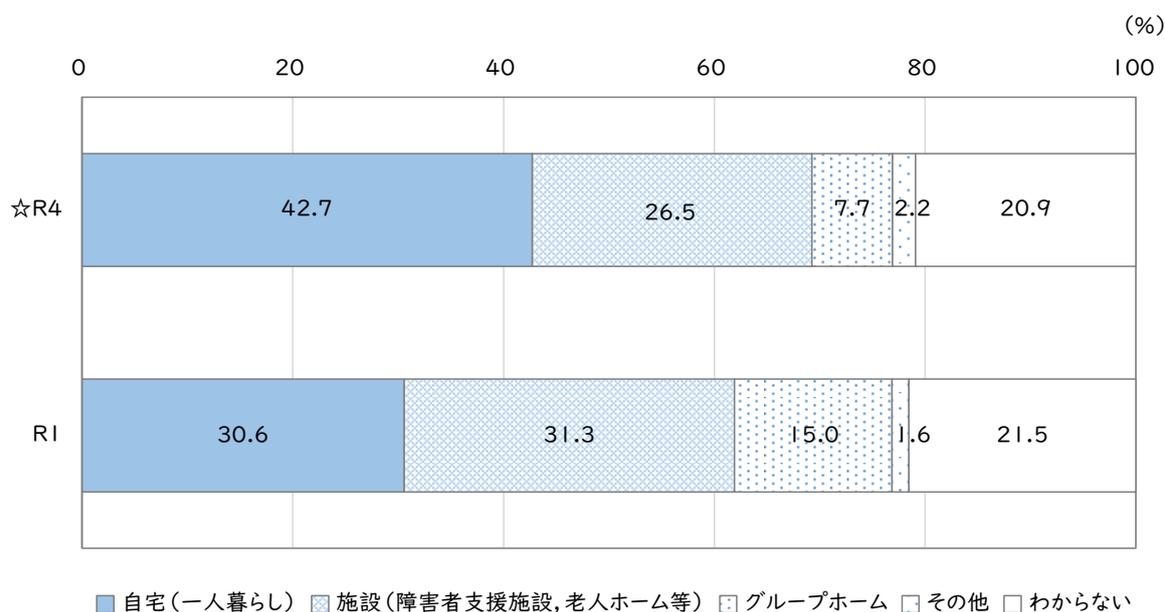
問10. 将来、親や親族が病気等で一緒に生活できなくなった時は、どこで生活したいですか
(○はひとつ)。

(問9で「1. 自宅(家族や親族と同居)」と答えの方にお伺いします。)

全体 「自宅(一人暮らし)」が最も多く4割前半、続いて「施設(障害者支援施設, 老人ホーム等)」が2割半ばとなっています。前回調査と比べ、「自宅(一人暮らし)」が12ポイント程度増加しています。

属性別 障害種別に見ると、精神障害では「自宅(一人暮らし)」が6割前半となっています。一方、視覚障害, 聴覚障害, 肢体不自由, 難病では「施設(障害者支援施設, 老人ホーム等)」が3割後半~4割後半で、他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	875	37	75	203	191	115	96	164	19	105	22	47
自宅(一人暮らし)	42.7	18.9	36.0	32.5	48.7	20.0	35.4	61.6	15.8	35.2	31.8	48.9
施設(障害者支援施設, 老人ホーム等)	26.5	48.6	37.3	38.4	27.2	22.6	16.7	13.4	47.4	38.1	9.1	27.7
グループホーム	7.7	8.1	5.3	7.4	4.2	28.7	16.7	4.3	10.5	9.5	0.0	2.1
その他	2.2	2.7	4.0	2.5	1.0	2.6	2.1	2.4	15.8	3.8	4.5	4.3
わからない	20.9	21.6	17.3	19.2	18.8	26.1	29.2	18.3	10.5	13.3	54.5	17.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	120	0	3	11	2	66	61	9	0	6	5	10
自宅(一人暮らし)	30.0	0.0	33.3	18.2	0.0	18.2	34.4	22.2	0.0	16.7	20.0	60.0
施設(障害者支援施設, 老人ホーム等)	16.7	0.0	0.0	54.5	100.0	24.2	14.8	22.2	0.0	16.7	0.0	0.0
グループホーム	18.3	0.0	33.3	18.2	0.0	28.8	16.4	11.1	0.0	50.0	0.0	10.0
その他	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
わからない	34.2	0.0	33.3	9.1	0.0	27.3	34.4	44.4	0.0	0.0	80.0	30.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	331	12	18	53	40	45	33	126	7	44	9	17
自宅(一人暮らし)	50.8	25.0	33.3	43.4	50.0	22.2	36.4	64.3	28.6	52.3	33.3	35.3
施設(障害者支援施設, 老人ホーム等)	20.2	16.7	44.4	30.2	25.0	22.2	18.2	11.1	28.6	25.0	0.0	47.1
グループホーム	7.3	25.0	11.1	7.5	0.0	28.9	18.2	4.0	28.6	6.8	0.0	0.0
その他	3.3	0.0	5.6	5.7	2.5	4.4	6.1	2.4	14.3	2.3	11.1	5.9
わからない	18.4	33.3	5.6	13.2	22.5	22.2	21.2	18.3	0.0	13.6	55.6	11.8

(単位:%)

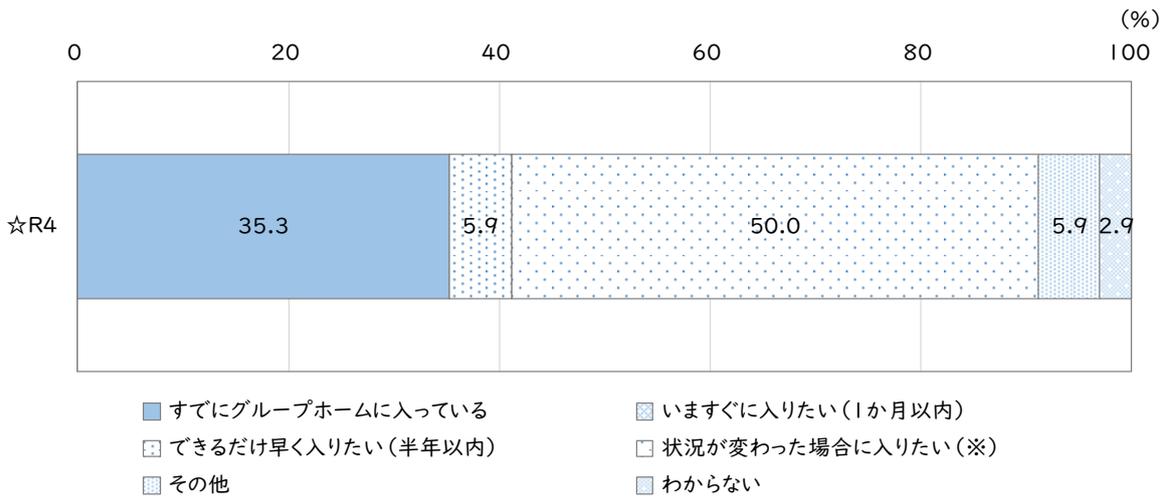
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	409	24	51	134	146	3	2	28	12	54	8	19
自宅(一人暮らし)	40.1	12.5	35.3	30.6	50.0	33.3	50.0	60.7	8.3	22.2	37.5	52.6
施設(障害者支援施設, 老人ホーム等)	34.0	66.7	37.3	38.8	26.0	0.0	50.0	21.4	58.3	51.9	25.0	26.3
グループホーム	5.1	0.0	2.0	6.7	5.5	33.3	0.0	3.6	0.0	7.4	0.0	0.0
その他	1.7	4.2	3.9	1.5	0.7	0.0	0.0	3.6	16.7	3.7	0.0	5.3
わからない	19.1	16.7	21.6	22.4	17.8	33.3	0.0	10.7	16.7	14.8	37.5	15.8

問11. いつ施設を利用したいですか(○はひとつ)。

(問9で「4. グループホーム」と答えた方にお伺いします。)

全体 回答母数が少ないですが、「状況が変わった場合に入りたい」が最も多く5割となっています。また、「すでにグループホームに入っている」が3割半ばとなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	68	1	3	7	3	50	25	13	0	1	0	1
すでにグループホームに入っている	35.3	0.0	0.0	28.6	66.7	32.0	28.0	53.8	0.0	0.0	0.0	100.0
いまずぐに入りたい(1か月以内)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
できるだけ早く入りたい(半年以内)	5.9	0.0	33.3	14.3	0.0	6.0	4.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
状況が変わった場合に入りたい(※)	50.0	100.0	33.3	42.9	33.3	52.0	52.0	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.9	0.0	33.3	14.3	0.0	6.0	12.0	7.7	0.0	100.0	0.0	0.0
わからない	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(※) 時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	11	0	1	1	0	9	8	2	0	1	0	0
すでにグループホームに入っている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
いまずぐに入りたい(1か月以内)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
できるだけ早く入りたい(半年以内)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
状況が変わった場合に入りたい(※)	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	36.4	0.0	100.0	100.0	0.0	33.3	37.5	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0
わからない	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	53	0	2	5	1	40	17	11	0	0	0	1
すでにグループホームに入っている	41.5	0.0	0.0	40.0	100.0	37.5	41.2	63.6	0.0	0.0	0.0	100.0
いまずぐに入りたい(1か月以内)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
できるだけ早く入りたい(半年以内)	7.5	0.0	50.0	20.0	0.0	7.5	5.9	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
状況が変わった場合に入りたい(※)	50.9	0.0	50.0	40.0	0.0	55.0	52.9	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	4	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0
すでにグループホームに入っている	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
いまずぐに入りたい(1か月以内)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
できるだけ早く入りたい(半年以内)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
状況が変わった場合に入りたい(※)	50.0	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(※) 時期はわからないが、今と状況が変わった場合に入りたい

障害の状況

問12. 障害の種類は何ですか(○はいくつでも)。

全体 「肢体不自由」が345人と最も多く2割前半, 続いて「精神障害」が304人, 「内部機能障害(心臓, 呼吸器, じん臓, 膀胱, 直腸等)」が289人と1割後半, 「知的障害」が244人と1割半ばとなっています。

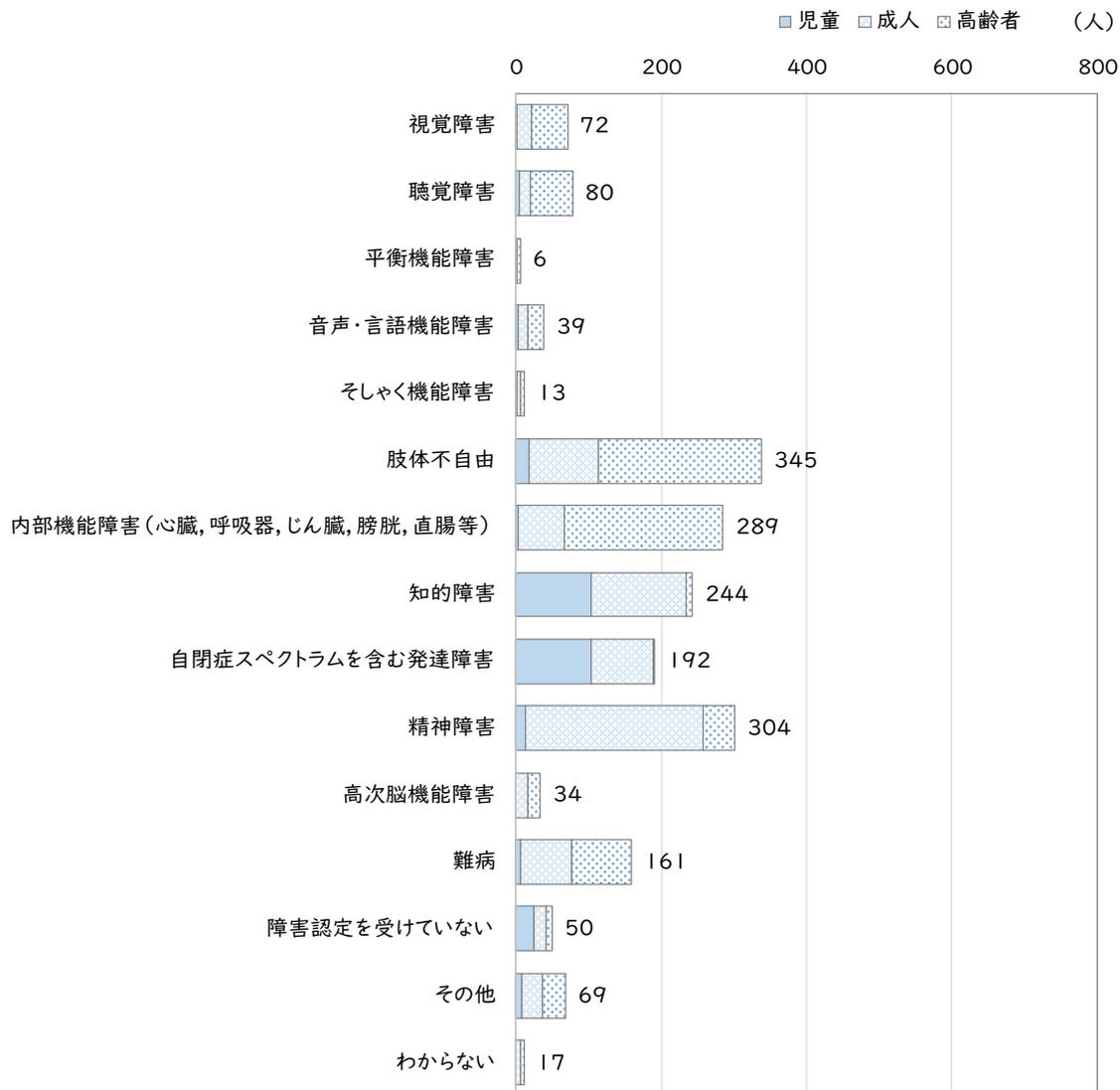
属性別 児童では「知的障害」と「自閉症スペクトラムを含む発達障害」が4割後半となっています。成人では「精神障害」が最も多く3割後半, 続いて「知的障害」が2割前半となっています。高齢者では「肢体不自由」と「内部機能障害(心臓, 呼吸器, じん臓, 膀胱, 直腸等)」が3割台となっており, 年代ごとの障害種別に違いが見られます。

【全体】

(単位:人)

	★ 全障害	児童	成人	高齢者
有効回答数	1,526	208	644	652
視覚障害	72	1	21	49
聴覚障害	80	4	16	58
平衡機能障害	6	0	2	4
音声・言語機能障害	39	3	13	23
そしゃく機能障害	13	1	5	6
肢体不自由	345	18	96	224
内部機能障害(心臓, 呼吸器, じん臓, 膀胱, 直腸等)	289	3	64	218
知的障害	244	103	131	9
自閉症スペクトラムを含む発達障害	192	103	86	2
精神障害	304	13	245	43
高次脳機能障害	34	0	16	18
難病	161	7	70	82
障害認定を受けていない	50	25	16	9
その他	69	9	28	31
わからない	17	5	6	5

【年代別の障害種別】



問13. 障害者手帳や以下の受給者証をお持ちですか（該当する番号と等級・区分を選択）
（○はいくつでも）。

(1) 手帳の所持

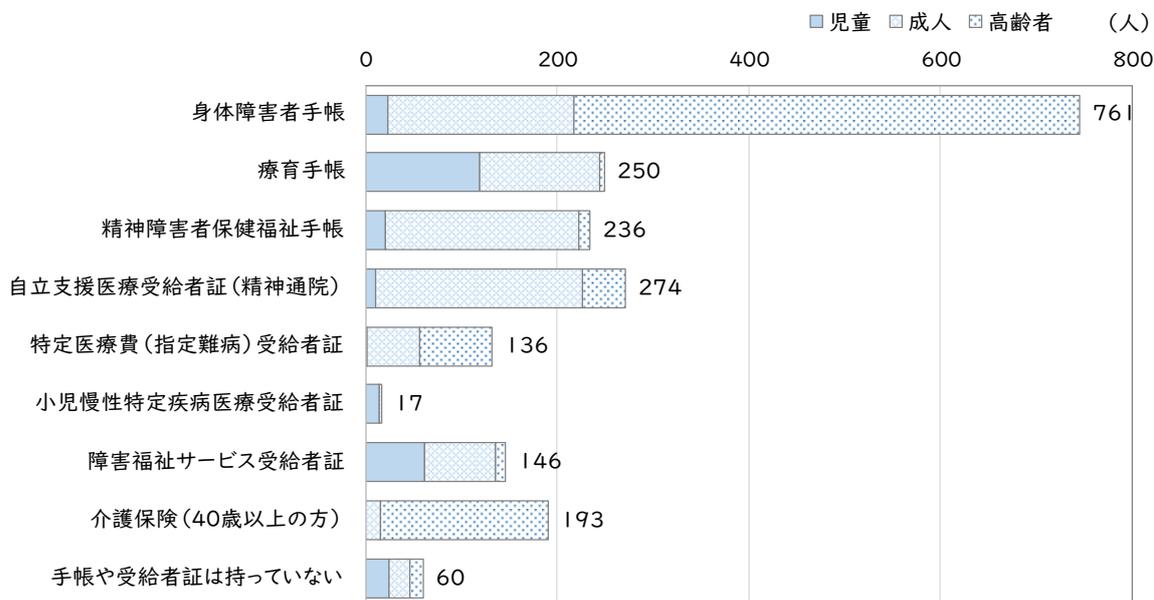
全体 「身体障害者手帳」が761人と最も多く5割前半，続いて「自立支援医療受給者証（精神通院）」が274人で1割後半，「療育手帳」が250人，「精神障害者保健福祉手帳」が236人で1割半ばとなっています。

属性別 児童では「療育手帳」が119人と最も多く5割後半となっています。成人では「自立支援医療受給者証（精神通院）」が217人と最も多く3割半ば，続いて「精神障害者保健福祉手帳」が201人で3割前半となっています。高齢者では「身体障害者手帳」が527人と最も多く8割前半となっており，年代ごとの所持状況に違いがあります。

【全体・年代別】

(単位:人)

	★ 全障害	児童	成人	高齢者
有効回答数	1,508	202	636	648
身体障害者手帳	761	23	195	527
療育手帳	250	119	125	5
精神障害者保健福祉手帳	236	21	201	12
自立支援医療受給者証(精神通院)	274	10	217	44
特定医療費(指定難病)受給者証	136	1	55	76
小児慢性特定疾病医療受給者証	17	14	3	0
障害福祉サービス受給者証	146	62	74	10
介護保険(40歳以上の方)	193	0	15	175
手帳や受給者証は持っていない	60	25	21	14



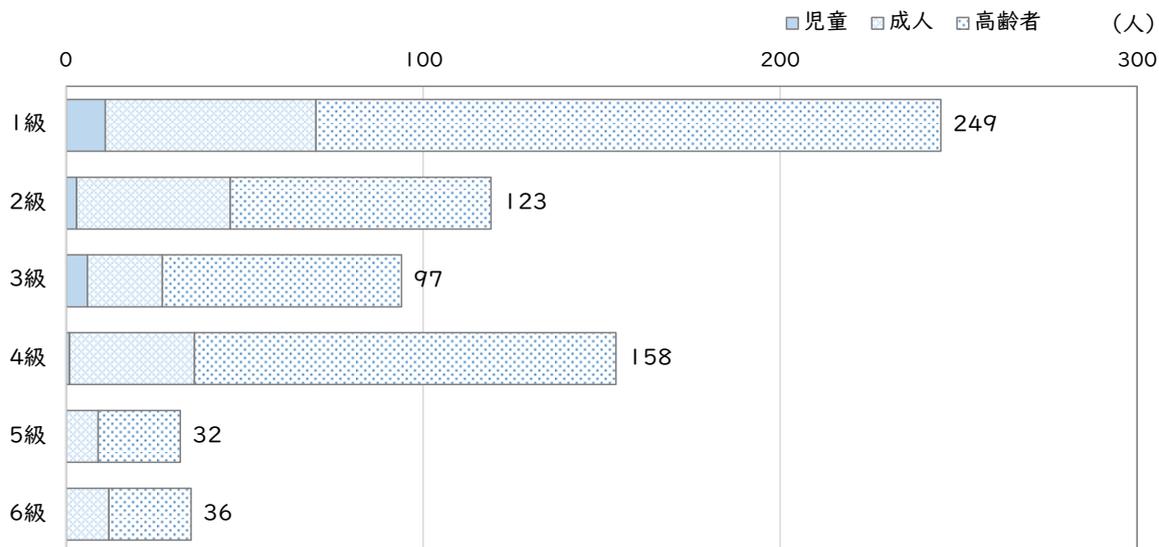
(2) 身体障害者手帳

全体 「1級」が249人と最も多く3割半ば、続いて「4級」が158人と2割前半となっています。
属性別 年代別では、児童や成人に比べ、高齢者が多くなっています。

【全体・年代別】

(単位:人)

	★ 全障害	児童	成人	高齢者
有効回答数	695	21	179	479
1級	249	11	59	175
2級	123	3	43	73
3級	97	6	21	67
4級	158	1	35	118
5級	32	0	9	23
6級	36	0	12	23



(3)療育手帳

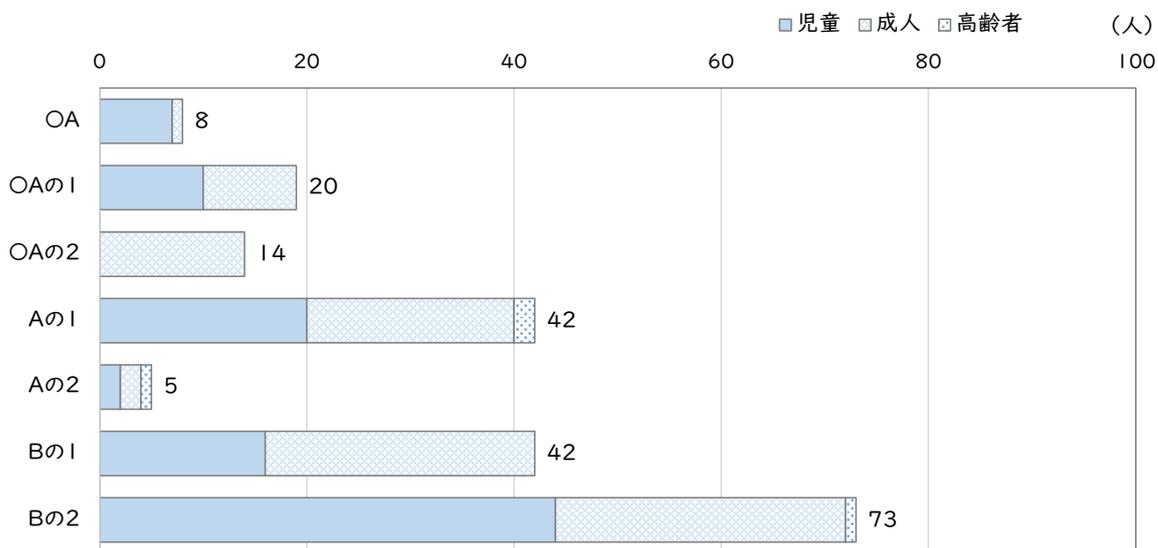
全 体 「Bの2」が73人と最も多く3割半ば, 続いて「Aの1」と「Bの1」が42人で2割前半となっています。

属性別 年代別では, 高齢者に比べ, 児童や成人が多くなっています。

【全体・年代別】

(単位:人)

	★ 全障害	児童	成人	高齢者
有効回答数	204	99	100	4
OA	8	7	1	0
OAの1	20	10	9	0
OAの2	14	0	14	0
Aの1	42	20	20	2
Aの2	5	2	2	1
Bの1	42	16	26	0
Bの2	73	44	28	1



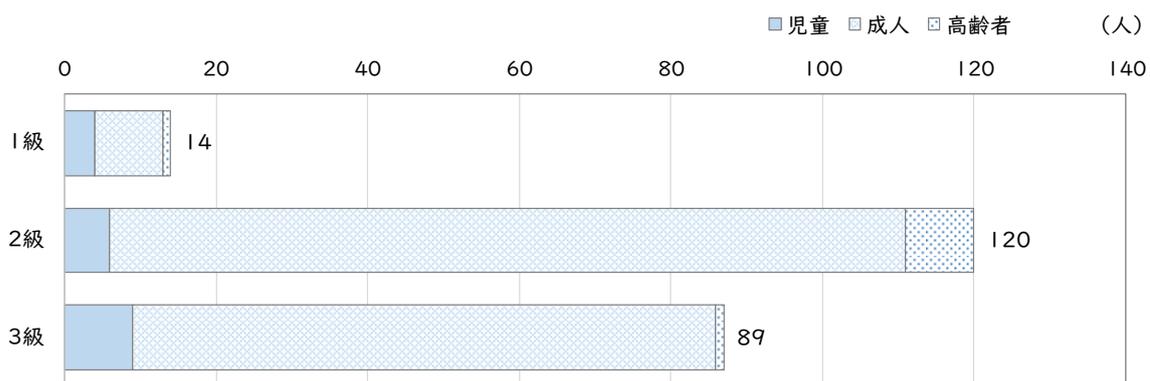
(4) 精神障害者保健福祉手帳

全体 「2級」が120人と最も多く5割前半, 続いて「3級」が89人で3割後半となっています。
 属性別 年代別では, 児童や高齢者に比べ, 成人が多くなっています。

【全体・年代別】

(単位:人)

	★ 全障害	児童	成人	高齢者
有効回答数	223	19	191	11
1級	14	4	9	1
2級	120	6	105	9
3級	89	9	77	1



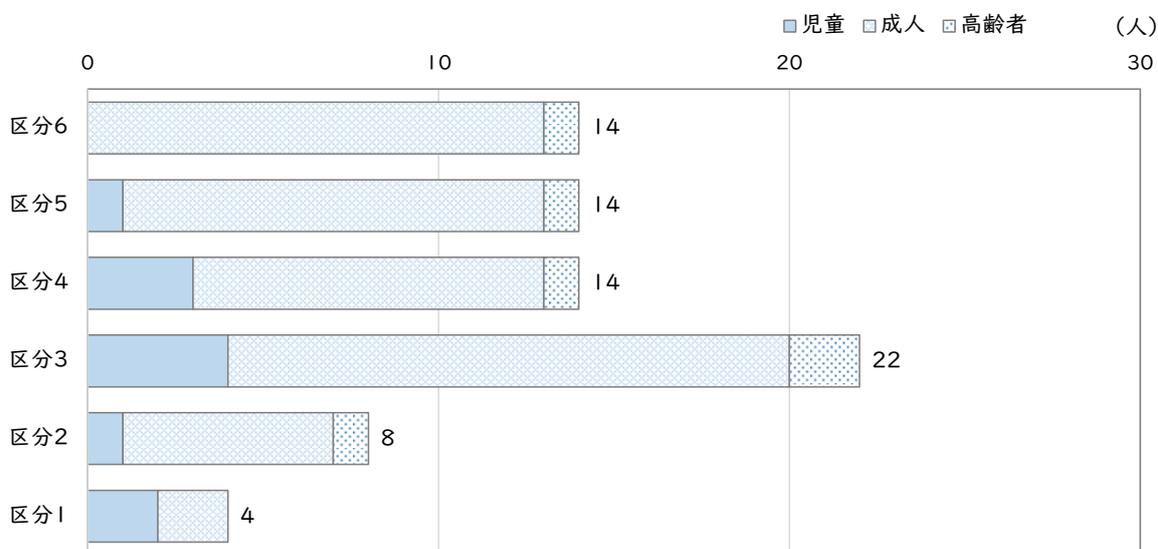
(5) 障害福祉サービス受給者証

全体 「区分3」が22人と最も多く2割後半となっています。

【全体・年代別】

(単位:人)

	★ 全障害	児童	成人	高齢者
有効回答数	76	11	59	6
区分6	14	0	13	1
区分5	14	1	12	1
区分4	14	3	10	1
区分3	22	4	16	2
区分2	8	1	6	1
区分1	4	2	2	0



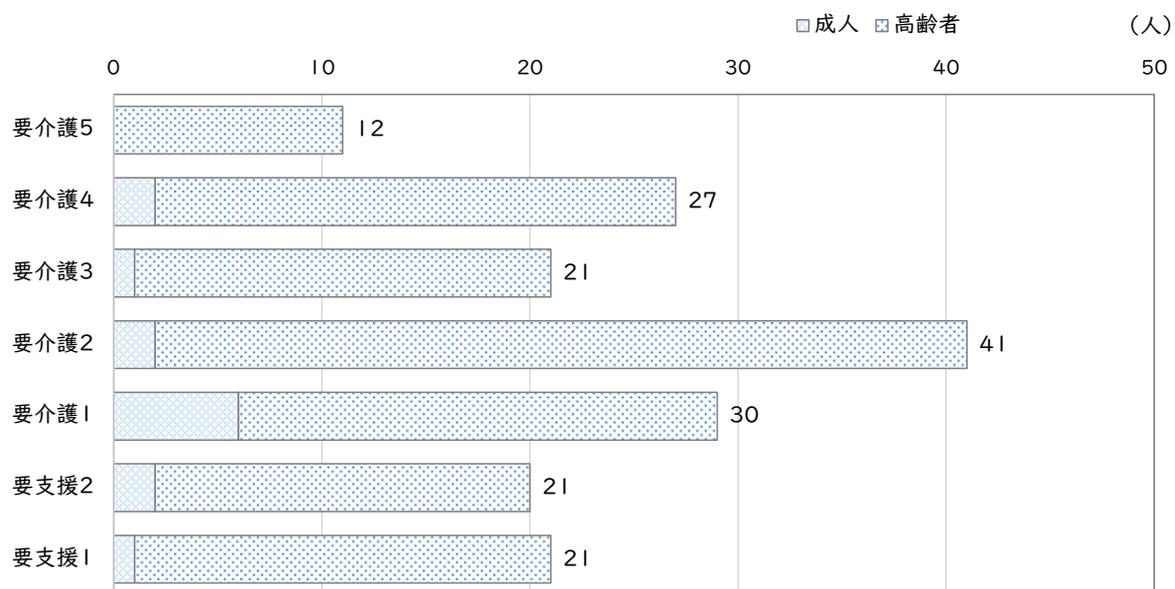
(6) 介護保険(40歳以上の方)

全体 「要介護2」が41人と最も多く2割前半となっています。

【全体・年代別】

(単位:人)

	★ 全障害	成人	高齢者
有効回答数	173	14	156
要介護5	12	0	11
要介護4	27	2	25
要介護3	21	1	20
要介護2	41	2	39
要介護1	30	6	23
要支援2	21	2	18
要支援1	21	1	20



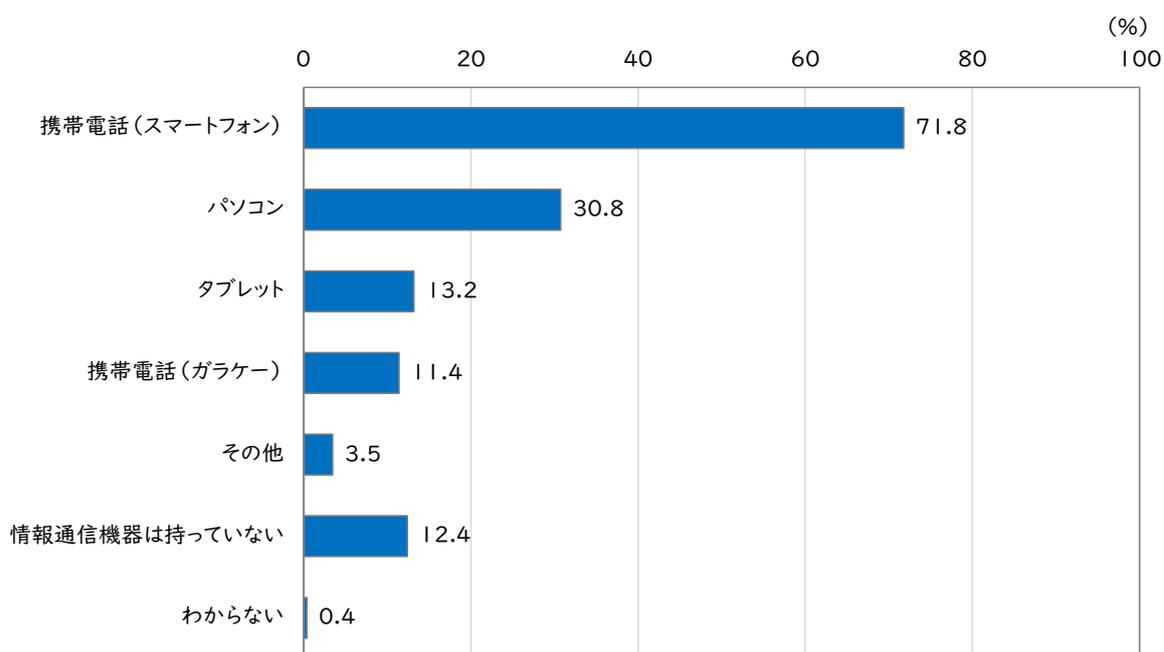
情報アクセシビリティ

問14. 今お持ちの情報通信機器は何ですか(○はいくつでも)。

全体 「携帯電話(スマートフォン)」が最も多く7割前半, 続いて「パソコン」が3割前半となっています。一方, 「情報通信機器は持っていない」が1割前半となっています。

属性別 障害種別に見ると, 視覚障害, 聴覚障害, 知的障害, 発達障害, 高次脳障害では「持っていない」が2割台と多くなっています。年代別に見ると, 成人では「携帯電話(スマートフォン)」が8割前半と多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,499	69	116	335	282	240	192	302	30	159	49	86
携帯電話(スマートフォン)	71.8	47.8	59.5	64.2	75.5	57.1	64.6	87.7	43.3	76.7	71.4	67.4
パソコン	30.8	29.0	20.7	26.3	34.8	14.6	29.2	38.4	6.7	35.8	34.7	27.9
タブレット	13.2	7.2	8.6	9.9	9.6	12.9	20.3	18.9	13.3	7.5	18.4	11.6
携帯電話(ガラケー)	11.4	20.3	8.6	17.0	14.2	7.1	4.7	4.0	20.0	13.2	2.0	19.8
その他	3.5	4.3	4.3	4.2	2.5	2.1	3.1	3.6	6.7	3.1	2.0	4.7
情報通信機器は持っていない	12.4	23.2	24.1	15.2	7.4	29.2	22.9	4.6	26.7	9.4	26.5	9.3
わからない	0.4	1.4	0.9	0.3	0.4	0.4	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	208	1	6	18	3	103	103	13	0	7	25	14
携帯電話(スマートフォン)	59.1	100.0	33.3	61.1	66.7	61.2	55.3	69.2	0.0	57.1	48.0	50.0
パソコン	20.2	0.0	16.7	16.7	0.0	11.7	21.4	30.8	0.0	14.3	20.0	42.9
タブレット	20.2	100.0	0.0	16.7	0.0	15.5	20.4	23.1	0.0	28.6	12.0	21.4
携帯電話(ガラケー)	2.4	0.0	0.0	5.6	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1
その他	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
情報通信機器は持っていない	28.8	0.0	66.7	33.3	33.3	28.2	31.1	15.4	0.0	42.9	52.0	14.3
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	638	20	31	96	64	129	86	244	16	70	15	34
携帯電話(スマートフォン)	82.8	60.0	67.7	82.3	89.1	53.5	76.7	90.6	56.3	88.6	100.0	82.4
パソコン	40.0	45.0	32.3	38.5	45.3	17.8	38.4	43.0	12.5	51.4	53.3	26.5
タブレット	19.0	15.0	22.6	20.8	18.8	11.6	20.9	22.1	25.0	7.1	26.7	14.7
携帯電話(ガラケー)	6.0	10.0	3.2	5.2	4.7	10.1	4.7	3.7	6.3	7.1	0.0	11.8
その他	2.5	5.0	0.0	1.0	3.1	2.3	1.2	2.5	6.3	5.7	0.0	2.9
情報通信機器は持っていない	8.3	20.0	19.4	12.5	4.7	30.2	14.0	3.3	25.0	1.4	0.0	5.9
わからない	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.4	0.0	1.4	0.0	0.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	632	47	77	214	211	7	2	42	14	80	9	36
携帯電話(スマートフォン)	64.7	40.4	58.4	56.1	71.6	57.1	0.0	81.0	28.6	67.5	88.9	58.3
パソコン	24.5	21.3	15.6	20.6	31.8	0.0	0.0	16.7	0.0	23.8	44.4	25.0
タブレット	5.1	0.0	3.9	4.2	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	22.2	5.6
携帯電話(ガラケー)	20.1	25.5	11.7	23.4	17.5	14.3	100.0	7.1	35.7	18.8	11.1	33.3
その他	4.4	4.3	6.5	5.6	2.4	14.3	0.0	9.5	7.1	1.3	11.1	2.8
情報通信機器は持っていない	11.1	25.5	22.1	15.0	7.6	28.6	0.0	7.1	28.6	13.8	0.0	11.1
わからない	0.5	2.1	1.3	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

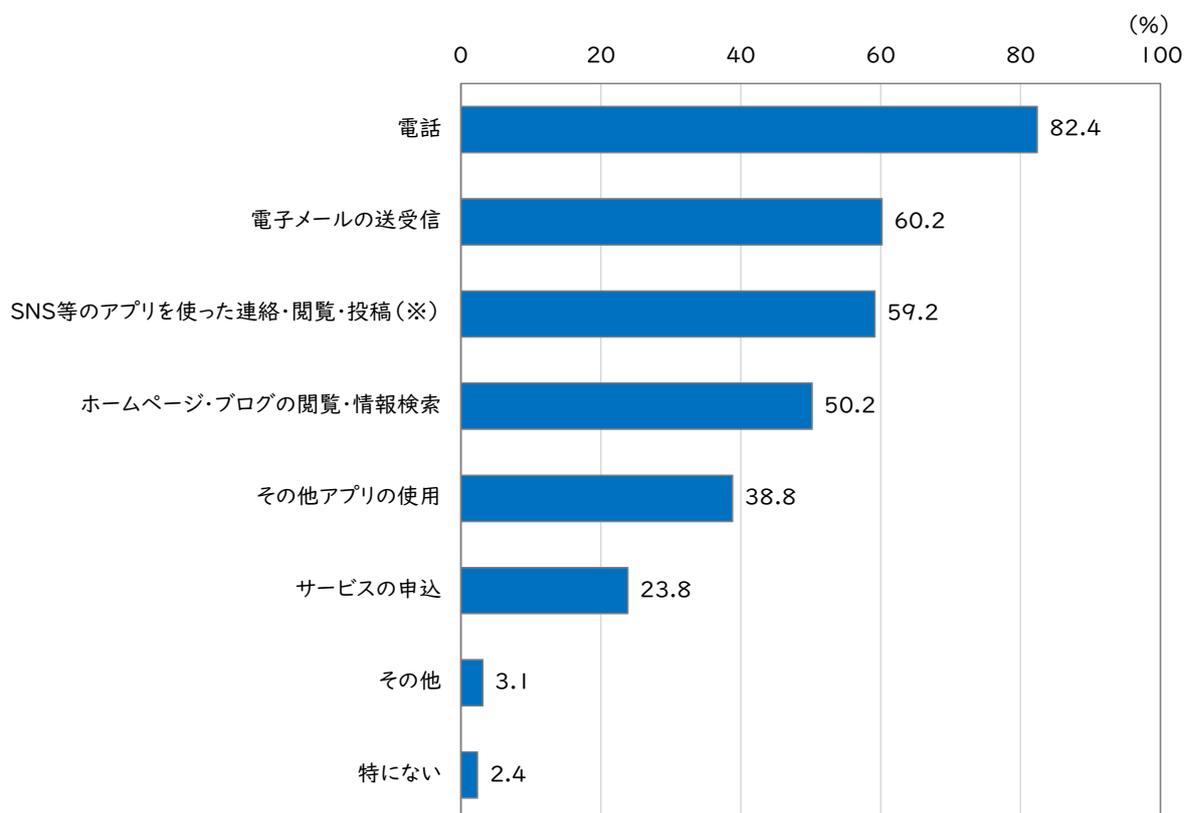
問15. 普段の生活で情報通信機器を使って行っていることは何ですか(〇はいくつでも)。

(問14で「6. 情報通信機器は持っていない」「7. わからない」と答えた方以外の方にお伺いします。)

全体 「電話」が最も多く8割前半, 続いて「電子メールの送受信」と「SNS等のアプリを使った連絡・閲覧・投稿」が6割程度で多くなっています。

属性別 回答母数が少ない年代があるため単純な比較はできませんが, 年代別に見ると, 成人は「ホームページ・ブログの閲覧・情報検索」などさまざまな用途で使用していることがうかがえます。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
全体	801	24	52	186	154	103	91	192	13	96	17	45
電話	82.4	91.7	59.6	86.6	93.5	64.1	61.5	85.4	76.9	82.3	100.0	75.6
電子メールの送受信	60.2	58.3	59.6	56.5	63.6	35.9	42.9	71.9	30.8	68.8	94.1	46.7
SNS等のアプリを使った連絡・閲覧・投稿(※)	59.2	45.8	50.0	53.8	47.4	54.4	64.8	78.6	30.8	59.4	94.1	51.1
ホームページ・ブログの閲覧・情報検索	50.2	37.5	38.5	40.3	44.8	46.6	60.4	69.3	30.8	51.0	76.5	48.9
その他アプリの使用	38.8	25.0	25.0	28.0	22.7	42.7	57.1	57.3	38.5	37.5	76.5	28.9
サービスの申込	23.8	12.5	9.6	15.6	20.1	9.7	28.6	41.1	15.4	18.8	70.6	17.8
その他	3.1	8.3	1.9	3.2	3.2	2.9	6.6	1.0	7.7	3.1	0.0	11.1
特になし	2.4	0.0	7.7	2.2	1.3	3.9	2.2	1.6	15.4	1.0	0.0	4.4

(※) SNS(ツイッターやフェイスブック等)やLINE等のアプリを使った連絡・閲覧・投稿

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	82	0	1	6	0	47	40	6	0	3	5	7
電話	61.0	0.0	0.0	83.3	0.0	59.6	55.0	50.0	0.0	66.7	100.0	57.1
電子メールの送受信	35.4	0.0	0.0	50.0	0.0	27.7	30.0	16.7	0.0	33.3	80.0	42.9
SNS等のアプリを使った連絡・閲覧・投稿(※)	63.4	0.0	0.0	66.7	0.0	66.0	57.5	66.7	0.0	66.7	100.0	28.6
ホームページ・ブログの閲覧・情報検索	54.9	0.0	0.0	66.7	0.0	48.9	52.5	66.7	0.0	66.7	80.0	71.4
その他アプリの使用	56.1	0.0	100.0	83.3	0.0	51.1	57.5	16.7	0.0	66.7	80.0	14.3
サービスの申込	17.1	0.0	0.0	33.3	0.0	6.4	12.5	0.0	0.0	33.3	80.0	42.9
その他	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
特になし	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	354	6	14	55	32	52	50	158	6	41	7	19
電話	79.7	83.3	57.1	80.0	84.4	65.4	66.0	84.8	83.3	75.6	100.0	73.7
電子メールの送受信	71.8	83.3	64.3	76.4	75.0	42.3	54.0	77.2	66.7	85.4	100.0	52.6
SNS等のアプリを使った連絡・閲覧・投稿(※)	76.3	66.7	78.6	80.0	75.0	46.2	72.0	81.6	66.7	87.8	100.0	84.2
ホームページ・ブログの閲覧・情報検索	70.3	50.0	78.6	74.5	75.0	46.2	68.0	75.9	66.7	80.5	100.0	63.2
その他アプリの使用	56.2	50.0	35.7	50.9	40.6	38.5	58.0	64.6	83.3	53.7	100.0	52.6
サービスの申込	38.4	16.7	21.4	30.9	34.4	13.5	42.0	47.5	33.3	34.1	85.7	21.1
その他	2.0	0.0	0.0	3.6	0.0	3.8	4.0	0.6	0.0	0.0	0.0	10.5
特になし	2.3	0.0	0.0	3.6	0.0	5.8	2.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	355	17	36	122	120	4	1	27	7	50	5	19
電話	89.9	94.1	63.9	89.3	95.8	100.0	100.0	96.3	71.4	88.0	100.0	84.2
電子メールの送受信	53.8	47.1	58.3	46.7	60.0	50.0	0.0	55.6	0.0	58.0	100.0	42.1
SNS等のアプリを使った連絡・閲覧・投稿(※)	41.7	35.3	41.7	41.8	40.0	25.0	0.0	66.7	0.0	36.0	80.0	26.3
ホームページ・ブログの閲覧・情報検索	28.5	29.4	22.2	22.1	36.7	25.0	0.0	33.3	0.0	26.0	40.0	26.3
その他アプリの使用	18.0	11.8	19.4	15.6	18.3	0.0	0.0	25.9	0.0	22.0	40.0	10.5
サービスの申込	10.7	5.9	5.6	7.4	15.8	0.0	0.0	14.8	0.0	6.0	40.0	5.3
その他	3.7	11.8	2.8	3.3	4.2	0.0	0.0	3.7	14.3	6.0	0.0	10.5
特になし	2.5	0.0	11.1	1.6	1.7	0.0	0.0	0.0	28.6	2.0	0.0	5.3

(※) SNS(ツイッターやフェイスブック等)やLINE等のアプリを使った連絡・閲覧・投稿

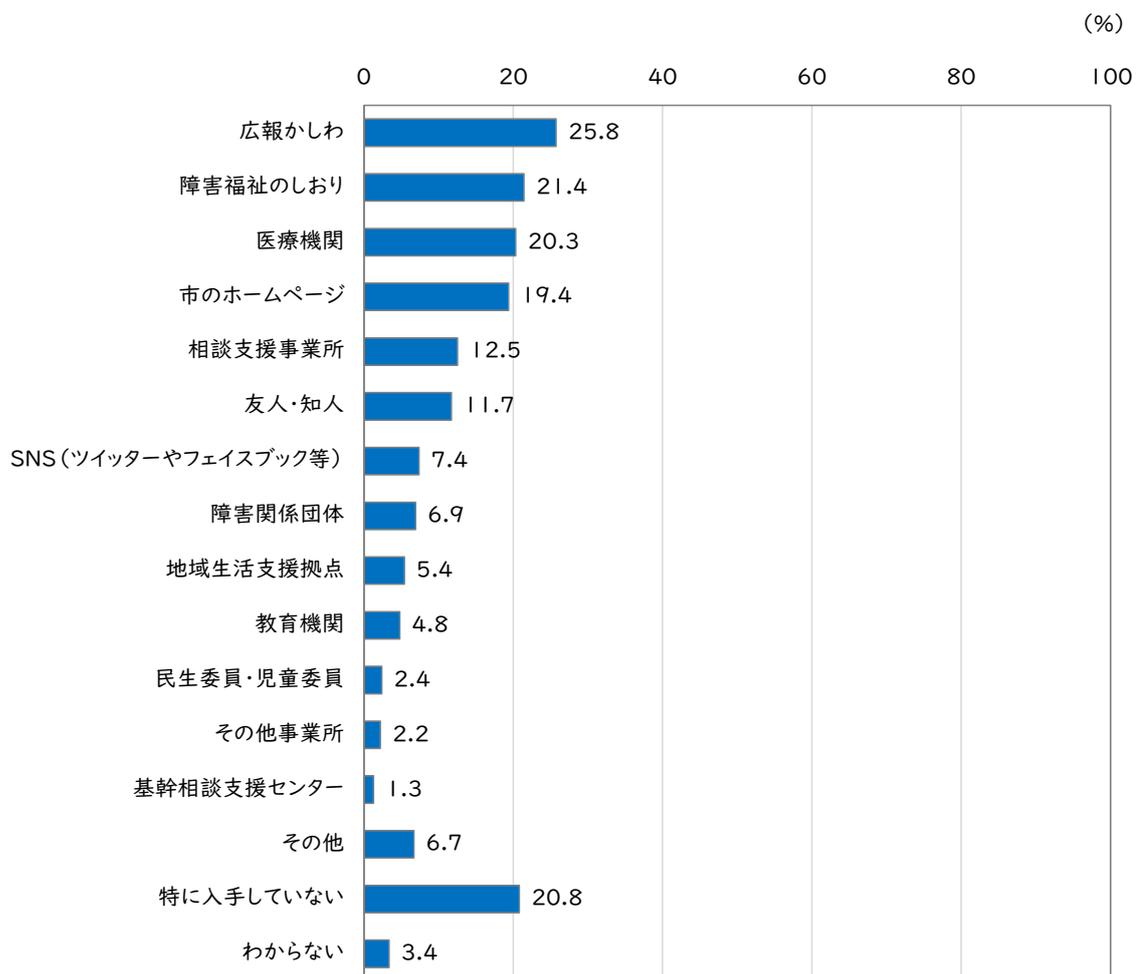
問16. 主にどこから障害福祉に関する情報を入手していますか。

ご家族から情報を入手している場合には、ご家族がどこから情報を入手しているかお答えください(○はいくつでも)。

全体 「広報かしわ」が最も多く2割半ば、続いて「障害福祉のしおり」、「医療機関」、「市のホームページ」が2割程度となっています。一方、「特に入手していない」が2割前半となっています。

属性別 障害種別に見ると、視覚障害、聴覚障害、内部障害では「広報かしわ」が3割後半、精神障害と難病では「医療機関」が3割台で、他の障害と比べ多くなっています。このほか、知的障害や発達障害では「相談支援事業所」が4割程度で多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,460	68	118	328	268	240	189	294	32	151	49	85
広報かしわ	25.8	38.2	39.8	29.3	37.7	20.8	14.8	15.6	12.5	26.5	14.3	22.4
障害福祉のしおり	21.4	29.4	26.3	20.7	27.2	29.6	23.8	22.8	15.6	10.6	2.0	17.6
医療機関	20.3	11.8	15.3	16.5	22.8	13.3	23.8	34.0	15.6	33.8	4.1	18.8
市のホームページ	19.4	16.2	11.9	17.7	18.7	15.8	32.3	24.5	9.4	11.3	28.6	16.5
相談支援事業所	12.5	8.8	5.1	9.8	3.4	40.0	38.6	11.9	12.5	6.0	12.2	14.1
友人・知人	11.7	7.4	11.0	8.8	6.7	29.6	23.8	10.9	3.1	10.6	10.2	14.1
SNS(ツイッターやフェイスブック等)	7.4	5.9	2.5	5.2	1.9	6.3	16.9	13.9	3.1	6.0	14.3	7.1
障害関係団体	6.9	5.9	5.1	6.1	3.7	20.0	15.9	7.8	9.4	6.6	6.1	2.4
地域生活支援拠点	5.4	5.9	7.6	7.6	5.2	5.4	2.6	3.7	18.8	10.6	4.1	3.5
教育機関	4.8	0.0	0.8	1.8	0.7	19.6	17.5	2.7	0.0	2.6	8.2	5.9
民生委員・児童委員	2.4	1.5	5.1	3.4	4.1	1.3	1.1	1.4	3.1	2.6	0.0	4.7
その他事業所	2.2	2.9	0.8	3.0	1.1	3.3	3.7	1.4	3.1	2.6	6.1	0.0
基幹相談支援センター	1.3	1.5	3.4	0.9	1.5	2.5	2.1	0.7	3.1	2.0	0.0	1.2
その他	6.7	10.3	11.0	9.1	4.5	5.0	6.9	5.8	25.0	5.3	8.2	14.1
特に入手していない	20.8	17.6	19.5	19.2	22.4	11.3	11.1	22.4	9.4	29.1	32.7	23.5
わからない	3.4	1.5	3.4	3.0	2.6	4.2	3.2	4.1	0.0	4.0	4.1	2.4

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	206	1	6	18	3	102	101	13	0	7	25	14
広報かしわ	13.1	0.0	16.7	5.6	33.3	15.7	14.9	30.8	0.0	28.6	12.0	21.4
障害福祉のしおり	19.9	100.0	33.3	44.4	100.0	26.5	18.8	38.5	0.0	42.9	0.0	0.0
医療機関	20.9	0.0	16.7	55.6	33.3	22.5	23.8	46.2	0.0	42.9	8.0	21.4
市のホームページ	29.1	0.0	16.7	33.3	33.3	19.6	30.7	15.4	0.0	14.3	40.0	28.6
相談支援事業所	38.8	0.0	16.7	44.4	33.3	48.0	45.5	23.1	0.0	57.1	24.0	50.0
友人・知人	26.7	0.0	33.3	44.4	33.3	36.3	29.7	30.8	0.0	57.1	16.0	28.6
SNS(ツイッターやフェイスブック等)	13.6	100.0	0.0	11.1	0.0	8.8	14.9	0.0	0.0	0.0	24.0	14.3
障害関係団体	10.2	0.0	16.7	11.1	0.0	14.7	14.9	15.4	0.0	14.3	8.0	7.1
地域生活支援拠点	2.9	0.0	16.7	5.6	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	14.3	4.0	0.0
教育機関	30.6	0.0	0.0	22.2	33.3	42.2	31.7	46.2	0.0	42.9	16.0	35.7
民生委員・児童委員	0.5	0.0	16.7	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他事業所	4.9	0.0	0.0	5.6	0.0	2.0	5.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0
基幹相談支援センター	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	6.9	0.0	0.0	0.0	4.0	14.3
特に入手していない	9.7	0.0	33.3	11.1	0.0	10.8	7.9	15.4	0.0	0.0	12.0	0.0
わからない	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	4.0	7.1

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	623	20	31	95	59	130	85	238	15	66	15	33
広報かしわ	18.3	15.0	29.0	17.9	27.1	25.4	14.1	13.0	13.3	22.7	13.3	18.2
障害福祉のしおり	24.4	35.0	35.5	22.1	39.0	31.5	29.4	23.5	26.7	13.6	6.7	21.2
医療機関	22.0	15.0	9.7	18.9	23.7	6.9	23.5	33.2	20.0	34.8	0.0	12.1
市のホームページ	24.7	15.0	19.4	28.4	37.3	13.1	34.1	27.3	13.3	19.7	20.0	24.2
相談支援事業所	13.2	20.0	9.7	13.7	5.1	33.8	31.8	12.6	13.3	3.0	0.0	15.2
友人・知人	10.8	5.0	9.7	4.2	6.8	23.8	17.6	11.3	0.0	4.5	0.0	12.1
SNS(ツイッターやフェイスブック等)	11.4	5.0	9.7	10.5	5.1	4.6	20.0	17.2	6.7	10.6	6.7	12.1
障害関係団体	9.3	10.0	9.7	9.5	6.8	23.8	17.6	8.0	13.3	10.6	6.7	3.0
地域生活支援拠点	3.9	5.0	6.5	5.3	3.4	7.7	3.5	3.8	13.3	4.5	0.0	3.0
教育機関	1.0	0.0	3.2	1.1	1.7	3.1	1.2	0.8	0.0	1.5	0.0	0.0
民生委員・児童委員	1.3	0.0	3.2	1.1	3.4	1.5	1.2	1.7	6.7	1.5	0.0	3.0
その他事業所	1.6	0.0	0.0	3.2	1.7	3.8	2.4	1.7	0.0	3.0	0.0	0.0
基幹相談支援センター	1.3	0.0	3.2	1.1	1.7	2.3	2.4	0.8	0.0	1.5	0.0	3.0
その他	7.4	10.0	19.4	9.5	1.7	5.4	7.1	5.9	33.3	6.1	20.0	24.2
特に入手していない	23.0	15.0	22.6	20.0	20.3	12.3	15.3	22.7	6.7	31.8	53.3	24.2
わからない	4.5	0.0	6.5	3.2	3.4	6.9	4.7	3.8	0.0	7.6	6.7	3.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	613	46	79	209	203	7	2	41	17	76	9	36
広報かしわ	37.7	50.0	46.8	36.4	40.9	14.3	50.0	26.8	11.8	30.3	22.2	25.0
障害福祉のしおり	18.6	23.9	20.3	17.7	22.7	28.6	50.0	14.6	5.9	5.3	0.0	22.2
医療機関	18.6	8.7	17.7	12.0	22.7	0.0	50.0	36.6	11.8	32.9	0.0	22.2
市のホームページ	10.4	15.2	8.9	11.0	12.8	14.3	0.0	12.2	5.9	3.9	11.1	5.6
相談支援事業所	3.1	4.3	2.5	4.8	2.5	42.9	0.0	2.4	11.8	3.9	0.0	0.0
友人・知人	7.7	6.5	10.1	7.7	6.4	42.9	0.0	2.4	5.9	11.8	11.1	11.1
SNS(ツイッターやフェイスブック等)	1.3	2.2	0.0	2.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0
障害関係団体	3.4	4.3	2.5	4.3	3.0	28.6	0.0	2.4	5.9	2.6	0.0	0.0
地域生活支援拠点	8.0	6.5	7.6	9.1	5.9	14.3	0.0	4.9	23.5	15.8	11.1	5.6
教育機関	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民生委員・児童委員	4.2	2.2	5.1	4.8	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	8.3
その他事業所	1.8	2.2	1.3	2.9	1.0	14.3	0.0	0.0	5.9	2.6	0.0	0.0
基幹相談支援センター	1.1	2.2	3.8	1.0	1.5	0.0	0.0	0.0	5.9	2.6	0.0	0.0
その他	6.9	10.9	8.9	10.0	5.4	14.3	0.0	7.3	17.6	5.3	0.0	5.6
特に入手していない	22.3	19.6	17.7	19.6	22.7	0.0	0.0	24.4	11.8	27.6	55.6	33.3
わからない	2.6	2.2	2.5	3.3	2.5	0.0	0.0	7.3	0.0	1.3	0.0	0.0

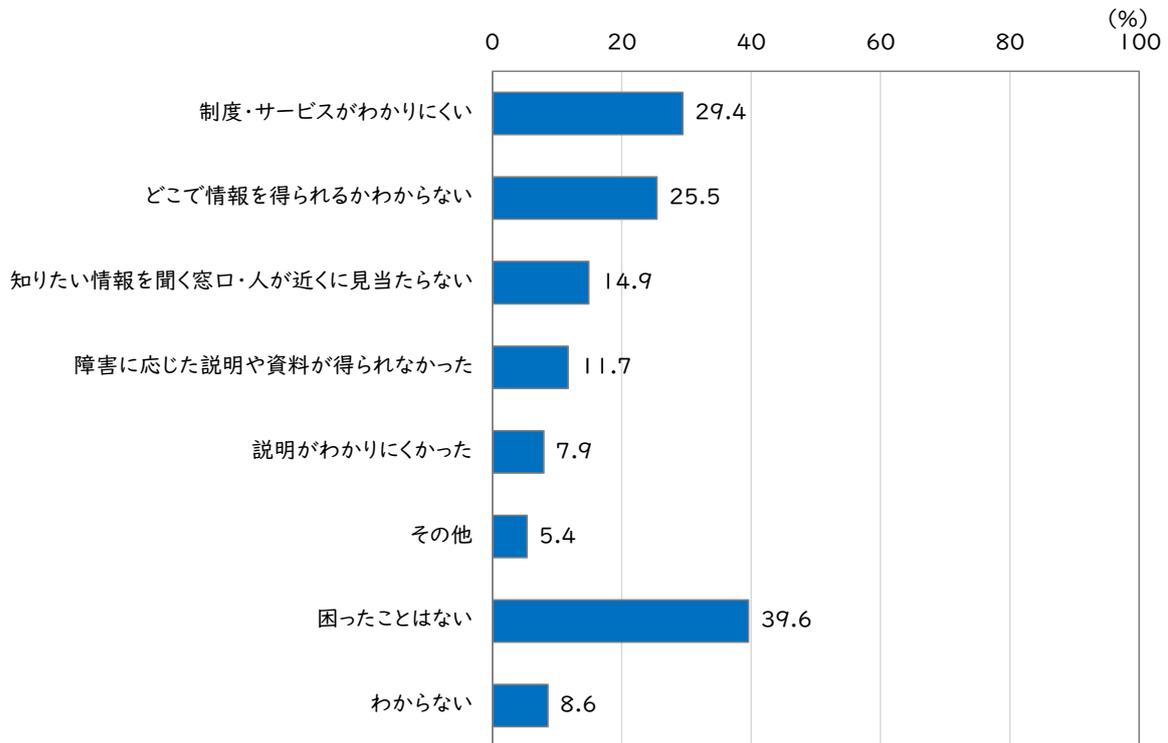
問17. これまでに福祉サービスの情報を得るために困ったことは何ですか

(〇はいくつでも)。

全体 「制度・サービスがわかりにくい」が2割後半、「どこで情報を得られるかわからない」が2割半ばとなっています。一方、「困ったことはない」が3割後半となっています。

属性別 障害種別に見ると、知的障害、発達障害、精神障害では「制度・サービスがわかりにくい」が最も多く3割後半～4割半ばとなっています。一方、内部障害では「困ったことはない」が5割前半と多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,434	66	112	318	263	232	186	294	31	152	50	85
制度・サービスがわかりにくい	29.4	33.3	26.8	25.2	20.5	39.7	45.7	39.5	35.5	30.3	28.0	30.6
どこで情報を得られるかわからない	25.5	22.7	24.1	21.1	20.2	25.4	31.7	33.3	25.8	26.3	28.0	31.8
知りたい情報を聞く窓口・人が近くに見当たらない	14.9	16.7	12.5	12.9	10.3	18.1	21.0	20.1	29.0	11.8	12.0	17.6
障害に応じた説明や資料が得られなかった	11.7	12.1	18.8	11.0	8.7	16.8	16.1	13.6	22.6	10.5	10.0	15.3
説明がわかりにくかった	7.9	7.6	9.8	6.9	4.6	9.5	11.8	12.2	22.6	5.3	10.0	14.1
その他	5.4	7.6	7.1	5.7	3.4	7.3	10.8	6.1	12.9	5.9	4.0	20.0
困ったことはない	39.6	39.4	41.1	47.5	52.5	27.6	23.1	27.2	22.6	41.4	40.0	28.2
わからない	8.6	10.6	8.0	6.3	6.5	11.2	8.6	9.2	12.9	6.6	10.0	8.2

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	205	1	6	18	3	101	100	13	0	7	25	14
制度・サービスがわかりにくい	40.5	0.0	50.0	22.2	33.3	36.6	44.0	69.2	0.0	57.1	40.0	57.1
どこで情報を得られるかわからない	33.7	100.0	50.0	27.8	33.3	30.7	33.0	30.8	0.0	28.6	40.0	35.7
知りたい情報を聞く窓口・人が近くに見当たらない	23.9	100.0	16.7	16.7	0.0	20.8	27.0	7.7	0.0	14.3	20.0	28.6
障害に応じた説明や資料が得られなかった	17.6	100.0	33.3	22.2	0.0	16.8	16.0	15.4	0.0	28.6	16.0	21.4
説明がわかりにくかった	9.3	0.0	16.7	11.1	0.0	5.0	7.0	0.0	0.0	14.3	16.0	21.4
その他	7.8	0.0	16.7	5.6	0.0	7.9	11.0	7.7	0.0	28.6	8.0	21.4
困ったことはない	25.9	0.0	16.7	33.3	33.3	30.7	23.0	23.1	0.0	14.3	20.0	14.3
わからない	9.8	0.0	16.7	11.1	0.0	8.9	9.0	0.0	0.0	0.0	8.0	7.1

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	619	19	30	93	61	124	83	239	15	68	16	34
制度・サービスがわかりにくい	34.7	36.8	36.7	29.0	27.9	42.7	49.4	41.8	33.3	36.8	12.5	32.4
どこで情報を得られるかわからない	28.8	10.5	26.7	26.9	31.1	21.0	31.3	36.8	20.0	26.5	18.8	35.3
知りたい情報を聞く窓口・人が近くに見当たらない	15.7	15.8	16.7	12.9	11.5	16.1	14.5	21.8	13.3	16.2	0.0	20.6
障害に応じた説明や資料が得られなかった	12.3	15.8	16.7	10.8	8.2	17.7	16.9	15.1	13.3	7.4	0.0	20.6
説明がわかりにくかった	10.7	10.5	13.3	7.5	6.6	13.7	18.1	14.2	20.0	8.8	0.0	17.6
その他	6.6	10.5	13.3	7.5	6.6	7.3	10.8	6.7	13.3	5.9	0.0	20.6
困ったことはない	30.9	31.6	30.0	40.9	41.0	24.2	20.5	23.0	26.7	30.9	50.0	23.5
わからない	10.3	15.8	6.7	6.5	4.9	13.7	8.4	8.8	13.3	13.2	18.8	11.8

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	591	45	74	201	196	6	2	39	16	75	9	35
制度・サービスがわかりにくい	20.0	31.1	20.3	22.4	18.4	33.3	0.0	17.9	37.5	22.7	22.2	17.1
どこで情報を得られるかわからない	19.5	26.7	21.6	17.4	16.8	33.3	0.0	15.4	31.3	26.7	11.1	25.7
知りたい情報を聞く窓口・人が近くに見当たらない	11.2	15.6	10.8	12.4	10.2	16.7	0.0	15.4	43.8	8.0	11.1	8.6
障害に応じた説明や資料が得られなかった	8.8	6.7	18.9	9.5	9.2	0.0	0.0	2.6	31.3	12.0	11.1	8.6
説明がわかりにくかった	4.7	6.7	8.1	6.0	4.1	0.0	0.0	5.1	25.0	1.3	11.1	8.6
その他	3.4	6.7	4.1	5.0	2.6	0.0	0.0	2.6	12.5	4.0	0.0	20.0
困ったことはない	53.1	44.4	47.3	53.2	56.1	33.3	100.0	51.3	18.8	52.0	77.8	37.1
わからない	6.4	8.9	8.1	5.5	6.6	0.0	0.0	15.4	12.5	1.3	0.0	5.7

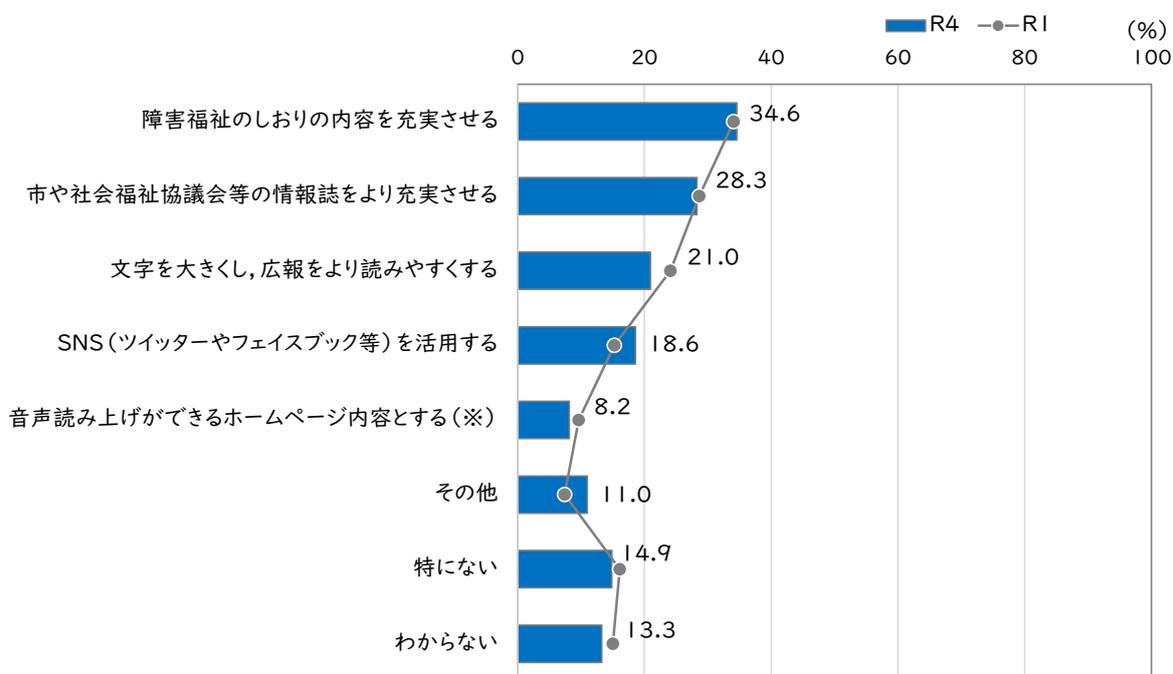
問18. 市などの情報提供を充実させるためにはどのようなことが必要だと思いますか

(〇はいくつでも)。

全体 「障害福祉のしおりの内容を充実させる」が最も多く3割半ば、続いて「市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる」が2割後半となっています。また、「その他」が1割前半となっており、「文章をわかりやすくする」、「HPの内容を充実させる」等の意見が挙げられています。前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると、視覚障害では「文字を大きくし、広報をより読みやすくする」が最も多く4割半ばとなっています。また、発達障害と精神障害では「SNS（ツイッターやフェイスブック等）を活用する」が2割後半～3割半ばで、他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,446	67	115	319	267	238	187	291	29	150	50	85
障害福祉のしおりの内容を充実させる	34.6	28.4	35.7	34.2	36.7	47.5	41.2	34.0	48.3	30.0	28.0	27.1
市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる	28.3	17.9	27.0	28.5	32.2	32.8	30.5	24.4	20.7	30.7	32.0	28.2
文字を大きくし、広報をより読みやすくする	21.0	44.8	22.6	26.0	24.3	11.8	14.4	16.5	27.6	22.7	18.0	22.4
SNS（ツイッターやフェイスブック等）を活用する	18.6	6.0	12.2	12.9	10.5	20.2	35.3	28.9	13.8	16.7	30.0	16.5
音声読み上げができるホームページ内容とする(※)	8.2	23.9	7.8	8.8	5.2	10.1	10.7	8.2	10.3	6.7	6.0	2.4
その他	11.0	13.4	14.8	11.6	7.9	15.5	19.3	12.0	24.1	10.0	8.0	15.3
特にな	14.9	13.4	17.4	14.4	15.4	8.8	7.5	15.8	6.9	16.7	8.0	21.2
わからない	13.3	6.0	9.6	12.5	9.0	16.0	10.7	13.1	13.8	13.3	20.0	11.8

(※) 音声読み上げができるよう、ホームページの内容をわかりやすくする

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	204	1	6	17	3	102	100	12	0	7	25	14
障害福祉のしおりの内容を充実させる	36.8	0.0	16.7	29.4	66.7	44.1	38.0	50.0	0.0	42.9	32.0	14.3
市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる	30.4	0.0	33.3	29.4	0.0	29.4	36.0	33.3	0.0	42.9	32.0	28.6
文字を大きくし、広報をより読みやすくする	7.8	100.0	0.0	5.9	0.0	5.9	9.0	8.3	0.0	0.0	4.0	7.1
SNS(ツイッターやフェイスブック等)を活用する	28.4	0.0	16.7	17.6	0.0	25.5	34.0	16.7	0.0	28.6	40.0	21.4
音声読み上げができるホームページ内容とする(※)	8.8	100.0	0.0	11.8	33.3	9.8	9.0	8.3	0.0	14.3	0.0	0.0
その他	18.1	0.0	33.3	23.5	0.0	18.6	20.0	8.3	0.0	42.9	12.0	35.7
特にない	7.4	0.0	16.7	11.8	0.0	6.9	6.0	16.7	0.0	0.0	12.0	7.1
わからない	16.7	0.0	33.3	17.6	0.0	17.6	11.0	0.0	0.0	0.0	16.0	21.4

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	622	20	31	93	60	127	84	238	14	68	16	34
障害福祉のしおりの内容を充実させる	38.4	45.0	41.9	40.9	48.3	50.4	45.2	35.3	57.1	33.8	18.8	38.2
市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる	27.2	25.0	19.4	32.3	26.7	36.2	23.8	25.2	14.3	29.4	25.0	20.6
文字を大きくし、広報をより読みやすくする	16.2	50.0	16.1	20.4	11.7	17.3	19.0	14.7	28.6	16.2	12.5	20.6
SNS(ツイッターやフェイスブック等)を活用する	27.8	15.0	29.0	28.0	20.0	17.3	38.1	33.2	28.6	26.5	25.0	29.4
音声読み上げができるホームページ内容とする(※)	10.1	30.0	9.7	14.0	5.0	11.0	11.9	8.8	7.1	10.3	18.8	5.9
その他	11.9	5.0	9.7	18.3	6.7	13.4	19.0	13.9	21.4	7.4	6.3	11.8
特にない	13.8	10.0	19.4	9.7	20.0	9.4	9.5	13.9	0.0	10.3	6.3	17.6
わからない	14.3	0.0	12.9	11.8	6.7	14.2	10.7	13.4	7.1	20.6	37.5	8.8

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	601	45	76	203	201	8	2	38	15	73	9	35
障害福祉のしおりの内容を充実させる	30.3	20.0	34.2	32.0	32.8	50.0	50.0	23.7	40.0	26.0	33.3	22.9
市や社会福祉協議会等の情報誌をより充実させる	28.5	13.3	27.6	26.1	34.3	12.5	50.0	15.8	26.7	31.5	44.4	37.1
文字を大きくし、広報をより読みやすくする	30.9	42.2	27.6	31.0	28.9	0.0	100.0	31.6	26.7	31.5	66.7	31.4
SNS(ツイッターやフェイスブック等)を活用する	5.8	2.2	5.3	5.4	7.5	0.0	0.0	5.3	0.0	6.8	11.1	2.9
音声読み上げができるホームページ内容とする(※)	5.8	20.0	7.9	5.9	5.0	0.0	0.0	5.3	13.3	2.7	0.0	0.0
その他	7.8	17.8	15.8	7.9	8.5	12.5	0.0	0.0	26.7	9.6	0.0	11.4
特にない	18.1	15.6	17.1	17.2	13.9	25.0	0.0	26.3	13.3	23.3	0.0	25.7
わからない	11.1	8.9	6.6	12.3	10.0	25.0	0.0	15.8	20.0	6.8	0.0	11.4

(※) 音声読み上げができるよう、ホームページの内容をわかりやすくする

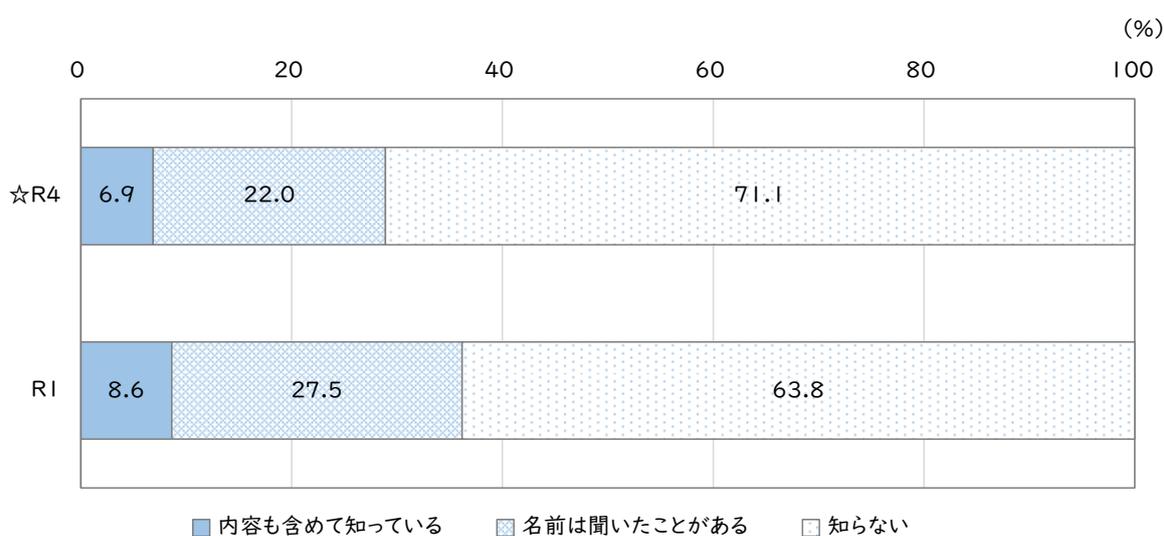
障害理解・差別解消

問19. 障害者差別解消法を知っていますか(○はひとつ)。

全体 「名前は聞いたことがある」が2割前半、「内容も含めて知っている」は1割未満となっています。一方、「知らない」が最も多く7割前半となっています。前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

属性別 年代ごとに「知らない」の割合を比べると、児童と成人では6割半ばであるのに対し、高齢者は7割後半で、高齢になるほど本法の認知度が低いことがうかがえます。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,471	69	116	329	277	237	188	296	29	157	49	83
内容も含めて知っている	6.9	4.3	9.5	6.1	4.7	11.4	13.3	6.8	3.4	3.2	8.2	8.4
名前は聞いたことがある	22.0	17.4	25.9	25.5	18.8	31.6	29.8	21.3	17.2	15.9	24.5	18.1
知らない	71.1	78.3	64.7	68.4	76.5	57.0	56.9	72.0	79.3	80.9	67.3	73.5

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	203	1	6	18	3	101	99	13	0	7	24	14
内容も含めて知っている	9.4	0.0	0.0	22.2	0.0	8.9	11.1	0.0	0.0	28.6	8.3	21.4
名前は聞いたことがある	26.1	0.0	50.0	44.4	33.3	35.6	30.3	46.2	0.0	42.9	12.5	14.3
知らない	64.5	100.0	50.0	33.3	66.7	55.4	58.6	53.8	0.0	28.6	79.2	64.3

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	629	20	29	94	63	127	86	242	15	67	16	32
内容も含めて知っている	9.1	5.0	24.1	7.4	6.3	14.2	16.3	8.3	6.7	3.0	12.5	3.1
名前は聞いたことがある	24.2	10.0	17.2	28.7	30.2	29.1	27.9	22.3	20.0	20.9	37.5	21.9
知らない	66.8	85.0	58.6	63.8	63.5	56.7	55.8	69.4	73.3	76.1	50.0	75.0

(単位:%)

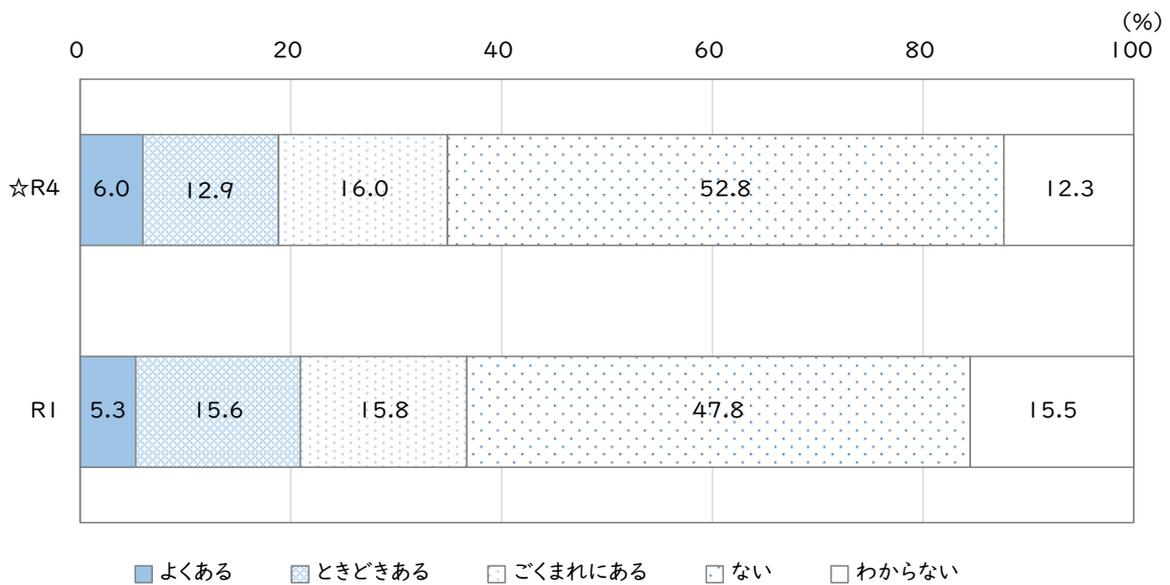
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	620	47	79	211	209	8	2	38	14	81	9	35
内容も含めて知っている	3.9	4.3	5.1	4.3	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	8.6
名前は聞いたことがある	18.4	19.1	27.8	22.7	15.3	25.0	50.0	7.9	14.3	8.6	33.3	14.3
知らない	77.7	76.6	67.1	73.0	80.9	75.0	50.0	92.1	85.7	90.1	66.7	77.1

問20. 差別を受けたり嫌な思いをする、またはしたことがありますか(○はひとつ)。

全体 「よくある」、「ときどきある」、「ごくまれにある」を合わせると、差別を受けるなどの経験をしたことがある人は3割半ばとなっています。一方、「ない」が5割前半となっています。前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると、内部障害と難病では「ない」が7割半ばで、他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,460	69	114	331	268	237	187	295	28	155	49	82
よくある	6.0	5.8	5.3	3.6	1.5	11.4	12.8	11.2	3.6	2.6	4.1	3.7
ときどきある	12.9	15.9	14.0	9.1	4.1	24.9	25.7	19.3	10.7	5.2	6.1	11.0
ごくまれにある	16.0	15.9	23.7	17.2	10.8	24.1	23.5	18.3	21.4	9.0	2.0	17.1
ない	52.8	42.0	41.2	59.5	76.1	21.5	24.6	39.0	39.3	74.2	65.3	62.2
わからない	12.3	20.3	15.8	10.6	7.5	18.1	13.4	12.2	25.0	9.0	22.4	6.1

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	203	1	6	18	3	101	99	13	0	7	24	14
よくある	6.9	0.0	0.0	5.6	0.0	5.9	9.1	7.7	0.0	0.0	0.0	7.1
ときどきある	21.7	0.0	33.3	27.8	33.3	23.8	25.3	23.1	0.0	28.6	12.5	21.4
ごくまれにある	21.2	100.0	33.3	27.8	0.0	26.7	25.3	30.8	0.0	42.9	4.2	14.3
ない	32.5	0.0	16.7	27.8	66.7	25.7	23.2	38.5	0.0	0.0	58.3	50.0
わからない	17.7	0.0	16.7	11.1	0.0	17.8	17.2	0.0	0.0	28.6	25.0	7.1

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	625	20	29	93	63	127	85	241	14	67	16	31
よくある	10.2	15.0	10.3	7.5	4.8	16.5	17.6	13.3	7.1	4.5	12.5	3.2
ときどきある	18.6	35.0	27.6	14.0	4.8	27.6	25.9	22.0	14.3	6.0	0.0	19.4
ごくまれにある	19.4	20.0	27.6	22.6	20.6	22.0	21.2	19.5	28.6	10.4	0.0	25.8
ない	40.2	20.0	27.6	46.2	65.1	17.3	25.9	32.8	42.9	70.1	62.5	41.9
わからない	11.7	10.0	6.9	9.7	4.8	16.5	9.4	12.4	7.1	9.0	25.0	9.7

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	612	47	76	214	200	8	2	38	14	79	9	35
よくある	1.3	2.1	3.9	1.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	2.9
ときどきある	4.4	8.5	7.9	5.1	3.5	0.0	50.0	2.6	7.1	2.5	0.0	0.0
ごくまれにある	10.6	10.6	19.7	13.6	8.0	12.5	50.0	7.9	14.3	5.1	0.0	11.4
ない	72.2	53.2	48.7	68.7	79.5	37.5	0.0	76.3	35.7	83.5	88.9	82.9
わからない	11.4	25.5	19.7	11.2	8.5	50.0	0.0	13.2	42.9	7.6	11.1	2.9

問21.どのような場所や場面で差別や嫌な思いをしますか、またはしましたか

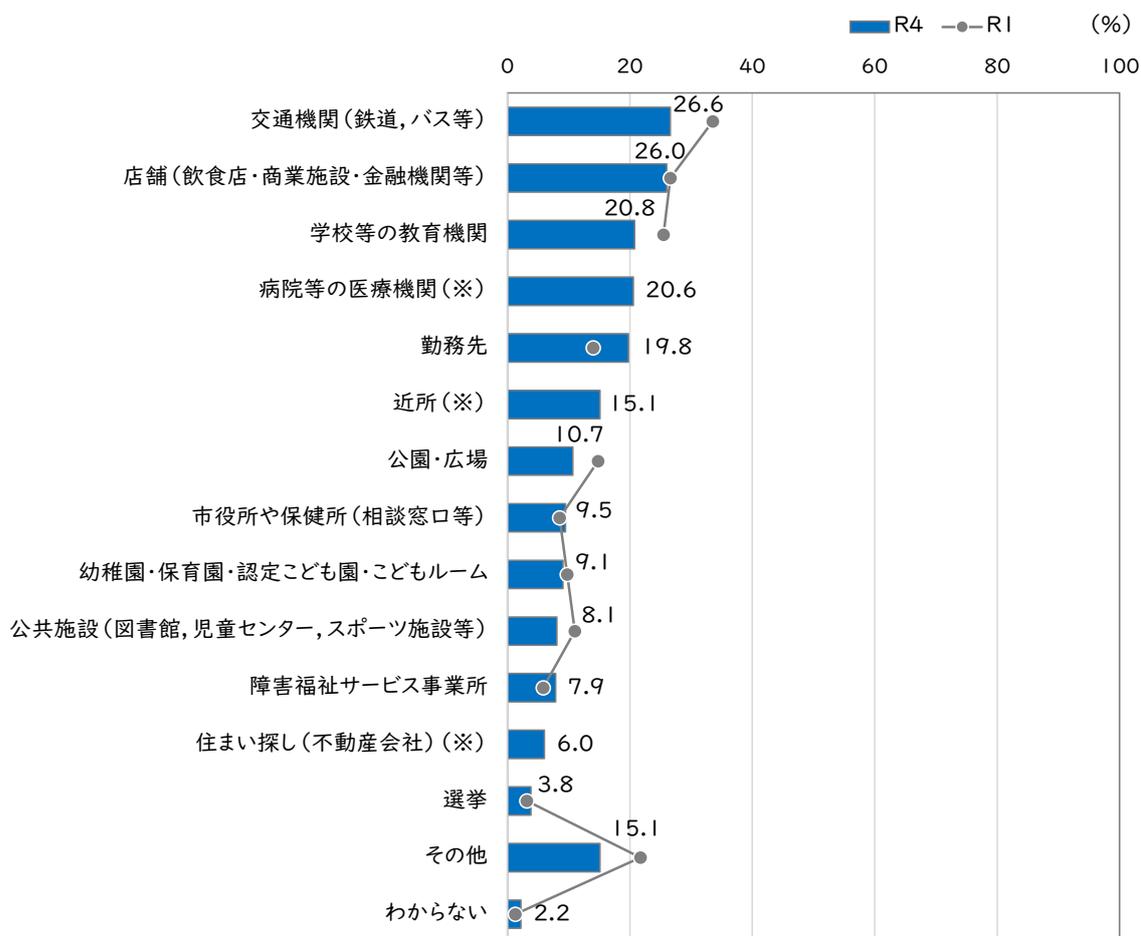
(○はいくつでも)。

(問20で「1.よくある」「2.ときどきある」「3.ごくまれにある」と答えた方にお伺いします。)

全体 「交通機関(鉄道,バス等)」と「店舗(飲食店・商業施設・金融機関等)」が2割半ばと多くなっています。続いて、「学校等の教育機関」,「病院等の医療機関」,「勤務先」が2割程度となっています。また,「その他」が1割半ばとなっており,「インターネット上」,「知人や家族」等の意見が挙げられています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが,前回調査と比べ,大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると,聴覚障害では「店舗(飲食店・商業施設・金融機関等)」が最も多く4割前半となっています。また,知的障害と発達障害では「学校等の教育機関」が3割台で,他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(※) 選択肢を新設

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	496	25	46	96	40	143	113	144	10	25	6	25
交通機関(鉄道,バス等)	26.6	44.0	23.9	42.7	42.5	26.6	23.0	18.1	60.0	20.0	33.3	12.0
店舗(飲食店・商業施設・金融機関等)	26.0	36.0	43.5	37.5	17.5	36.4	28.3	15.3	50.0	24.0	16.7	8.0
学校等の教育機関	20.8	8.0	10.9	13.5	7.5	35.0	39.8	16.7	10.0	20.0	33.3	20.0
病院等の医療機関	20.6	24.0	37.0	20.8	20.0	23.8	19.5	20.1	10.0	20.0	16.7	24.0
勤務先	19.8	12.0	10.9	13.5	27.5	11.2	12.4	34.7	10.0	20.0	16.7	16.0
近所	15.1	12.0	19.6	21.9	7.5	16.8	12.4	13.9	0.0	20.0	16.7	12.0
公園・広場	10.7	0.0	2.2	7.3	5.0	22.4	23.9	5.6	0.0	8.0	33.3	4.0
市役所や保健所(相談窓口等)	9.5	16.0	10.9	6.3	12.5	7.0	8.8	16.7	0.0	12.0	0.0	20.0
幼稚園・保育園・認定こども園・こどもルーム	9.1	0.0	4.3	4.2	0.0	14.7	22.1	6.3	0.0	8.0	33.3	4.0
公共施設(図書館,児童センター,スポーツ施設等)	8.1	8.0	4.3	6.3	5.0	10.5	15.9	6.9	0.0	12.0	16.7	0.0
障害福祉サービス事業所	7.9	4.0	6.5	9.4	5.0	9.1	8.8	13.2	0.0	4.0	16.7	8.0
住まい探し(不動産会社)	6.0	12.0	4.3	2.1	7.5	2.1	3.5	14.6	10.0	4.0	0.0	8.0
選挙	3.8	12.0	8.7	5.2	5.0	4.2	5.3	2.8	10.0	8.0	0.0	4.0
その他	15.1	20.0	10.9	10.4	12.5	7.0	13.3	25.7	20.0	24.0	0.0	32.0
わからない	2.2	0.0	2.2	1.0	2.5	2.8	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	4.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	100	1	4	11	1	57	58	8	0	5	4	6
交通機関(鉄道,バス等)	22.0	0.0	50.0	36.4	100.0	24.6	20.7	25.0	0.0	40.0	50.0	0.0
店舗(飲食店・商業施設・金融機関等)	23.0	0.0	25.0	36.4	100.0	31.6	25.9	0.0	0.0	20.0	25.0	0.0
学校等の教育機関	45.0	0.0	25.0	36.4	0.0	43.9	46.6	37.5	0.0	20.0	25.0	66.7
病院等の医療機関	14.0	0.0	0.0	18.2	100.0	17.5	15.5	12.5	0.0	0.0	25.0	16.7
勤務先	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所	14.0	0.0	25.0	18.2	0.0	14.0	12.1	12.5	0.0	0.0	25.0	16.7
公園・広場	27.0	0.0	0.0	27.3	100.0	28.1	31.0	0.0	0.0	20.0	50.0	16.7
市役所や保健所(相談窓口等)	6.0	0.0	25.0	0.0	0.0	7.0	5.2	0.0	0.0	20.0	0.0	16.7
幼稚園・保育園・認定こども園・こどもルーム	26.0	0.0	25.0	0.0	0.0	19.3	31.0	25.0	0.0	40.0	50.0	16.7
公共施設(図書館,児童センター,スポーツ施設等)	15.0	0.0	0.0	18.2	100.0	17.5	17.2	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
障害福祉サービス事業所	6.0	0.0	0.0	9.1	0.0	5.3	5.2	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
住まい探し(不動産会社)	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
選挙	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6.0	100.0	0.0	9.1	0.0	3.5	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	16.7

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	298	13	19	41	19	84	54	132	7	14	2	14
交通機関(鉄道,バス等)	24.5	38.5	26.3	43.9	36.8	28.6	24.1	18.2	57.1	14.3	0.0	7.1
店舗(飲食店・商業施設・金融機関等)	26.5	30.8	57.9	39.0	10.5	40.5	31.5	16.7	57.1	35.7	0.0	14.3
学校等の教育機関	18.1	7.7	15.8	19.5	15.8	28.6	33.3	15.9	14.3	28.6	50.0	7.1
病院等の医療機関	20.5	23.1	21.1	17.1	21.1	28.6	24.1	20.5	14.3	35.7	0.0	28.6
勤務先	30.2	23.1	21.1	22.0	42.1	19.0	25.9	37.9	14.3	35.7	50.0	28.6
近所	15.8	15.4	21.1	24.4	10.5	19.0	13.0	13.6	0.0	21.4	0.0	7.1
公園・広場	8.4	0.0	5.3	7.3	5.3	19.0	16.7	6.1	0.0	7.1	0.0	0.0
市役所や保健所(相談窓口等)	12.4	23.1	15.8	9.8	26.3	7.1	13.0	18.2	0.0	14.3	0.0	28.6
幼稚園・保育園・認定こども園・こどもルーム	6.0	0.0	5.3	7.3	0.0	11.9	13.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
公共施設(図書館,児童センター,スポーツ施設等)	6.0	7.7	0.0	0.0	5.3	6.0	14.8	7.6	0.0	14.3	0.0	0.0
障害福祉サービス事業所	9.4	7.7	5.3	14.6	10.5	10.7	13.0	13.6	0.0	7.1	0.0	14.3
住まい探し(不動産会社)	8.1	7.7	10.5	2.4	5.3	2.4	3.7	15.9	14.3	7.1	0.0	14.3
選挙	3.4	7.7	15.8	2.4	5.3	6.0	11.1	3.0	0.0	7.1	0.0	7.1
その他	17.8	15.4	0.0	12.2	10.5	9.5	22.2	26.5	14.3	14.3	0.0	42.9
わからない	2.7	0.0	5.3	0.0	5.3	3.6	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

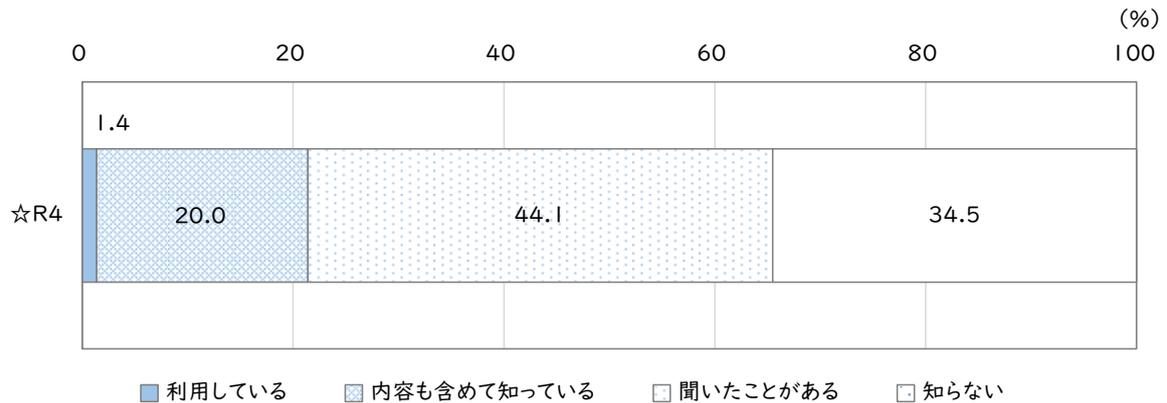
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	91	10	21	40	20	1	1	4	3	6	0	5
交通機関(鉄道,バス等)	37.4	50.0	19.0	42.5	45.0	0.0	100.0	0.0	66.7	16.7	0.0	40.0
店舗(飲食店・商業施設・金融機関等)	26.4	40.0	33.3	35.0	20.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
学校等の教育機関	3.3	10.0	4.8	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院等の医療機関	28.6	20.0	61.9	27.5	15.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	20.0
勤務先	6.6	0.0	4.8	5.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所	13.2	10.0	14.3	20.0	5.0	0.0	0.0	25.0	0.0	33.3	0.0	20.0
公園・広場	1.1	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市役所や保健所(相談窓口等)	4.4	10.0	4.8	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
幼稚園・保育園・認定こども園・こどもルーム	1.1	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
公共施設(図書館,児童センター,スポーツ施設等)	7.7	10.0	9.5	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
障害福祉サービス事業所	5.5	0.0	9.5	5.0	0.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
住まい探し(不動産会社)	4.4	20.0	0.0	2.5	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
選挙	7.7	20.0	4.8	7.5	5.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
その他	17.6	20.0	23.8	10.0	15.0	0.0	0.0	50.0	33.3	66.7	0.0	40.0
わからない	1.1	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問22. 成年後見制度を知っていますか(○はひとつ)。

全体 「聞いたことがある」が最も多く4割半ば、「内容を含めて知っている」が2割、「利用している」はわずかとなっています。一方、「知らない」が3割半ばとなっています。

属性別 年代ごとに、「利用している」、「内容を含めて知っている」、「聞いたことがある」を合計した割合を比べると、児童は5割半ば、成人は6割前半、高齢者は7割前半で、年代が高いほど成年後見制度の認知度が高いことがうかがえます。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,472	67	116	333	275	237	188	294	29	158	48	84
利用している	1.4	3.0	2.6	2.1	0.7	2.1	1.1	2.0	6.9	0.6	0.0	2.4
内容も含めて知っている	20.0	17.9	19.8	24.3	19.6	24.5	20.7	18.7	13.8	13.3	14.6	14.3
聞いたことがある	44.1	43.3	43.1	44.4	47.6	37.1	41.0	43.2	55.2	53.2	37.5	48.8
知らない	34.5	35.8	34.5	29.1	32.0	36.3	37.2	36.1	24.1	32.9	47.9	34.5

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	202	1	6	18	3	101	99	13	0	7	23	14
利用している	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内容も含めて知っている	17.8	0.0	16.7	44.4	33.3	18.8	17.2	23.1	0.0	28.6	13.0	14.3
聞いたことがある	38.1	0.0	50.0	33.3	0.0	37.6	47.5	30.8	0.0	57.1	30.4	42.9
知らない	44.1	100.0	33.3	22.2	66.7	43.6	35.4	46.2	0.0	14.3	56.5	42.9

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	628	20	29	94	63	127	86	241	15	67	16	32
利用している	2.4	10.0	3.4	3.2	1.6	3.9	2.3	2.5	0.0	1.5	0.0	3.1
内容も含めて知っている	19.6	10.0	20.7	21.3	19.0	29.1	25.6	17.4	13.3	14.9	6.3	12.5
聞いたことがある	41.4	40.0	37.9	44.7	42.9	37.0	32.6	41.9	53.3	47.8	43.8	40.6
知らない	36.6	40.0	37.9	30.9	36.5	29.9	39.5	38.2	33.3	35.8	50.0	43.8

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	622	45	78	215	207	8	2	37	14	82	9	36
利用している	0.8	0.0	2.6	1.9	0.5	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	2.8
内容も含めて知っている	21.1	20.0	20.5	23.7	19.3	25.0	0.0	27.0	14.3	9.8	33.3	16.7
聞いたことがある	49.0	46.7	46.2	46.0	49.8	25.0	50.0	56.8	57.1	58.5	44.4	55.6
知らない	29.1	33.3	30.8	28.4	30.4	50.0	50.0	16.2	14.3	31.7	22.2	25.0

問23. 柏市が設置する成年後見制度についての相談窓口を知っていますか(○はひとつ)。

全体 「知っており利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせると1割後半、「知らなかったが利用してみたい」が1割未満となっています。一方、「知らない」が7割半ばとなっています。

属性別 属性別に見ても、全体と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,471	69	117	331	275	233	187	297	30	158	49	84
知っており利用したことがある	0.7	0.0	1.7	0.3	0.4	1.7	1.1	0.7	3.3	0.6	2.0	0.0
知っているが利用したことはない	16.6	14.5	19.7	22.1	17.5	20.6	10.7	14.1	10.0	11.4	6.1	23.8
知らなかったが利用してみたい	7.4	4.3	13.7	5.4	3.6	16.7	16.0	5.4	13.3	11.4	8.2	6.0
知らない	75.3	81.2	65.0	72.2	78.5	60.9	72.2	79.8	73.3	76.6	83.7	70.2

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	203	1	6	18	3	101	99	13	0	7	24	14
知っており利用したことがある	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
知っているが利用したことはない	11.8	0.0	16.7	33.3	33.3	14.9	9.1	23.1	0.0	14.3	4.2	7.1
知らなかったが利用してみたい	16.3	0.0	33.3	16.7	0.0	19.8	20.2	30.8	0.0	71.4	12.5	14.3
知らない	71.9	100.0	50.0	50.0	66.7	65.3	70.7	46.2	0.0	14.3	83.3	78.6

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	625	20	30	94	63	123	85	242	15	67	16	32
知っており利用したことがある	1.4	0.0	3.3	0.0	0.0	3.3	2.4	0.8	0.0	1.5	6.3	0.0
知っているが利用したことはない	13.8	5.0	10.0	19.1	12.7	26.0	11.8	11.6	6.7	4.5	6.3	15.6
知らなかったが利用してみたい	7.2	5.0	23.3	8.5	4.8	14.6	11.8	4.1	13.3	9.0	6.3	3.1
知らない	77.6	90.0	63.3	72.3	82.5	56.1	74.1	83.5	80.0	85.1	81.3	81.3

(単位:%)

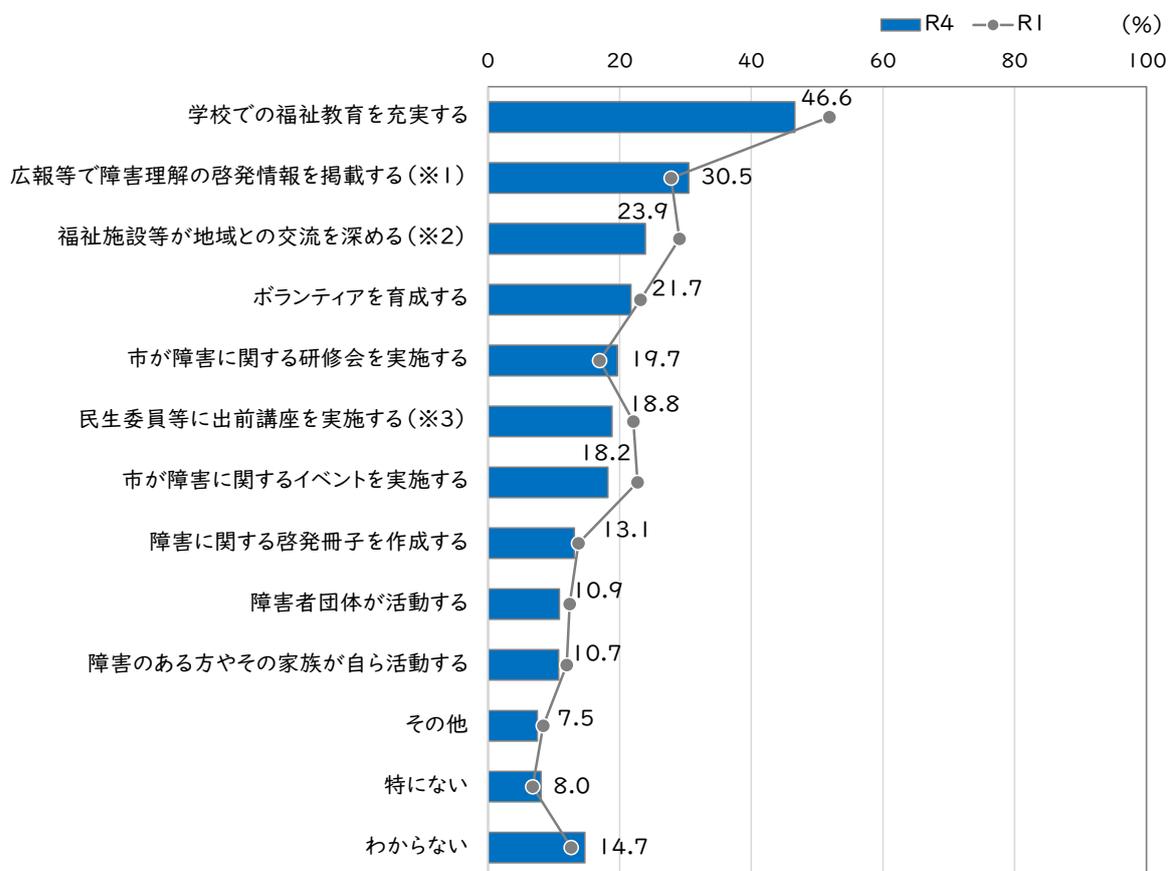
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	623	47	78	213	207	8	2	39	15	82	9	36
知っており利用したことがある	0.3	0.0	1.3	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
知っているが利用したことはない	20.9	19.1	24.4	22.5	18.4	12.5	50.0	28.2	13.3	17.1	11.1	33.3
知らなかったが利用してみたい	4.8	4.3	9.0	3.3	3.4	12.5	0.0	2.6	13.3	8.5	0.0	5.6
知らない	74.0	76.6	65.4	73.7	77.8	75.0	50.0	69.2	66.7	74.4	88.9	61.1

問24. 障害の有無にかかわらず、全ての人が差別や偏見を持たずに暮らしていくには、どのようなことが必要だと思いますか(○はいくつでも)。

全体 「学校での福祉教育を充実する」が最も多く4割半ば、続いて「広報等で障害理解の啓発情報を掲載する」が3割前半、「福祉施設等が地域との交流を深める」が2割前半となっています。前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると、知的障害と発達障害では「学校での福祉教育を充実する」が5割後半～6割半ばで、他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(※1) 広報・ホームページ等で障害理解の啓発情報を掲載する

(※2) 福祉施設や障害福祉サービスの事業所が地域との交流を深める

(※3) 民生委員・児童委員等の地域を支える人を対象に出前講座を実施し、地域における理解を深める

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,455	68	116	326	269	234	187	295	28	154	49	82
学校での福祉教育を充実する	46.6	44.1	31.9	44.2	39.4	57.7	65.2	46.8	28.6	52.6	59.2	43.9
広報等で障害理解の啓発情報を掲載する(※1)	30.5	26.5	34.5	31.3	33.5	29.1	30.5	29.2	7.1	37.7	34.7	26.8
福祉施設等が地域との交流を深める(※2)	23.9	22.1	21.6	23.3	15.6	39.7	32.1	23.1	14.3	26.6	20.4	19.5
ボランティアを育成する	21.7	30.9	23.3	21.2	22.3	27.8	21.9	19.0	17.9	22.7	18.4	18.3
市が障害に関する研修会を実施する	19.7	20.6	25.9	16.3	13.0	25.2	25.1	22.7	17.9	24.7	8.2	18.3
民生委員等に出前講座を実施する(※3)	18.8	20.6	24.1	19.9	17.8	25.2	24.6	13.9	10.7	17.5	14.3	19.5
市が障害に関するイベントを実施する	18.2	16.2	21.6	17.8	15.2	23.5	27.8	19.0	17.9	20.1	12.2	14.6
障害に関する啓発冊子を作成する	13.1	11.8	15.5	9.8	13.4	16.2	19.3	16.3	10.7	9.1	14.3	12.2
障害者団体が活動する	10.9	11.8	11.2	10.4	8.9	16.7	13.4	12.5	17.9	12.3	12.2	7.3
障害のある方やその家族が自ら活動する	10.7	10.3	10.3	9.2	9.7	15.8	12.3	14.2	7.1	10.4	8.2	4.9
その他	7.5	7.4	4.3	4.9	5.6	9.8	13.4	10.2	3.6	6.5	10.2	15.9
特にない	8.0	10.3	12.1	10.1	10.8	5.6	2.7	6.4	10.7	9.7	0.0	8.5
わからない	14.7	8.8	17.2	12.6	13.4	11.5	12.8	15.9	28.6	13.6	18.4	14.6

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	202	1	6	18	3	100	99	13	0	7	24	14
学校での福祉教育を充実する	68.8	0.0	66.7	72.2	66.7	72.0	77.8	84.6	0.0	71.4	58.3	71.4
広報等で障害理解の啓発情報を掲載する(※1)	25.2	0.0	83.3	16.7	33.3	30.0	31.3	38.5	0.0	28.6	20.8	0.0
福祉施設等が地域との交流を深める(※2)	33.7	0.0	33.3	33.3	33.3	41.0	38.4	23.1	0.0	57.1	20.8	21.4
ボランティアを育成する	17.3	0.0	16.7	11.1	33.3	21.0	20.2	15.4	0.0	14.3	8.3	7.1
市が障害に関する研修会を実施する	20.3	0.0	50.0	11.1	0.0	21.0	28.3	7.7	0.0	28.6	8.3	14.3
民生委員等に出前講座を実施する(※3)	23.3	0.0	33.3	22.2	33.3	25.0	30.3	30.8	0.0	14.3	16.7	14.3
市が障害に関するイベントを実施する	17.8	0.0	33.3	0.0	0.0	16.0	26.3	23.1	0.0	14.3	4.2	14.3
障害に関する啓発冊子を作成する	11.4	0.0	16.7	5.6	33.3	16.0	18.2	7.7	0.0	0.0	4.2	0.0
障害者団体が活動する	11.9	0.0	16.7	11.1	0.0	12.0	16.2	7.7	0.0	0.0	8.3	0.0
障害のある方やその家族が自ら活動する	10.9	0.0	0.0	16.7	0.0	11.0	13.1	23.1	0.0	0.0	12.5	0.0
その他	10.4	0.0	0.0	16.7	0.0	10.0	9.1	7.7	0.0	14.3	12.5	28.6
特にない	3.0	0.0	0.0	5.6	33.3	2.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	16.8	100.0	16.7	16.7	0.0	16.0	8.1	7.7	0.0	14.3	29.2	14.3

(※1) 広報・ホームページ等で障害理解の啓発情報を掲載する

(※2) 福祉施設や障害福祉サービスの事業所が地域との交流を深める

(※3) 民生委員・児童委員等の地域を支える人を対象に出前講座を実施し、地域における理解を深める

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	622	19	30	92	62	125	85	240	15	66	16	31
学校での福祉教育を充実する	50.2	78.9	43.3	56.5	51.6	49.6	51.8	45.0	40.0	66.7	62.5	41.9
広報等で障害理解の啓発情報を掲載する(※1)	30.2	31.6	33.3	35.9	29.0	30.4	29.4	28.3	6.7	39.4	37.5	32.3
福祉施設等が地域との交流を深める(※2)	24.1	26.3	20.0	20.7	12.9	40.0	23.5	22.9	13.3	28.8	18.8	16.1
ボランティアを育成する	21.7	26.3	33.3	22.8	16.1	35.2	23.5	17.5	20.0	24.2	31.3	12.9
市が障害に関する研修会を実施する	21.9	21.1	16.7	19.6	12.9	30.4	21.2	23.8	13.3	25.8	12.5	22.6
民生委員等に出前講座を実施する(※3)	16.9	26.3	23.3	15.2	9.7	25.6	16.5	14.2	13.3	22.7	18.8	12.9
市が障害に関するイベントを実施する	21.2	21.1	26.7	25.0	11.3	30.4	30.6	19.6	20.0	21.2	18.8	19.4
障害に関する啓発冊子を作成する	14.1	21.1	13.3	10.9	12.9	17.6	18.8	17.5	6.7	6.1	25.0	16.1
障害者団体が活動する	13.0	5.3	16.7	16.3	9.7	20.8	10.6	13.8	26.7	16.7	25.0	6.5
障害のある方やその家族が自ら活動する	12.7	10.5	13.3	12.0	14.5	20.0	11.8	15.4	13.3	13.6	6.3	3.2
その他	10.6	0.0	3.3	8.7	9.7	10.4	18.8	12.1	6.7	7.6	12.5	19.4
特になし	5.0	5.3	10.0	3.3	4.8	6.4	2.4	5.8	6.7	3.0	0.0	9.7
わからない	14.1	0.0	16.7	12.0	8.1	7.2	18.8	15.4	20.0	13.6	12.5	16.1

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	612	47	78	210	202	8	2	39	13	79	9	35
学校での福祉教育を充実する	35.9	29.8	25.6	37.1	34.7	12.5	0.0	48.7	15.4	39.2	55.6	34.3
広報等で障害理解の啓発情報を掲載する(※1)	32.7	25.5	30.8	30.5	34.7	0.0	0.0	33.3	7.7	36.7	66.7	34.3
福祉施設等が地域との交流を深める(※2)	20.3	19.1	19.2	22.9	16.3	25.0	50.0	25.6	15.4	22.8	22.2	22.9
ボランティアを育成する	23.2	31.9	19.2	21.9	24.3	0.0	50.0	30.8	15.4	21.5	22.2	25.7
市が障害に関する研修会を実施する	17.2	19.1	28.2	15.2	13.4	0.0	0.0	23.1	23.1	22.8	0.0	17.1
民生委員等に出前講座を実施する(※3)	19.6	19.1	24.4	22.4	19.8	25.0	100.0	7.7	7.7	13.9	0.0	25.7
市が障害に関するイベントを実施する	14.7	12.8	17.9	15.7	16.3	0.0	0.0	15.4	15.4	19.0	22.2	11.4
障害に関する啓発冊子を作成する	12.7	8.5	16.7	10.0	13.4	0.0	50.0	12.8	15.4	11.4	22.2	14.3
障害者団体が活動する	8.3	14.9	9.0	8.1	8.9	12.5	0.0	7.7	7.7	8.9	0.0	8.6
障害のある方やその家族が自ら活動する	8.7	8.5	10.3	7.6	8.4	12.5	0.0	5.1	0.0	8.9	0.0	5.7
その他	3.4	10.6	5.1	1.9	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	8.6
特になし	12.9	12.8	14.1	13.8	12.4	37.5	0.0	12.8	15.4	16.5	0.0	8.6
わからない	14.2	10.6	17.9	12.4	15.3	25.0	0.0	15.4	38.5	12.7	0.0	14.3

(※1) 広報・ホームページ等で障害理解の啓発情報を掲載する

(※2) 福祉施設や障害福祉サービスの事業所が地域との交流を深める

(※3) 民生委員・児童委員等の地域を支える人を対象に出前講座を実施し、地域における理解を深める

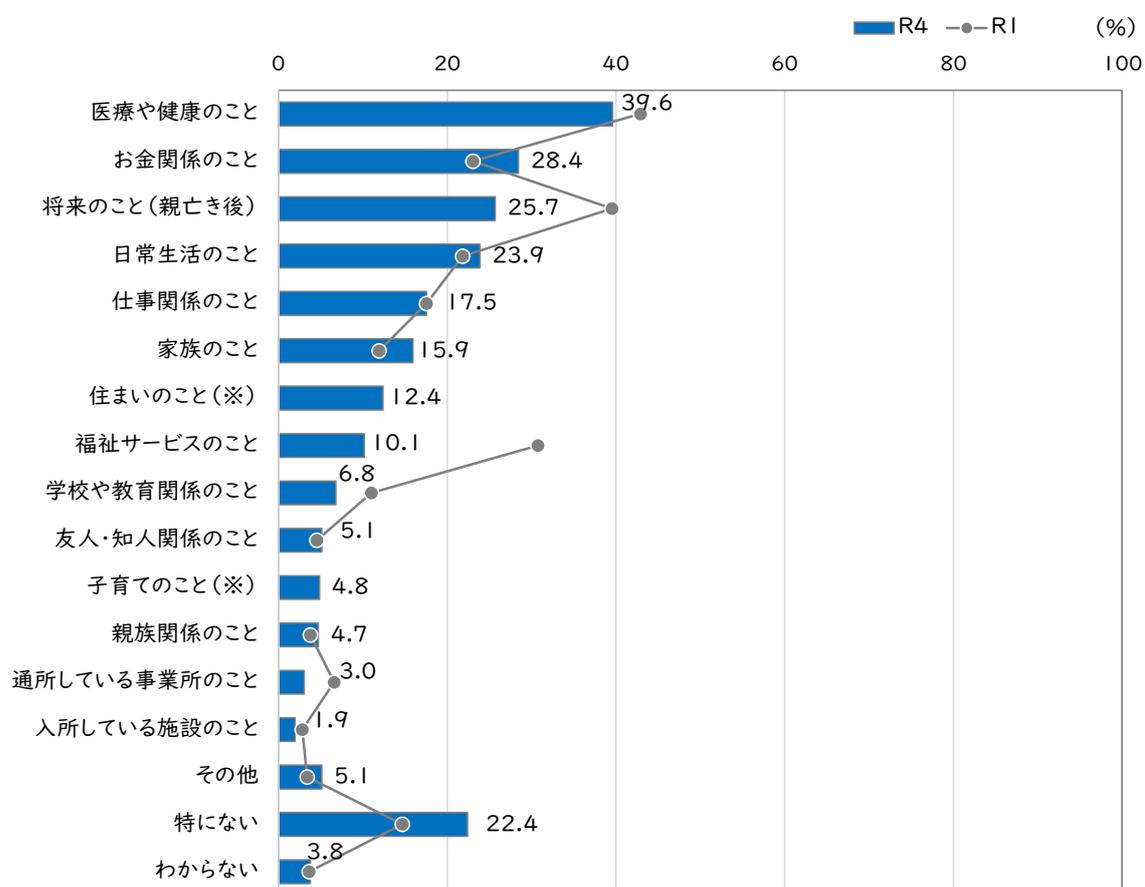
相談体制

問25. 現在悩んでいることや困っていることは何ですか(〇はいくつでも)。

全体 「医療や健康のこと」が最も多く3割後半, 続いて「お金関係のこと」が2割後半となっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが, 前回調査と比べ, 「将来のこと(親亡き後)」が14ポイント程度, 「福祉サービスのこと」が20ポイント程度減少しています。

属性別 障害種別に見ると, 精神障害と難病では「医療や健康のこと」が5割台と多くなっています。また, 知的障害と発達障害では「将来のこと(親亡き後)」が5割半ば~6割前半で, 他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(※) 選択肢を新設

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,488	70	121	330	282	241	188	299	29	159	50	85
医療や健康のこと	39.6	42.9	44.6	40.3	42.6	29.5	28.2	53.8	31.0	58.5	26.0	29.4
お金関係のこと	28.4	20.0	29.8	21.2	21.3	24.5	34.0	55.2	44.8	30.2	18.0	28.2
将来のこと(親亡き後)	25.7	20.0	27.3	17.3	6.7	63.1	55.9	35.5	37.9	19.5	24.0	15.3
日常生活のこと	23.9	20.0	27.3	23.0	18.8	29.5	33.5	34.8	27.6	26.4	14.0	28.2
仕事関係のこと	17.5	12.9	7.4	10.0	8.2	18.7	21.8	40.1	6.9	16.4	12.0	17.6
家族のこと	15.9	11.4	17.4	12.4	13.1	13.3	19.1	29.8	17.2	19.5	12.0	17.6
住まいのこと	12.4	14.3	13.2	10.0	6.7	13.7	19.1	21.7	6.9	15.1	10.0	14.1
福祉サービスのこと	10.1	11.4	14.9	10.9	5.7	14.9	17.6	14.4	10.3	11.9	2.0	16.5
学校や教育関係のこと	6.8	1.4	1.7	2.4	1.4	13.7	26.6	3.0	0.0	1.9	34.0	9.4
友人・知人関係のこと	5.1	0.0	2.5	1.2	1.1	7.5	12.8	13.7	0.0	1.3	12.0	5.9
子育てのこと	4.8	1.4	2.5	2.1	2.5	4.6	10.6	8.7	3.4	3.8	18.0	3.5
親族関係のこと	4.7	1.4	5.8	3.3	2.8	2.1	5.9	14.0	6.9	3.1	4.0	5.9
通所している事業所のこと	3.0	1.4	3.3	2.1	1.1	8.3	6.9	5.0	6.9	2.5	2.0	5.9
入所している施設のこと	1.9	2.9	2.5	2.7	0.7	2.5	3.2	2.7	10.3	1.9	0.0	4.7
その他	5.1	7.1	6.6	4.5	4.6	5.4	7.4	4.7	10.3	5.7	2.0	10.6
特にない	22.4	21.4	19.0	27.3	34.0	10.4	7.4	10.4	13.8	19.5	28.0	28.2
わからない	3.8	7.1	3.3	4.2	2.1	5.8	5.3	1.7	6.9	3.1	6.0	4.7

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	203	1	6	17	3	101	99	13	0	7	25	14
医療や健康のこと	19.2	0.0	33.3	35.3	66.7	25.7	17.2	15.4	0.0	57.1	12.0	7.1
お金関係のこと	20.2	0.0	50.0	17.6	33.3	23.8	17.2	30.8	0.0	14.3	12.0	21.4
将来のこと(親亡き後)	52.2	0.0	66.7	70.6	66.7	62.4	58.6	61.5	0.0	85.7	32.0	14.3
日常生活のこと	23.6	0.0	50.0	23.5	33.3	26.7	27.3	15.4	0.0	28.6	20.0	14.3
仕事関係のこと	15.8	0.0	33.3	5.9	0.0	23.8	15.2	15.4	0.0	42.9	12.0	0.0
家族のこと	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	11.1	0.0	0.0	0.0	8.0	7.1
住まいのこと	8.4	0.0	33.3	17.6	0.0	11.9	10.1	15.4	0.0	14.3	4.0	7.1
福祉サービスのこと	14.8	0.0	50.0	23.5	0.0	18.8	18.2	15.4	0.0	57.1	4.0	14.3
学校や教育関係のこと	40.9	0.0	33.3	35.3	33.3	27.7	44.4	30.8	0.0	28.6	60.0	57.1
友人・知人関係のこと	11.3	0.0	16.7	5.9	0.0	6.9	13.1	23.1	0.0	0.0	20.0	7.1
子育てのこと	10.3	0.0	33.3	0.0	33.3	5.9	10.1	7.7	0.0	0.0	28.0	7.1
親族関係のこと	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0
通所している事業所のこと	4.4	0.0	0.0	5.9	0.0	4.0	7.1	7.7	0.0	0.0	4.0	0.0
入所している施設のこと	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6.4	0.0	16.7	5.9	0.0	6.9	8.1	15.4	0.0	14.3	0.0	14.3
特にない	12.3	100.0	0.0	5.9	0.0	10.9	8.1	0.0	0.0	0.0	24.0	21.4
わからない	8.4	0.0	16.7	11.8	33.3	8.9	7.1	7.7	0.0	14.3	8.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	632	20	31	94	62	130	86	242	14	69	16	34
医療や健康のこと	44.3	55.0	54.8	39.4	38.7	33.1	41.9	59.5	28.6	63.8	25.0	38.2
お金関係のこと	42.4	25.0	41.9	37.2	27.4	26.2	53.5	62.0	50.0	43.5	31.3	44.1
将来のこと(親亡き後)	36.7	40.0	61.3	35.1	14.5	65.4	53.5	38.8	42.9	26.1	18.8	26.5
日常生活のこと	30.9	30.0	32.3	30.9	17.7	33.8	40.7	40.5	35.7	31.9	6.3	41.2
仕事関係のこと	32.1	40.0	16.1	24.5	21.0	16.2	30.2	48.8	14.3	27.5	18.8	38.2
家族のこと	23.1	15.0	22.6	22.3	22.6	17.7	27.9	34.7	21.4	21.7	12.5	32.4
住まいのこと	19.5	25.0	19.4	20.2	14.5	16.2	29.1	25.6	7.1	15.9	18.8	26.5
福祉サービスのこと	11.7	10.0	29.0	12.8	9.7	13.1	16.3	16.5	7.1	13.0	0.0	23.5
学校や教育関係のこと	2.4	5.0	0.0	1.1	3.2	3.8	7.0	2.1	0.0	1.4	6.3	0.0
友人・知人関係のこと	8.2	0.0	6.5	3.2	4.8	8.5	12.8	15.3	0.0	2.9	6.3	11.8
子育てのこと	7.3	5.0	3.2	6.4	6.5	3.8	11.6	10.3	7.1	5.8	6.3	5.9
親族関係のこと	8.1	0.0	6.5	7.4	4.8	3.1	12.8	15.3	0.0	4.3	0.0	14.7
通所している事業所のこと	4.3	0.0	6.5	2.1	1.6	11.5	7.0	5.4	14.3	4.3	0.0	11.8
入所している施設のこと	2.4	0.0	0.0	0.0	1.6	4.6	5.8	2.5	0.0	2.9	0.0	5.9
その他	5.5	0.0	3.2	6.4	4.8	4.6	7.0	4.5	21.4	4.3	6.3	11.8
特になし	13.4	5.0	3.2	18.1	32.3	9.2	5.8	6.2	7.1	11.6	37.5	17.6
わからない	1.9	0.0	3.2	1.1	0.0	3.1	3.5	1.2	7.1	1.4	6.3	5.9

(単位:%)

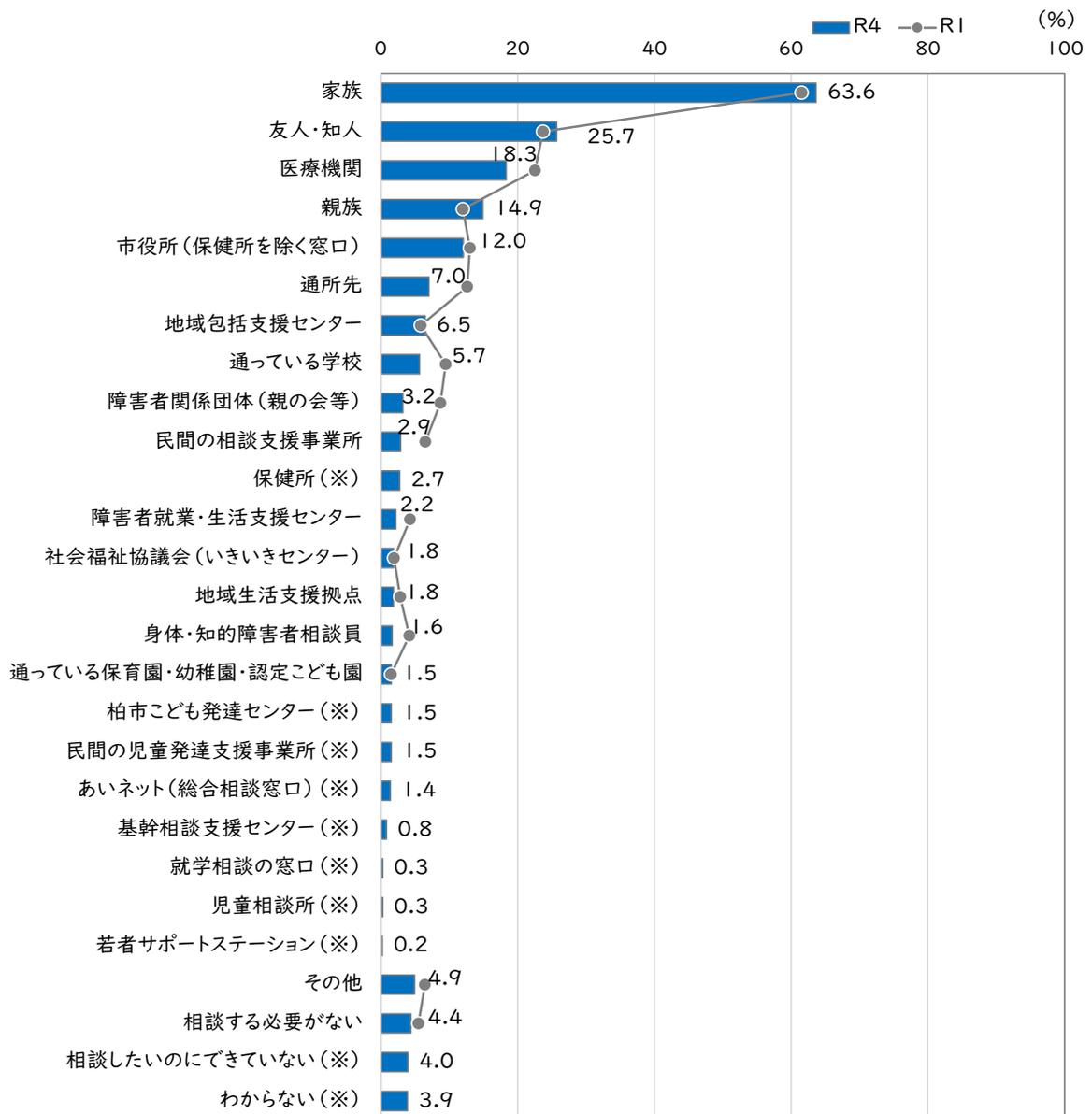
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	631	48	81	212	213	9	2	41	15	81	9	35
医療や健康のこと	41.8	37.5	43.2	41.5	42.7	22.2	0.0	36.6	33.3	55.6	66.7	31.4
お金関係のこと	17.3	16.7	24.7	14.2	19.2	11.1	0.0	26.8	40.0	21.0	11.1	17.1
将来のこと(親亡き後)	6.2	10.4	12.3	4.7	3.3	33.3	0.0	9.8	33.3	8.6	11.1	5.7
日常生活のこと	17.1	16.7	22.2	19.3	19.2	0.0	0.0	9.8	20.0	22.2	11.1	22.9
仕事関係のこと	3.5	0.0	2.5	2.8	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	5.7
家族のこと	11.1	10.4	17.3	8.5	10.8	11.1	0.0	12.2	13.3	19.8	22.2	8.6
住まいのこと	6.5	10.4	9.9	4.2	4.7	0.0	0.0	2.4	6.7	14.8	11.1	5.7
福祉サービスのこと	7.0	10.4	7.4	8.5	4.7	0.0	50.0	2.4	13.3	7.4	0.0	11.4
学校や教育関係のこと	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
友人・知人関係のこと	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
子育てのこと	0.6	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	11.1	0.0
親族関係のこと	2.7	2.1	6.2	1.9	2.3	0.0	0.0	12.2	13.3	2.5	11.1	0.0
通所している事業所のこと	1.4	2.1	2.5	1.9	0.9	11.1	0.0	2.4	0.0	1.2	0.0	2.9
入所している施設のこと	2.1	4.2	3.7	4.2	0.5	0.0	0.0	4.9	20.0	1.2	0.0	5.7
その他	4.4	10.4	7.4	3.8	4.7	0.0	0.0	2.4	0.0	6.2	0.0	8.6
特にない	34.2	27.1	25.9	34.0	35.7	22.2	50.0	34.1	20.0	25.9	22.2	37.1
わからない	4.1	10.4	2.5	5.2	2.3	11.1	0.0	0.0	6.7	3.7	0.0	5.7

問26. 悩みや困りごとを誰(どこ)に相談しますか(〇はいくつでも)。

全体 「家族」が最も多く6割前半, 続いて「友人・知人」が2割半ばとなっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが, 前回調査と比べ, 大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると, 精神障害では「医療機関」が3割後半と多くっており, また, 知的障害と発達障害では, 「通っている学校」が2割台と多くなっています。

【全体】



(※) 選択肢を新設

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,463	70	118	329	274	237	185	296	31	157	49	81
家族	63.6	62.9	55.1	61.1	68.2	63.7	70.3	56.8	64.5	68.2	65.3	56.8
友人・知人	25.7	27.1	20.3	21.9	23.7	29.1	30.8	27.4	12.9	28.0	36.7	29.6
医療機関	18.3	14.3	16.1	11.9	17.9	12.7	21.1	37.2	9.7	19.7	10.2	18.5
親族	14.9	12.9	9.3	17.6	16.4	11.4	15.7	9.1	12.9	19.7	20.4	24.7
市役所(保健所を除く窓口)	12.0	15.7	22.0	11.2	11.7	11.0	11.9	15.2	12.9	10.8	2.0	12.3
通所先	7.0	1.4	6.8	4.9	1.1	21.1	17.3	5.7	6.5	4.5	10.2	6.2
地域包括支援センター	6.5	15.7	12.7	9.4	9.5	0.8	1.6	3.0	12.9	5.7	0.0	9.9
通っている学校	5.7	0.0	0.8	1.2	0.7	22.4	28.6	3.0	0.0	1.3	6.1	3.7
障害者関係団体(親の会等)	3.2	4.3	3.4	3.0	1.5	11.8	5.4	3.4	6.5	2.5	2.0	1.2
民間の相談支援事業所	2.9	4.3	2.5	2.1	1.5	9.3	10.8	2.7	6.5	1.9	2.0	3.7
保健所	2.7	4.3	2.5	1.5	2.2	0.8	2.2	2.7	3.2	13.4	2.0	4.9
障害者就業・生活支援センター	2.2	0.0	0.8	0.3	1.8	5.9	3.8	4.4	0.0	0.6	0.0	0.0
社会福祉協議会(いきいきセンター)	1.8	1.4	1.7	3.3	2.9	0.8	1.1	1.7	0.0	2.5	0.0	2.5
地域生活支援拠点	1.8	0.0	0.8	1.2	1.5	4.2	4.3	2.4	3.2	1.9	0.0	0.0
身体・知的障害者相談員	1.6	4.3	3.4	2.4	1.1	5.9	2.2	1.4	0.0	0.6	0.0	0.0
通っている保育園・幼稚園・認定こども園	1.5	1.4	0.8	0.0	0.0	1.3	3.8	0.3	0.0	0.0	18.4	2.5
柏市こども発達センター	1.5	0.0	1.7	0.0	0.7	2.5	5.9	0.0	0.0	0.0	10.2	1.2
民間の児童発達支援事業所	1.5	0.0	0.0	0.3	0.0	3.0	7.6	0.0	0.0	0.0	10.2	1.2
あいネット(総合相談窓口)	1.4	0.0	0.0	0.3	0.4	1.3	1.1	4.4	0.0	0.0	0.0	2.5
基幹相談支援センター	0.8	0.0	0.0	0.3	0.4	3.4	1.6	1.0	0.0	1.3	0.0	1.2
就学相談の窓口	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0
児童相談所	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.5	0.3	0.0	0.0	2.0	0.0
若者サポートステーション	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.9	8.6	9.3	5.5	2.2	5.1	5.4	5.7	9.7	8.3	2.0	12.3
相談する必要がない	4.4	5.7	6.8	5.5	5.8	1.7	1.6	3.0	6.5	2.5	8.2	3.7
相談したいのにできていない	4.0	1.4	3.4	2.7	1.8	0.8	3.8	10.5	3.2	4.5	6.1	2.5
わからない	3.9	2.9	3.4	6.1	3.6	2.5	2.2	2.4	0.0	3.8	6.1	4.9

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	201	1	6	18	3	101	97	13	0	7	24	14
家族	75.6	100.0	33.3	77.8	100.0	76.2	79.4	61.5	0.0	71.4	75.0	64.3
友人・知人	34.3	100.0	16.7	55.6	33.3	30.7	34.0	38.5	0.0	14.3	37.5	42.9
医療機関	13.9	0.0	16.7	27.8	0.0	15.8	19.6	23.1	0.0	14.3	8.3	0.0
親族	18.4	0.0	0.0	11.1	0.0	16.8	21.6	15.4	0.0	28.6	33.3	14.3
市役所(保健所を除く窓口)	7.5	0.0	16.7	11.1	0.0	6.9	9.3	0.0	0.0	14.3	4.2	14.3
通所先	16.4	0.0	33.3	16.7	0.0	12.9	21.6	15.4	0.0	14.3	20.8	14.3
地域包括支援センター	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通っている学校	38.3	0.0	16.7	22.2	33.3	50.5	52.6	61.5	0.0	28.6	8.3	21.4
障害者関係団体(親の会等)	2.5	0.0	0.0	11.1	0.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
民間の相談支援事業所	8.5	0.0	16.7	16.7	33.3	12.9	11.3	0.0	0.0	14.3	4.2	14.3
保健所	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.1	0.0	0.0	14.3	4.2	7.1
障害者就業・生活支援センター	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
社会福祉協議会(いきいきセンター)	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域生活支援拠点	1.0	0.0	0.0	5.6	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
身体・知的障害者相談員	1.5	0.0	0.0	11.1	0.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通っている保育園・幼稚園・認定こども園	10.0	0.0	16.7	0.0	0.0	3.0	7.2	0.0	0.0	0.0	37.5	14.3
柏市こども発達センター	9.0	0.0	33.3	0.0	0.0	5.0	10.3	0.0	0.0	0.0	20.8	7.1
民間の児童発達支援事業所	10.4	0.0	0.0	5.6	0.0	5.9	14.4	0.0	0.0	0.0	20.8	7.1
あいネット(総合相談窓口)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
基幹相談支援センター	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	2.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
就学相談の窓口	2.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
児童相談所	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
若者サポートステーション	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
相談する必要がない	2.5	0.0	0.0	5.6	0.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
相談したいのにできていない	1.5	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	2.1	15.4	0.0	0.0	0.0	7.1
わからない	4.0	0.0	16.7	5.6	0.0	4.0	1.0	0.0	0.0	14.3	8.3	7.1

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	625	20	31	93	62	126	85	241	15	69	16	33
家族	59.4	75.0	61.3	59.1	69.4	55.6	58.8	55.6	80.0	73.9	43.8	51.5
友人・知人	30.6	45.0	35.5	26.9	38.7	29.4	27.1	27.4	13.3	43.5	43.8	33.3
医療機関	22.9	20.0	16.1	16.1	16.1	11.1	23.5	38.2	13.3	14.5	12.5	27.3
親族	11.8	0.0	9.7	14.0	17.7	6.3	9.4	7.9	6.7	20.3	12.5	27.3
市役所(保健所を除く窓口)	13.4	25.0	22.6	10.8	9.7	13.5	15.3	16.2	6.7	11.6	0.0	15.2
通所先	9.0	5.0	6.5	7.5	3.2	28.6	12.9	5.8	6.7	2.9	0.0	6.1
地域包括支援センター	1.8	5.0	3.2	2.2	0.0	0.0	0.0	2.1	6.7	1.4	0.0	3.0
通っている学校	1.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	2.4	0.4	0.0	0.0	6.3	0.0
障害者関係団体(親の会等)	5.1	10.0	6.5	5.4	3.2	19.0	10.6	3.7	6.7	4.3	0.0	0.0
民間の相談支援事業所	3.4	10.0	3.2	3.2	1.6	7.1	10.6	3.3	6.7	0.0	0.0	0.0
保健所	2.2	0.0	0.0	0.0	3.2	0.8	2.4	2.9	0.0	8.7	0.0	3.0
障害者就業・生活支援センター	3.4	0.0	3.2	0.0	3.2	7.1	7.1	4.6	0.0	1.4	0.0	0.0
社会福祉協議会(いきいきセンター)	1.6	5.0	0.0	1.1	1.6	0.8	2.4	2.1	0.0	2.9	0.0	3.0
地域生活支援拠点	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	8.2	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
身体・知的障害者相談員	2.1	5.0	6.5	2.2	1.6	7.9	3.5	1.7	0.0	1.4	0.0	0.0
通っている保育園・幼稚園・認定こども園	0.3	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
柏市こども発達センター	0.6	0.0	0.0	0.0	3.2	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民間の児童発達支援事業所	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
あいネット(総合相談窓口)	2.9	0.0	0.0	1.1	0.0	2.4	2.4	5.4	0.0	0.0	0.0	3.0
基幹相談支援センター	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0	3.2	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	3.0
就学相談の窓口	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童相談所	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
若者サポートステーション	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.1	5.0	12.9	6.5	1.6	7.1	5.9	6.2	6.7	4.3	6.3	15.2
相談する必要がない	3.8	0.0	0.0	7.5	8.1	0.8	2.4	3.3	6.7	0.0	12.5	3.0
相談したいのにできていない	6.6	0.0	6.5	5.4	1.6	0.8	5.9	11.6	0.0	2.9	12.5	3.0
わからない	3.2	0.0	6.5	6.5	0.0	1.6	3.5	2.5	0.0	2.9	6.3	3.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	616	48	78	211	205	9	2	40	16	79	9	32
家族	64.1	56.3	52.6	59.7	67.8	44.4	100.0	65.0	50.0	63.3	77.8	59.4
友人・知人	18.3	16.7	15.4	17.5	19.5	11.1	0.0	25.0	12.5	16.5	22.2	18.8
医療機関	15.1	12.5	16.7	9.0	18.0	0.0	0.0	35.0	6.3	24.1	11.1	18.8
親族	17.0	16.7	10.3	19.9	16.6	22.2	0.0	15.0	18.8	19.0	0.0	28.1
市役所(保健所を除く窓口)	11.5	10.4	23.1	10.9	11.7	11.1	0.0	15.0	18.8	8.9	0.0	9.4
通所先	2.3	0.0	5.1	2.8	0.5	11.1	0.0	2.5	6.3	5.1	0.0	3.1
地域包括支援センター	13.0	20.8	17.9	13.3	12.7	11.1	50.0	10.0	18.8	10.1	0.0	18.8
通っている学校	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害者関係団体(親の会等)	1.6	2.1	2.6	1.4	1.0	11.1	0.0	2.5	6.3	1.3	0.0	3.1
民間の相談支援事業所	0.6	2.1	1.3	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	6.3	2.5	0.0	3.1
保健所	3.2	6.3	3.8	1.9	2.0	0.0	0.0	2.5	6.3	16.5	0.0	6.3
障害者就業・生活支援センター	1.1	0.0	0.0	0.5	1.5	22.2	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
社会福祉協議会(いきいきセンター)	2.4	0.0	2.6	4.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0
地域生活支援拠点	1.8	0.0	1.3	1.4	2.0	11.1	0.0	5.0	6.3	3.8	0.0	0.0
身体・知的障害者相談員	1.3	4.2	2.6	1.9	1.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通っている保育園・幼稚園・認定こども園	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
柏市こども発達センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民間の児童発達支援事業所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
あいネット(総合相談窓口)	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
基幹相談支援センター	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0
就学相談の窓口	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童相談所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
若者サポートステーション	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.4	10.4	9.0	5.7	2.4	0.0	0.0	5.0	12.5	12.7	0.0	12.5
相談する必要がある	5.4	8.3	10.3	4.7	4.9	0.0	0.0	2.5	6.3	3.8	0.0	6.3
相談したいのにできていない	2.3	2.1	1.3	1.9	2.0	11.1	0.0	2.5	6.3	6.3	11.1	0.0
わからない	4.5	4.2	1.3	6.2	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	6.3

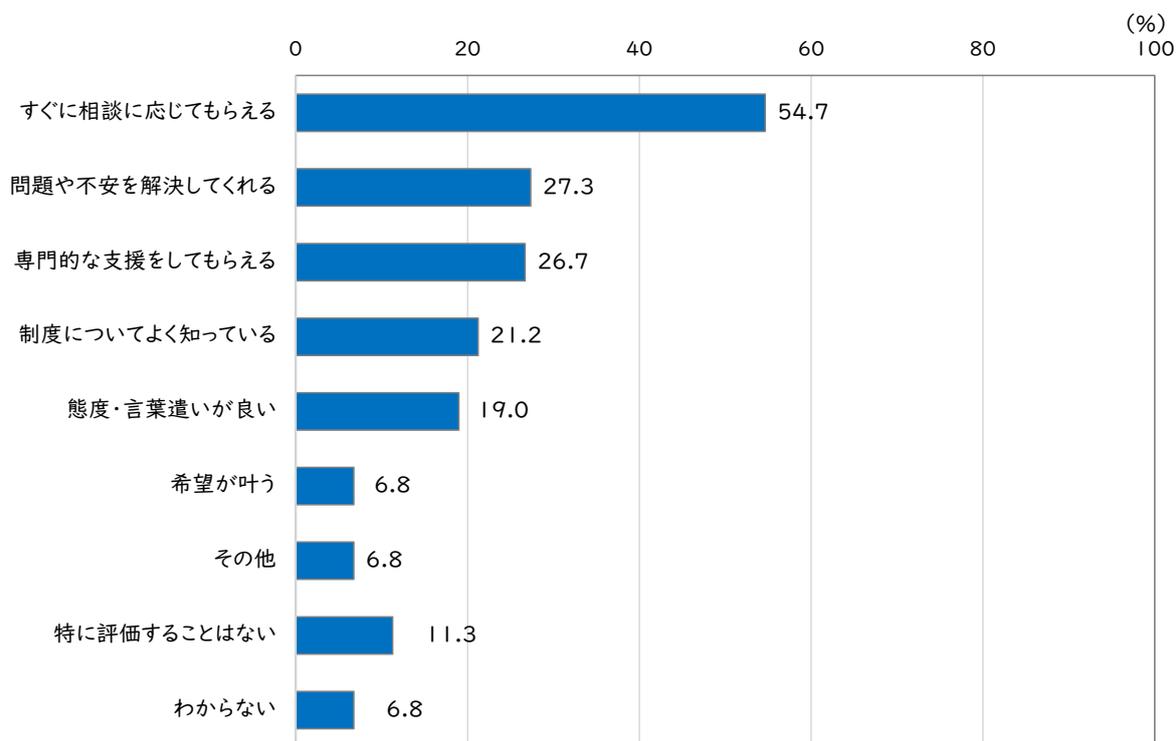
問27. 利用している相談先に関して評価していることはありますか(○はいくつでも)。

(問26で「1.友人・知人」「2.家族」「3.親族」「25.相談する必要がない」「26.相談したいのにできていない」「27.わからない」と答えた方以外の方にお伺いします。)

全体 「すぐに相談に応じてもらえる」が最も多く5割半ば、続いて「問題や不安を解決してくれる」が2割後半となっています。

属性別 障害種別に見ると、発達障害では「すぐに相談に応じてもらえる」が6割後半、精神障害では「問題や不安を解決してくれる」が4割前半と多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	311	12	28	55	38	82	63	82	6	25	11	22
すぐに相談に応じてもらえる	54.7	66.7	85.7	50.9	42.1	61.0	68.3	50.0	50.0	60.0	72.7	59.1
問題や不安を解決してくれる	27.3	16.7	21.4	18.2	15.8	30.5	31.7	40.2	16.7	24.0	45.5	27.3
専門的な支援をしてもらえる	26.7	16.7	25.0	16.4	15.8	20.7	33.3	39.0	33.3	36.0	36.4	27.3
制度についてよく知っている	21.2	16.7	21.4	20.0	13.2	26.8	25.4	30.5	16.7	16.0	27.3	13.6
態度・言葉遣いが良い	19.0	16.7	28.6	18.2	13.2	18.3	22.2	24.4	16.7	28.0	27.3	22.7
希望が叶う	6.8	0.0	7.1	7.3	7.9	6.1	6.3	8.5	0.0	16.0	9.1	13.6
その他	6.8	0.0	10.7	7.3	2.6	12.2	4.8	2.4	0.0	4.0	0.0	27.3
特に評価することはない	11.3	0.0	0.0	20.0	18.4	8.5	7.9	11.0	16.7	16.0	9.1	9.1
わからない	6.8	25.0	7.1	1.8	2.6	6.1	6.3	8.5	33.3	8.0	0.0	0.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	66	0	2	6	1	34	32	2	0	3	10	6
すぐに相談に応じてもらえる	68.2	0.0	100.0	66.7	100.0	64.7	75.0	100.0	0.0	100.0	80.0	33.3
問題や不安を解決してくれる	31.8	0.0	0.0	16.7	0.0	41.2	31.3	0.0	0.0	33.3	40.0	33.3
専門的な支援をしてもらえる	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	26.5	34.4	50.0	0.0	33.3	40.0	50.0
制度についてよく知っている	24.2	0.0	50.0	16.7	0.0	35.3	25.0	0.0	0.0	33.3	30.0	16.7
態度・言葉遣いが良い	19.7	0.0	50.0	16.7	0.0	14.7	12.5	0.0	0.0	33.3	30.0	33.3
希望が叶う	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	3.1	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
その他	7.6	0.0	0.0	16.7	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
特に評価することはない	4.5	0.0	0.0	16.7	0.0	2.9	3.1	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
わからない	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	159	5	7	22	12	46	31	73	2	8	1	9
すぐに相談に応じてもらえる	47.8	60.0	100.0	50.0	41.7	56.5	61.3	46.6	50.0	25.0	0.0	55.6
問題や不安を解決してくれる	27.0	20.0	0.0	13.6	16.7	19.6	32.3	39.7	0.0	12.5	100.0	11.1
専門的な支援をしてもらえる	27.0	20.0	28.6	9.1	16.7	15.2	32.3	39.7	0.0	37.5	0.0	22.2
制度についてよく知っている	23.3	20.0	28.6	13.6	16.7	19.6	25.8	31.5	0.0	12.5	0.0	11.1
態度・言葉遣いが良い	21.4	40.0	57.1	22.7	8.3	21.7	32.3	26.0	50.0	25.0	0.0	22.2
希望が叶う	6.9	0.0	0.0	4.5	8.3	6.5	9.7	9.6	0.0	12.5	0.0	22.2
その他	8.2	0.0	28.6	4.5	8.3	15.2	9.7	2.7	0.0	0.0	0.0	33.3
特に評価することはない	13.8	0.0	0.0	27.3	16.7	13.0	12.9	12.3	0.0	25.0	0.0	11.1
わからない	7.5	20.0	0.0	0.0	8.3	4.3	6.5	8.2	50.0	25.0	0.0	0.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	84	7	19	26	24	2	0	7	4	14	0	7
すぐに相談に応じてもらえる	57.1	71.4	78.9	46.2	41.7	100.0	0.0	71.4	50.0	71.4	0.0	85.7
問題や不安を解決してくれる	25.0	14.3	31.6	23.1	16.7	100.0	0.0	57.1	25.0	28.6	0.0	42.9
専門的な支援をしてもらえる	21.4	14.3	21.1	26.9	16.7	50.0	0.0	28.6	50.0	35.7	0.0	14.3
制度についてよく知っている	15.5	14.3	15.8	26.9	12.5	50.0	0.0	28.6	25.0	14.3	0.0	14.3
態度・言葉遣いが良い	14.3	0.0	15.8	15.4	16.7	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3
希望が叶う	8.3	0.0	10.5	11.5	8.3	50.0	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	14.3
その他	3.6	0.0	5.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3
特に評価することはない	10.7	0.0	0.0	15.4	16.7	0.0	0.0	0.0	25.0	14.3	0.0	14.3
わからない	6.0	28.6	10.5	3.8	0.0	0.0	0.0	14.3	25.0	0.0	0.0	0.0

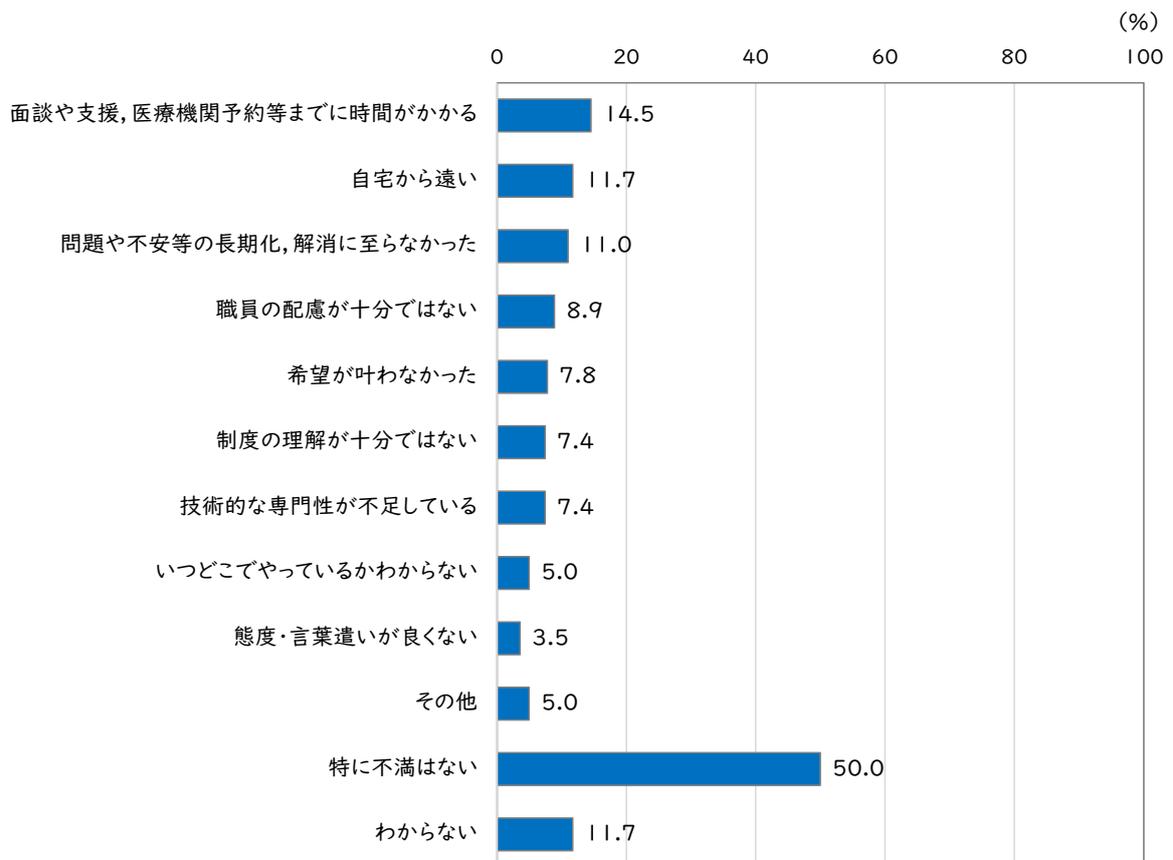
問28. 利用している相談先に関する不満はありますか(○はいくつでも)。

(問26で「1.友人・知人」「2.家族」「3.親族」「25.相談する必要がない」「26.相談したいのにできていない」「27.わからない」と答えた方以外の方にお伺いします。)

全体 「面談や支援, 医療機関予約等までに時間がかかる」が1割半ばとなっています。一方, 「特に不満はない」が最も多く5割となっています。

属性別 障害種別に見ると, 肢体不自由では「特に不満はない」が6割半ばと多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	282	12	24	45	36	71	59	76	4	25	12	19
面談や支援,医療機関予約等までに時間がかかる	14.5	0.0	12.5	11.1	5.6	7.0	20.3	23.7	0.0	8.0	0.0	31.6
自宅から遠い	11.7	0.0	4.2	13.3	5.6	9.9	18.6	17.1	0.0	4.0	8.3	10.5
問題や不安等の長期化,解消に至らなかった	11.0	0.0	8.3	6.7	8.3	14.1	16.9	17.1	0.0	16.0	8.3	21.1
職員の配慮が十分ではない	8.9	16.7	0.0	4.4	11.1	7.0	13.6	14.5	0.0	12.0	0.0	21.1
希望が叶わなかった	7.8	0.0	12.5	6.7	8.3	9.9	11.9	13.2	0.0	8.0	8.3	15.8
制度の理解が十分ではない	7.4	0.0	0.0	4.4	5.6	8.5	11.9	11.8	0.0	16.0	0.0	15.8
技術的な専門性が不足している	7.4	0.0	0.0	6.7	11.1	9.9	13.6	6.6	0.0	12.0	16.7	10.5
いつどこでやっているかわからない	5.0	0.0	8.3	4.4	5.6	4.2	3.4	6.6	0.0	12.0	0.0	0.0
態度・言葉遣いが良くない	3.5	8.3	0.0	6.7	2.8	2.8	5.1	7.9	0.0	8.0	0.0	0.0
その他	5.0	8.3	4.2	0.0	8.3	5.6	3.4	2.6	0.0	8.0	0.0	15.8
特に不満はない	50.0	41.7	45.8	64.4	55.6	56.3	40.7	39.5	75.0	48.0	66.7	36.8
わからない	11.7	33.3	20.8	6.7	11.1	8.5	11.9	18.4	25.0	16.0	0.0	10.5

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	64	0	2	6	1	30	33	1	0	3	11	6
面談や支援,医療機関予約等までに時間がかかる	17.2	0.0	0.0	16.7	0.0	6.7	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
自宅から遠い	15.6	0.0	0.0	16.7	0.0	13.3	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
問題や不安等の長期化,解消に至らなかった	4.7	0.0	0.0	33.3	0.0	3.3	3.0	0.0	0.0	33.3	9.1	0.0
職員の配慮が十分ではない	6.3	0.0	0.0	16.7	0.0	3.3	9.1	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7
希望が叶わなかった	4.7	0.0	0.0	33.3	0.0	3.3	3.0	0.0	0.0	33.3	9.1	0.0
制度の理解が十分ではない	6.3	0.0	0.0	33.3	0.0	3.3	6.1	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7
技術的な専門性が不足している	10.9	0.0	0.0	33.3	0.0	3.3	12.1	0.0	0.0	33.3	18.2	16.7
いつどこでやっているかわからない	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
態度・言葉遣いが良くない	1.6	0.0	0.0	16.7	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
その他	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
特に不満はない	53.1	0.0	100.0	16.7	100.0	60.0	51.5	0.0	0.0	33.3	72.7	33.3
わからない	10.9	0.0	0.0	16.7	0.0	13.3	15.2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	148	5	8	19	11	40	26	71	2	9	1	11
面談や支援,医療機関予約等までに時間がかかる	17.6	0.0	0.0	10.5	9.1	7.5	23.1	25.4	0.0	22.2	0.0	18.2
自宅から遠い	13.5	0.0	0.0	15.8	9.1	7.5	19.2	18.3	0.0	11.1	100.0	0.0
問題や不安等の長期化,解消に至らなかった	16.9	0.0	25.0	5.3	9.1	22.5	34.6	18.3	0.0	11.1	0.0	36.4
職員の配慮が十分ではない	10.8	0.0	0.0	5.3	9.1	10.0	19.2	15.5	0.0	11.1	0.0	27.3
希望が叶わなかった	12.2	0.0	37.5	5.3	18.2	15.0	23.1	14.1	0.0	11.1	0.0	27.3
制度の理解が十分ではない	8.8	0.0	0.0	0.0	9.1	12.5	19.2	11.3	0.0	11.1	0.0	18.2
技術的な専門性が不足している	7.4	0.0	0.0	5.3	9.1	15.0	15.4	7.0	0.0	11.1	0.0	9.1
いつどこでやっているかわからない	5.4	0.0	0.0	5.3	9.1	5.0	3.8	7.0	0.0	33.3	0.0	0.0
態度・言葉遣いが良くない	5.4	0.0	0.0	10.5	9.1	2.5	11.5	8.5	0.0	11.1	0.0	0.0
その他	6.1	0.0	12.5	0.0	9.1	7.5	3.8	2.8	0.0	0.0	0.0	27.3
特に不満はない	46.6	60.0	50.0	68.4	63.6	52.5	26.9	39.4	100.0	33.3	0.0	36.4
わからない	10.8	40.0	12.5	5.3	9.1	5.0	7.7	16.9	0.0	22.2	0.0	9.1

(単位:%)

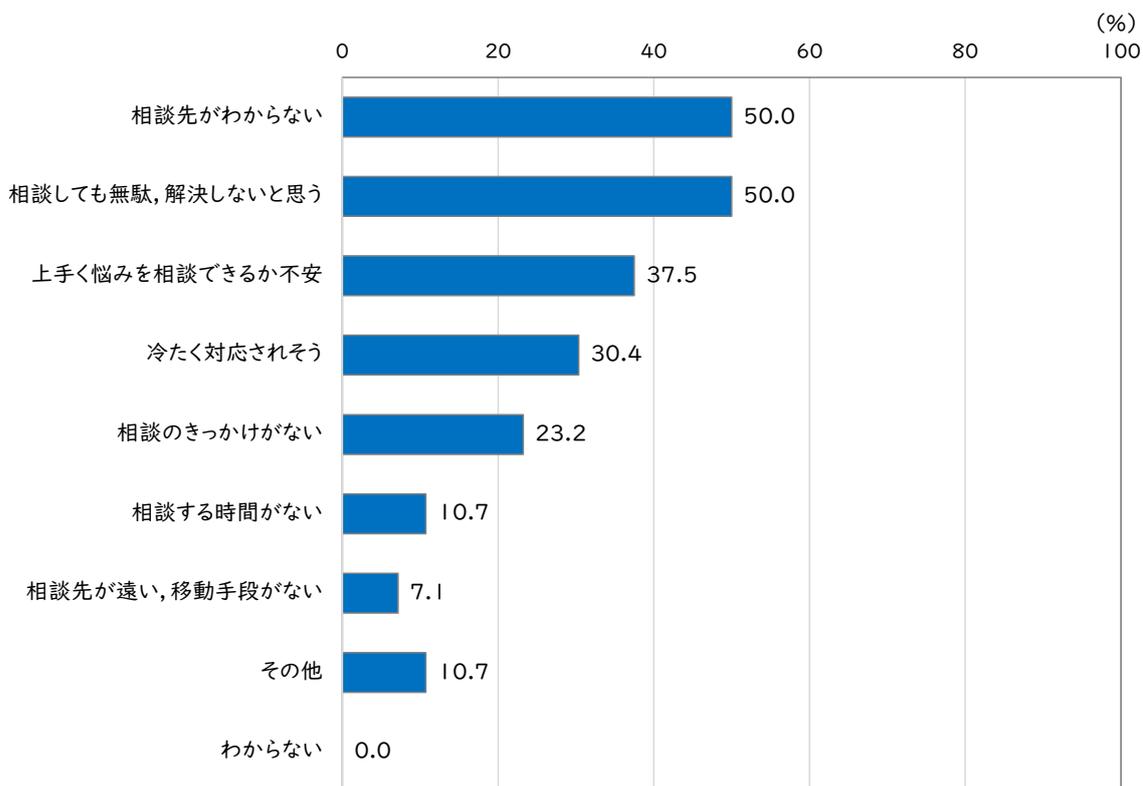
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	69	7	14	20	24	0	0	4	2	13	0	2
面談や支援,医療機関予約等までに時間がかかる	5.8	0.0	21.4	10.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自宅から遠い	4.3	0.0	7.1	10.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問題や不安等の長期化,解消に至らなかった	4.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0
職員の配慮が十分ではない	7.2	28.6	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
希望が叶わなかった	1.4	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
制度の理解が十分ではない	5.8	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	25.0	0.0	15.4	0.0	0.0
技術的な専門性が不足している	4.3	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
いつどこでやっているかわからない	5.8	0.0	14.3	5.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
態度・言葉遣いが良くない	1.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.8	14.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
特に不満はない	53.6	28.6	35.7	75.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	61.5	0.0	50.0
わからない	14.5	28.6	28.6	5.0	12.5	0.0	0.0	25.0	50.0	15.4	0.0	50.0

問29. 相談できていないのはどのような理由からですか(〇はいくつでも)。

(問26で「26. 相談したいのにできていない」と答えた方にお伺いします。)

全体 回答母数が少ないですが、「相談先がわからない」と「相談しても無駄, 解決しないと思う」が最も多く5割となっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	56	0	4	8	4	2	7	31	1	6	3	1
相談先がわからない	50.0	0.0	25.0	75.0	50.0	50.0	42.9	45.2	100.0	66.7	33.3	0.0
相談しても無駄, 解決しないと思う	50.0	0.0	50.0	50.0	25.0	50.0	57.1	64.5	0.0	16.7	33.3	0.0
上手く悩みを相談できるか不安	37.5	0.0	25.0	37.5	50.0	50.0	14.3	35.5	0.0	0.0	100.0	0.0
冷たく対応されそう	30.4	0.0	25.0	37.5	25.0	0.0	0.0	35.5	0.0	16.7	0.0	0.0
相談のきっかけがない	23.2	0.0	25.0	25.0	50.0	50.0	28.6	12.9	0.0	33.3	0.0	0.0
相談する時間がない	10.7	0.0	0.0	12.5	25.0	50.0	0.0	6.5	0.0	0.0	33.3	0.0
相談先が遠い, 移動手段がない	7.1	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10.7	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	14.3	9.7	100.0	0.0	0.0	100.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	3	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	1
相談先がわからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談しても無駄, 解決しない と思う	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
上手く悩みを相談できるか 不安	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
冷たく対応されそう	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談のきっかけがない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談する時間がない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談先が遠い, 移動手段が ない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	40	0	2	4	1	1	5	28	0	1	2	0
相談先がわからない	50.0	0.0	0.0	75.0	0.0	100.0	60.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
相談しても無駄, 解決しない と思う	57.5	0.0	50.0	75.0	0.0	0.0	60.0	64.3	0.0	0.0	50.0	0.0
上手く悩みを相談できるか 不安	42.5	0.0	50.0	50.0	100.0	100.0	20.0	35.7	0.0	0.0	100.0	0.0
冷たく対応されそう	42.5	0.0	50.0	75.0	100.0	0.0	0.0	39.3	0.0	100.0	0.0	0.0
相談のきっかけがない	22.5	0.0	50.0	25.0	100.0	100.0	40.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
相談する時間がない	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0	7.1	0.0	0.0	50.0	0.0
相談先が遠い, 移動手段が ない	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

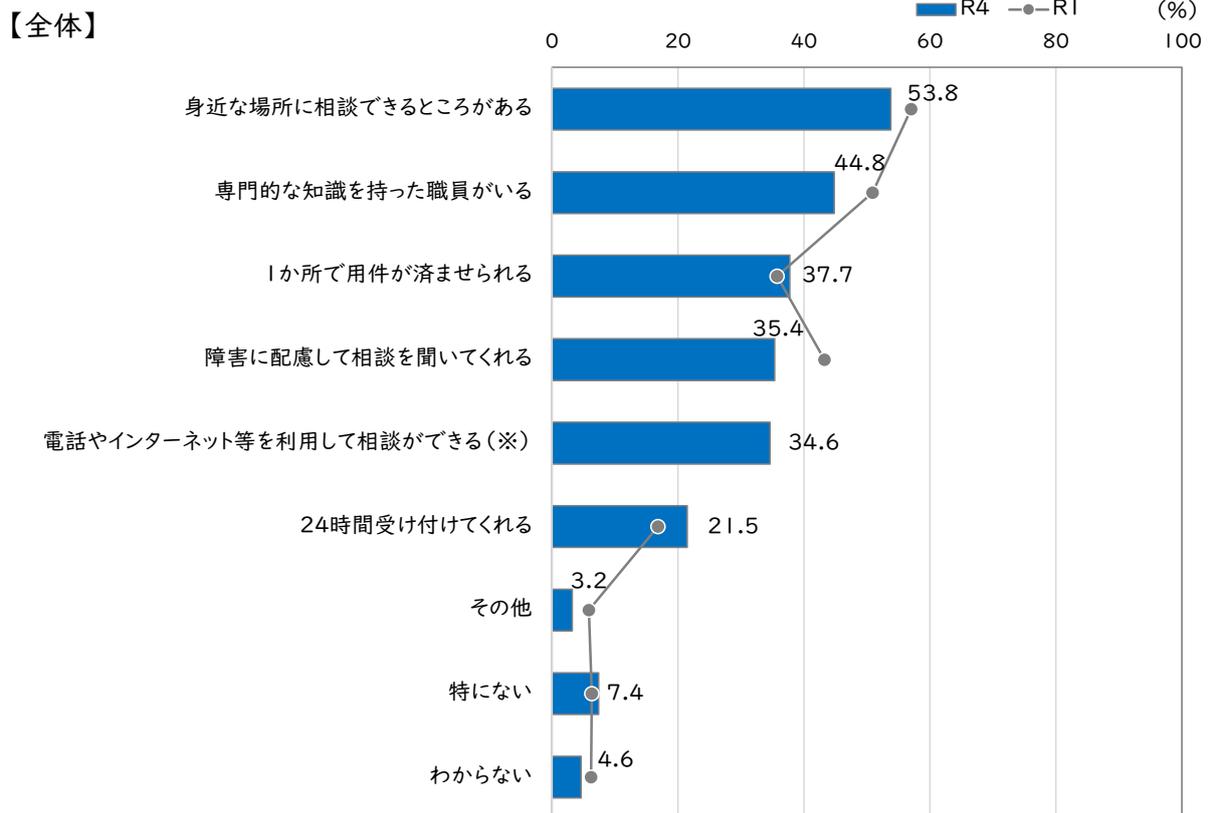
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	13	0	1	4	3	1	0	1	1	5	1	0
相談先がわからない	61.5	0.0	100.0	75.0	66.7	0.0	0.0	0.0	100.0	80.0	0.0	0.0
相談しても無駄, 解決しない と思う	30.8	0.0	0.0	25.0	33.3	100.0	0.0	100.0	0.0	20.0	0.0	0.0
上手く悩みを相談できるか 不安	30.8	0.0	0.0	25.0	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
冷たく対応されそう	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談のきっかけがない	30.8	0.0	0.0	25.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
相談する時間がない	7.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談先が遠い, 移動手段が ない	7.7	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.7	0.0	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問30. あなたが必要な時に気軽に相談するために必要だと思うことは何ですか

(○はいくつでも)。

全体 「身近な場所に相談できるところがある」が最も多く5割前半, 続いて「専門的な知識を持った職員がいる」が4割半ばとなっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが, 前回調査と比べ, 大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると, 発達障害と精神障害では「専門的な知識を持った職員がいる」が5割台と多くなっています。



(※) 選択肢を新設

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,431	68	113	315	264	231	183	294	29	154	49	82
身近な場所に相談できるところがある	53.8	51.5	47.8	51.7	46.2	57.1	61.2	58.8	69.0	60.4	57.1	57.3
専門的な知識を持った職員がいる	44.8	45.6	38.9	43.2	39.4	47.2	59.0	55.4	44.8	47.4	51.0	40.2
1か所で用件が済ませられる	37.7	44.1	43.4	42.2	36.4	36.4	35.0	36.7	41.4	47.4	34.7	35.4
障害に配慮して相談を聞いてくれる	35.4	41.2	44.2	28.6	22.7	49.4	50.3	50.0	31.0	31.2	30.6	34.1
電話やインターネット等を利用して相談ができる	34.6	26.5	22.1	34.0	28.4	32.5	46.4	46.6	27.6	44.2	40.8	28.0
24時間受け付けてくれる	21.5	22.1	20.4	16.8	15.9	18.2	23.5	30.6	24.1	26.0	24.5	20.7
その他	3.2	0.0	2.7	1.6	3.4	2.6	6.6	4.4	3.4	4.5	2.0	7.3
特にない	7.4	10.3	10.6	8.3	9.8	3.5	2.2	4.4	0.0	6.5	8.2	11.0
わからない	4.6	7.4	8.0	4.4	2.7	6.5	5.5	3.7	6.9	5.2	0.0	3.7

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	195	1	6	17	3	97	96	13	0	7	24	13
身近な場所に相談できるところがある	64.1	100.0	50.0	64.7	66.7	61.9	64.6	53.8	0.0	85.7	70.8	53.8
専門的な知識を持った職員がいる	56.9	100.0	83.3	70.6	33.3	51.5	62.5	53.8	0.0	71.4	70.8	46.2
1か所で用件が済ませられる	39.0	0.0	50.0	47.1	0.0	41.2	35.4	53.8	0.0	57.1	54.2	38.5
障害に配慮して相談を聞いてくれる	44.1	0.0	50.0	29.4	0.0	48.5	50.0	53.8	0.0	71.4	41.7	30.8
電話やインターネット等を利用して相談ができる	38.5	0.0	16.7	41.2	33.3	35.1	47.9	38.5	0.0	57.1	33.3	30.8
24時間受け付けてくれる	19.5	0.0	16.7	17.6	0.0	19.6	19.8	7.7	0.0	0.0	25.0	15.4
その他	4.6	0.0	0.0	17.6	0.0	3.1	5.2	0.0	0.0	14.3	0.0	15.4
特にない	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	7.7	0.0	16.7	11.8	33.3	11.3	4.2	7.7	0.0	14.3	0.0	7.7

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	626	20	31	92	61	124	84	240	16	70	16	33
身近な場所に相談できるところがある	55.3	65.0	48.4	51.1	45.9	55.6	56.0	60.0	68.8	62.9	31.3	66.7
専門的な知識を持った職員がいる	50.2	60.0	35.5	46.7	47.5	46.0	56.0	58.8	43.8	62.9	31.3	54.5
1か所で用件が済ませられる	39.3	50.0	54.8	51.1	45.9	33.9	34.5	38.3	43.8	48.6	18.8	36.4
障害に配慮して相談を聞いてくれる	44.6	70.0	41.9	41.3	32.8	52.4	51.2	52.9	18.8	40.0	18.8	51.5
電話やインターネット等を利用して相談ができる	43.6	45.0	32.3	52.2	39.3	31.5	45.2	50.4	43.8	54.3	56.3	45.5
24時間受け付けてくれる	28.4	30.0	25.8	26.1	26.2	18.5	26.2	35.4	18.8	34.3	31.3	30.3
その他	4.0	0.0	3.2	0.0	1.6	2.4	8.3	5.4	0.0	4.3	6.3	6.1
特にない	4.8	10.0	6.5	2.2	8.2	4.8	3.6	2.5	0.0	0.0	25.0	12.1
わからない	4.8	0.0	16.1	4.3	3.3	3.2	7.1	3.8	6.3	5.7	0.0	3.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	590	46	73	199	197	9	2	39	13	75	9	34
身近な場所に相談できるところがある	49.3	43.5	47.9	51.8	46.2	33.3	100.0	56.4	69.2	56.0	66.7	50.0
専門的な知識を持った職員がいる	35.6	37.0	38.4	39.2	37.6	22.2	0.0	38.5	46.2	30.7	33.3	26.5
1か所で用件が済ませられる	36.3	41.3	39.7	39.2	34.0	22.2	0.0	23.1	38.5	46.7	11.1	32.4
障害に配慮して相談を聞いてくれる	23.2	28.3	46.6	23.6	20.3	22.2	0.0	30.8	46.2	20.0	22.2	17.6
電話やインターネット等を利用して相談ができる	23.2	17.4	19.2	24.6	24.4	11.1	0.0	25.6	7.7	33.3	33.3	8.8
24時間受け付けてくれる	14.7	19.6	17.8	12.1	13.2	0.0	50.0	10.3	30.8	20.0	11.1	14.7
その他	2.0	0.0	2.7	1.0	4.1	0.0	0.0	0.0	7.7	4.0	0.0	5.9
特にない	12.5	10.9	13.7	12.1	10.7	22.2	0.0	17.9	0.0	12.0	0.0	14.7
わからない	3.2	10.9	2.7	3.5	2.0	0.0	0.0	2.6	7.7	4.0	0.0	2.9

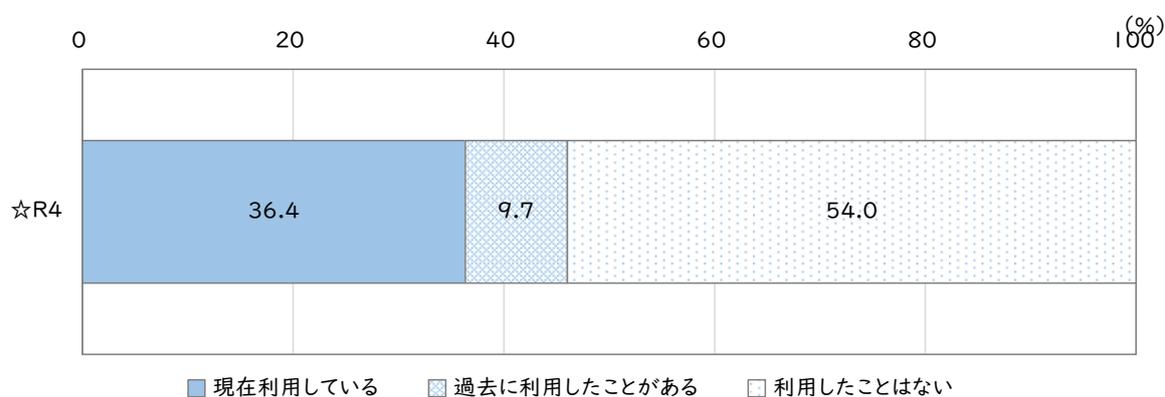
暮らしを支えるサービス

問31. 障害福祉サービスを利用したことがありますか(○はひとつ)。

全体 「現在利用している」が3割半ば,「過去に利用したことがある」が1割未満,「利用したことはない」が5割半ばとなっています。

属性別 障害種別に見ると,知的障害,発達障害,高次脳障害では「現在利用している」が5割前半~6割後半で,他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,447	67	113	326	271	235	183	288	31	158	49	81
現在利用している	36.4	37.3	44.2	38.0	32.8	62.6	67.2	29.5	51.6	22.8	32.7	29.6
過去に利用したことがある	9.7	9.0	12.4	9.8	3.7	13.2	10.9	16.0	12.9	1.9	8.2	11.1
利用したことはない	54.0	53.7	43.4	52.1	63.5	24.3	21.9	54.5	35.5	75.3	59.2	59.3

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	202	1	6	18	3	100	99	13	0	7	24	14
現在利用している	69.8	0.0	50.0	77.8	33.3	71.0	81.8	61.5	0.0	100.0	58.3	78.6
過去に利用したことがある	6.4	0.0	16.7	0.0	0.0	7.0	3.0	0.0	0.0	0.0	12.5	14.3
利用したことはない	23.8	100.0	33.3	22.2	66.7	22.0	15.2	38.5	0.0	0.0	29.2	7.1

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	618	20	29	93	62	125	81	234	15	70	16	32
現在利用している	32.0	50.0	58.6	34.4	29.0	56.8	49.4	28.2	46.7	15.7	12.5	28.1
過去に利用したことがある	13.8	5.0	13.8	10.8	4.8	16.0	21.0	18.8	13.3	2.9	6.3	12.5
利用したことはない	54.2	45.0	27.6	54.8	66.1	27.2	29.6	53.0	40.0	81.4	81.3	59.4

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	607	45	75	209	203	9	2	38	16	79	9	33
現在利用している	29.7	31.1	38.7	35.9	33.5	55.6	50.0	26.3	56.3	22.8	0.0	12.1
過去に利用したことがある	6.8	11.1	12.0	10.5	3.4	33.3	0.0	5.3	12.5	1.3	0.0	9.1
利用したことはない	63.6	57.8	49.3	53.6	63.1	11.1	50.0	68.4	31.3	75.9	100.0	78.8

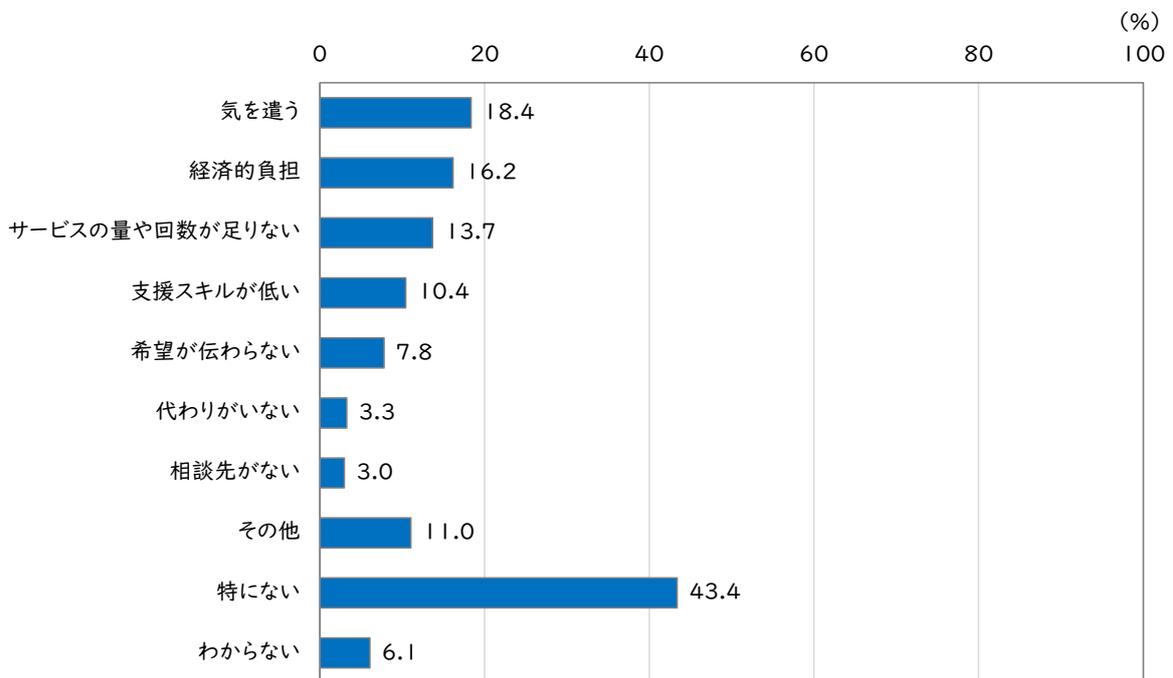
問32. サービスを利用する上で困ったことはありますか(〇はいくつでも)。

(問31で「1. 現在利用している」「2. 過去に利用したことがある」と答えた方にお伺いします。)

全体 「気を遣う」が1割後半, 続いて「経済的負担」が1割半ば, 「サービスの量や回数が足りない」と「支援スキルが低い」が1割前半となっています。一方, 「特にない」が4割前半となっています。また, 「その他」が1割前半となっており, 「申請手続きに手間がかかる」, 「自分に合うサービスがない」等の意見が挙げられています。

属性別 障害種別に見ると, 精神障害では「気を遣う」が3割半ばで, 他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位: %)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	643	30	61	149	95	173	141	128	18	38	20	32
気を遣う	18.4	23.3	11.5	18.1	9.5	15.6	19.1	35.2	16.7	13.2	5.0	21.9
経済的負担	16.2	10.0	21.3	20.1	11.6	9.2	12.8	25.0	22.2	18.4	10.0	25.0
サービスの量や回数が足りない	13.7	13.3	9.8	14.1	10.5	16.2	22.0	11.7	5.6	15.8	10.0	15.6
支援スキルが低い	10.4	20.0	4.9	10.1	6.3	6.4	16.3	19.5	5.6	5.3	10.0	12.5
希望が伝わらない	7.8	6.7	3.3	7.4	2.1	9.8	9.9	14.1	5.6	7.9	5.0	6.3
代わりがない	3.3	3.3	3.3	1.3	0.0	5.2	6.4	5.5	5.6	2.6	0.0	6.3
相談先がない	3.0	0.0	0.0	2.0	1.1	2.3	3.5	7.0	0.0	0.0	0.0	3.1
その他	11.0	10.0	9.8	9.4	7.4	8.7	15.6	10.2	22.2	15.8	30.0	28.1
特にない	43.4	40.0	49.2	42.3	62.1	46.2	37.6	28.9	27.8	39.5	45.0	34.4
わからない	6.1	6.7	6.6	6.0	5.3	8.7	4.3	7.0	5.6	13.2	5.0	3.1

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	152	0	4	13	1	78	83	8	0	7	17	13
気を遣う	7.9	0.0	0.0	7.7	100.0	6.4	9.6	12.5	0.0	0.0	0.0	7.7
経済的負担	11.2	0.0	25.0	7.7	0.0	6.4	10.8	0.0	0.0	14.3	11.8	30.8
サービスの量や回数が足りない	13.2	0.0	0.0	7.7	0.0	12.8	16.9	0.0	0.0	0.0	11.8	15.4
支援スキルが低い	8.6	0.0	0.0	15.4	0.0	3.8	10.8	12.5	0.0	14.3	5.9	15.4
希望が伝わらない	5.3	0.0	0.0	15.4	0.0	6.4	4.8	12.5	0.0	14.3	5.9	0.0
代わりがいない	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談先がない	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	16.4	0.0	0.0	23.1	0.0	10.3	16.9	12.5	0.0	28.6	29.4	23.1
特にない	45.4	0.0	25.0	30.8	0.0	53.8	43.4	50.0	0.0	14.3	41.2	46.2
わからない	9.2	0.0	50.0	23.1	0.0	10.3	6.0	12.5	0.0	42.9	5.9	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	277	11	21	42	21	86	56	109	9	13	3	13
気を遣う	29.2	27.3	19.0	23.8	14.3	24.4	33.9	40.4	11.1	30.8	33.3	38.5
経済的負担	19.9	9.1	19.0	21.4	9.5	11.6	16.1	28.4	22.2	30.8	0.0	15.4
サービスの量や回数が足りない	15.2	0.0	14.3	21.4	14.3	19.8	30.4	13.8	11.1	7.7	0.0	23.1
支援スキルが低い	15.9	36.4	4.8	16.7	4.8	9.3	25.0	22.0	11.1	0.0	33.3	15.4
希望が伝わらない	13.4	18.2	4.8	14.3	4.8	14.0	16.1	15.6	11.1	7.7	0.0	15.4
代わりがいない	6.5	9.1	4.8	4.8	0.0	9.3	14.3	6.4	11.1	0.0	0.0	15.4
相談先がない	5.1	0.0	0.0	4.8	4.8	2.3	5.4	8.3	0.0	0.0	0.0	7.7
その他	10.5	0.0	4.8	11.9	9.5	8.1	14.3	11.0	22.2	23.1	33.3	23.1
特にない	34.3	27.3	57.1	42.9	61.9	38.4	28.6	22.0	33.3	38.5	66.7	23.1
わからない	4.0	9.1	0.0	0.0	0.0	7.0	1.8	6.4	0.0	0.0	0.0	7.7

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	206	18	35	91	71	8	1	10	9	18	0	6
気を遣う	12.1	22.2	8.6	17.6	7.0	12.5	0.0	0.0	22.2	5.6	0.0	16.7
経済的負担	14.1	11.1	20.0	19.8	11.3	12.5	0.0	10.0	22.2	11.1	0.0	33.3
サービスの量や回数が足りない	12.6	22.2	8.6	12.1	9.9	12.5	0.0	0.0	0.0	27.8	0.0	0.0
支援スキルが低い	4.9	11.1	5.7	6.6	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
希望が伝わらない	2.4	0.0	2.9	3.3	1.4	0.0	100.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
代わりがいない	0.5	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
相談先がない	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.3	16.7	14.3	6.6	7.0	0.0	0.0	0.0	22.2	5.6	0.0	50.0
特になし	53.4	44.4	48.6	44.0	63.4	50.0	0.0	80.0	22.2	50.0	0.0	33.3
わからない	6.8	5.6	5.7	6.6	7.0	12.5	0.0	10.0	11.1	11.1	0.0	0.0

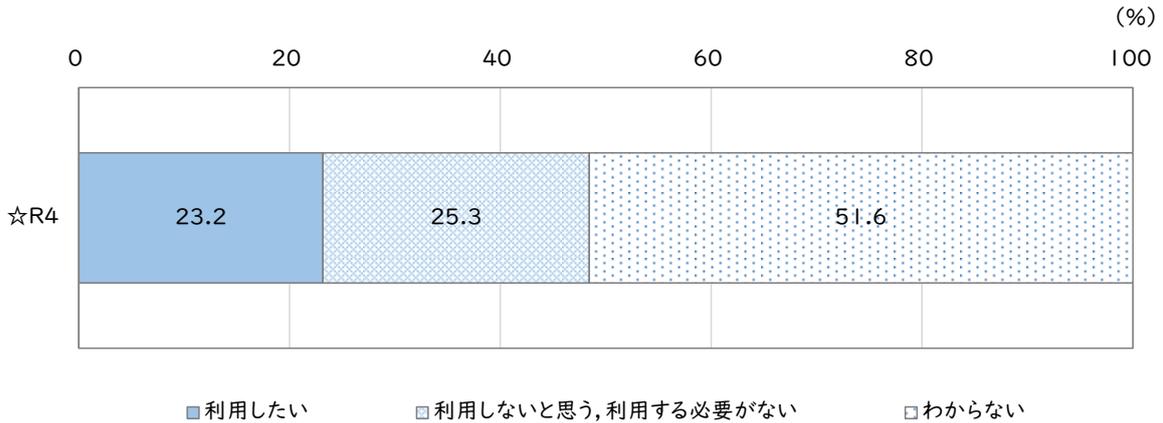
問33. 今後、障害福祉サービスを利用したいと思いますか(○はひとつ)。

(問31で「3. 利用したことはない」と答えた方にお伺いします。)

全体 「利用したい」が2割前半、「利用しないと思う、利用する必要がない」が2割半ば、「わからない」が5割前半となっています。

属性別 障害種別に見ると、視覚障害と発達障害では「利用したい」が3割後半と多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	764	34	46	168	169	55	38	154	11	119	28	46
利用したい	23.2	38.2	32.6	25.6	20.1	21.8	39.5	27.9	36.4	23.5	0.0	21.7
利用しないと思う, 利用する必要がない	25.3	14.7	23.9	20.2	26.0	23.6	21.1	22.7	18.2	26.9	35.7	30.4
わからない	51.6	47.1	43.5	54.2	53.8	54.5	39.5	49.4	45.5	49.6	64.3	47.8

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	45	1	2	4	2	22	13	5	0	0	6	1
利用したい	24.4	0.0	50.0	25.0	50.0	22.7	53.8	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
利用しないと思う, 利用する 必要がない	17.8	0.0	0.0	25.0	0.0	18.2	15.4	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
わからない	57.8	100.0	50.0	50.0	50.0	59.1	30.8	40.0	0.0	0.0	66.7	100.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	329	9	8	51	41	32	24	121	6	57	13	17
利用したい	21.9	33.3	25.0	23.5	14.6	21.9	33.3	28.9	50.0	17.5	0.0	17.6
利用しないと思う, 利用する 必要がない	24.9	11.1	12.5	15.7	29.3	25.0	25.0	19.8	0.0	26.3	30.8	41.2
わからない	53.2	55.6	62.5	60.8	56.1	53.1	41.7	51.2	50.0	56.1	69.2	41.2

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	378	24	34	110	125	1	1	26	5	60	9	26
利用したい	23.8	41.7	32.4	25.5	21.6	0.0	0.0	15.4	20.0	30.0	0.0	26.9
利用しないと思う, 利用する 必要がない	25.9	16.7	29.4	22.7	24.8	100.0	0.0	38.5	40.0	25.0	44.4	23.1
わからない	50.3	41.7	38.2	51.8	53.6	0.0	100.0	46.2	40.0	45.0	55.6	50.0

問34. 現在、障害福祉サービスを利用していないのはどのような理由からですか

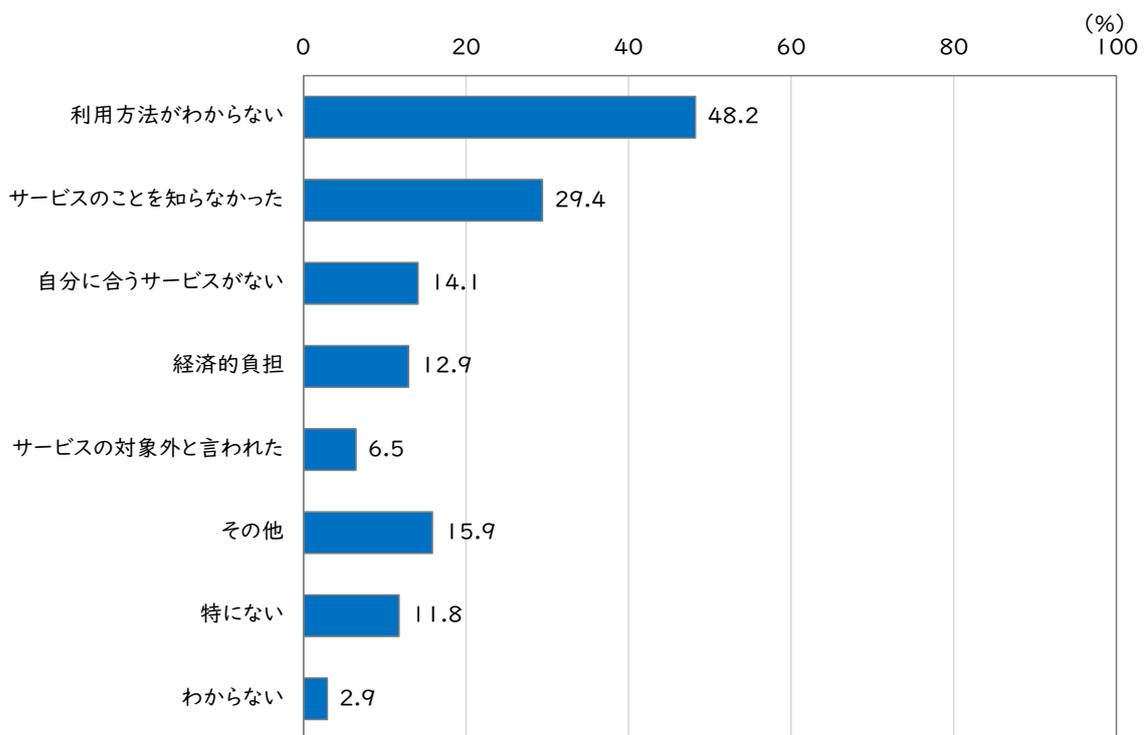
(〇はいくつでも)。

(問33で「1. 利用したい」と答えた方にお伺いします。)

全体 「利用の方法がわからない」が最も多く4割後半、続いて「サービスのことを知らなかった」が2割後半となっています。また、「その他」が1割半ばとなっており、「現在、利用する必要がない」等の意見が挙げられています。

属性別 回答母数が少ないため単純な比較はできませんが、障害種別に見ると、精神障害では「自分に合うサービスがない」が3割前半と多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	170	13	15	41	33	11	15	43	4	26	0	9
利用方法がわからない	48.2	38.5	46.7	43.9	45.5	63.6	33.3	58.1	25.0	50.0	0.0	33.3
サービスのことを知らなかった	29.4	23.1	20.0	36.6	27.3	18.2	13.3	32.6	75.0	42.3	0.0	11.1
自分に合うサービスがない	14.1	0.0	40.0	2.4	6.1	27.3	33.3	30.2	0.0	7.7	0.0	22.2
経済的負担	12.9	15.4	13.3	14.6	15.2	9.1	0.0	4.7	0.0	19.2	0.0	33.3
サービスの対象外と言われた	6.5	15.4	6.7	7.3	3.0	0.0	6.7	7.0	25.0	0.0	0.0	11.1
その他	15.9	15.4	13.3	17.1	33.3	0.0	20.0	7.0	0.0	19.2	0.0	33.3
特にない	11.8	15.4	6.7	17.1	15.2	9.1	6.7	2.3	0.0	11.5	0.0	0.0
わからない	2.9	7.7	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	10	0	1	1	1	4	7	3	0	0	0	0
利用方法がわからない	50.0	0.0	0.0	100.0	100.0	75.0	28.6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
サービスのことを知らなかった	30.0	0.0	0.0	100.0	0.0	25.0	14.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
自分に合うサービスがない	40.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	42.9	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
経済的負担	10.0	0.0	0.0	0.0	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービスの対象外と言われた	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	14.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
特にない	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	71	3	2	12	6	7	8	35	3	9	0	3
利用方法がわからない	60.6	66.7	50.0	41.7	83.3	57.1	37.5	62.9	33.3	55.6	0.0	66.7
サービスのことを知らなかった	36.6	0.0	0.0	50.0	50.0	14.3	12.5	37.1	66.7	66.7	0.0	33.3
自分に合うサービスがない	18.3	0.0	50.0	0.0	16.7	14.3	25.0	28.6	0.0	0.0	0.0	33.3
経済的負担	15.5	33.3	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	5.7	0.0	33.3	0.0	33.3
サービスの対象外と言われた	5.6	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.6	33.3	0.0	0.0	0.0
その他	7.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	25.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
特にない	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	5.6	33.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

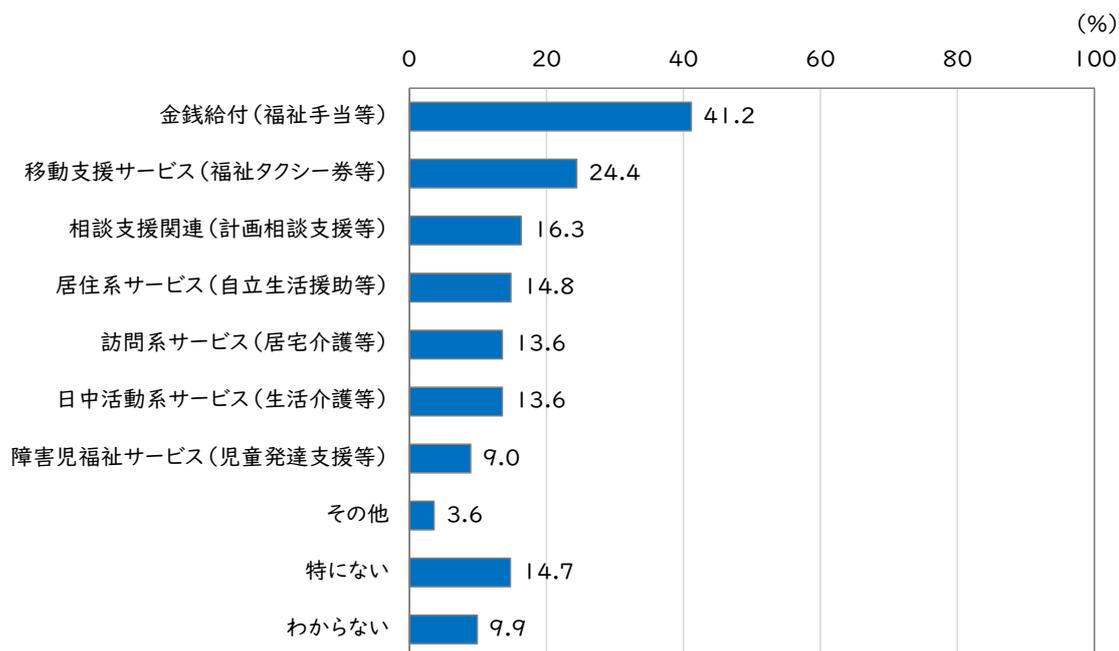
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	85	10	11	26	26	0	0	4	1	17	0	6
利用方法がわからない	36.5	30.0	54.5	38.5	34.6	0.0	0.0	25.0	0.0	47.1	0.0	16.7
サービスのことを知らなかった	24.7	30.0	27.3	30.8	23.1	0.0	0.0	0.0	100.0	29.4	0.0	0.0
自分に合うサービスがない	8.2	0.0	36.4	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	16.7
経済的負担	10.6	10.0	9.1	3.8	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	33.3
サービスの対象外と言われた	7.1	20.0	9.1	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
その他	23.5	20.0	0.0	11.5	42.3	0.0	0.0	25.0	0.0	29.4	0.0	50.0
特にない	21.2	20.0	9.1	26.9	19.2	0.0	0.0	25.0	0.0	17.6	0.0	0.0
わからない	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問35. 障害のある方に対する各サービスについて、あなたが充実してほしいものは何ですか
(〇は3つまで)。

全体 「金銭給付(福祉手当等)」が最も多く4割前半, 続いて「移動支援サービス(福祉タクシー券等)」が2割半ばとなっています。

属性別 障害種別に見ると, 精神障害では「金銭給付(福祉手当等)」が5割後半, 肢体不自由では「移動支援サービス(福祉タクシー券等)」が3割半ばで, 他の障害と比べ多くなっています。年代別に見ると, 児童は「障害児福祉サービス(児童発達支援等)」が最も多く4割半ばとなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,385	64	107	311	268	217	169	277	30	145	47	79
金銭給付(福祉手当等)	41.2	43.8	39.3	35.0	41.4	40.1	45.0	57.0	40.0	45.5	31.9	29.1
移動支援サービス(福祉タクシー券等)	24.4	29.7	30.8	34.4	28.0	18.9	19.5	15.9	13.3	33.8	17.0	20.3
相談支援関連(計画相談支援等)	16.3	14.1	11.2	11.6	10.1	22.6	28.4	21.7	3.3	12.4	17.0	20.3
居住系サービス(自立生活援助等)	14.8	4.7	14.0	13.8	9.3	24.9	24.9	21.3	10.0	12.4	14.9	6.3
訪問系サービス(居宅介護等)	13.6	20.3	14.0	21.9	12.7	10.1	6.5	9.0	23.3	24.8	17.0	12.7
日中活動系サービス(生活介護等)	13.6	15.6	15.9	15.1	10.8	26.3	19.5	8.7	16.7	13.8	10.6	8.9
障害児福祉サービス(児童発達支援等)	9.0	3.1	2.8	1.9	1.5	13.4	34.3	5.4	0.0	6.2	51.1	8.9
その他	3.6	1.6	4.7	3.5	1.5	4.6	4.7	5.8	3.3	5.5	2.1	5.1
特にない	14.7	18.8	18.7	14.5	21.6	8.3	1.8	12.3	16.7	8.3	12.8	24.1
わからない	9.9	10.9	6.5	8.7	11.6	9.7	7.1	6.9	10.0	10.3	6.4	11.4

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	187	1	5	13	3	91	89	11	0	6	24	14
金銭給付(福祉手当等)	37.4	100.0	60.0	46.2	100.0	45.1	34.8	36.4	0.0	16.7	33.3	28.6
移動支援サービス(福祉タクシー券等)	13.4	0.0	40.0	23.1	0.0	17.6	12.4	9.1	0.0	33.3	16.7	7.1
相談支援関連(計画相談支援等)	28.9	0.0	0.0	7.7	0.0	24.2	33.7	18.2	0.0	16.7	20.8	42.9
居住系サービス(自立生活援助等)	16.0	0.0	20.0	15.4	0.0	20.9	23.6	36.4	0.0	16.7	4.2	0.0
訪問系サービス(居宅介護等)	7.5	0.0	0.0	30.8	0.0	8.8	6.7	18.2	0.0	16.7	4.2	7.1
日中活動系サービス(生活介護等)	19.8	0.0	40.0	30.8	33.3	28.6	21.3	9.1	0.0	33.3	8.3	7.1
障害児福祉サービス(児童発達支援等)	46.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.3	57.3	36.4	0.0	0.0	83.3	42.9
その他	4.8	0.0	20.0	15.4	0.0	7.7	4.5	0.0	0.0	16.7	0.0	7.1
特にない	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	9.1	0.0	0.0	4.2	7.1
わからない	9.6	0.0	0.0	15.4	0.0	9.9	6.7	0.0	0.0	16.7	8.3	14.3

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	589	16	26	91	64	117	77	224	16	66	15	29
金銭給付(福祉手当等)	54.2	68.8	46.2	48.4	54.7	37.6	57.1	66.1	37.5	63.6	40.0	37.9
移動支援サービス(福祉タクシー券等)	22.2	43.8	26.9	37.4	29.7	21.4	27.3	15.6	18.8	21.2	20.0	6.9
相談支援関連(計画相談支援等)	19.0	12.5	11.5	12.1	15.6	21.4	22.1	23.7	0.0	16.7	13.3	20.7
居住系サービス(自立生活援助等)	19.0	6.3	19.2	17.6	10.9	28.2	27.3	22.8	0.0	16.7	26.7	13.8
訪問系サービス(居宅介護等)	10.9	12.5	11.5	17.6	9.4	12.0	5.2	8.9	18.8	21.2	20.0	17.2
日中活動系サービス(生活介護等)	12.9	18.8	23.1	12.1	4.7	24.8	18.2	9.4	18.8	12.1	20.0	13.8
障害児福祉サービス(児童発達支援等)	4.8	6.3	7.7	5.5	4.7	5.1	9.1	4.5	0.0	10.6	6.7	0.0
その他	4.6	0.0	3.8	4.4	0.0	2.6	5.2	6.7	6.3	4.5	6.7	10.3
特にない	10.4	12.5	7.7	11.0	17.2	11.1	3.9	8.0	12.5	0.0	20.0	13.8
わからない	8.7	0.0	11.5	5.5	7.8	9.4	7.8	5.8	12.5	9.1	6.7	17.2

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	590	46	73	200	199	8	2	40	14	71	8	34
金銭給付(福祉手当等)	29.2	32.6	34.2	27.0	35.7	25.0	50.0	15.0	42.9	31.0	12.5	23.5
移動支援サービス(福祉タクシー券等)	29.8	26.1	30.1	34.0	27.6	0.0	50.0	20.0	7.1	45.1	12.5	35.3
相談支援関連(計画相談支援等)	9.7	15.2	12.3	11.5	8.5	12.5	0.0	12.5	7.1	8.5	12.5	11.8
居住系サービス(自立生活援助等)	10.3	4.3	12.3	11.5	8.5	25.0	0.0	10.0	21.4	8.5	25.0	2.9
訪問系サービス(居宅介護等)	18.3	23.9	16.4	23.5	14.1	0.0	50.0	7.5	28.6	29.6	50.0	8.8
日中活動系サービス(生活介護等)	12.0	13.0	12.3	15.5	12.6	25.0	0.0	2.5	14.3	14.1	0.0	2.9
障害児福祉サービス(児童発達支援等)	1.4	2.2	1.4	0.0	0.5	0.0	0.0	2.5	0.0	1.4	37.5	2.9
その他	2.4	2.2	4.1	2.5	2.0	0.0	0.0	2.5	0.0	5.6	0.0	0.0
特になし	22.7	21.7	24.7	17.5	23.6	25.0	0.0	35.0	21.4	15.5	25.0	38.2
わからない	11.4	15.2	5.5	9.5	13.1	12.5	0.0	15.0	7.1	11.3	0.0	5.9

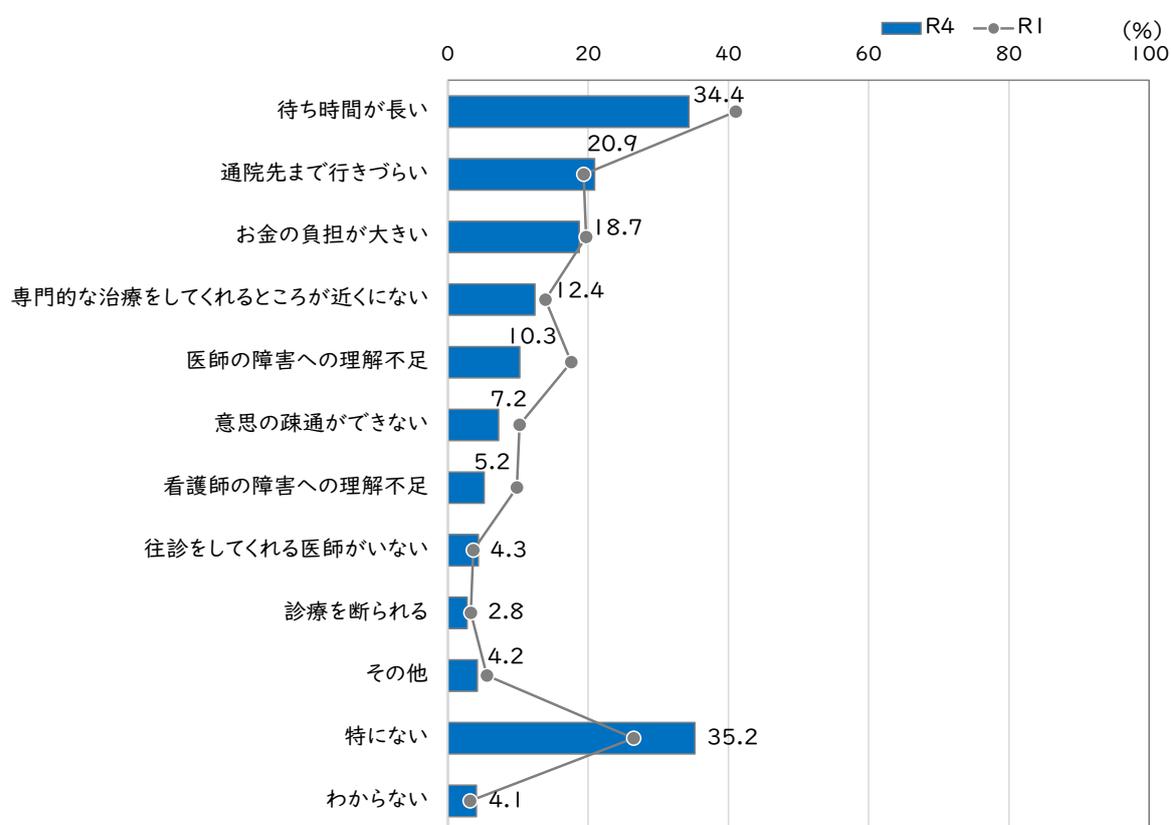
健康・医療

問36. 医療を利用する上で困ったことはありますか(○はいくつでも)。

全体 「待ち時間が長い」が3割半ば, 続いて「通院先まで行きづらい」と「お金の負担が大きい」が2割程度となっています。一方, 「特にない」が3割半ばとなっています。前回調査と比べ, 大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると, 発達障害では「待ち時間が長い」, 内部障害では「特にない」が4割半ば, 精神障害では「通院先まで行きづらい」が3割前半, 聴覚障害では「意思の疎通ができない」が2割前半で, 他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,452	67	112	326	273	232	183	296	27	155	49	82
待ち時間が長い	34.4	26.9	39.3	32.8	30.8	35.8	44.8	40.2	33.3	42.6	38.8	31.7
通院先まで行きづらい	20.9	28.4	19.6	20.9	17.9	17.7	23.0	31.4	14.8	25.8	14.3	20.7
お金の負担が大きい	18.7	13.4	12.5	14.1	16.1	15.9	18.6	30.1	18.5	26.5	22.4	14.6
専門的な治療をしてもらえるところが近くにない	12.4	10.4	13.4	12.0	11.4	19.4	18.0	13.9	14.8	14.2	10.2	14.6
医師の障害への理解不足	10.3	9.0	19.6	6.1	7.3	17.2	18.0	17.2	11.1	12.9	4.1	11.0
意思の疎通ができない	7.2	1.5	23.2	4.6	2.6	14.2	14.2	10.1	14.8	3.2	0.0	3.7
看護師の障害への理解不足	5.2	7.5	8.9	3.7	3.3	9.1	9.8	7.4	3.7	3.9	4.1	0.0
往診をしてもらえる医師がいない	4.3	6.0	1.8	5.8	5.5	4.7	6.0	4.7	0.0	5.2	0.0	4.9
診療を断られる	2.8	1.5	2.7	3.4	2.2	5.2	5.5	3.0	0.0	3.9	0.0	1.2
その他	4.2	6.0	2.7	3.7	1.5	6.0	8.2	5.4	7.4	3.2	4.1	11.0
特になし	35.2	34.3	26.8	41.4	45.8	27.6	22.4	23.6	22.2	24.5	36.7	41.5
わからない	4.1	9.0	1.8	3.1	2.6	6.5	6.0	2.7	3.7	2.6	12.2	3.7

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	202	1	6	18	3	100	97	12	0	7	25	14
待ち時間が長い	36.6	0.0	33.3	44.4	33.3	34.0	39.2	50.0	0.0	42.9	44.0	28.6
通院先まで行きづらい	15.8	0.0	16.7	22.2	0.0	14.0	14.4	33.3	0.0	28.6	20.0	14.3
お金の負担が大きい	11.9	0.0	33.3	11.1	33.3	12.0	10.3	33.3	0.0	14.3	20.0	7.1
専門的な治療をしてもらえるところが近くにない	17.3	100.0	16.7	27.8	0.0	17.0	15.5	25.0	0.0	0.0	16.0	14.3
医師の障害への理解不足	12.4	100.0	16.7	5.6	33.3	12.0	19.6	25.0	0.0	28.6	8.0	14.3
意思の疎通ができない	6.4	0.0	33.3	0.0	0.0	9.0	10.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師の障害への理解不足	6.4	0.0	16.7	0.0	0.0	7.0	11.3	16.7	0.0	14.3	4.0	0.0
往診をしてもらえる医師がいない	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.1	8.3	0.0	0.0	0.0	7.1
診療を断られる	3.5	0.0	0.0	5.6	0.0	3.0	5.2	8.3	0.0	14.3	0.0	0.0
その他	5.9	0.0	0.0	11.1	0.0	6.0	7.2	0.0	0.0	28.6	4.0	7.1
特になし	27.7	0.0	16.7	16.7	33.3	26.0	24.7	16.7	0.0	0.0	32.0	50.0
わからない	10.9	0.0	0.0	5.6	0.0	13.0	9.3	0.0	0.0	14.3	12.0	7.1

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	622	19	30	92	64	123	83	240	15	69	16	34
待ち時間が長い	37.8	31.6	36.7	32.6	31.3	37.4	51.8	43.8	33.3	47.8	25.0	29.4
通院先まで行きづらい	23.5	42.1	20.0	17.4	15.6	22.0	31.3	33.3	13.3	26.1	6.3	23.5
お金の負担が大きい	26.2	15.8	10.0	16.3	20.3	17.9	28.9	33.8	33.3	39.1	31.3	20.6
専門的な治療をしてもらえるところが近くにない	14.6	15.8	36.7	19.6	15.6	22.8	20.5	13.8	20.0	15.9	0.0	26.5
医師の障害への理解不足	13.5	15.8	23.3	6.5	10.9	22.0	16.9	18.8	20.0	13.0	0.0	17.6
意思の疎通ができない	10.1	0.0	23.3	3.3	3.1	19.5	19.3	10.8	13.3	2.9	0.0	5.9
看護師の障害への理解不足	6.9	5.3	6.7	8.7	6.3	10.6	8.4	8.3	6.7	4.3	0.0	0.0
往診をしてもらえる医師がいない	4.7	15.8	0.0	5.4	4.7	8.1	9.6	4.6	0.0	7.2	0.0	2.9
診療を断られる	3.5	5.3	6.7	5.4	3.1	6.5	6.0	3.3	0.0	4.3	0.0	2.9
その他	5.1	0.0	0.0	3.3	1.6	5.7	8.4	5.8	13.3	0.0	6.3	17.6
特になし	29.4	26.3	20.0	42.4	46.9	28.5	20.5	19.6	20.0	18.8	43.8	35.3
わからない	3.2	5.3	0.0	4.3	3.1	1.6	1.2	2.9	0.0	2.9	12.5	2.9

(単位:%)

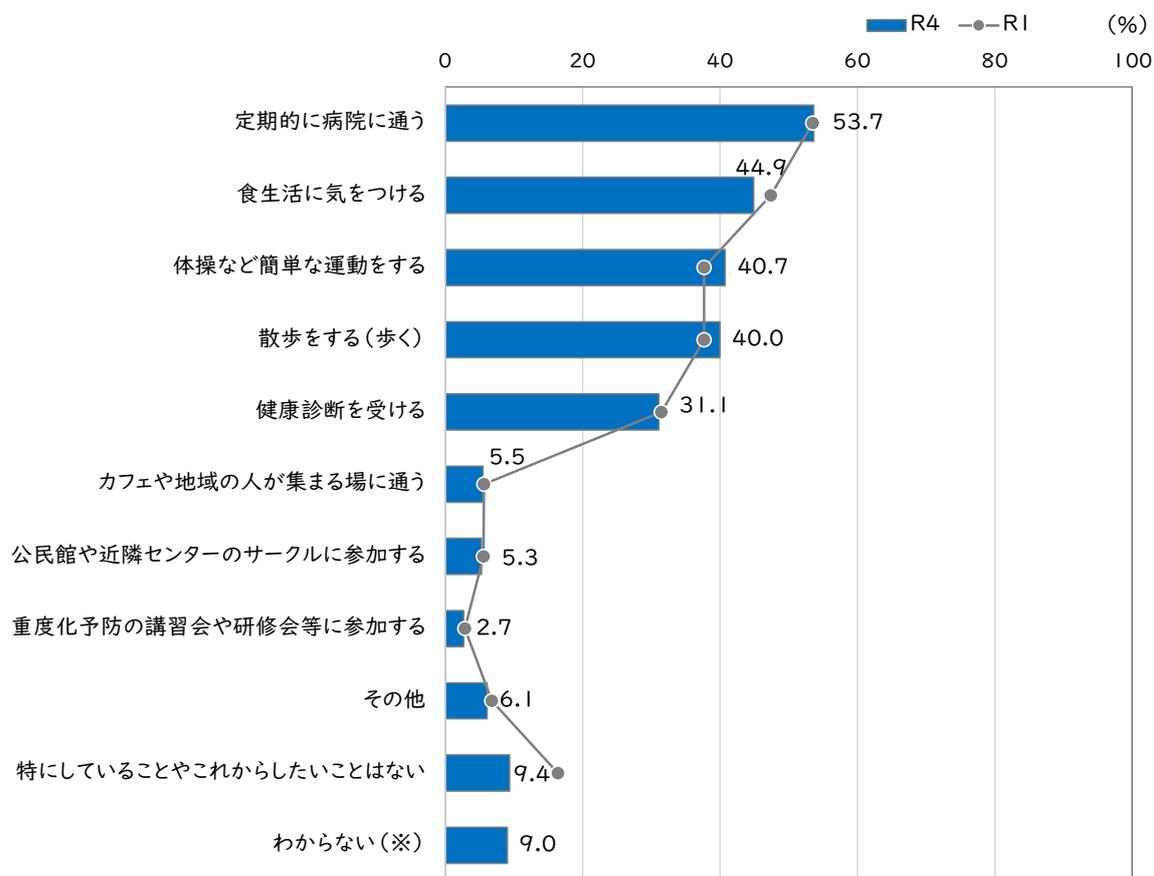
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	607	46	73	209	203	8	2	41	12	77	8	32
待ち時間が長い	30.5	26.1	42.5	32.5	31.0	37.5	50.0	14.6	33.3	37.7	50.0	34.4
通院先まで行きづらい	20.1	23.9	20.5	22.5	19.2	0.0	50.0	19.5	16.7	26.0	12.5	18.8
お金の負担が大きい	13.2	13.0	11.0	12.4	14.3	37.5	0.0	9.8	0.0	15.6	12.5	12.5
専門的な治療をしてもらえるところが近くにない	8.6	4.3	4.1	7.2	10.3	0.0	50.0	12.2	8.3	14.3	12.5	3.1
医師の障害への理解不足	6.3	4.3	17.8	6.2	5.4	12.5	0.0	7.3	0.0	11.7	0.0	3.1
意思の疎通ができない	4.6	2.2	23.3	5.3	2.5	0.0	0.0	2.4	16.7	3.9	0.0	3.1
看護師の障害への理解不足	3.1	8.7	9.6	1.9	2.5	12.5	0.0	0.0	0.0	2.6	12.5	0.0
往診をしてもらえる医師がいない	4.3	2.2	2.7	6.2	5.9	0.0	0.0	4.9	0.0	3.9	0.0	3.1
診療を断られる	1.6	0.0	1.4	1.9	2.0	12.5	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0
その他	2.3	8.7	4.1	2.9	1.5	0.0	0.0	4.9	0.0	3.9	0.0	6.3
特になし	43.8	39.1	30.1	43.5	45.8	37.5	0.0	48.8	25.0	31.2	37.5	43.8
わからない	2.8	10.9	2.7	2.4	2.5	0.0	50.0	2.4	8.3	1.3	12.5	3.1

問37. 障害の重度化予防のために何かしていることや、これからしたいことはありますか
(〇はいくつでも)。

全体 「定期的に病院に通う」が最も多く5割前半, 続いて「食生活に気をつける」が4割半ばとなっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが, 前回調査と比べ, 大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると, 精神障害と難病では「定期的に病院に通う」が6割後半, 内部障害では「食生活に気をつける」が5割半ばと多くなっています。

【全体】



(※) 選択肢を新設

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,463	67	117	331	281	231	183	297	31	152	48	84
定期的に病院に通う	53.7	61.2	46.2	52.6	62.6	38.5	40.4	69.7	51.6	69.1	35.4	45.2
食生活に気をつける	44.9	34.3	44.4	44.1	56.2	42.4	33.3	40.4	45.2	57.2	37.5	39.3
体操など簡単な運動をする	40.7	37.3	43.6	49.8	49.1	35.9	27.3	40.1	48.4	46.7	14.6	36.9
散歩をする(歩く)	40.0	31.3	35.0	34.7	54.4	33.3	25.7	43.1	32.3	44.1	25.0	39.3
健康診断を受ける	31.1	31.3	33.3	36.9	36.3	28.6	21.9	28.3	22.6	36.2	16.7	29.8
カフェや地域の人が集まる 場に通う	5.5	3.0	6.0	3.6	3.6	6.9	4.9	10.1	3.2	6.6	6.3	8.3
公民館や近隣センターの サークルに参加する	5.3	6.0	9.4	4.8	5.0	3.5	3.8	4.0	0.0	6.6	6.3	11.9
重度化予防の講習会や研修 会等に参加する	2.7	1.5	6.0	2.1	1.8	3.5	2.7	4.4	3.2	2.6	2.1	4.8
その他	6.1	4.5	7.7	6.3	3.6	6.9	10.9	6.4	9.7	5.3	10.4	7.1
特にしていることやこれから したいことはない	9.4	10.4	12.0	10.6	7.1	10.8	8.7	7.1	6.5	5.3	20.8	7.1
わからない	9.0	13.4	6.8	4.2	5.3	13.0	20.2	6.1	6.5	3.9	20.8	15.5

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	202	1	6	18	3	100	97	12	0	7	25	14
定期的に病院に通う	30.7	0.0	50.0	61.1	100.0	40.0	33.0	41.7	0.0	85.7	12.0	14.3
食生活に気をつける	25.7	0.0	16.7	33.3	66.7	33.0	25.8	8.3	0.0	71.4	20.0	14.3
体操など簡単な運動をする	24.3	0.0	33.3	61.1	33.3	37.0	18.6	50.0	0.0	71.4	4.0	21.4
散歩をする(歩く)	18.8	0.0	33.3	11.1	0.0	22.0	14.4	16.7	0.0	57.1	24.0	14.3
健康診断を受ける	7.9	0.0	0.0	5.6	0.0	12.0	8.2	8.3	0.0	42.9	8.0	0.0
カフェや地域の人が集まる 場に通う	4.5	0.0	16.7	5.6	0.0	6.0	5.2	16.7	0.0	28.6	0.0	0.0
公民館や近隣センターの サークルに参加する	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	4.1	8.3	0.0	14.3	0.0	14.3
重度化予防の講習会や研修 会等に参加する	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.9	0.0	0.0	11.1	0.0	7.0	10.3	0.0	0.0	0.0	12.0	7.1
特にしていることやこれから したいことはない	14.4	100.0	0.0	11.1	0.0	11.0	10.3	8.3	0.0	0.0	24.0	14.3
わからない	25.2	0.0	33.3	5.6	0.0	18.0	29.9	16.7	0.0	0.0	28.0	50.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	622	18	30	93	64	122	83	242	16	66	16	34
定期的に病院に通う	57.7	55.6	46.7	54.8	60.9	37.7	49.4	71.5	62.5	75.8	56.3	50.0
食生活に気をつける	45.0	22.2	36.7	43.0	56.3	50.0	41.0	41.3	43.8	62.1	56.3	29.4
体操など簡単な運動をする	36.8	27.8	46.7	46.2	53.1	34.4	37.3	38.4	56.3	39.4	25.0	20.6
散歩をする(歩く)	39.1	16.7	26.7	34.4	48.4	42.6	38.6	44.2	37.5	34.8	25.0	35.3
健康診断を受ける	30.4	27.8	36.7	32.3	35.9	42.6	37.3	26.0	18.8	37.9	18.8	23.5
カフェや地域の人が集まる 場に通う	7.2	0.0	13.3	4.3	3.1	8.2	4.8	11.2	0.0	6.1	18.8	8.8
公民館や近隣センターの サークルに参加する	3.7	0.0	13.3	3.2	1.6	2.5	3.6	3.3	0.0	4.5	12.5	8.8
重度化予防の講習会や研修 会等に参加する	3.5	5.6	3.3	2.2	4.7	4.1	3.6	5.0	0.0	3.0	6.3	5.9
その他	6.8	5.6	10.0	6.5	3.1	6.6	12.0	6.6	12.5	3.0	12.5	11.8
特にしていることやこれから したいことはない	9.2	11.1	6.7	14.0	7.8	10.7	7.2	6.6	0.0	4.5	18.8	11.8
わからない	7.4	16.7	10.0	2.2	1.6	9.8	9.6	6.2	6.3	4.5	12.5	11.8

(単位:%)

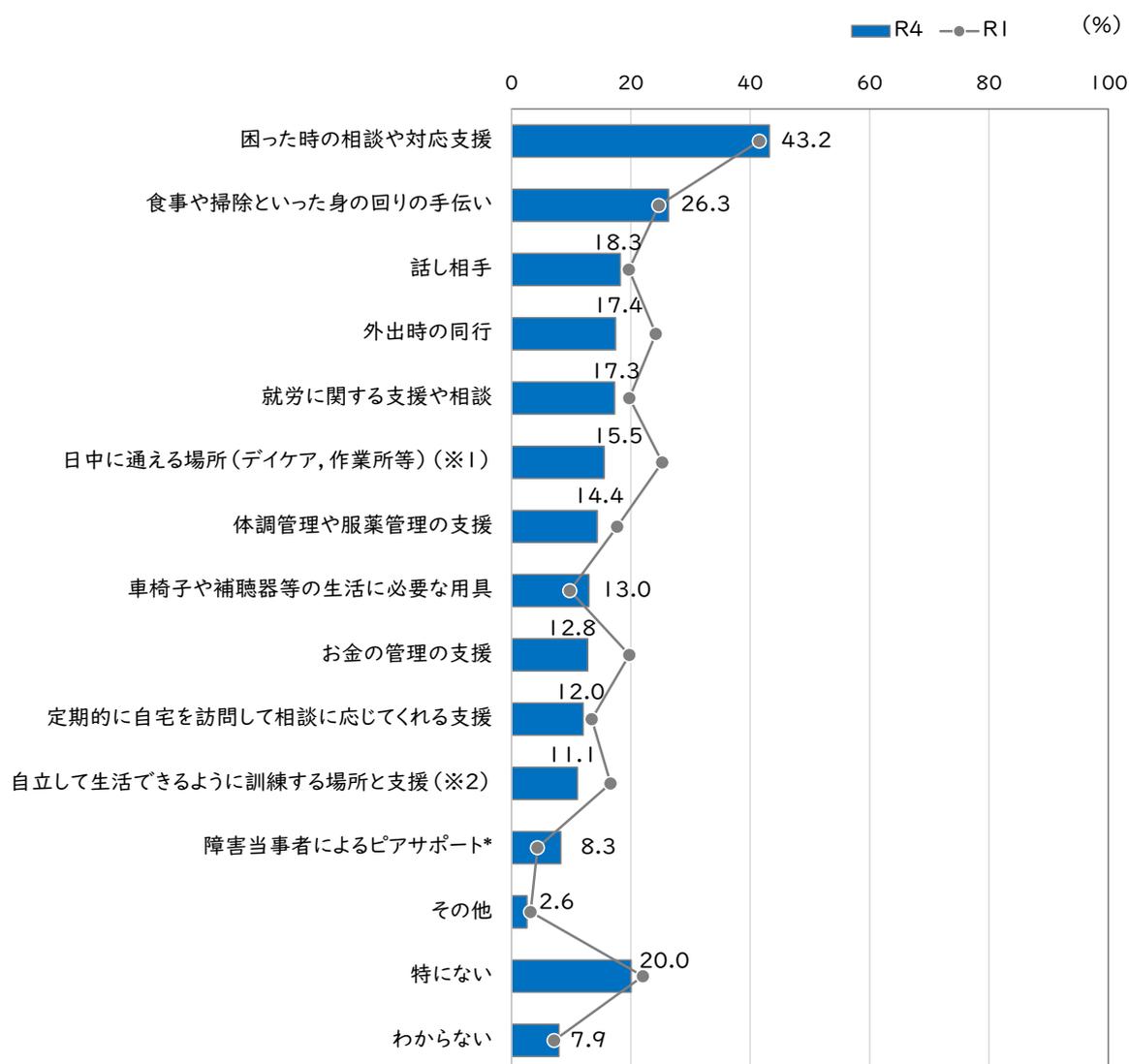
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	619	47	79	213	211	8	2	40	15	77	7	34
定期的に病院に通う	57.4	66.0	45.6	50.7	62.1	37.5	50.0	72.5	40.0	61.0	71.4	52.9
食生活に気をつける	50.9	40.4	49.4	46.0	56.9	37.5	100.0	42.5	46.7	50.6	57.1	55.9
体操など簡単な運動をする	49.4	42.6	43.0	49.8	48.3	50.0	0.0	45.0	40.0	50.6	28.6	55.9
散歩をする(歩く)	47.3	38.3	38.0	35.7	56.9	37.5	50.0	45.0	26.7	49.4	28.6	52.9
健康診断を受ける	39.3	34.0	34.2	41.3	37.0	25.0	50.0	50.0	26.7	32.5	42.9	50.0
カフェや地域の人が集まる 場に通う	4.0	4.3	2.5	3.3	3.8	0.0	0.0	2.5	6.7	5.2	0.0	8.8
公民館や近隣センターの サークルに参加する	7.4	8.5	8.9	6.1	6.2	0.0	0.0	7.5	0.0	7.8	14.3	11.8
重度化予防の講習会や研修 会等に参加する	2.3	0.0	7.6	2.3	0.9	0.0	0.0	2.5	6.7	2.6	0.0	5.9
その他	4.5	4.3	7.6	6.1	3.8	12.5	0.0	5.0	6.7	7.8	0.0	2.9
特にしていることやこれから したいことはない	8.2	8.5	15.2	9.4	7.1	12.5	0.0	10.0	13.3	6.5	14.3	0.0
わからない	5.3	10.6	3.8	4.7	6.6	0.0	0.0	2.5	6.7	3.9	14.3	5.9

問38. あなたが地域で自立した生活を続けていくために、必要だと思う支援は何ですか
(〇はいくつでも)。

全体 「困った時の相談や対応支援」が最も多く4割前半, 続いて「食事や掃除といった身の回りの手伝い」が2割半ばとなっています。前回調査と比べ, 大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると, 発達障害と精神障害では「困った時の相談や対応支援」が5割半ば~6割前半, 聴覚障害では「車椅子や補聴器等の生活に必要な用具」が4割前半, 視覚障害では「外出時の同行」が3割半ばと多くなっています。年代別に見ると, 児童は「就労に関する支援や相談」が4割前半と他の年代と比べ多くなっています。

【全体】



(※1) 日中通える場所(デイケア, 作業所や生活介護事業所等)

(※2) 自宅を離れて泊まりながら, 自立して生活できるように訓練する場所と支援

*ピアサポートとは, 障害のある方自身が, 自らの体験に基づいて, 他の障害のある方の相談相手となったり, 同じ仲間として社会参加や地域での交流, 問題の解決等を支援したりする活動のこと。

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,463	69	112	326	274	237	184	298	28	155	50	83
困った時の相談や対応支援	43.2	34.8	32.1	36.2	39.1	52.7	60.9	55.0	21.4	47.7	24.0	41.0
食事や掃除といった身の回りの手伝い	26.3	26.1	26.8	30.4	27.7	38.8	34.8	23.8	32.1	28.4	12.0	22.9
話し相手	18.3	15.9	18.8	12.9	9.5	24.1	27.2	37.6	14.3	15.5	8.0	16.9
外出時の同行	17.4	34.8	18.8	21.5	11.3	36.3	26.6	13.1	14.3	24.5	8.0	13.3
就労に関する支援や相談	17.3	8.7	3.6	8.6	6.6	27.0	45.7	29.9	0.0	11.6	24.0	13.3
日中に通える場所(デイケア, 作業所等)(※1)	15.5	11.6	17.0	19.3	6.9	33.3	31.0	18.5	17.9	12.9	10.0	4.8
体調管理や服薬管理の支援	14.4	8.7	13.4	13.5	10.2	31.6	24.5	17.8	14.3	15.5	8.0	7.2
車椅子や補聴器等の生活に必要な用具	13.0	15.9	40.2	24.8	15.0	9.7	2.7	4.0	14.3	14.8	8.0	14.5
お金の管理の支援	12.8	5.8	6.3	8.0	5.8	35.9	31.0	17.4	7.1	8.4	6.0	14.5
定期的に自宅を訪問して相談に応じてくれる支援	12.0	7.2	12.5	14.4	10.6	16.0	17.9	11.1	3.6	16.1	6.0	9.6
自立して生活できるように訓練する場所と支援(※2)	11.1	2.9	9.8	7.1	4.7	35.9	29.9	10.1	10.7	7.7	10.0	1.2
障害当事者によるピアサポート	8.3	10.1	10.7	6.4	6.9	6.8	12.0	10.7	7.1	9.0	6.0	4.8
その他	2.6	0.0	3.6	1.8	1.5	3.8	3.3	4.0	3.6	1.9	4.0	2.4
特になし	20.0	18.8	18.8	23.9	27.7	6.8	3.3	12.4	10.7	24.5	36.0	24.1
わからない	7.9	13.0	8.9	6.7	6.9	5.9	6.5	4.4	14.3	9.0	22.0	14.5

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	202	1	6	18	3	100	97	13	0	7	25	14
困った時の相談や対応支援	49.0	0.0	33.3	44.4	33.3	56.0	60.8	84.6	0.0	71.4	20.0	42.9
食事や掃除といった身の回りの手伝い	28.7	0.0	33.3	50.0	66.7	37.0	33.0	38.5	0.0	71.4	8.0	14.3
話し相手	17.3	0.0	0.0	11.1	0.0	20.0	20.6	46.2	0.0	14.3	4.0	7.1
外出時の同行	22.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.0	26.8	38.5	0.0	71.4	8.0	7.1
就労に関する支援や相談	43.6	0.0	0.0	27.8	100.0	45.0	58.8	46.2	0.0	42.9	28.0	28.6
日中に通える場所(デイケア, 作業所等)(※1)	28.7	0.0	33.3	50.0	33.3	38.0	36.1	38.5	0.0	57.1	12.0	7.1
体調管理や服薬管理の支援	18.8	0.0	16.7	44.4	33.3	28.0	21.6	0.0	0.0	42.9	12.0	0.0
車椅子や補聴器等の生活に必要な用具	6.9	0.0	33.3	55.6	0.0	8.0	0.0	15.4	0.0	14.3	4.0	0.0
お金の管理の支援	23.8	0.0	0.0	33.3	66.7	33.0	26.8	30.8	0.0	57.1	0.0	28.6
定期的に自宅を訪問して相談に応じてくれる支援	15.8	0.0	0.0	27.8	0.0	17.0	18.6	15.4	0.0	14.3	8.0	21.4
自立して生活できるように訓練する場所と支援(※2)	30.7	0.0	33.3	38.9	66.7	41.0	38.1	38.5	0.0	57.1	16.0	0.0
障害当事者によるピアサポート	8.9	0.0	0.0	16.7	0.0	6.0	13.4	0.0	0.0	14.3	8.0	0.0
その他	3.0	0.0	0.0	11.1	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	7.1
特になし	8.4	0.0	16.7	11.1	0.0	5.0	3.1	0.0	0.0	0.0	24.0	14.3
わからない	15.3	100.0	16.7	11.1	0.0	10.0	11.3	0.0	0.0	14.3	28.0	28.6

(※1) 日中に通える場所(デイケア, 作業所や生活介護事業所等)

(※2) 自宅を離れて泊まりながら, 自立して生活できるように訓練する場所と支援

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	624	20	28	92	62	127	84	241	16	66	16	33
困った時の相談や対応支援	48.4	45.0	32.1	41.3	40.3	51.2	61.9	56.0	18.8	50.0	25.0	45.5
食事や掃除といった身の回りの手伝い	23.6	25.0	25.0	25.0	12.9	40.9	36.9	22.0	18.8	21.2	12.5	33.3
話し相手	25.2	25.0	25.0	18.5	9.7	26.8	35.7	39.8	25.0	12.1	18.8	27.3
外出時の同行	16.7	50.0	17.9	22.8	12.9	40.2	26.2	11.2	12.5	15.2	12.5	15.2
就労に関する支援や相談	23.7	25.0	10.7	18.5	16.1	15.0	31.0	33.6	0.0	19.7	31.3	21.2
日中に通える場所(デイケア,作業所等)(※1)	15.7	15.0	10.7	15.2	4.8	30.7	26.2	18.7	12.5	7.6	12.5	6.1
体調管理や服薬管理の支援	17.5	20.0	14.3	14.1	8.1	34.6	28.6	20.7	6.3	13.6	6.3	12.1
車椅子や補聴器等の生活に必要な用具	8.0	25.0	32.1	26.1	8.1	9.4	6.0	3.3	12.5	9.1	12.5	12.1
お金の管理の支援	18.1	20.0	14.3	10.9	8.1	38.6	36.9	19.5	12.5	7.6	18.8	21.2
定期的に自宅を訪問して相談に応じてくれる支援	10.4	5.0	10.7	10.9	9.7	15.0	16.7	11.2	6.3	15.2	6.3	9.1
自立して生活できるように訓練する場所と支援(※2)	12.5	5.0	7.1	5.4	9.7	33.9	21.4	10.4	6.3	6.1	6.3	0.0
障害当事者によるピアサポート	10.3	15.0	21.4	7.6	9.7	7.9	10.7	12.0	6.3	9.1	6.3	6.1
その他	2.7	0.0	7.1	0.0	0.0	3.9	7.1	3.7	6.3	1.5	0.0	0.0
特になし	15.5	15.0	14.3	21.7	27.4	5.5	3.6	10.0	6.3	21.2	43.8	18.2
わからない	7.1	15.0	7.1	5.4	11.3	3.1	1.2	5.4	12.5	15.2	18.8	9.1

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	615	47	75	209	205	9	2	41	12	80	9	34
困った時の相談や対応支援	35.8	29.8	32.0	32.1	38.5	33.3	0.0	41.5	25.0	45.0	33.3	35.3
食事や掃除といった身の回りの手伝い	28.0	27.7	26.7	30.6	31.2	22.2	0.0	29.3	50.0	31.3	22.2	14.7
話し相手	11.9	10.6	18.7	11.0	9.8	22.2	0.0	24.4	0.0	18.8	0.0	11.8
外出時の同行	16.6	27.7	17.3	20.1	10.7	22.2	50.0	17.1	16.7	28.8	0.0	11.8
就労に関する支援や相談	2.0	0.0	1.3	1.9	2.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.5	0.0	0.0
日中に通える場所(デイケア,作業所等)(※1)	11.1	10.6	18.7	18.2	6.8	11.1	0.0	12.2	25.0	13.8	0.0	2.9
体調管理や服薬管理の支援	9.9	4.3	13.3	10.5	10.7	22.2	0.0	7.3	25.0	15.0	0.0	5.9
車椅子や補聴器等の生活に必要な用具	19.8	10.6	42.7	21.5	17.1	33.3	0.0	4.9	16.7	20.0	11.1	23.5
お金の管理の支援	4.1	0.0	4.0	4.8	4.4	22.2	0.0	2.4	0.0	5.0	0.0	2.9
定期的に自宅を訪問して相談に応じてくれる支援	12.7	8.5	14.7	15.3	11.2	11.1	50.0	9.8	0.0	17.5	0.0	5.9
自立して生活できるように訓練する場所と支援(※2)	3.3	2.1	8.0	4.8	2.0	11.1	0.0	0.0	16.7	5.0	0.0	2.9
障害当事者によるピアサポート	6.0	6.4	8.0	4.8	6.3	0.0	0.0	7.3	8.3	8.8	0.0	5.9
その他	2.4	0.0	2.7	1.9	2.0	11.1	0.0	7.3	0.0	2.5	0.0	2.9
特になし	28.1	21.3	20.0	26.8	28.3	44.4	0.0	29.3	16.7	27.5	55.6	32.4
わからない	6.5	10.6	9.3	6.7	5.9	0.0	0.0	0.0	16.7	3.8	11.1	14.7

(※1) 日中に通える場所(デイケア,作業所や生活介護事業所等)

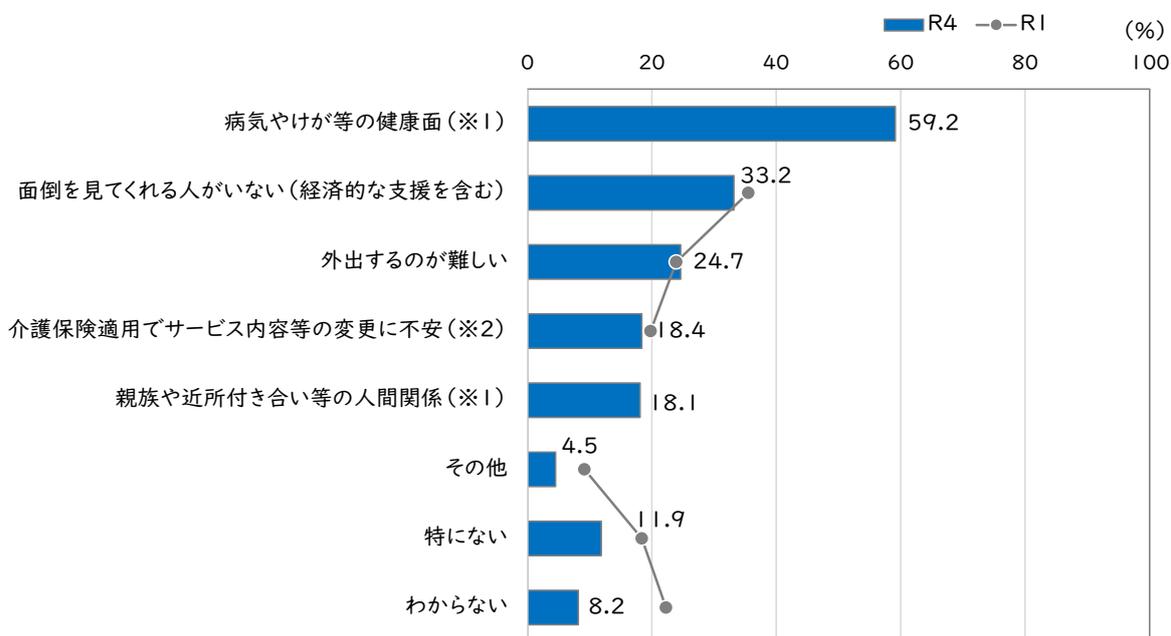
(※2) 自宅を離れて泊まりながら,自立して生活できるように訓練する場所と支援

問39. 高齢化に伴い不安なことはありますか。17歳以下のお子さん（児童）は保護者の方の高齢化，18歳以上の成人の方はご自身の高齢化についてお考えください（〇はいくつでも）。

全体 「病気やけが等の健康面」が最も多く5割後半，続いて「面倒を見てくれる人がいない（経済的な支援を含む）」が3割前半となっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが，前回調査と比べ，大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると，難病では「病気やけが等の健康面」が最も多く7割前半となっています。知的障害，発達障害，精神障害では「面倒を見てくれる人がいない（経済的な支援を含む）」が5割前半～6割前半と多くなっています。視覚障害では「外出するのが難しい」が4割後半となっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,440	63	113	327	274	231	181	290	28	155	50	79
病気やけが等の健康面	59.2	60.3	51.3	58.7	65.7	62.8	58.6	62.1	42.9	71.0	46.0	45.6
面倒を見てくれる人がいない(経済的な支援を含む)	33.2	28.6	26.5	22.6	18.2	58.0	61.9	50.7	21.4	25.2	20.0	27.8
外出するのが難しい	24.7	49.2	31.9	33.9	23.7	28.1	24.3	22.4	35.7	27.1	16.0	16.5
介護保険適用でサービス内容等の変更に不安(※2)	18.4	15.9	22.1	16.8	13.1	30.3	26.0	24.8	21.4	20.0	12.0	17.7
親族や近所付き合い等の人間関係	18.1	14.3	13.3	12.2	10.2	28.6	39.2	28.3	7.1	13.5	16.0	17.7
その他	4.5	3.2	5.3	4.6	4.7	3.9	5.5	5.5	7.1	3.2	4.0	11.4
特になし	11.9	9.5	15.9	12.2	14.2	5.2	5.5	6.9	3.6	9.7	20.0	21.5
わからない	8.2	9.5	8.0	8.3	4.7	9.5	5.5	9.0	14.3	4.5	22.0	6.3

(※1) 選択肢を新設

(※2) 65歳になって介護保険が適用されると，利用しているサービスの内容や費用に変更があるか不安

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	202	1	6	18	3	100	97	13	0	7	25	14
病気やけが等の健康面	45.5	0.0	33.3	50.0	100.0	62.0	50.5	76.9	0.0	71.4	32.0	7.1
面倒を見てくれる人がいない(経済的な支援を含む)	53.5	0.0	50.0	55.6	66.7	60.0	66.0	61.5	0.0	42.9	24.0	28.6
外出するのが難しい	18.3	0.0	50.0	27.8	33.3	24.0	22.7	23.1	0.0	28.6	12.0	7.1
介護保険適用でサービス内容等の変更に不安(※2)	17.3	0.0	50.0	22.2	33.3	25.0	21.6	30.8	0.0	42.9	4.0	0.0
親族や近所付き合い等の人間関係	26.7	0.0	16.7	22.2	33.3	29.0	40.2	46.2	0.0	28.6	8.0	14.3
その他	4.5	0.0	0.0	16.7	0.0	4.0	3.1	7.7	0.0	0.0	0.0	14.3
特になし	8.4	0.0	0.0	5.6	0.0	1.0	5.2	0.0	0.0	0.0	24.0	28.6
わからない	16.8	100.0	33.3	27.8	0.0	15.0	7.2	0.0	0.0	14.3	32.0	28.6

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	615	20	27	95	63	122	81	236	15	67	16	31
病気やけが等の健康面	62.0	70.0	51.9	69.5	68.3	63.9	67.9	59.7	40.0	80.6	43.8	48.4
面倒を見てくれる人がいない(経済的な支援を含む)	44.9	55.0	40.7	36.8	31.7	56.6	58.0	54.7	33.3	37.3	25.0	41.9
外出するのが難しい	23.7	45.0	33.3	37.9	15.9	32.8	25.9	23.3	40.0	20.9	25.0	12.9
介護保険適用でサービス内容等の変更に不安(※2)	26.2	35.0	44.4	28.4	20.6	33.6	30.9	27.1	20.0	29.9	25.0	25.8
親族や近所付き合い等の人間関係	24.2	20.0	18.5	16.8	12.7	30.3	38.3	29.7	6.7	13.4	25.0	25.8
その他	4.9	0.0	7.4	4.2	3.2	4.1	8.6	5.9	6.7	1.5	12.5	6.5
特になし	8.9	10.0	11.1	6.3	11.1	8.2	4.9	6.8	0.0	6.0	25.0	22.6
わからない	7.8	5.0	7.4	6.3	4.8	5.7	3.7	10.2	13.3	4.5	18.8	3.2

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	601	41	77	207	204	8	2	38	13	79	9	32
病気やけが等の健康面	61.1	56.1	53.2	54.6	63.7	62.5	50.0	76.3	46.2	63.3	88.9	59.4
面倒を見てくれる人がいない(経済的な支援を含む)	14.5	17.1	20.8	12.6	13.7	50.0	0.0	23.7	7.7	12.7	0.0	15.6
外出するのが難しい	28.0	51.2	29.9	32.9	26.5	12.5	50.0	18.4	30.8	32.9	11.1	21.9
介護保険適用でサービス内容等の変更に不安(※2)	10.3	7.3	13.0	10.1	10.3	37.5	0.0	7.9	23.1	10.1	11.1	18.8
親族や近所付き合い等の人間関係	9.0	12.2	10.4	8.7	8.8	0.0	0.0	15.8	7.7	12.7	22.2	12.5
その他	4.2	4.9	5.2	3.9	5.4	0.0	0.0	2.6	7.7	5.1	0.0	12.5
特になし	15.8	9.8	18.2	15.9	15.7	12.5	50.0	7.9	7.7	12.7	0.0	15.6
わからない	6.0	9.8	6.5	7.7	4.9	0.0	0.0	5.3	15.4	3.8	0.0	0.0

(※2) 65歳になって介護保険が適用されると、利用しているサービスの内容や費用に変更があるか不安

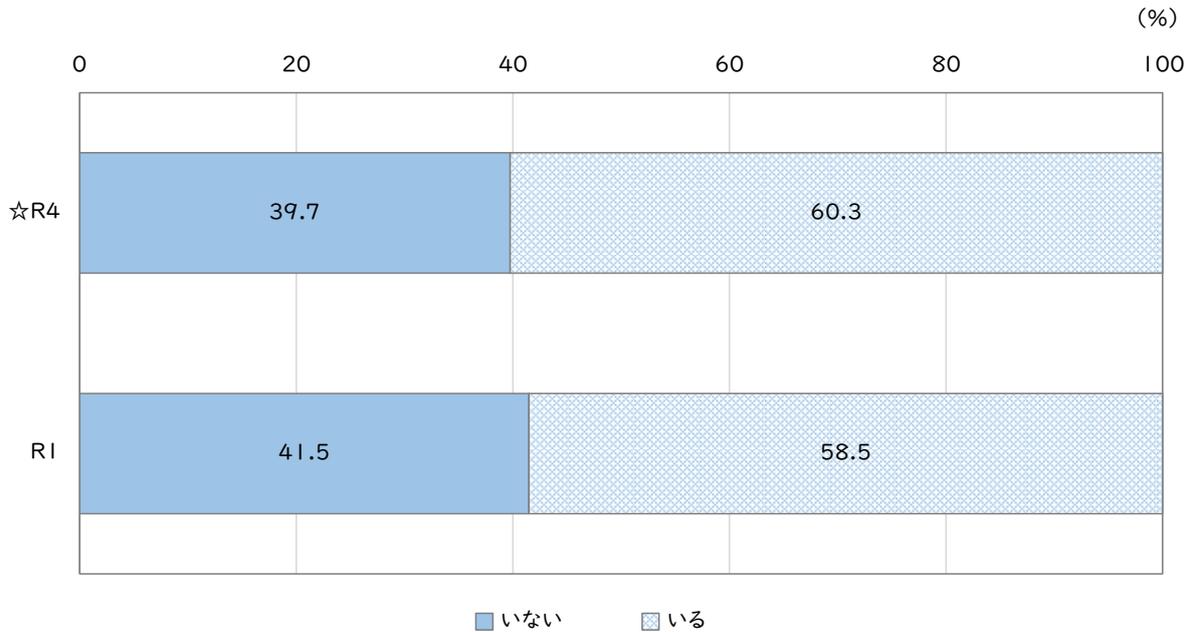
安全・安心な生活環境

問40. 災害時に近所に助けを求められる人はいますか(○はひとつ)。

全体 「いる」が6割前半, 「いない」が3割後半となっています。前回調査と比べ, 大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると, 精神障害では「いない」が5割半ばと多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,472	67	115	329	281	236	186	298	31	156	49	79
いない	39.7	41.8	36.5	36.8	31.3	42.8	42.5	55.0	32.3	30.1	36.7	38.0
いる	60.3	58.2	63.5	63.2	68.7	57.2	57.5	45.0	67.7	69.9	63.3	62.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	203	1	6	18	3	100	99	13	0	7	25	14
いない	37.9	0.0	50.0	33.3	33.3	35.0	34.3	53.8	0.0	28.6	44.0	42.9
いる	62.1	100.0	50.0	66.7	66.7	65.0	65.7	46.2	0.0	71.4	56.0	57.1

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	626	20	28	93	64	126	84	241	16	67	15	32
いない	48.6	45.0	28.6	44.1	39.1	47.6	53.6	57.3	18.8	40.3	40.0	50.0
いる	51.4	55.0	71.4	55.9	60.9	52.4	46.4	42.7	81.3	59.7	60.0	50.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	621	45	78	211	210	9	2	41	15	80	9	31
いない	31.4	40.0	38.5	33.2	29.0	66.7	0.0	41.5	46.7	21.3	11.1	25.8
いる	68.6	60.0	61.5	66.8	71.0	33.3	100.0	58.5	53.3	78.8	88.9	74.2

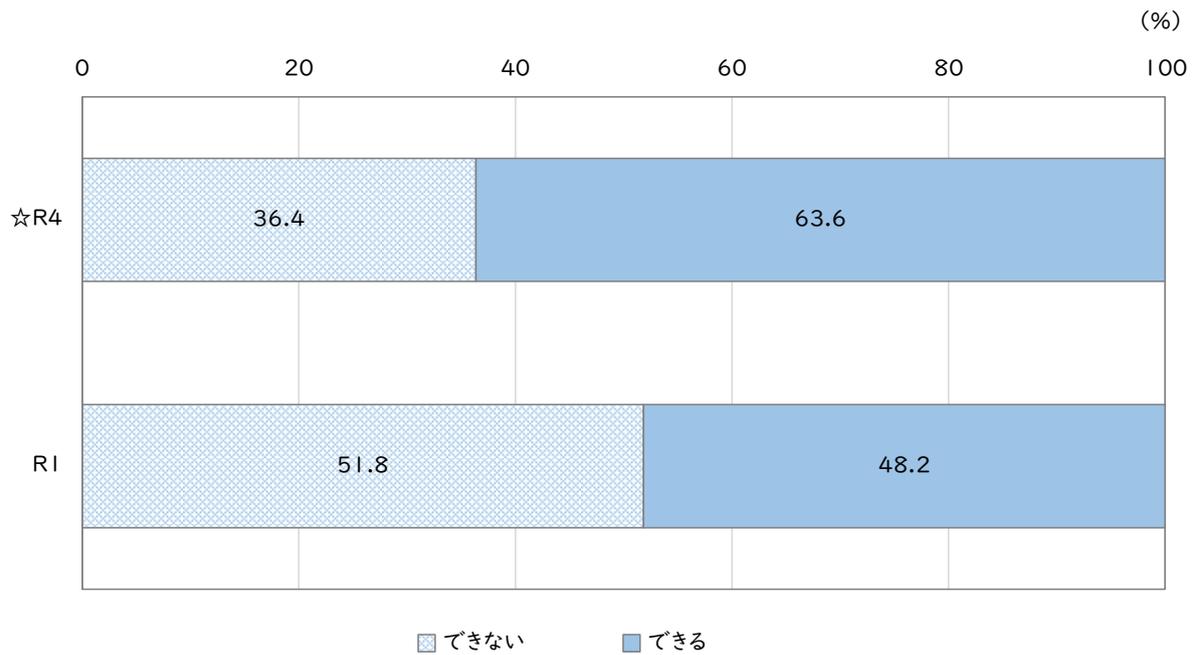
問41. 自分一人で避難することはできますか(○はひとつ)。

(問40で「1. いない」と答えた方にお伺いします。)

全体 「できる」が6割前半, 「できない」が3割半ばとなっています。前回調査と比べ, 「できる」が15ポイント程度増加しています。

属性別 障害種別に見ると, 知的障害と発達障害では「できない」が5割前半~6割半ばと多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	572	28	40	119	86	99	79	159	10	47	17	28
できない	36.4	53.6	45.0	46.2	31.4	64.6	50.6	22.6	60.0	25.5	52.9	28.6
できる	63.6	46.4	55.0	53.8	68.6	35.4	49.4	77.4	40.0	74.5	47.1	71.4

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
全体	75	0	3	6	1	34	34	7	0	2	10	6
できない	61.3	0.0	100.0	33.3	100.0	58.8	73.5	28.6	0.0	50.0	80.0	16.7
できる	38.7	0.0	0.0	66.7	0.0	41.2	26.5	71.4	0.0	50.0	20.0	83.3

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
全体	298	9	8	40	25	59	45	134	3	27	6	15
できない	29.5	55.6	25.0	35.0	24.0	66.1	33.3	23.9	0.0	18.5	16.7	26.7
できる	70.5	44.4	75.0	65.0	76.0	33.9	66.7	76.1	100.0	81.5	83.3	73.3

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
全体	190	18	28	69	59	6	0	16	7	17	1	7
できない	37.9	50.0	42.9	55.1	33.9	83.3	0.0	12.5	85.7	35.3	0.0	42.9
できる	62.1	50.0	57.1	44.9	66.1	16.7	0.0	87.5	14.3	64.7	100.0	57.1

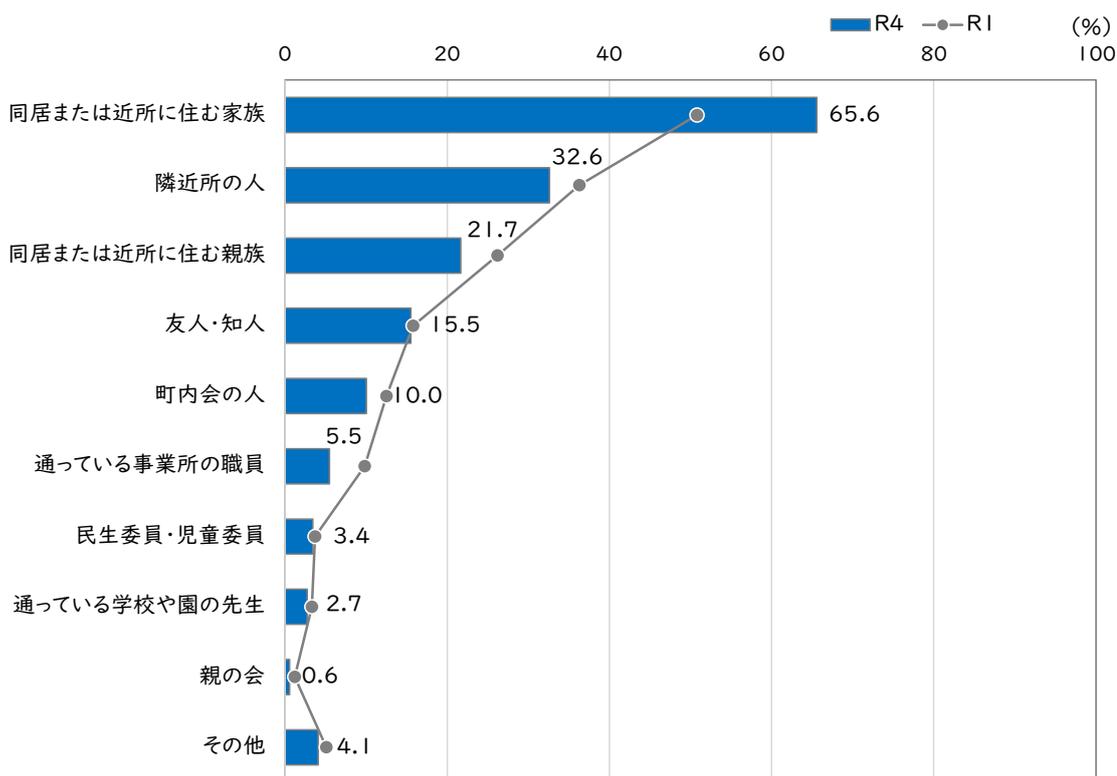
問42. 助けを求められる人は誰ですか(○はいくつでも)。

(問40で「2. いる」と答えた方にお伺いします。)

全体 「同居または近所に住む家族」が最も多く6割半ば、続いて「隣近所の人」が3割前半となっています。前回調査と比べ、「同居または近所に住む家族」が15ポイント程度増加しています。

属性別 障害種別に見ると、視覚障害では「同居または近所に住む家族」が7割後半と多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	877	37	72	208	193	134	104	133	20	109	31	47
同居または近所に住む家族	65.6	78.4	61.1	60.6	61.7	71.6	72.1	61.7	40.0	73.4	61.3	61.7
隣近所の人	32.6	21.6	27.8	34.1	38.3	29.9	26.0	28.6	30.0	27.5	45.2	38.3
同居または近所に住む親族	21.7	21.6	22.2	20.7	18.7	25.4	28.8	19.5	5.0	20.2	35.5	25.5
友人・知人	15.5	13.5	8.3	12.0	17.6	8.2	19.2	19.5	15.0	17.4	19.4	19.1
町内会の人	10.0	10.8	16.7	12.5	15.0	8.2	4.8	6.8	10.0	6.4	6.5	12.8
通っている事業所の職員	5.5	10.8	4.2	6.7	2.6	11.2	13.5	6.0	5.0	1.8	0.0	2.1
民生委員・児童委員	3.4	5.4	8.3	4.8	4.1	2.2	1.9	1.5	0.0	5.5	0.0	4.3
通っている学校や園の先生	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	12.5	1.5	0.0	0.0	16.1	2.1
親の会	0.6	0.0	0.0	0.5	0.0	3.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.1	5.4	8.3	6.3	2.1	2.2	1.9	4.5	25.0	3.7	0.0	8.5

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	124	1	2	12	2	65	64	6	0	5	14	8
同居または近所に住む家族	69.4	100.0	0.0	75.0	100.0	72.3	76.6	100.0	0.0	80.0	35.7	75.0
隣近所の人	34.7	0.0	0.0	33.3	100.0	33.8	28.1	0.0	0.0	20.0	50.0	37.5
同居または近所に住む親族	30.6	100.0	50.0	50.0	0.0	29.2	31.3	33.3	0.0	40.0	35.7	0.0
友人・知人	16.9	0.0	0.0	8.3	50.0	10.8	21.9	16.7	0.0	0.0	21.4	37.5
町内会の人	6.5	0.0	0.0	16.7	0.0	6.2	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通っている事業所の職員	8.1	0.0	0.0	8.3	0.0	7.7	14.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民生委員・児童委員	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通っている学校や園の先生	17.7	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	20.3	16.7	0.0	0.0	35.7	12.5
親の会	2.4	0.0	0.0	8.3	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.6	0.0	50.0	8.3	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	318	11	20	52	39	65	37	102	13	40	9	15
同居または近所に住む家族	68.9	63.6	70.0	71.2	66.7	70.8	64.9	60.8	46.2	80.0	88.9	60.0
隣近所の人	29.2	18.2	30.0	26.9	41.0	27.7	24.3	27.5	30.8	35.0	33.3	20.0
同居または近所に住む親族	20.8	18.2	20.0	15.4	10.3	23.1	24.3	19.6	7.7	20.0	55.6	26.7
友人・知人	17.0	18.2	15.0	19.2	17.9	6.2	16.2	18.6	7.7	22.5	33.3	6.7
町内会の人	8.2	27.3	30.0	13.5	0.0	10.8	2.7	5.9	7.7	2.5	22.2	20.0
通っている事業所の職員	7.2	27.3	5.0	7.7	5.1	13.8	13.5	6.9	7.7	2.5	0.0	0.0
民生委員・児童委員	1.3	0.0	5.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.0	0.0	2.5	0.0	6.7
通っている学校や園の先生	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親の会	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.7	0.0	5.0	1.9	2.6	1.5	5.4	5.9	23.1	0.0	0.0	20.0

(単位:%)

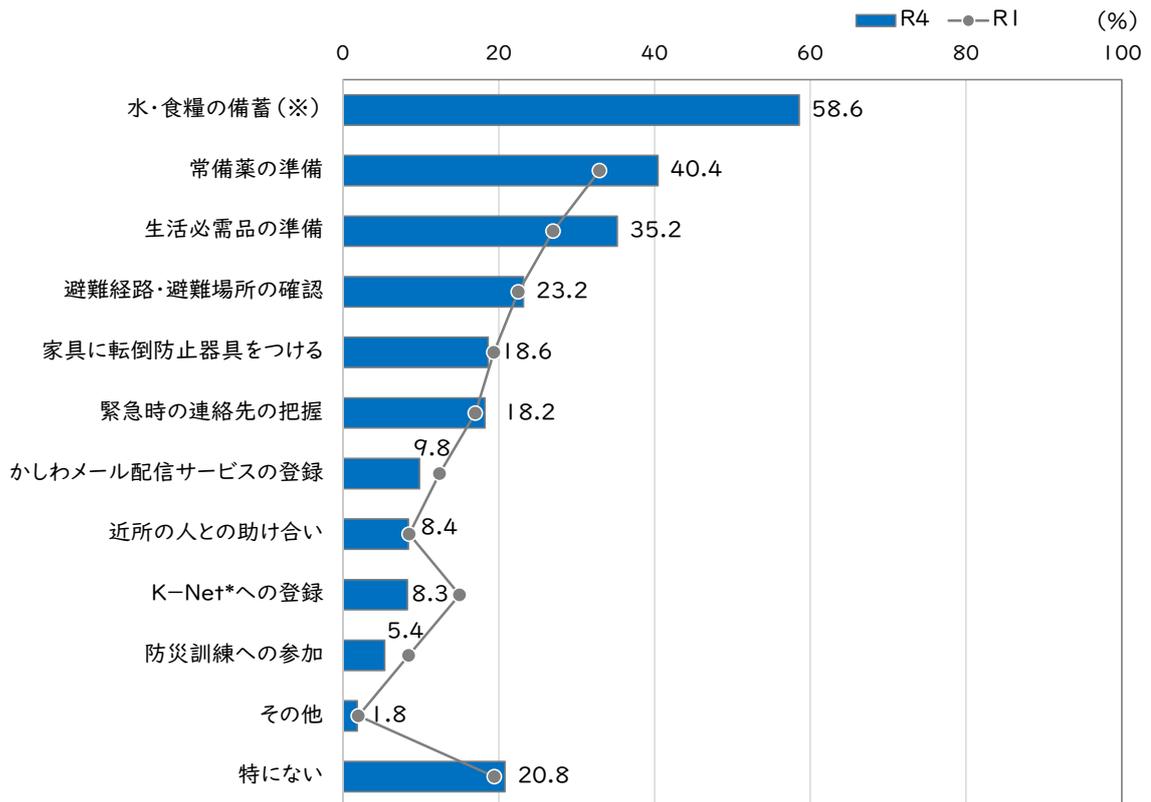
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	422	25	48	141	149	3	2	24	7	63	8	22
同居または近所に住む家族	62.8	84.0	62.5	55.3	60.4	66.7	50.0	54.2	28.6	69.8	75.0	63.6
隣近所の人	34.4	24.0	27.1	37.6	37.6	0.0	0.0	37.5	28.6	22.2	50.0	45.5
同居または近所に住む親族	19.7	20.0	20.8	20.6	20.8	0.0	50.0	16.7	0.0	19.0	12.5	31.8
友人・知人	14.5	12.0	6.3	9.9	17.4	0.0	0.0	25.0	28.6	15.9	0.0	22.7
町内会の人	12.3	4.0	12.5	11.3	19.5	0.0	0.0	12.5	14.3	9.5	0.0	9.1
通っている事業所の職員	3.3	4.0	4.2	6.4	1.3	33.3	0.0	4.2	0.0	1.6	0.0	4.5
民生委員・児童委員	5.2	8.0	8.3	7.1	5.4	0.0	0.0	4.2	0.0	7.9	0.0	0.0
通っている学校や園の先生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親の会	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.5	8.0	8.3	7.8	2.0	0.0	0.0	0.0	28.6	6.3	0.0	0.0

問43. 日頃から、災害に備えていることはありますか(○はいくつでも)。

【全体】 「水・食料の備蓄」が最も多く5割後半, 続いて「常備菜の準備」が4割前半となっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが, 前回調査と比べ, 大きな傾向の違いは見られません。

【属性別】 属性別に見ても, 全体と比べ大きな傾向の違いは見られません。

【全体】



(※) R1調査の選択肢から「水の備蓄」「食糧の備蓄」を統合

*K-Netとは, 災害が発生した時に一人で避難することが困難なことを近所の人に知っていただき, 近所の人との協力による安否の確認や避難の支援につなげる制度。利用するには事前に柏市役所への登録が必要となる。

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,476	68	119	334	283	234	184	296	28	156	50	83
水・食糧の備蓄	58.6	48.5	52.9	60.2	62.2	48.7	63.0	52.0	42.9	67.9	70.0	57.8
常備薬の準備	40.4	36.8	35.3	39.5	49.5	32.1	40.2	41.6	25.0	50.0	38.0	28.9
生活必需品の準備	35.2	36.8	34.5	34.4	38.9	34.2	40.8	27.7	32.1	38.5	36.0	36.1
避難経路・避難場所の確認	23.2	17.6	21.0	19.5	23.7	24.8	27.2	25.0	0.0	25.0	38.0	14.5
家具に転倒防止器具をつける	18.6	14.7	16.0	20.1	24.0	16.7	22.3	13.5	17.9	25.0	18.0	16.9
緊急時の連絡先の把握	18.2	11.8	18.5	15.3	17.3	17.1	21.7	15.9	10.7	17.3	36.0	19.3
かしわメール配信サービスの登録	9.8	5.9	8.4	7.8	6.0	13.7	15.2	9.1	7.1	14.1	26.0	9.6
近所の人との助け合い	8.4	5.9	16.0	10.8	9.5	5.6	6.0	3.0	14.3	10.3	10.0	12.0
K-Netへの登録	8.3	11.8	15.1	15.3	7.1	16.7	10.3	3.4	32.1	5.1	0.0	9.6
防災訓練への参加	5.4	2.9	4.2	3.3	6.0	8.5	10.3	3.7	3.6	4.5	2.0	8.4
その他	1.8	2.9	2.5	2.4	1.4	2.1	1.1	2.0	7.1	1.3	2.0	2.4
特になし	20.8	27.9	22.7	21.6	17.7	21.4	16.8	25.7	28.6	18.6	12.0	24.1

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	202	1	6	18	3	100	98	13	0	7	25	14
水・食糧の備蓄	67.3	0.0	50.0	77.8	66.7	56.0	68.4	76.9	0.0	85.7	80.0	85.7
常備薬の準備	32.7	0.0	50.0	61.1	66.7	35.0	38.8	38.5	0.0	71.4	28.0	21.4
生活必需品の準備	41.6	0.0	33.3	61.1	66.7	37.0	41.8	38.5	0.0	71.4	44.0	42.9
避難経路・避難場所の確認	26.7	0.0	0.0	33.3	0.0	28.0	31.6	38.5	0.0	14.3	32.0	14.3
家具に転倒防止器具をつける	19.8	0.0	16.7	44.4	0.0	16.0	20.4	23.1	0.0	14.3	20.0	35.7
緊急時の連絡先の把握	21.8	0.0	0.0	16.7	0.0	18.0	25.5	15.4	0.0	0.0	28.0	28.6
かしわメール配信サービスの登録	18.8	0.0	0.0	22.2	0.0	21.0	16.3	15.4	0.0	28.6	32.0	14.3
近所の人との助け合い	5.9	0.0	0.0	11.1	0.0	6.0	6.1	7.7	0.0	14.3	4.0	7.1
K-Netへの登録	12.4	0.0	16.7	16.7	0.0	19.0	13.3	23.1	0.0	14.3	0.0	21.4
防災訓練への参加	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	11.2	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.0	0.0	0.0	5.6	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	13.4	100.0	33.3	5.6	33.3	16.0	14.3	15.4	0.0	14.3	4.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	623	20	28	93	64	125	83	238	15	67	16	33
水・食糧の備蓄	51.7	50.0	42.9	60.2	56.3	42.4	55.4	49.6	40.0	67.2	43.8	39.4
常備薬の準備	39.3	35.0	17.9	34.4	53.1	28.8	41.0	41.2	33.3	52.2	43.8	24.2
生活必需品の準備	31.9	45.0	25.0	32.3	37.5	32.0	39.8	28.6	26.7	40.3	18.8	30.3
避難経路・避難場所の確認	23.9	20.0	28.6	22.6	28.1	24.0	22.9	23.9	0.0	23.9	43.8	9.1
家具に転倒防止器具をつける	17.2	15.0	17.9	17.2	25.0	18.4	24.1	13.0	6.7	31.3	18.8	9.1
緊急時の連絡先の把握	16.4	5.0	17.9	14.0	9.4	16.8	18.1	15.5	13.3	22.4	37.5	12.1
かしわメール配信サービスの登録	11.7	15.0	14.3	10.8	10.9	8.8	14.5	9.7	6.7	20.9	25.0	12.1
近所の人との助け合い	4.2	0.0	17.9	3.2	3.1	5.6	6.0	2.1	6.7	7.5	12.5	3.0
K-Netへの登録	5.8	15.0	25.0	15.1	3.1	16.0	7.2	2.1	26.7	3.0	0.0	6.1
防災訓練への参加	5.5	5.0	10.7	2.2	6.3	12.8	9.6	3.4	0.0	4.5	6.3	6.1
その他	2.1	0.0	0.0	1.1	3.1	3.2	1.2	2.1	0.0	0.0	6.3	3.0
特になし	25.7	30.0	28.6	22.6	26.6	24.8	20.5	26.9	33.3	19.4	25.0	45.5

(単位:%)

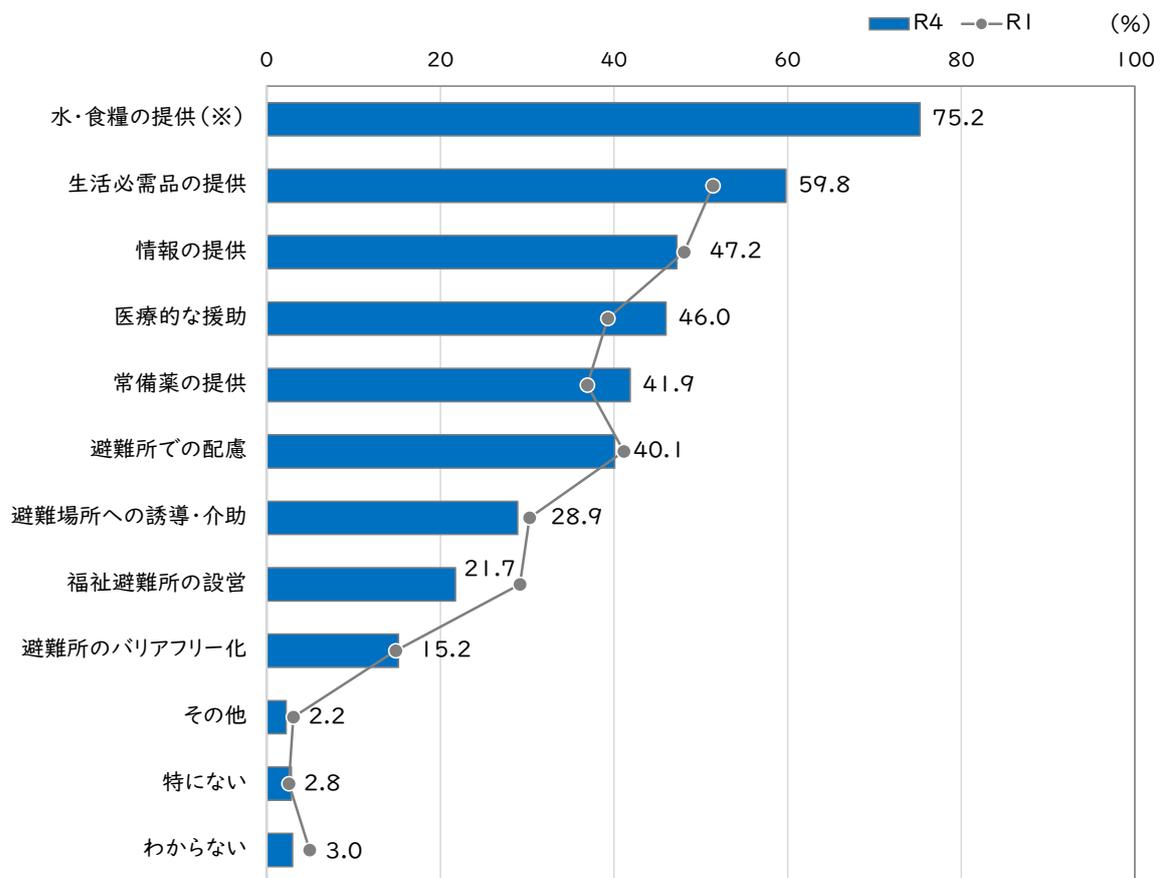
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	629	46	82	216	212	8	2	42	13	80	9	34
水・食糧の備蓄	62.6	50.0	54.9	59.3	64.2	62.5	100.0	59.5	46.2	66.3	88.9	61.8
常備薬の準備	43.6	39.1	40.2	39.4	47.2	37.5	50.0	47.6	15.4	46.3	55.6	32.4
生活必需品の準備	36.7	34.8	39.0	33.8	39.2	37.5	0.0	21.4	38.5	33.8	44.4	35.3
避難経路・避難場所の確認	21.5	15.2	20.7	17.1	23.1	0.0	0.0	28.6	0.0	25.0	44.4	20.6
家具に転倒防止器具をつける	20.0	15.2	14.6	19.4	24.5	0.0	0.0	14.3	30.8	21.3	11.1	17.6
緊急時の連絡先の把握	19.1	15.2	20.7	15.3	20.3	12.5	0.0	19.0	7.7	15.0	55.6	20.6
かしわメール配信サービスの登録	5.1	2.2	6.1	5.1	4.7	0.0	0.0	4.8	7.7	7.5	11.1	5.9
近所の人との助け合い	13.4	8.7	15.9	14.4	11.8	0.0	0.0	7.1	23.1	12.5	22.2	20.6
K-Netへの登録	9.5	10.9	12.2	15.3	8.5	0.0	0.0	4.8	38.5	6.3	0.0	8.8
防災訓練への参加	5.1	2.2	2.4	4.2	6.1	0.0	0.0	4.8	7.7	5.0	0.0	11.8
その他	1.9	4.3	3.7	2.8	0.9	0.0	0.0	2.4	15.4	2.5	0.0	2.9
特になし	18.8	26.1	20.7	23.1	15.1	37.5	0.0	19.0	23.1	18.8	11.1	14.7

問44. 災害が起きた時に支援してほしいことは何ですか（〇はいくつでも）。

全体 「水・食料の提供」が最も多く7割半ば、続いて「生活必需品の提供」が5割後半となっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、前回調査と比べ大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると、知的障害と発達障害では「避難所での配慮」が5割前半、視覚障害と聴覚障害では「避難場所への誘導・介助」が4割台、肢体不自由では「避難所のバリアフリー化」が3割前半と多くなっています。

【全体】



(※) R1から選択肢を統合

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,450	67	116	328	280	229	181	295	29	155	49	81
水・食糧の提供	75.2	70.1	74.1	72.0	74.6	75.1	75.7	79.3	55.2	78.1	79.6	72.8
生活必需品の提供	59.8	44.8	56.0	56.7	57.1	62.4	62.4	63.7	37.9	69.0	69.4	58.0
情報の提供	47.2	37.3	45.7	43.6	48.9	44.5	48.1	51.5	31.0	47.7	57.1	45.7
医療的な援助	46.0	46.3	45.7	43.3	52.1	38.4	44.2	54.6	34.5	53.5	42.9	34.6
常備薬の提供	41.9	47.8	44.0	35.4	40.4	35.4	39.2	59.3	48.3	45.8	42.9	35.8
避難所での配慮	40.1	43.3	50.0	35.1	33.2	52.4	53.6	43.4	41.4	38.1	42.9	35.8
避難場所への誘導・介助	28.9	49.3	41.4	37.2	21.8	38.9	34.3	22.4	48.3	29.0	18.4	25.9
福祉避難所の設営	21.7	22.4	27.6	24.7	13.6	41.0	34.8	19.3	27.6	19.4	18.4	22.2
避難所のバリアフリー化	15.2	29.9	27.6	33.2	8.9	15.7	8.8	10.8	37.9	16.8	10.2	8.6
その他	2.2	1.5	5.2	2.7	0.7	2.2	3.9	2.4	6.9	2.6	0.0	6.2
特になし	2.8	6.0	1.7	3.4	2.9	3.1	2.2	1.7	3.4	2.6	2.0	2.5
わからない	3.0	3.0	0.9	4.0	1.1	2.6	2.8	3.1	6.9	2.6	4.1	4.9

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	199	1	6	18	3	98	96	13	0	7	25	14
水・食糧の提供	76.9	100.0	83.3	77.8	66.7	76.5	74.0	69.2	0.0	100.0	84.0	71.4
生活必需品の提供	64.3	100.0	83.3	66.7	33.3	66.3	61.5	46.2	0.0	100.0	76.0	57.1
情報の提供	47.7	100.0	50.0	55.6	33.3	43.9	50.0	30.8	0.0	57.1	64.0	35.7
医療的な援助	39.2	0.0	33.3	44.4	100.0	36.7	37.5	23.1	0.0	57.1	56.0	28.6
常備薬の提供	32.7	0.0	50.0	44.4	33.3	31.6	33.3	46.2	0.0	71.4	36.0	14.3
避難所での配慮	50.8	0.0	50.0	61.1	100.0	59.2	55.2	69.2	0.0	57.1	36.0	35.7
避難場所への誘導・介助	27.6	0.0	33.3	38.9	66.7	32.7	29.2	23.1	0.0	42.9	20.0	21.4
福祉避難所の設営	33.2	0.0	50.0	61.1	33.3	41.8	39.6	23.1	0.0	28.6	24.0	35.7
避難所のバリアフリー化	9.0	0.0	16.7	50.0	33.3	13.3	6.3	15.4	0.0	14.3	4.0	7.1
その他	3.5	0.0	0.0	11.1	0.0	3.1	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
特になし	1.5	0.0	16.7	5.6	0.0	2.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	4.0	0.0	0.0	5.6	0.0	2.0	5.2	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	620	20	30	95	62	121	82	239	16	69	16	32
水・食糧の提供	76.9	80.0	80.0	74.7	72.6	75.2	76.8	79.1	68.8	82.6	81.3	71.9
生活必需品の提供	62.4	50.0	53.3	67.4	58.1	61.2	64.6	64.0	50.0	72.5	62.5	56.3
情報の提供	48.7	30.0	43.3	51.6	48.4	47.9	45.1	49.8	43.8	55.1	31.3	46.9
医療的な援助	50.3	60.0	46.7	54.7	58.1	40.5	51.2	59.0	37.5	55.1	25.0	43.8
常備薬の提供	48.1	55.0	50.0	40.0	46.8	38.8	45.1	61.5	56.3	52.2	50.0	43.8
避難所での配慮	40.0	60.0	43.3	37.9	32.3	48.8	52.4	43.1	31.3	36.2	37.5	34.4
避難場所への誘導・介助	27.3	55.0	40.0	35.8	14.5	43.8	40.2	21.8	50.0	30.4	12.5	28.1
福祉避難所の設営	22.4	20.0	26.7	24.2	9.7	42.1	30.5	19.2	18.8	21.7	12.5	25.0
避難所のバリアフリー化	13.5	45.0	33.3	32.6	9.7	18.2	12.2	10.9	31.3	11.6	18.8	12.5
その他	2.1	0.0	3.3	1.1	0.0	1.7	3.7	2.9	0.0	2.9	0.0	12.5
特になし	3.5	10.0	0.0	3.2	6.5	3.3	2.4	2.1	6.3	1.4	6.3	6.3
わからない	2.9	0.0	0.0	4.2	1.6	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	6.3	9.4

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	610	45	77	208	211	9	2	40	13	77	8	34
水・食糧の提供	72.8	64.4	70.1	70.2	75.4	55.6	100.0	85.0	38.5	71.4	62.5	73.5
生活必需品の提供	55.2	40.0	53.2	50.0	57.3	33.3	50.0	70.0	23.1	62.3	62.5	58.8
情報の提供	45.6	40.0	48.1	38.5	48.8	11.1	50.0	67.5	15.4	40.3	87.5	50.0
医療的な援助	44.1	42.2	46.8	37.0	50.7	33.3	50.0	42.5	30.8	51.9	37.5	26.5
常備薬の提供	38.5	46.7	40.3	31.7	38.4	22.2	100.0	55.0	38.5	39.0	50.0	35.3
避難所での配慮	36.7	35.6	50.6	31.3	33.2	33.3	0.0	37.5	53.8	39.0	75.0	38.2
避難場所への誘導・介助	30.5	46.7	41.6	36.5	22.7	44.4	50.0	27.5	46.2	27.3	25.0	23.5
福祉避難所の設営	17.5	24.4	26.0	21.2	14.7	22.2	0.0	20.0	38.5	16.9	12.5	14.7
避難所のバリアフリー化	18.5	22.2	26.0	31.3	8.5	11.1	0.0	10.0	46.2	22.1	12.5	5.9
その他	2.0	2.2	6.5	2.9	0.9	0.0	0.0	0.0	15.4	2.6	0.0	0.0
特になし	2.6	4.4	1.3	3.4	1.9	11.1	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0
わからない	2.6	4.4	1.3	3.8	0.9	0.0	0.0	0.0	15.4	5.2	0.0	2.9

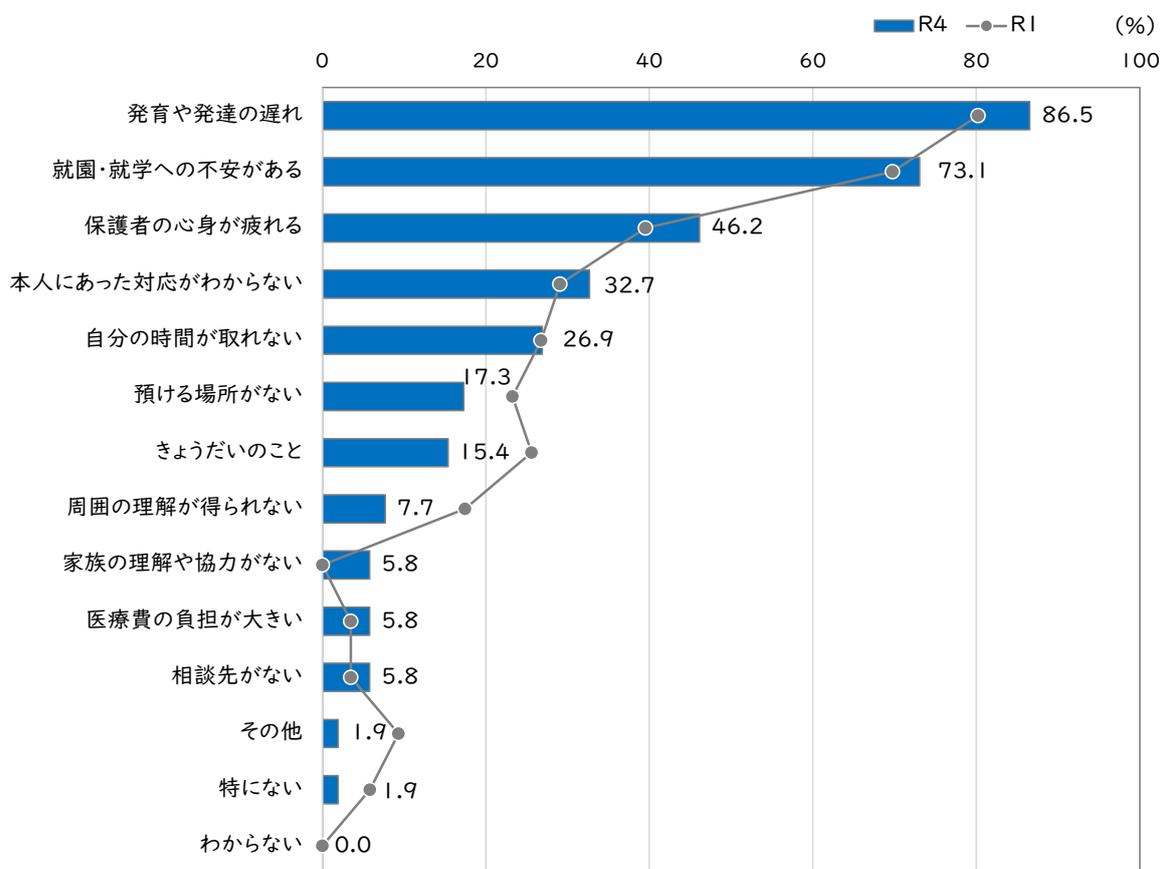
こども（小学校入学前（乳幼児期））

問45. 小学校入学前のお子さんのことで、現在悩んでいることや困っていることは何ですか
（○はいくつでも）。

（※保護者の方がお答えください）

全体 回答母数が少ないですが、「発育や発達の遅れ」が最も多く8割半ば、続いて「就園・就学への不安がある」が7割前半となっています。前回調査と比べ、「きょうだいのこと」が10ポイント程度減少しています。

【全体】



【障害種別】

(単位:%)

就学前	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	52	0	2	0	0	4	22	0	0	1	21	6
発育や発達の遅れ	86.5	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	90.9	0.0	0.0	100.0	85.7	66.7
就園・就学への不安がある	73.1	0.0	50.0	0.0	0.0	75.0	77.3	0.0	0.0	0.0	76.2	50.0
保護者の心身が疲れる	46.2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	54.5	0.0	0.0	100.0	42.9	33.3
本人にあった対応がわからない	32.7	0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	40.9	0.0	0.0	100.0	28.6	0.0
自分の時間が取れない	26.9	0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	27.3	0.0	0.0	100.0	23.8	16.7
預ける場所がない	17.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	27.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
きょうだいのこと	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	19.0	0.0
周囲の理解が得られない	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	9.5	16.7
家族の理解や協力がでない	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
医療費の負担が大きい	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4.5	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0
相談先がない	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	9.1	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
その他	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

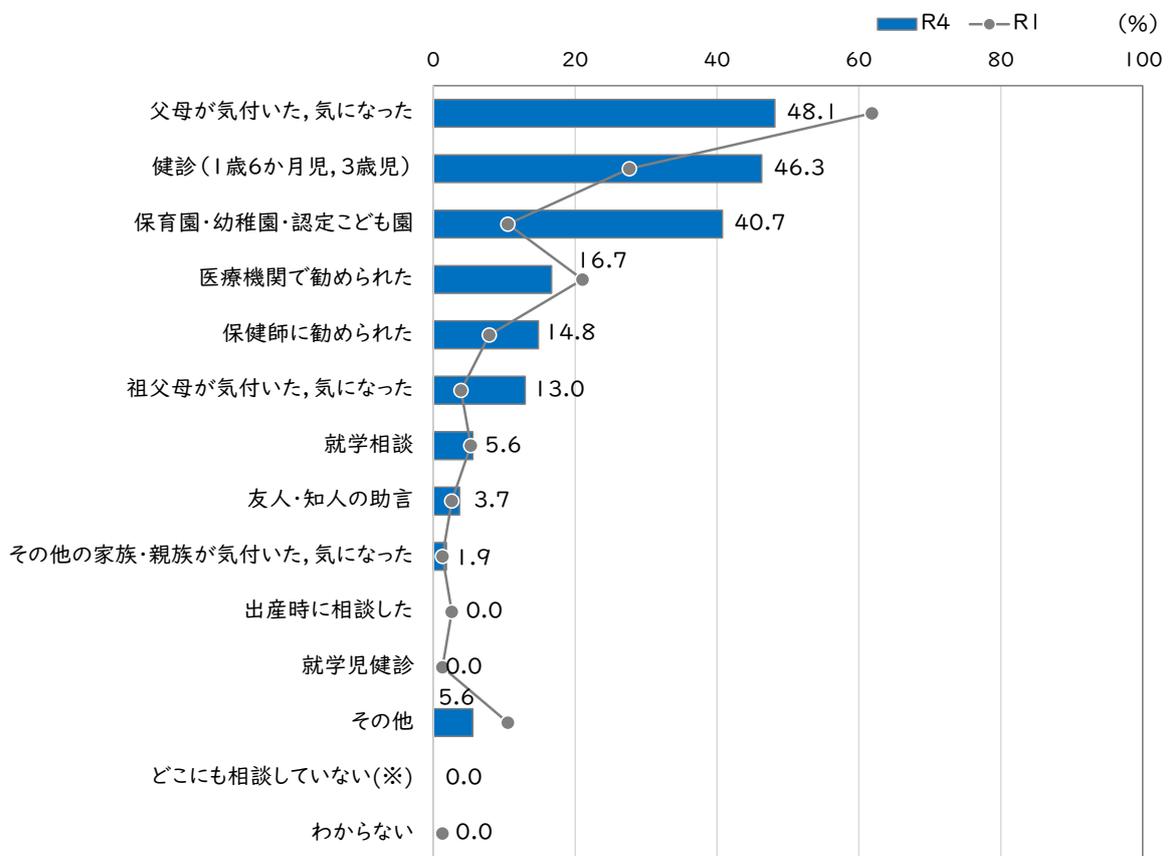
問46. お子さんについての悩みや困っていることを相談したきっかけは何ですか

(○はいくつでも)。

(※保護者の方がお答えください)

全体 回答母数が少ないですが、「父母が気づいた, 気になった」が最も多く4割後半, 続いて「健診(1歳6か月児, 3歳児)」が4割半ば, 「保育園・幼稚園・認定こども園」が4割前半となっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが, 前回調査と比べ, 「父母が気づいた, 気になった」が14ポイント程度減少し, 「健診(1歳6か月児, 3歳児)」が19ポイント程度, 「保育園・幼稚園・認定こども園」が30ポイント程度増加しています。

【全体】



(※) 選択肢を新設

【障害種別】

(単位:%)

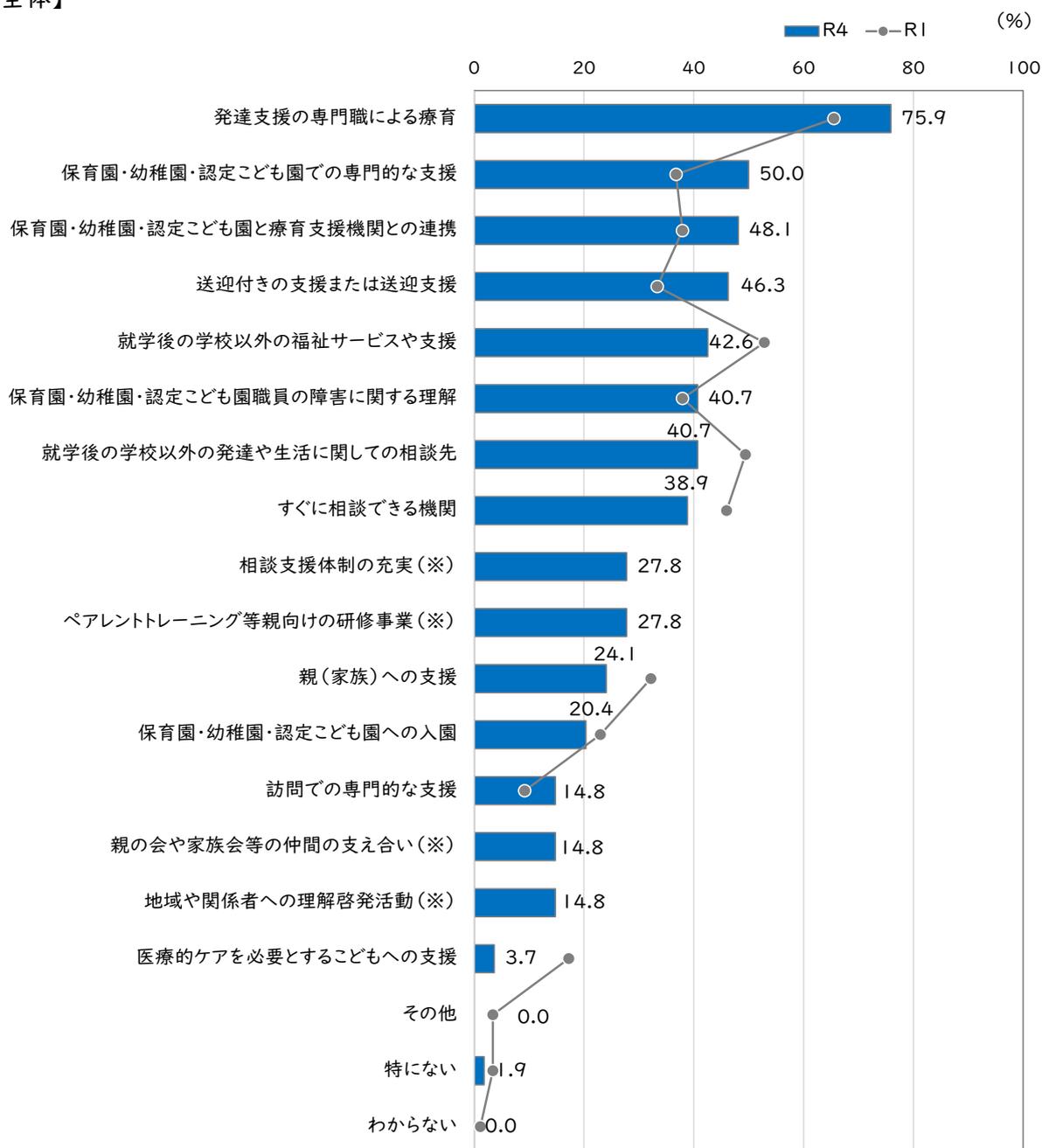
就学前	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	54	0	2	0	0	4	23	0	0	1	22	6
父母が気付いた, 気になった	48.1	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	52.2	0.0	0.0	0.0	54.5	33.3
健診(1歳6か月児, 3歳児)	46.3	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	39.1	0.0	0.0	100.0	54.5	33.3
保育園・幼稚園・認定こども園	40.7	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	30.4	0.0	0.0	0.0	63.6	16.7
医療機関で勧められた	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	13.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0
保健師に勧められた	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0
祖父母が気付いた, 気になった	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	18.2	16.7
就学相談	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0
友人・知人の助言	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	16.7
その他の家族・親族が気付いた, 気になった	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
出産時に相談した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就学児健診	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
どこにも相談していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問47. 今後充実してほしい支援・サービスは何ですか（〇はいくつでも）。

（※保護者の方がお答えください）

全体 回答母数が少ないですが、「発達支援の専門職による療育」が最も多く7割半ば、続いて「保育園・幼稚園・認定こども園での専門的な支援」が5割となっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、前回調査と比べ、「発達支援の専門職による療育」「保育園・幼稚園・認定こども園での専門的な支援」「保育園・幼稚園・認定こども園と療育支援機関との連携」「送迎付きの支援または送迎支援」が10～13ポイント程度増加しています。一方、「就学後の学校以外の福祉サービスや支援」、「医療的ケアを必要とするこどもへの支援」が10～13ポイント程度減少しています。

【全体】



(※) 選択肢を新設

【障害種別】

(単位:%)

就学前	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	54	0	2	0	0	4	23	0	0	1	22	6
発達支援の専門職による療育	75.9	0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	82.6	0.0	0.0	100.0	72.7	66.7
保育園・幼稚園・認定こども園での専門的な支援	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	47.8	0.0	0.0	0.0	59.1	33.3
保育園・幼稚園・認定こども園と療育支援機関との連携	48.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	56.5	0.0	0.0	0.0	54.5	16.7
送迎付きの支援または送迎支援	46.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.2	0.0	0.0	0.0	54.5	16.7
就学後の学校以外の福祉サービスや支援	42.6	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	52.2	0.0	0.0	0.0	45.5	16.7
保育園・幼稚園・認定こども園職員の障害に関する理解	40.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	43.5	0.0	0.0	0.0	45.5	16.7
就学後の学校以外の発達や生活に関しての相談先	40.7	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	47.8	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0
すぐに相談できる機関	38.9	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	47.8	0.0	0.0	0.0	36.4	33.3
相談支援体制の充実	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	39.1	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
ペアレントトレーニング等親向けの研修事業	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	39.1	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
親(家族)への支援	24.1	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	26.1	0.0	0.0	0.0	31.8	0.0
保育園・幼稚園・認定こども園への入園	20.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	27.3	33.3
訪問での専門的な支援	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	22.7	16.7
親の会や家族会等の仲間の支え合い	14.8	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	21.7	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
地域や関係者への理解啓発活動	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	18.2	16.7
医療的ケアを必要とする子どもへの支援	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4.3	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特になし	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

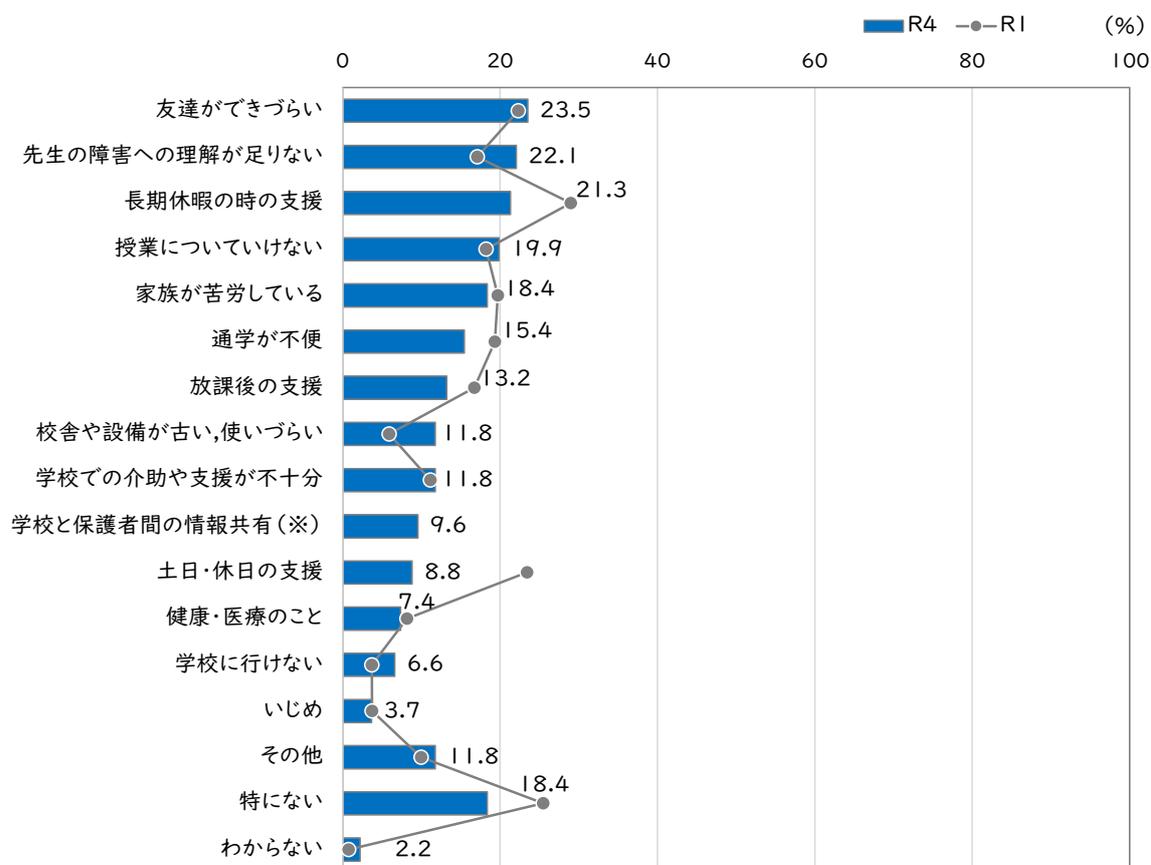
こども（小学校入学後（学齢期））

問48. 学校生活で困った、困っていることはありますか（〇はいくつでも）。

（※保護者の方がお答えください）

全体 回答母数が少ないですが、「友達ができづらい」、「先生の障害への理解が足りない」、「長期休暇の時の支援」が2割前半となっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、前回調査と比べ、「土日・祝日の支援」が14ポイント程度減少しています。

【全体】



（※）選択肢を新設

【障害種別】

(単位:%)

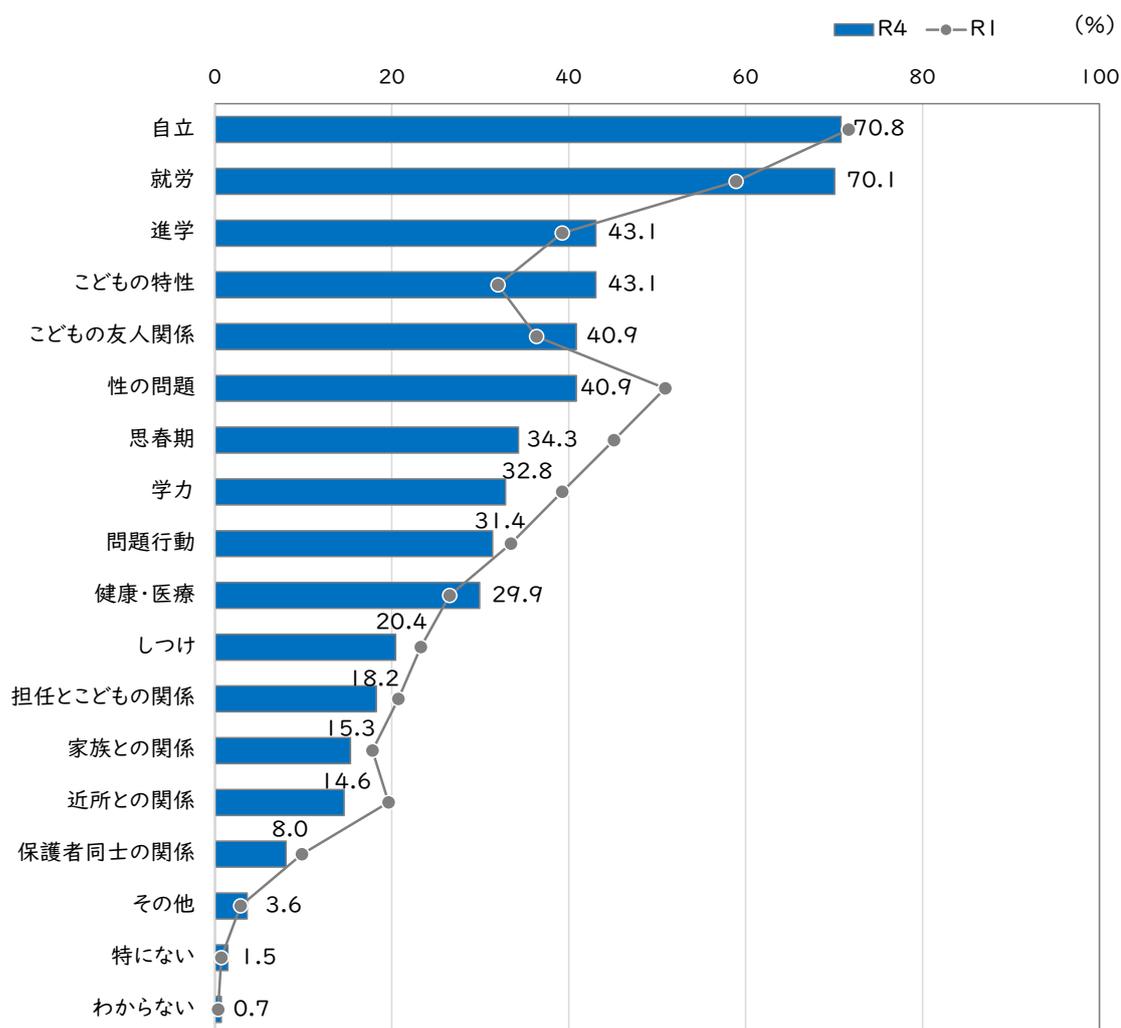
学齢期	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	136	1	4	14	3	88	74	12	0	6	2	8
友達ができづらい	23.5	100.0	0.0	14.3	33.3	20.5	28.4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
先生の障害への理解が足りない	22.1	0.0	50.0	21.4	0.0	18.2	28.4	33.3	0.0	0.0	0.0	37.5
長期休暇の時の支援	21.3	0.0	50.0	21.4	0.0	19.3	21.6	41.7	0.0	16.7	0.0	50.0
授業についていけない	19.9	100.0	0.0	14.3	0.0	14.8	24.3	33.3	0.0	0.0	0.0	25.0
家族が苦勞している	18.4	0.0	25.0	28.6	33.3	12.5	21.6	41.7	0.0	16.7	0.0	62.5
通学が不便	15.4	0.0	0.0	35.7	66.7	19.3	12.2	16.7	0.0	50.0	0.0	12.5
放課後の支援	13.2	0.0	0.0	7.1	0.0	11.4	16.2	16.7	0.0	16.7	0.0	25.0
校舎や設備が古い,使いづらい	11.8	0.0	0.0	42.9	0.0	12.5	10.8	25.0	0.0	16.7	0.0	0.0
学校での介助や支援が不十分	11.8	0.0	25.0	14.3	0.0	10.2	14.9	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5
学校と保護者間の情報共有	9.6	0.0	0.0	7.1	0.0	8.0	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
土日・休日の支援	8.8	0.0	50.0	0.0	0.0	10.2	10.8	16.7	0.0	0.0	0.0	12.5
健康・医療のこと	7.4	0.0	0.0	14.3	33.3	8.0	8.1	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
学校に行けない	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	8.1	8.3	0.0	0.0	0.0	12.5
いじめ	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	11.8	0.0	25.0	14.3	0.0	12.5	9.5	25.0	0.0	33.3	0.0	37.5
特にない	18.4	0.0	0.0	14.3	33.3	21.6	13.5	8.3	0.0	0.0	100.0	12.5
わからない	2.2	0.0	25.0	7.1	0.0	2.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問49. 学齢期に子育てをする上で、どのようなことに不安がありますか(○はいくつでも)。

(※保護者の方がお答えください)

【全体】 回答母数が少ないですが、「自立」と「就労」が7割前半、「進学」、「こどもの特性」、「こどもの友人関係」、「性の問題」がいずれも4割前半となっています。前回調査と比べ、「就労」と「こどもの特性」は11ポイント程度増加しています。一方「性の問題」と「思春期」は10~11ポイント程度減少しています。

【全体】



【障害種別】

(単位:%)

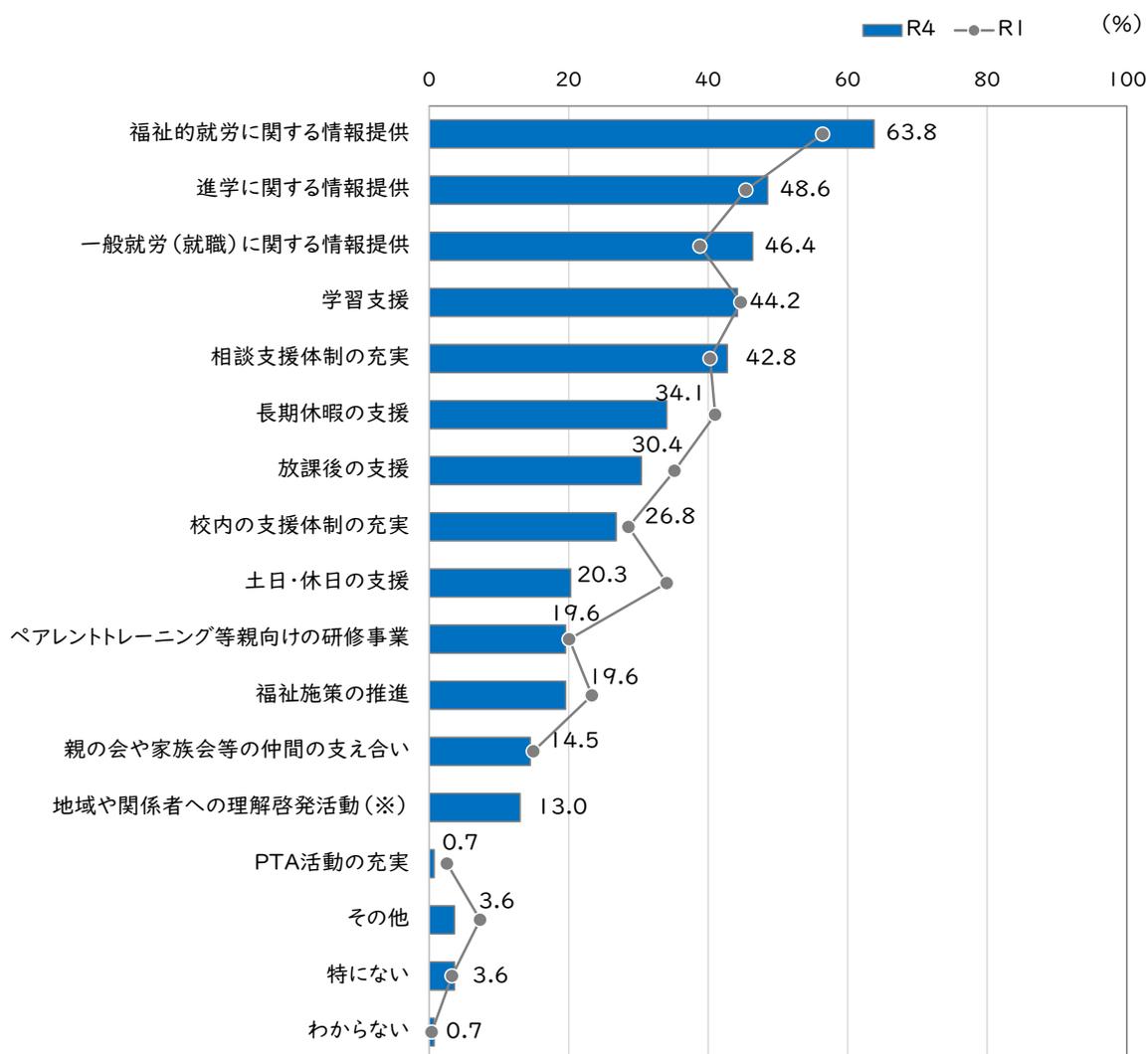
学齢期	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	137	1	4	15	3	89	74	12	0	6	2	8
自立	70.8	0.0	50.0	53.3	100.0	71.9	75.7	75.0	0.0	83.3	0.0	50.0
就労	70.1	0.0	50.0	33.3	100.0	70.8	77.0	58.3	0.0	83.3	0.0	37.5
進学	43.1	100.0	0.0	13.3	33.3	32.6	50.0	58.3	0.0	16.7	50.0	75.0
こどもの特性	43.1	0.0	50.0	33.3	33.3	37.1	52.7	41.7	0.0	16.7	0.0	87.5
こどもの友人関係	40.9	100.0	0.0	13.3	33.3	29.2	52.7	25.0	0.0	16.7	50.0	50.0
性の問題	40.9	0.0	100.0	26.7	66.7	50.6	47.3	41.7	0.0	50.0	50.0	0.0
思春期	34.3	0.0	75.0	26.7	66.7	36.0	45.9	41.7	0.0	33.3	50.0	25.0
学力	32.8	100.0	25.0	26.7	33.3	27.0	33.8	25.0	0.0	0.0	50.0	12.5
問題行動	31.4	0.0	25.0	6.7	66.7	30.3	44.6	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0
健康・医療	29.9	0.0	75.0	60.0	100.0	36.0	23.0	33.3	0.0	83.3	0.0	25.0
しつけ	20.4	0.0	25.0	6.7	33.3	16.9	24.3	33.3	0.0	0.0	0.0	37.5
担任とこどもの関係	18.2	0.0	0.0	26.7	33.3	15.7	24.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
家族との関係	15.3	0.0	0.0	6.7	33.3	18.0	18.9	33.3	0.0	16.7	0.0	37.5
近所との関係	14.6	0.0	0.0	13.3	66.7	16.9	14.9	33.3	0.0	16.7	0.0	25.0
保護者同士の関係	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	8.1	8.3	0.0	0.0	0.0	12.5
その他	3.6	0.0	0.0	13.3	0.0	3.4	4.1	8.3	0.0	0.0	0.0	12.5
特にない	1.5	0.0	0.0	6.7	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問50. 学齢期に子育てをする上で、どんな援助を希望しますか(○はいくつでも)。

(※保護者の方がお答えください)

【全体】 回答母数が少ないですが、「福祉的就労に関する情報提供」が最も多く6割前半、「進学に関する情報提供」が4割後半となっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、前回調査と比べ、「土日・休日の支援」が14ポイント程度減少しています。

【全体】



(※)R1調査の選択肢から「地域行事等での理解啓発活動」「周囲への理解啓発」を統合

【障害種別】

(単位:%)

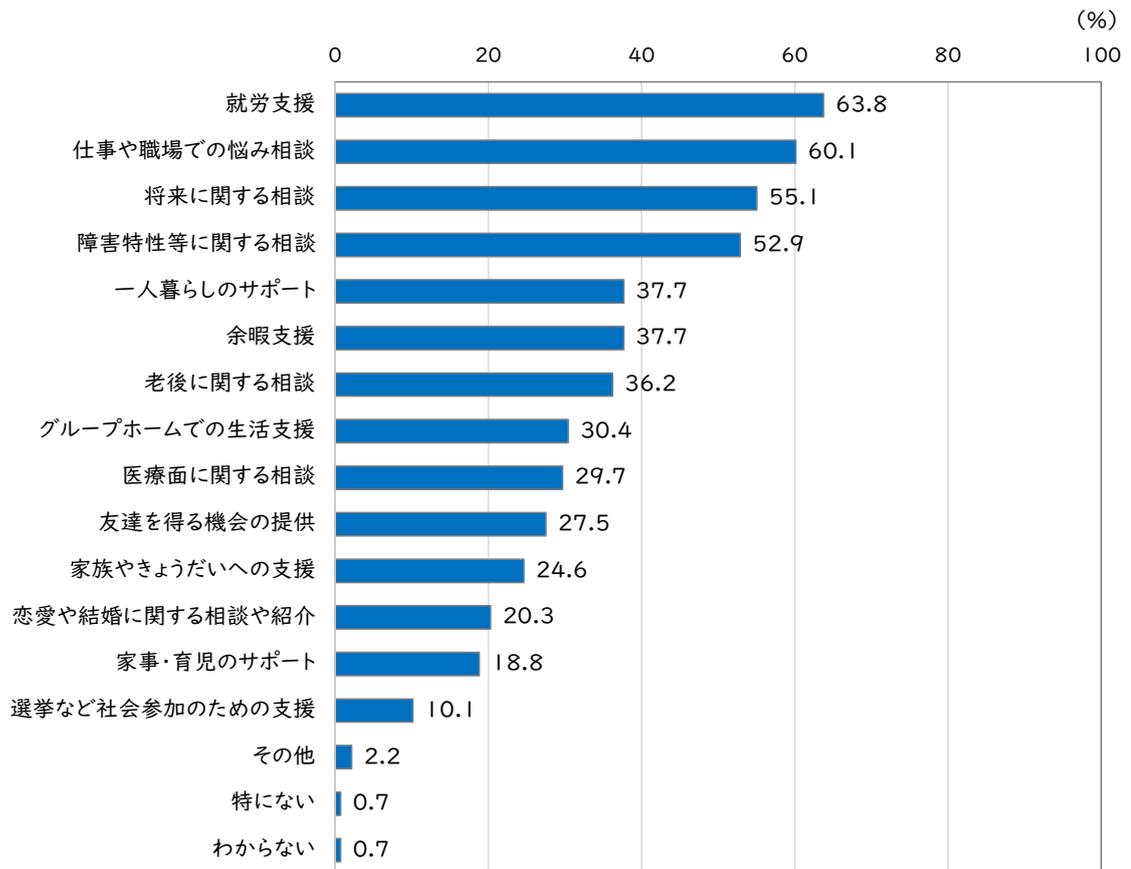
学齢期	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	138	1	4	16	3	90	74	12	0	6	2	8
福祉的就労に関する情報提供	63.8	0.0	25.0	43.8	66.7	74.4	66.2	58.3	0.0	83.3	0.0	50.0
進学に関する情報提供	48.6	0.0	0.0	25.0	66.7	46.7	58.1	50.0	0.0	33.3	0.0	62.5
一般就労(就職)に関する情報提供	46.4	0.0	25.0	6.3	0.0	43.3	54.1	58.3	0.0	33.3	0.0	62.5
学習支援	44.2	100.0	0.0	31.3	33.3	38.9	51.4	25.0	0.0	16.7	50.0	12.5
相談支援体制の充実	42.8	0.0	50.0	56.3	0.0	42.2	44.6	33.3	0.0	66.7	0.0	62.5
長期休暇の支援	34.1	0.0	75.0	37.5	0.0	33.3	39.2	50.0	0.0	33.3	0.0	37.5
放課後の支援	30.4	0.0	0.0	37.5	0.0	32.2	29.7	16.7	0.0	50.0	0.0	50.0
校内の支援体制の充実	26.8	0.0	25.0	43.8	33.3	24.4	33.8	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0
土日・休日の支援	20.3	0.0	50.0	18.8	0.0	23.3	18.9	25.0	0.0	33.3	0.0	25.0
ペアレントトレーニング等親向けの研修事業	19.6	0.0	0.0	12.5	0.0	15.6	28.4	8.3	0.0	16.7	0.0	62.5
福祉施策の推進	19.6	0.0	50.0	56.3	33.3	23.3	18.9	8.3	0.0	66.7	0.0	25.0
親の会や家族会等の仲間の支え合い	14.5	0.0	25.0	31.3	33.3	13.3	17.6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
地域や関係者への理解啓発活動	13.0	0.0	0.0	6.3	0.0	12.2	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
PTA活動の充実	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	3.6	0.0	25.0	6.3	0.0	2.2	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
特になし	3.6	0.0	0.0	0.0	33.3	3.3	1.4	8.3	0.0	0.0	50.0	0.0
わからない	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問51. 学校を卒業して社会に出た時に、どんな支援を希望しますか(〇はいくつでも)。

(※保護者の方がお答えください)

【全体】 回答母数が少ないですが、「就労支援」と「仕事や職場での悩み相談」が6割前半, 続いて「将来に関する相談」が5割半ば, 「障害特性等に関する相談」が5割前半となっています。

【全体】



【障害種別】

(単位:%)

学齢期	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	138	1	4	16	3	90	74	12	0	6	2	8
就労支援	63.8	0.0	25.0	37.5	100.0	63.3	71.6	66.7	0.0	83.3	0.0	62.5
仕事や職場での悩み相談	60.1	0.0	25.0	25.0	66.7	55.6	73.0	66.7	0.0	33.3	50.0	50.0
将来に関する相談	55.1	0.0	75.0	62.5	100.0	55.6	62.2	58.3	0.0	66.7	50.0	50.0
障害特性等に関する相談	52.9	0.0	50.0	43.8	33.3	46.7	62.2	66.7	0.0	50.0	0.0	87.5
一人暮らしのサポート	37.7	100.0	25.0	12.5	0.0	35.6	43.2	58.3	0.0	33.3	0.0	25.0
余暇支援	37.7	0.0	50.0	37.5	33.3	46.7	37.8	25.0	0.0	50.0	0.0	37.5
老後に関する相談	36.2	0.0	75.0	50.0	33.3	44.4	41.9	41.7	0.0	66.7	0.0	12.5
グループホームでの生活支援	30.4	0.0	100.0	37.5	33.3	37.8	35.1	25.0	0.0	83.3	0.0	12.5
医療面に関する相談	29.7	100.0	50.0	43.8	66.7	35.6	27.0	41.7	0.0	66.7	0.0	25.0
友達を得る機会の提供	27.5	0.0	25.0	12.5	33.3	31.1	29.7	41.7	0.0	33.3	0.0	12.5
家族やきょうだいへの支援	24.6	0.0	25.0	37.5	66.7	30.0	27.0	8.3	0.0	50.0	0.0	12.5
恋愛や結婚に関する相談や紹介	20.3	0.0	25.0	6.3	0.0	18.9	24.3	41.7	0.0	16.7	0.0	0.0
家事・育児のサポート	18.8	0.0	0.0	18.8	66.7	20.0	24.3	8.3	0.0	33.3	0.0	25.0
選挙など社会参加のための支援	10.1	0.0	25.0	12.5	0.0	12.2	12.2	8.3	0.0	0.0	0.0	12.5
その他	2.2	0.0	0.0	12.5	0.0	3.3	1.4	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
特になし	0.7	0.0	0.0	6.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.7	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

こども（乳幼児期・学齢期共通）

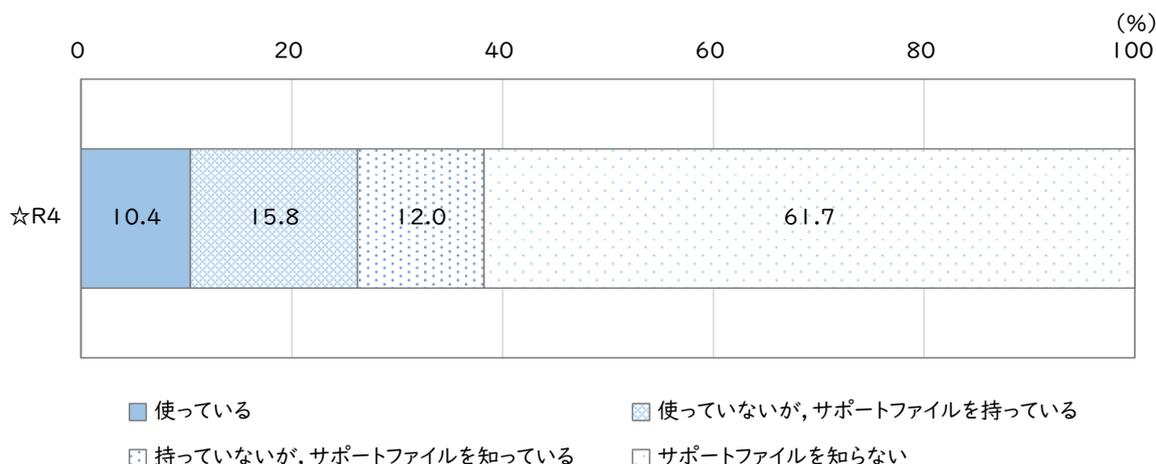
問52. あなたは柏市サポートファイル*を使っていますか（○はひとつ）。

（※保護者の方がお答えください）

全体 「使っている」は1割前半、「使っていないが、サポートファイルを持っている」が1割半ば、「持っていないが、サポートファイルを知っている」が1割前半となっています。一方、「サポートファイルを知らない」が6割前半となっています。

*サポートファイルとは、お子さんの成長の記録や医療・福祉サービス等の利用に関する情報を保護者の方が記録したり、書類をはさみ込んだりして活用するものです。発達に配慮を必要とするこどもたちが乳幼児期から成人期まで途切れることなく適切な支援を受けられるように、関係機関との情報共有や、将来いろいろな制度を利用する際に成育歴やこどもの頃の様子が必要になった時に役立ちます。

【全体】



【障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	183	1	6	15	3	88	92	11	0	6	24	14
使っている	10.4	0.0	0.0	13.3	0.0	8.0	13.0	9.1	0.0	0.0	12.5	7.1
使っていないが、サポートファイルを持っている	15.8	0.0	0.0	33.3	33.3	22.7	22.8	18.2	0.0	16.7	4.2	7.1
持っていないが、サポートファイルを知っている	12.0	0.0	16.7	0.0	0.0	10.2	17.4	18.2	0.0	33.3	8.3	7.1
サポートファイルを知らない	61.7	100.0	83.3	53.3	66.7	59.1	46.7	54.5	0.0	50.0	75.0	78.6

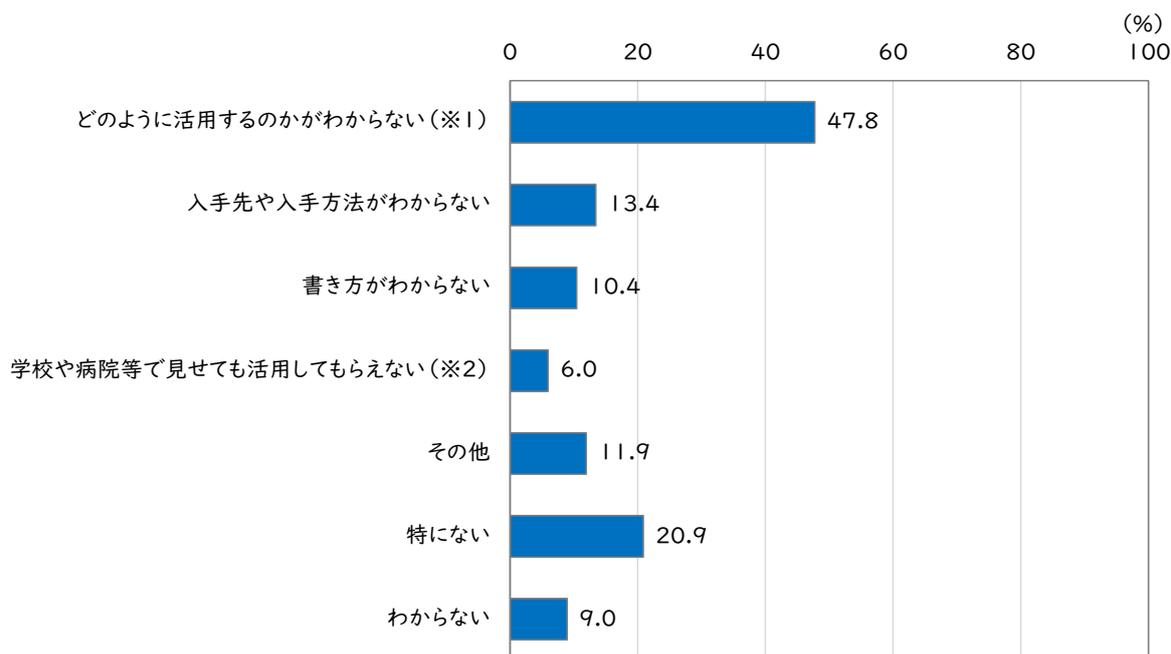
問53. サポートファイルを使っている方は使っていて不便に思うことは何ですか。

使っていない方は使っていない理由をお答えください(○はいくつでも)。

(問52で「1.使っている」「2.使っていないが、サポートファイルを持っている」「3.持っていないが、サポートファイルを知っている」と答えた方にお伺いします。)

【全体】 回答母数が少ないですが、「どのように活用するのかがわからない」が最も多く4割後半となっています。このほか、「入手先や入手方法がわからない」と「書き方がわからない」が1割前半となっています。一方、「特にない」が2割前半となっています。

【全体】



【障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	67	0	1	6	1	35	48	5	0	3	6	3
どのように活用するのかがわからない(※1)	47.8	0.0	100.0	33.3	0.0	51.4	47.9	60.0	0.0	66.7	50.0	0.0
入手先や入手方法がわからない	13.4	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	14.6	20.0	0.0	0.0	16.7	33.3
書き方がわからない	10.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.4	12.5	20.0	0.0	0.0	16.7	0.0
学校や病院等で見せても活用してもらえない(※2)	6.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
その他	11.9	0.0	0.0	16.7	0.0	17.1	8.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
特にない	20.9	0.0	0.0	33.3	100.0	20.0	22.9	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
わからない	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	10.4	20.0	0.0	0.0	16.7	0.0

(※1) どのように活用するのかがわからない(どんな時に見せるとよいかなど)

(※2) 学校や病院, 福祉サービス事業所等で見せても活用してもらえない

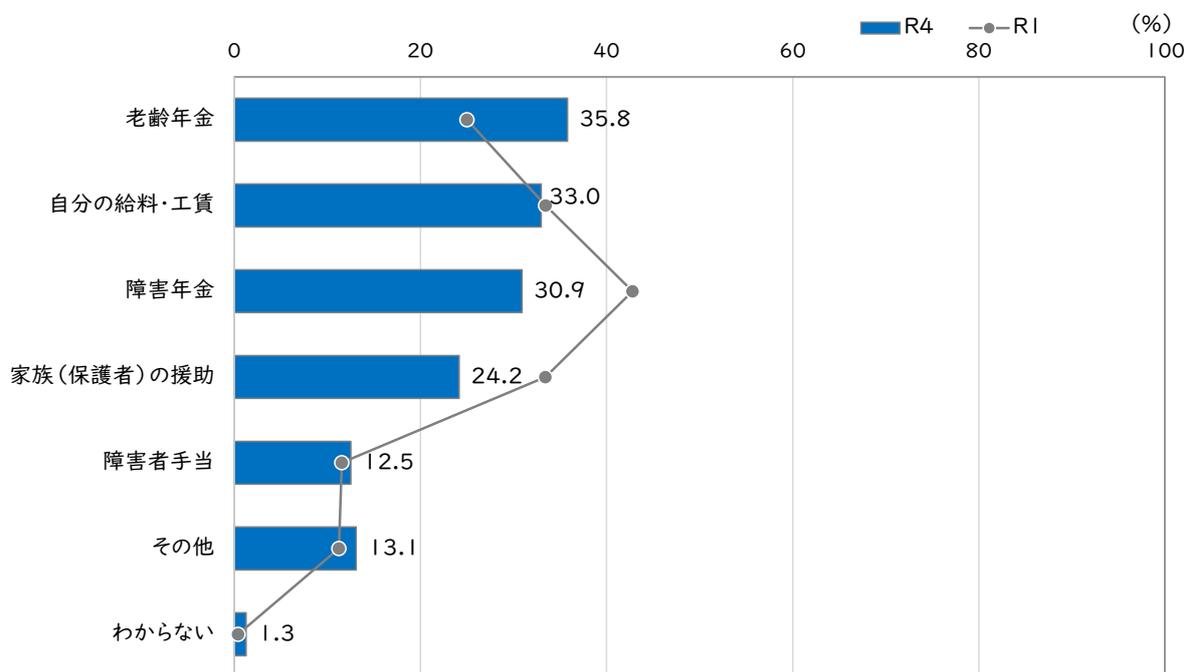
就労

問54. 収入源は何ですか(○はいくつでも)。

全体 「老齢年金」が最も多く3割半ば, 続いて「自分の給料・工賃」と「障害年金」が3割前半となっています。前回調査と比べ, 「老齢年金」が11ポイント程度増加し, 一方「障害年金」が12ポイント程度減少しています。また, 「その他」が1割前半となっており, 「生活保護」等が挙げられています。

属性別 障害種別に見ると, 知的障害, 発達障害, 精神障害では「障害年金」が最も多く4割前半～7割後半となっています。年代別に見ると, 成人では「自分の給料・工賃」が5割前半, 高齢者では「老齢年金」が7割半ばと最も多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,022	47	76	232	210	117	72	253	23	128	22	58
老齢年金	35.8	46.8	55.3	44.4	61.0	1.7	1.4	11.1	39.1	45.3	31.8	43.1
自分の給料・工賃	33.0	21.3	19.7	20.7	25.7	50.4	54.2	35.6	17.4	35.9	45.5	27.6
障害年金	30.9	31.9	27.6	29.3	21.0	79.5	56.9	42.7	60.9	7.8	0.0	19.0
家族(保護者)の援助	24.2	17.0	27.6	24.1	12.4	40.2	44.4	30.0	39.1	26.6	27.3	22.4
障害者手当	12.5	21.3	17.1	15.1	18.1	31.6	26.4	5.5	8.7	6.3	0.0	6.9
その他	13.1	6.4	9.2	14.2	9.0	0.9	6.9	21.7	13.0	9.4	13.6	24.1
わからない	1.3	4.3	0.0	0.9	0.0	3.4	0.0	2.8	4.3	0.8	0.0	1.7

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	566	19	26	84	59	112	71	221	12	64	13	30
老齢年金	3.2	5.3	3.8	3.6	10.2	0.9	0.0	2.3	8.3	4.7	0.0	0.0
自分の給料・工賃	51.8	47.4	42.3	47.6	59.3	51.8	54.9	40.3	25.0	59.4	69.2	43.3
障害年金	44.5	52.6	53.8	47.6	32.2	80.4	57.7	46.6	83.3	14.1	0.0	33.3
家族(保護者)の援助	31.8	21.1	38.5	32.1	20.3	40.2	45.1	30.3	33.3	39.1	38.5	33.3
障害者手当	14.1	36.8	34.6	17.9	20.3	32.1	26.8	6.3	16.7	7.8	0.0	10.0
その他	12.9	10.5	7.7	7.1	6.8	0.9	7.0	22.2	16.7	7.8	15.4	30.0
わからない	1.8	5.3	0.0	1.2	0.0	3.6	0.0	2.7	8.3	1.6	0.0	3.3

(単位:%)

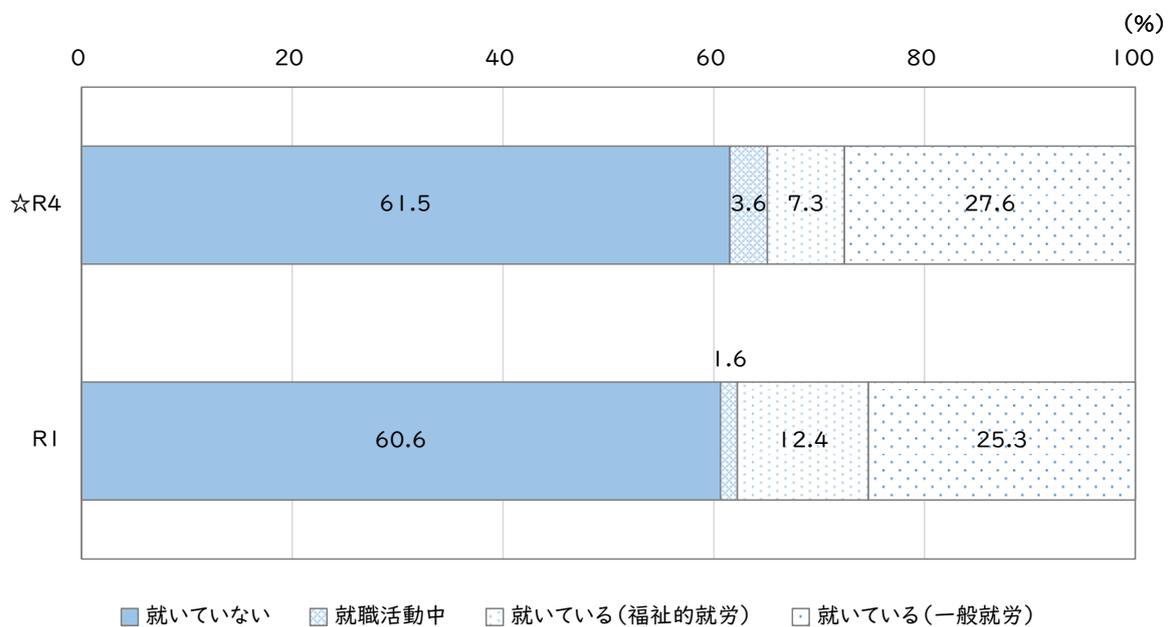
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	456	28	50	148	151	5	1	32	11	64	9	28
老齢年金	76.3	75.0	82.0	67.6	80.8	20.0	100.0	71.9	72.7	85.9	77.8	89.3
自分の給料・工賃	9.6	3.6	8.0	5.4	12.6	20.0	0.0	3.1	9.1	12.5	11.1	10.7
障害年金	14.0	17.9	14.0	18.9	16.6	60.0	0.0	15.6	36.4	1.6	0.0	3.6
家族(保護者)の援助	14.7	14.3	22.0	19.6	9.3	40.0	0.0	28.1	45.5	14.1	11.1	10.7
障害者手当	10.5	10.7	8.0	13.5	17.2	20.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	3.6
その他	13.4	3.6	10.0	18.2	9.9	0.0	0.0	18.8	9.1	10.9	11.1	17.9
わからない	0.7	3.6	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0

問55. 現在, 仕事に就いていますか(○はひとつ)。

全体 「就いている(一般就労)」が2割後半, 「就いている(福祉的就労)」は1割未満となっています。一方, 「就職活動中」が1割未満, 「就いていない」が6割前半となっています。前回調査と比べ, 大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると, 難病は「就いている(一般就労)」が4割前半, 知的障害と発達障害は「就いている(福祉的就労)」が2割後半~3割前半で, 他の障害と比べ多くなっています。年代別に見ると, 成人では「就いている(一般就労)」が3割後半, 高齢者では「就いていない」が8割半ばとなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,011	49	78	232	205	112	72	253	23	127	21	58
就いていない	61.5	77.6	79.5	74.6	74.1	38.4	36.1	56.5	87.0	56.7	47.6	65.5
就職活動中	3.6	0.0	0.0	2.6	2.0	2.7	6.9	7.5	4.3	2.4	4.8	8.6
就いている(福祉的就労)	7.3	2.0	0.0	3.9	0.5	33.0	29.2	9.5	8.7	0.8	0.0	6.9
就いている(一般就労)	27.6	20.4	20.5	19.0	23.4	25.9	27.8	26.5	0.0	40.2	47.6	19.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	560	19	26	84	58	107	71	221	12	66	12	30
就いていない	41.4	47.4	65.4	46.4	41.4	36.4	35.2	51.1	75.0	37.9	25.0	43.3
就職活動中	6.1	0.0	0.0	4.8	6.9	2.8	7.0	8.6	8.3	4.5	8.3	16.7
就いている(福祉的就労)	12.7	5.3	0.0	9.5	1.7	33.6	29.6	10.4	16.7	1.5	0.0	13.3
就いている(一般就労)	39.8	47.4	34.6	39.3	50.0	27.1	28.2	29.9	0.0	56.1	66.7	26.7

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	451	30	52	148	147	5	1	32	11	61	9	28
就いていない	86.5	96.7	86.5	90.5	87.1	80.0	100.0	93.8	100.0	77.0	77.8	89.3
就職活動中	0.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就いている(福祉的就労)	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	20.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
就いている(一般就労)	12.4	3.3	13.5	7.4	12.9	0.0	0.0	3.1	0.0	23.0	22.2	10.7

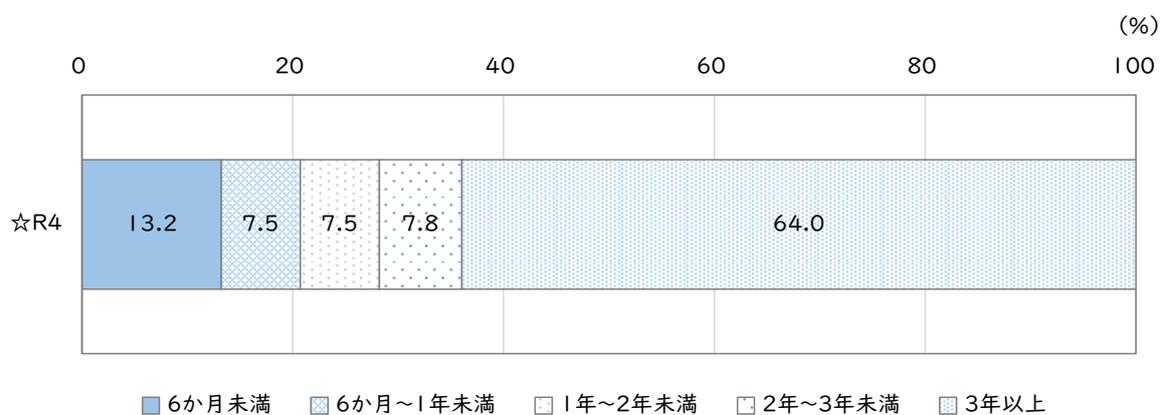
問56. 現在の仕事をどのくらい継続して行っていますか(○はひとつ)。

(問55で「3. 就いている(福祉的就労)」「4. 就いている(一般就労)」と答えた方にお伺いします。)

全体 「3年以上」が最も多く6割半ばとなっています。一方、「6か月未満」が1割前半となっています。

属性別 障害種別に見ると、肢体不自由、内部障害、難病では「3年以上」が7割台となっています。一方、発達障害と精神障害では「6か月未満」が2割後半で、他の障害と比べ多くなっています。回答母数が少ない年代があるため単純な比較はできませんが、年代別に見ると、高齢者では「3年以上」が7割半ばとなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	333	11	15	50	46	63	40	84	2	51	10	13
6か月未満	13.2	0.0	6.7	4.0	6.5	11.1	27.5	28.6	0.0	9.8	30.0	38.5
6か月～1年未満	7.5	9.1	13.3	4.0	2.2	4.8	7.5	14.3	50.0	7.8	0.0	0.0
1年～2年未満	7.5	9.1	0.0	10.0	8.7	6.3	7.5	7.1	0.0	3.9	10.0	0.0
2年～3年未満	7.8	0.0	13.3	4.0	4.3	4.8	15.0	14.3	0.0	3.9	0.0	0.0
3年以上	64.0	81.8	66.7	78.0	78.3	73.0	42.5	35.7	50.0	74.5	60.0	61.5

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	278	10	8	39	29	62	40	82	2	38	8	10
6か月未満	14.7	0.0	0.0	5.1	6.9	11.3	27.5	29.3	0.0	13.2	25.0	50.0
6か月～1年未満	8.3	10.0	25.0	5.1	3.4	4.8	7.5	14.6	50.0	5.3	0.0	0.0
1年～2年未満	7.2	0.0	0.0	7.7	10.3	6.5	7.5	7.3	0.0	2.6	12.5	0.0
2年～3年未満	8.3	0.0	0.0	5.1	3.4	4.8	15.0	14.6	0.0	5.3	0.0	0.0
3年以上	61.5	90.0	75.0	76.9	75.9	72.6	42.5	34.1	50.0	73.7	62.5	50.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	55	1	7	11	17	1	0	2	0	13	2	3
6か月未満	5.5	0.0	14.3	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
6か月～1年未満	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0
1年～2年未満	9.1	100.0	0.0	18.2	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
2年～3年未満	5.5	0.0	28.6	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3年以上	76.4	0.0	57.1	81.8	82.4	100.0	0.0	100.0	0.0	76.9	50.0	100.0

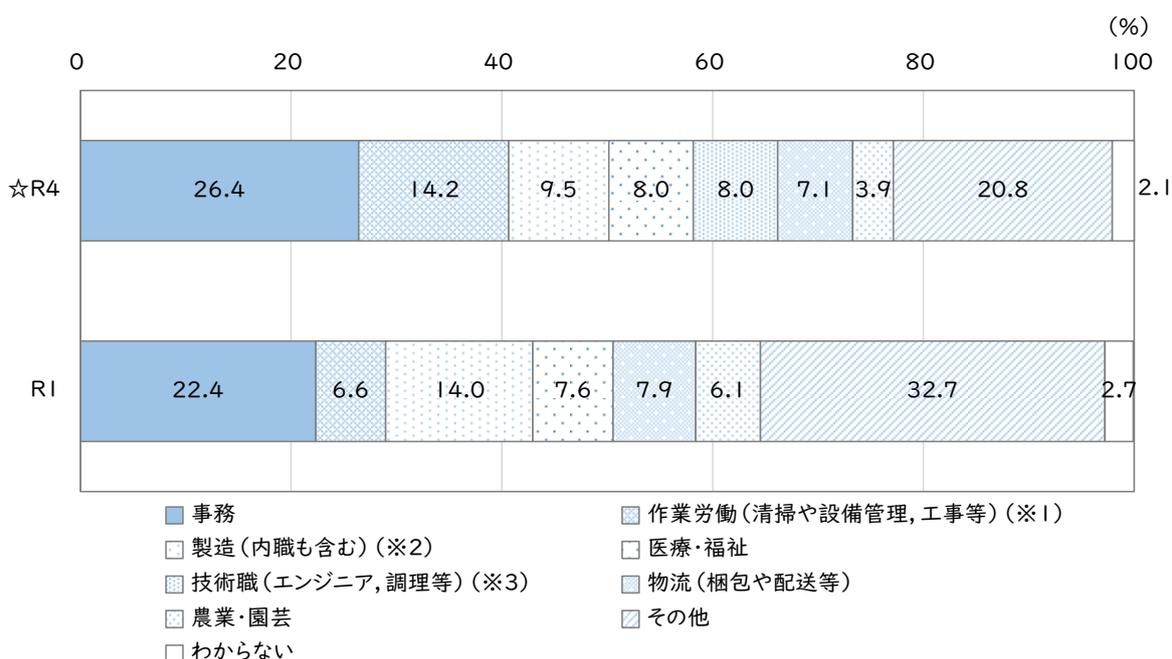
問57. 仕事内容は何ですか(〇はひとつ)。

(問55で「3. 就いている(福祉的就労)」「4. 就いている(一般就労)」と答えた方にお伺いします。)

全体 「事務」が最も多く2割半ば、続いて「作業労働(清掃や設備管理, 工事等)」が1割半ばとなっています。また、「その他」が2割前半となっており、「接客や販売等のサービス業」等が挙げられています。前回調査において「その他」で多かった回答を選択肢に追加したため、「その他」が12ポイント程度減少していますが、大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると、内部障害では「事務」が4割半ば、知的障害は「作業労働(清掃や設備管理, 工事等)」が2割半ばで、他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(※1) RI調査の選択肢は「清掃」 (※2) RI調査の選択肢は「製造」 (※3) 選択肢を新設

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	337	11	15	53	45	60	38	86	2	52	10	15
事務	26.4	27.3	33.3	30.2	46.7	13.3	23.7	22.1	0.0	30.8	30.0	6.7
作業労働(清掃や設備管理, 工事等)	14.2	0.0	33.3	18.9	11.1	25.0	23.7	5.8	50.0	15.4	10.0	6.7
製造(内職も含む)	9.5	9.1	0.0	5.7	6.7	18.3	15.8	12.8	0.0	3.8	10.0	26.7
医療・福祉	8.0	18.2	20.0	5.7	2.2	5.0	5.3	9.3	0.0	13.5	10.0	13.3
技術職(エンジニア, 調理等)	8.0	18.2	0.0	13.2	8.9	1.7	7.9	9.3	0.0	5.8	20.0	6.7
物流(梱包や配送等)	7.1	0.0	0.0	7.5	2.2	8.3	7.9	8.1	0.0	5.8	0.0	20.0
農業・園芸	3.9	0.0	0.0	1.9	2.2	13.3	5.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	20.8	18.2	13.3	15.1	20.0	11.7	7.9	27.9	0.0	23.1	20.0	13.3
わからない	2.1	9.1	0.0	1.9	0.0	3.3	2.6	2.3	50.0	1.9	0.0	6.7

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	280	10	8	41	28	59	38	84	2	38	8	12
事務	27.1	30.0	37.5	34.1	46.4	13.6	23.7	22.6	0.0	34.2	37.5	8.3
作業労働(清掃や設備管理, 工事等)	12.9	0.0	25.0	22.0	7.1	25.4	23.7	6.0	50.0	10.5	12.5	0.0
製造(内職も含む)	9.3	10.0	0.0	2.4	7.1	16.9	15.8	13.1	0.0	5.3	0.0	25.0
医療・福祉	9.3	20.0	25.0	7.3	3.6	5.1	5.3	9.5	0.0	18.4	12.5	16.7
技術職(エンジニア, 調理等)	7.9	20.0	0.0	14.6	10.7	1.7	7.9	9.5	0.0	5.3	12.5	0.0
物流(梱包や配送等)	8.6	0.0	0.0	9.8	3.6	8.5	7.9	8.3	0.0	7.9	0.0	25.0
農業・園芸	3.9	0.0	0.0	0.0	3.6	13.6	5.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	18.6	10.0	12.5	7.3	17.9	11.9	7.9	27.4	0.0	15.8	25.0	16.7
わからない	2.5	10.0	0.0	2.4	0.0	3.4	2.6	2.4	50.0	2.6	0.0	8.3

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	57	1	7	12	17	1	0	2	0	14	2	3
事務	22.8	0.0	28.6	16.7	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0
作業労働(清掃や設備管理, 工事等)	21.1	0.0	42.9	8.3	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	33.3
製造(内職も含む)	10.5	0.0	0.0	16.7	5.9	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3
医療・福祉	1.8	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
技術職(エンジニア, 調理等)	8.8	0.0	0.0	8.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	50.0	33.3
物流(梱包や配送等)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
農業・園芸	3.5	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	31.6	100.0	14.3	41.7	23.5	0.0	0.0	50.0	0.0	42.9	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

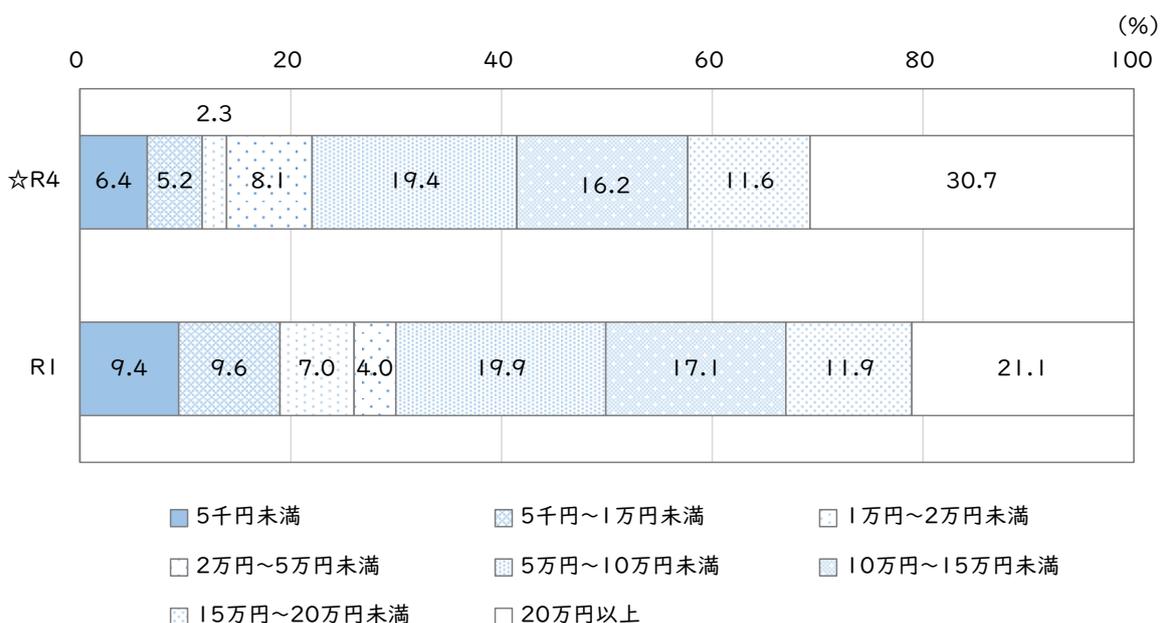
問58. 賃金・工賃は平均でいくらですか（月額でお答えください）（○はひとつ）。

（問55で「3. 就いている（福祉的就労）」「4. 就いている（一般就労）」と答えた方にお伺いします。）

全体 「20万円以上」が最も多く3割前半，続いて「5万円～10万円未満」が1割後半，「10万円～15万円未満」が1割半ばとなっています。前回調査と比べ，大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると，肢体不自由，難病では「20万円以上」が4割前半，知的障害では「10万円～15万円未満」が2割後半，発達障害では「5千円未満」が2割半ばで，他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	345	10	16	51	49	64	40	89	2	51	10	14
5千円未満	6.4	0.0	12.5	5.9	4.1	17.2	25.0	4.5	0.0	2.0	0.0	21.4
5千円～1万円未満	5.2	0.0	0.0	2.0	2.0	15.6	5.0	5.6	50.0	0.0	10.0	0.0
1万円～2万円未満	2.3	0.0	0.0	2.0	4.1	6.3	5.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
2万円～5万円未満	8.1	10.0	18.8	7.8	12.2	3.1	5.0	7.9	50.0	7.8	0.0	14.3
5万円～10万円未満	19.4	10.0	12.5	17.6	16.3	18.8	15.0	23.6	0.0	23.5	10.0	35.7
10万円～15万円未満	16.2	10.0	12.5	11.8	14.3	28.1	15.0	16.9	0.0	9.8	20.0	7.1
15万円～20万円未満	11.6	10.0	0.0	9.8	16.3	6.3	12.5	11.2	0.0	13.7	20.0	0.0
20万円以上	30.7	60.0	43.8	43.1	30.6	4.7	17.5	28.1	0.0	43.1	40.0	21.4

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	287	9	9	40	30	63	40	87	2	37	8	11
5千円未満	5.9	0.0	0.0	5.0	3.3	17.5	25.0	4.6	0.0	2.7	0.0	18.2
5千円～1万円未満	5.2	0.0	0.0	2.5	0.0	14.3	5.0	5.7	50.0	0.0	0.0	0.0
1万円～2万円未満	2.4	0.0	0.0	2.5	3.3	6.3	5.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
2万円～5万円未満	6.6	11.1	0.0	5.0	10.0	3.2	5.0	8.0	50.0	8.1	0.0	9.1
5万円～10万円未満	17.4	11.1	11.1	10.0	10.0	19.0	15.0	23.0	0.0	16.2	12.5	45.5
10万円～15万円未満	16.7	11.1	11.1	15.0	10.0	28.6	15.0	17.2	0.0	5.4	25.0	9.1
15万円～20万円未満	11.8	11.1	0.0	10.0	16.7	6.3	12.5	10.3	0.0	16.2	25.0	0.0
20万円以上	33.8	55.6	77.8	50.0	46.7	4.8	17.5	28.7	0.0	51.4	37.5	18.2

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	58	1	7	11	19	1	0	2	0	14	2	3
5千円未満	8.6	0.0	28.6	9.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
5千円～1万円未満	5.2	0.0	0.0	0.0	5.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
1万円～2万円未満	1.7	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2万円～5万円未満	15.5	0.0	42.9	18.2	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	33.3
5万円～10万円未満	29.3	0.0	14.3	45.5	26.3	0.0	0.0	50.0	0.0	42.9	0.0	0.0
10万円～15万円未満	13.8	0.0	14.3	0.0	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0
15万円～20万円未満	10.3	0.0	0.0	9.1	15.8	0.0	0.0	50.0	0.0	7.1	0.0	0.0
20万円以上	15.5	100.0	0.0	18.2	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	50.0	33.3

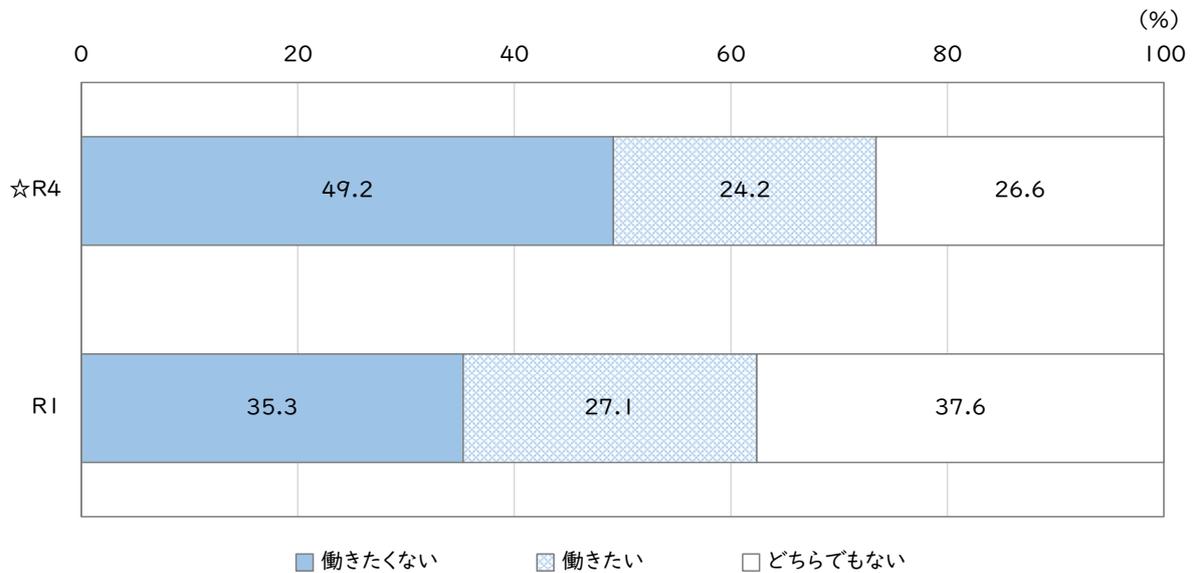
問59. 今後、働きたいですか(○はひとつ)。

(問55で「1. 就いていない」「2. 就職活動中」と答えた方にお伺いします。)

全体 「働きたい」と「どちらでもない」が2割半ば、「働きたくない」が4割後半となっています。前回調査と比べ、「どちらでもない」が11ポイント減少し、一方「働きたくない」が14ポイント程度増加しています。

属性別 障害種別に見ると、知的障害と精神障害では「働きたい」が3割半ば～4割半ば、視覚障害と内部障害では「働きたくない」が6割台で、他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	594	32	52	152	140	39	29	159	18	66	11	39
働きたくない	49.2	65.6	38.5	57.2	62.9	17.9	13.8	29.6	22.2	53.0	36.4	48.7
働きたい	24.2	9.4	15.4	13.8	14.3	35.9	48.3	45.9	27.8	19.7	45.5	28.2
どちらでもない	26.6	25.0	46.2	28.9	22.9	46.2	37.9	24.5	50.0	27.3	18.2	23.1

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	258	8	16	41	27	38	28	131	10	27	4	18
働きたくない	22.1	37.5	6.3	24.4	29.6	15.8	10.7	21.4	20.0	22.2	0.0	22.2
働きたい	47.3	25.0	31.3	34.1	37.0	36.8	50.0	54.2	30.0	44.4	100.0	55.6
どちらでもない	30.6	37.5	62.5	41.5	33.3	47.4	39.3	24.4	50.0	33.3	0.0	22.2

(単位:%)

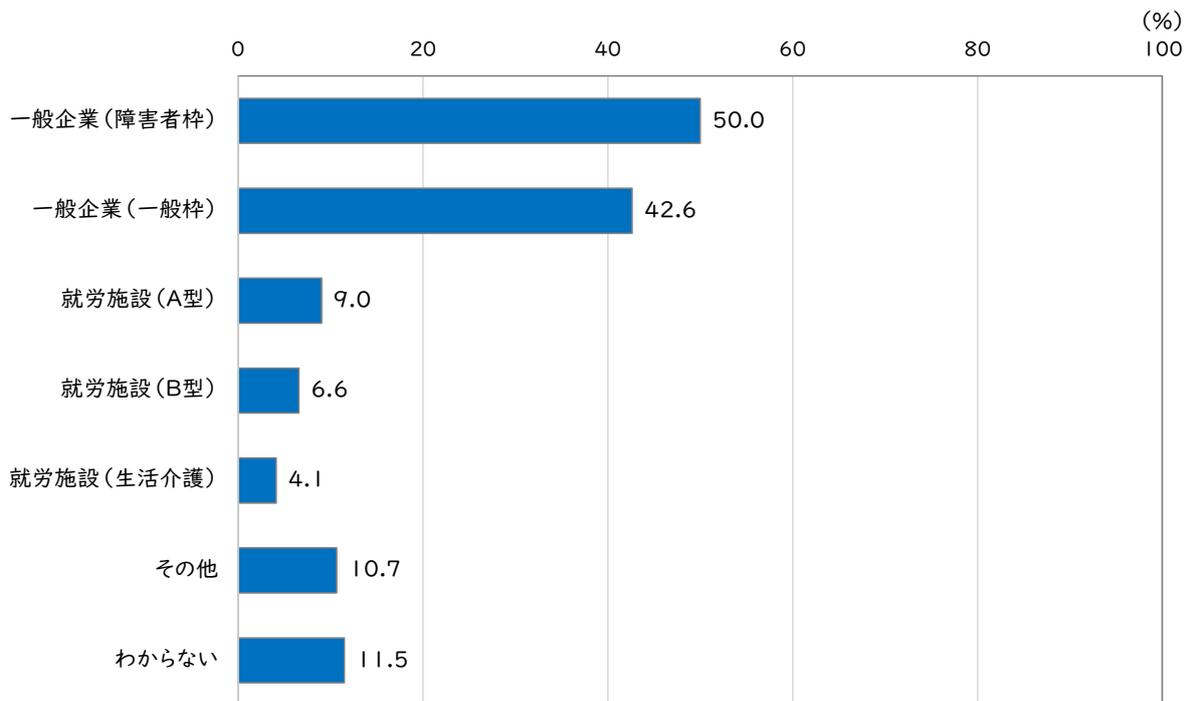
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	336	24	36	111	113	1	1	28	8	39	7	21
働きたくない	69.9	75.0	52.8	69.4	70.8	100.0	100.0	67.9	25.0	74.4	57.1	71.4
働きたい	6.5	4.2	8.3	6.3	8.8	0.0	0.0	7.1	25.0	2.6	14.3	4.8
どちらでもない	23.5	20.8	38.9	24.3	20.4	0.0	0.0	25.0	50.0	23.1	28.6	23.8

問60. どこで働きたいですか(○はいくつでも)。

(問59で「2. 働きたい」と答えた方にお伺いします。)

全体 回答母数が少ないですが、「一般企業(障害者枠)」が最も多く5割, 続いて「一般企業(一般枠)」が4割前半となっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	122	3	6	17	16	10	11	66	4	13	4	9
一般企業(障害者枠)	50.0	100.0	33.3	52.9	50.0	50.0	81.8	59.1	50.0	23.1	0.0	55.6
一般企業(一般枠)	42.6	0.0	16.7	11.8	62.5	20.0	36.4	45.5	50.0	38.5	75.0	44.4
就労施設(A型)	9.0	0.0	16.7	17.6	0.0	0.0	18.2	10.6	25.0	0.0	0.0	0.0
就労施設(B型)	6.6	0.0	16.7	0.0	0.0	10.0	9.1	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0
就労施設(生活介護)	4.1	0.0	16.7	11.8	0.0	30.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10.7	0.0	33.3	23.5	0.0	10.0	0.0	9.1	50.0	23.1	25.0	11.1
わからない	11.5	0.0	16.7	5.9	0.0	10.0	9.1	10.6	0.0	23.1	0.0	11.1

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	106	2	4	12	8	10	11	64	3	12	4	8
一般企業(障害者枠)	48.1	100.0	25.0	50.0	25.0	50.0	81.8	59.4	66.7	25.0	0.0	62.5
一般企業(一般枠)	45.3	0.0	0.0	8.3	87.5	20.0	36.4	46.9	66.7	33.3	75.0	50.0
就労施設(A型)	9.4	0.0	25.0	16.7	0.0	0.0	18.2	10.9	33.3	0.0	0.0	0.0
就労施設(B型)	7.5	0.0	25.0	0.0	0.0	10.0	9.1	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
就労施設(生活介護)	4.7	0.0	25.0	16.7	0.0	30.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10.4	0.0	25.0	25.0	0.0	10.0	0.0	7.8	33.3	25.0	25.0	12.5
わからない	12.3	0.0	25.0	8.3	0.0	10.0	9.1	10.9	0.0	25.0	0.0	0.0

(単位:%)

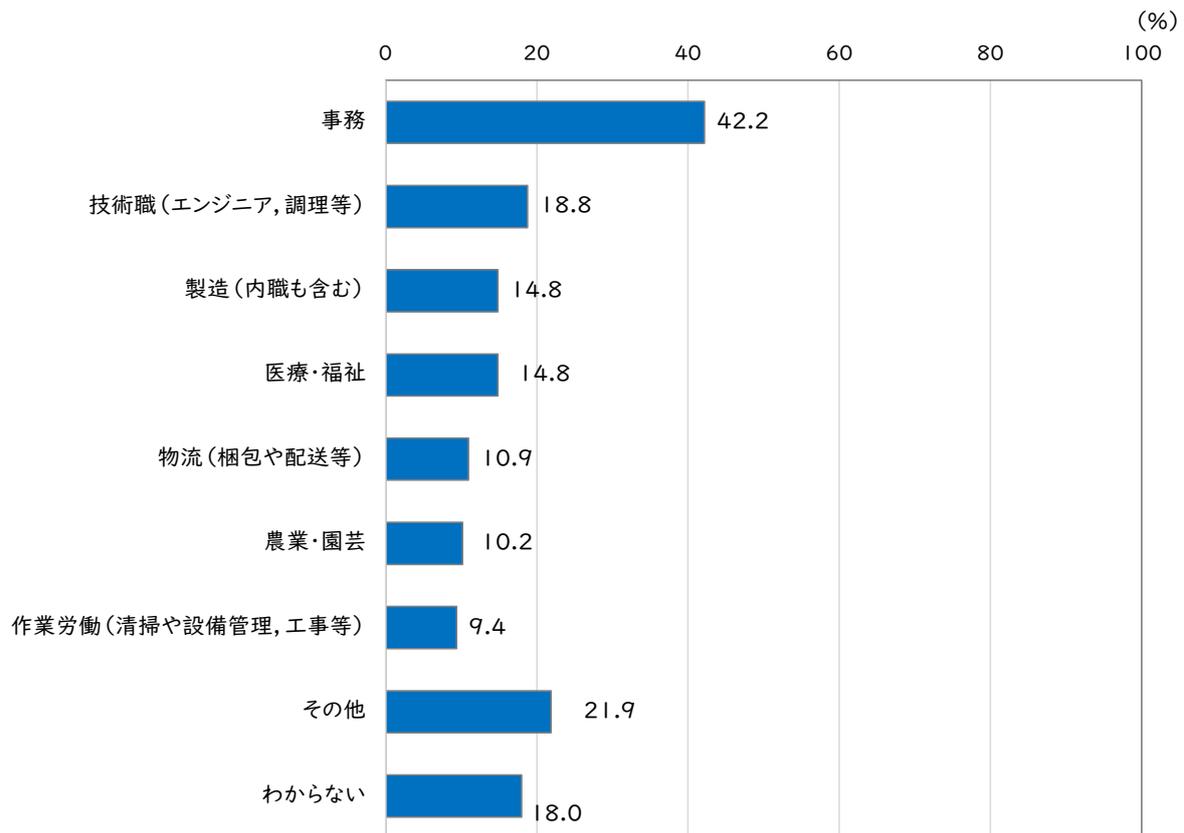
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	16	1	2	5	8	0	0	2	1	1	0	1
一般企業(障害者枠)	62.5	100.0	50.0	60.0	75.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般企業(一般枠)	25.0	0.0	50.0	20.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
就労施設(A型)	6.3	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就労施設(B型)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
就労施設(生活介護)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12.5	0.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
わからない	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問61. 希望する仕事内容は何ですか(〇はいくつでも)。

(問59で「2. 働きたい」と答えた方にお伺いします。)

【全体】 回答母数が少ないですが、「事務」が最も多く4割前半、続いて「技術職(エンジニア, 調理等)」が1割後半となっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	128	3	7	19	18	10	11	67	5	13	4	9
事務	42.2	33.3	28.6	47.4	22.2	40.0	45.5	46.3	60.0	46.2	50.0	44.4
技術職(エンジニア, 調理等)	18.8	0.0	28.6	15.8	16.7	10.0	18.2	14.9	0.0	15.4	75.0	22.2
製造(内職も含む)	14.8	0.0	14.3	21.1	22.2	0.0	18.2	11.9	0.0	30.8	0.0	11.1
医療・福祉	14.8	0.0	28.6	10.5	16.7	10.0	36.4	20.9	0.0	0.0	25.0	11.1
物流(梱包や配送等)	10.9	0.0	14.3	10.5	16.7	10.0	9.1	10.4	0.0	0.0	0.0	0.0
農業・園芸	10.2	0.0	14.3	21.1	11.1	20.0	9.1	7.5	20.0	15.4	0.0	22.2
作業労働(清掃や設備管理, 工事等)	9.4	0.0	14.3	15.8	11.1	0.0	0.0	9.0	0.0	7.7	0.0	0.0
その他	21.9	33.3	28.6	21.1	16.7	10.0	18.2	19.4	80.0	30.8	25.0	55.6
わからない	18.0	33.3	0.0	15.8	11.1	30.0	27.3	20.9	0.0	15.4	0.0	11.1

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	109	2	4	13	9	10	11	65	3	12	4	8
事務	44.0	50.0	50.0	38.5	22.2	40.0	45.5	47.7	66.7	41.7	50.0	50.0
技術職(エンジニア, 調理等)	18.3	0.0	25.0	7.7	22.2	10.0	18.2	15.4	0.0	16.7	75.0	25.0
製造(内職も含む)	13.8	0.0	0.0	23.1	11.1	0.0	18.2	12.3	0.0	33.3	0.0	12.5
医療・福祉	15.6	0.0	50.0	15.4	11.1	10.0	36.4	20.0	0.0	0.0	25.0	12.5
物流(梱包や配送等)	10.1	0.0	25.0	7.7	11.1	10.0	9.1	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0
農業・園芸	11.0	0.0	25.0	30.8	11.1	20.0	9.1	7.7	33.3	16.7	0.0	25.0
作業労働(清掃や設備管理, 工事等)	7.3	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	8.3	0.0	0.0
その他	22.0	0.0	25.0	23.1	22.2	10.0	18.2	20.0	100.0	33.3	25.0	50.0
わからない	20.2	50.0	0.0	23.1	11.1	30.0	27.3	21.5	0.0	16.7	0.0	12.5

(単位:%)

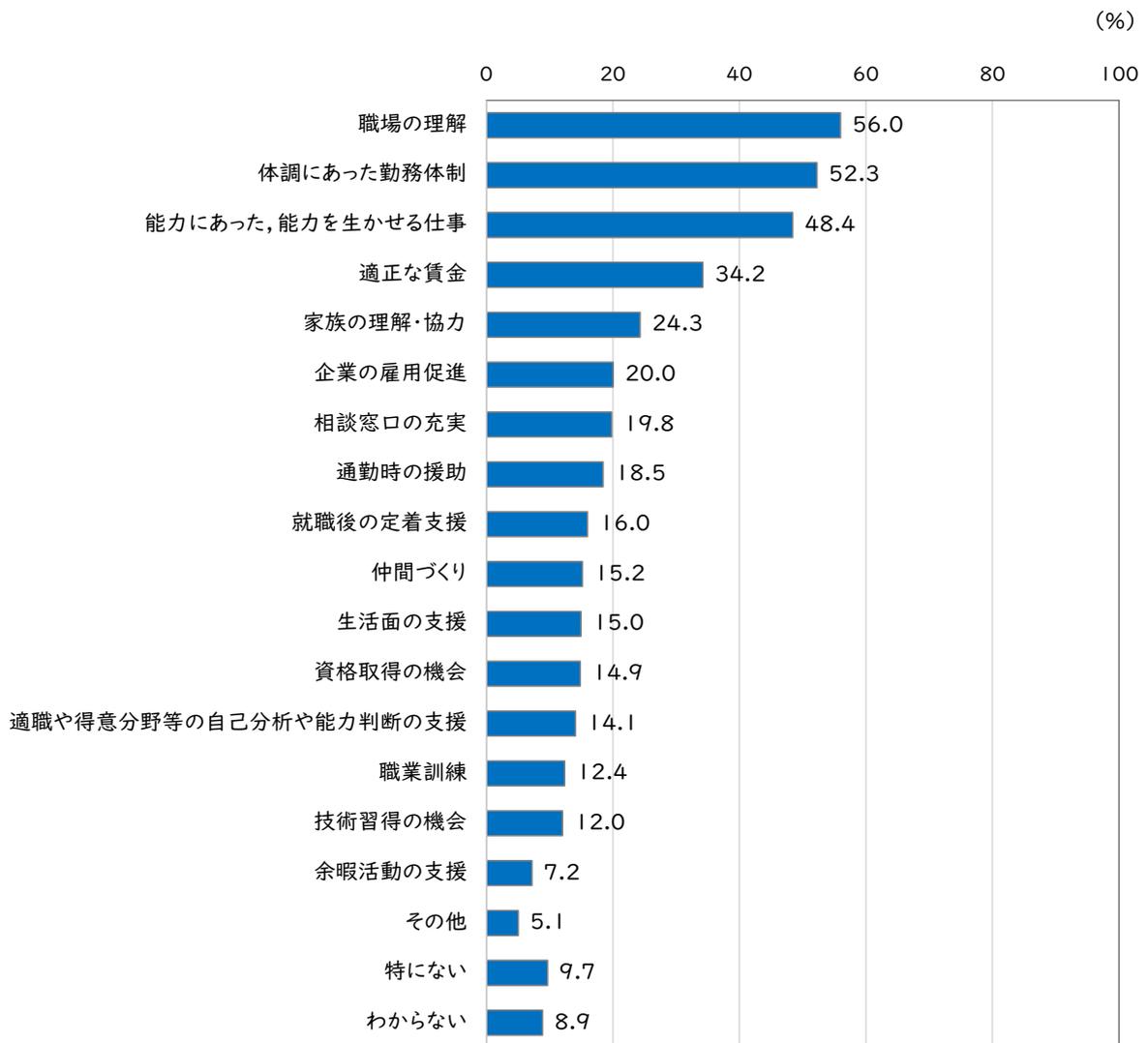
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	19	1	3	6	9	0	0	2	2	1	0	1
事務	31.6	0.0	0.0	66.7	22.2	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0
技術職(エンジニア, 調理等)	21.1	0.0	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造(内職も含む)	21.1	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療・福祉	10.5	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
物流(梱包や配送等)	15.8	0.0	0.0	16.7	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
農業・園芸	5.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
作業労働(清掃や設備管理, 工事等)	21.1	0.0	33.3	16.7	22.2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	21.1	100.0	33.3	16.7	11.1	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
わからない	5.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問62. 就職するために必要だと思うことは何ですか。すでに働いている方は就職する際のことをお答えください(○はいくつでも)。

全体 「職場の理解」が最も多く5割半ば、続いて「体調にあった勤務体制」が5割前半、「能力にあった、能力を生かせる仕事」が4割後半となっています。

属性別 障害種別に見ると、知的障害では「職場の理解」、発達障害では「能力にあった、能力を生かせる仕事」、精神障害では「体調にあった勤務体制」が7割台で、他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	888	41	62	189	170	104	70	242	22	112	21	49
職場の理解	56.0	51.2	45.2	50.3	44.7	74.0	70.0	69.4	50.0	50.0	61.9	42.9
体調にあった勤務体制	52.3	43.9	40.3	40.7	52.4	44.2	54.3	71.9	36.4	54.5	61.9	40.8
能力にあった,能力を生かせる仕事	48.4	43.9	35.5	39.7	42.4	63.5	71.4	60.3	31.8	44.6	47.6	34.7
適正な賃金	34.2	17.1	24.2	26.5	28.2	35.6	50.0	48.3	27.3	35.7	33.3	34.7
家族の理解・協力	24.3	9.8	14.5	20.1	21.8	26.9	31.4	33.5	13.6	22.3	33.3	24.5
企業の雇用促進	20.0	9.8	14.5	14.8	14.1	22.1	32.9	28.9	18.2	15.2	28.6	24.5
相談窓口の充実	19.8	17.1	21.0	15.3	11.8	25.0	32.9	26.0	22.7	16.1	28.6	26.5
通勤時の援助	18.5	26.8	24.2	22.2	11.8	25.0	18.6	19.4	13.6	17.9	19.0	20.4
就職後の定着支援	16.0	7.3	16.1	9.5	5.3	26.9	32.9	29.8	13.6	8.9	14.3	14.3
仲間づくり	15.2	7.3	16.1	9.5	5.9	31.7	17.1	21.5	9.1	17.0	14.3	10.2
生活面の支援	15.0	14.6	19.4	12.2	6.5	25.0	21.4	23.6	18.2	9.8	19.0	16.3
資格取得の機会	14.9	9.8	16.1	10.6	12.4	10.6	17.1	22.7	18.2	18.8	19.0	18.4
適職や得意分野等の自己分析や能力判断の支援	14.1	9.8	16.1	7.9	5.9	18.3	25.7	24.4	9.1	11.6	4.8	14.3
職業訓練	12.4	7.3	12.9	9.0	2.9	21.2	21.4	20.2	9.1	8.0	14.3	18.4
技術習得の機会	12.0	12.2	14.5	9.5	7.1	12.5	12.9	18.6	13.6	14.3	23.8	10.2
余暇活動の支援	7.2	7.3	11.3	4.2	1.8	20.2	12.9	10.7	4.5	5.4	9.5	6.1
その他	5.1	4.9	9.7	7.4	4.7	3.8	10.0	5.8	9.1	2.7	0.0	6.1
特にない	9.7	17.1	17.7	12.2	10.0	4.8	1.4	4.5	9.1	11.6	9.5	20.4
わからない	8.9	14.6	8.1	13.8	11.8	6.7	5.7	2.5	27.3	9.8	4.8	12.2

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	549	18	25	81	58	101	69	217	13	64	13	30
職場の理解	68.9	72.2	64.0	74.1	65.5	74.3	71.0	72.8	61.5	57.8	76.9	50.0
体調にあった勤務体制	59.4	44.4	48.0	48.1	58.6	44.6	55.1	74.7	46.2	70.3	53.8	46.7
能力にあった、能力を生かせる仕事	56.8	50.0	48.0	50.6	44.8	63.4	72.5	63.6	46.2	56.3	30.8	50.0
適正な賃金	42.3	22.2	36.0	35.8	31.0	35.6	50.7	53.5	30.8	48.4	46.2	33.3
家族の理解・協力	28.2	0.0	20.0	25.9	24.1	26.7	31.9	35.5	15.4	23.4	38.5	20.0
企業の雇用促進	25.5	22.2	16.0	21.0	19.0	21.8	33.3	31.8	23.1	15.6	30.8	26.7
相談窓口の充実	24.8	16.7	28.0	21.0	13.8	24.8	33.3	29.0	23.1	18.8	30.8	33.3
通勤時の援助	20.9	33.3	44.0	29.6	12.1	24.8	18.8	21.2	23.1	18.8	23.1	26.7
就職後の定着支援	22.4	11.1	20.0	13.6	8.6	26.7	33.3	32.3	7.7	12.5	15.4	20.0
仲間づくり	19.9	11.1	24.0	11.1	8.6	30.7	17.4	23.0	7.7	20.3	23.1	10.0
生活面の支援	18.4	16.7	24.0	13.6	6.9	23.8	21.7	25.8	23.1	10.9	23.1	16.7
資格取得の機会	18.8	16.7	24.0	14.8	17.2	9.9	17.4	24.9	23.1	23.4	15.4	26.7
適職や得意分野等の自己分析や能力判断の支援	18.8	5.6	28.0	11.1	3.4	17.8	26.1	26.7	7.7	15.6	7.7	20.0
職業訓練	16.2	11.1	20.0	12.3	3.4	19.8	21.7	22.1	7.7	7.8	15.4	23.3
技術習得の機会	14.8	16.7	20.0	11.1	6.9	11.9	13.0	20.7	15.4	18.8	23.1	13.3
余暇活動の支援	9.7	11.1	16.0	4.9	3.4	19.8	13.0	11.5	7.7	6.3	15.4	6.7
その他	4.6	0.0	8.0	2.5	5.2	4.0	10.1	6.0	7.7	1.6	0.0	10.0
特にない	3.6	11.1	4.0	2.5	1.7	5.0	0.0	1.8	7.7	4.7	0.0	20.0
わからない	5.1	16.7	8.0	7.4	6.9	6.9	5.8	1.8	15.4	9.4	7.7	3.3

(単位:%)

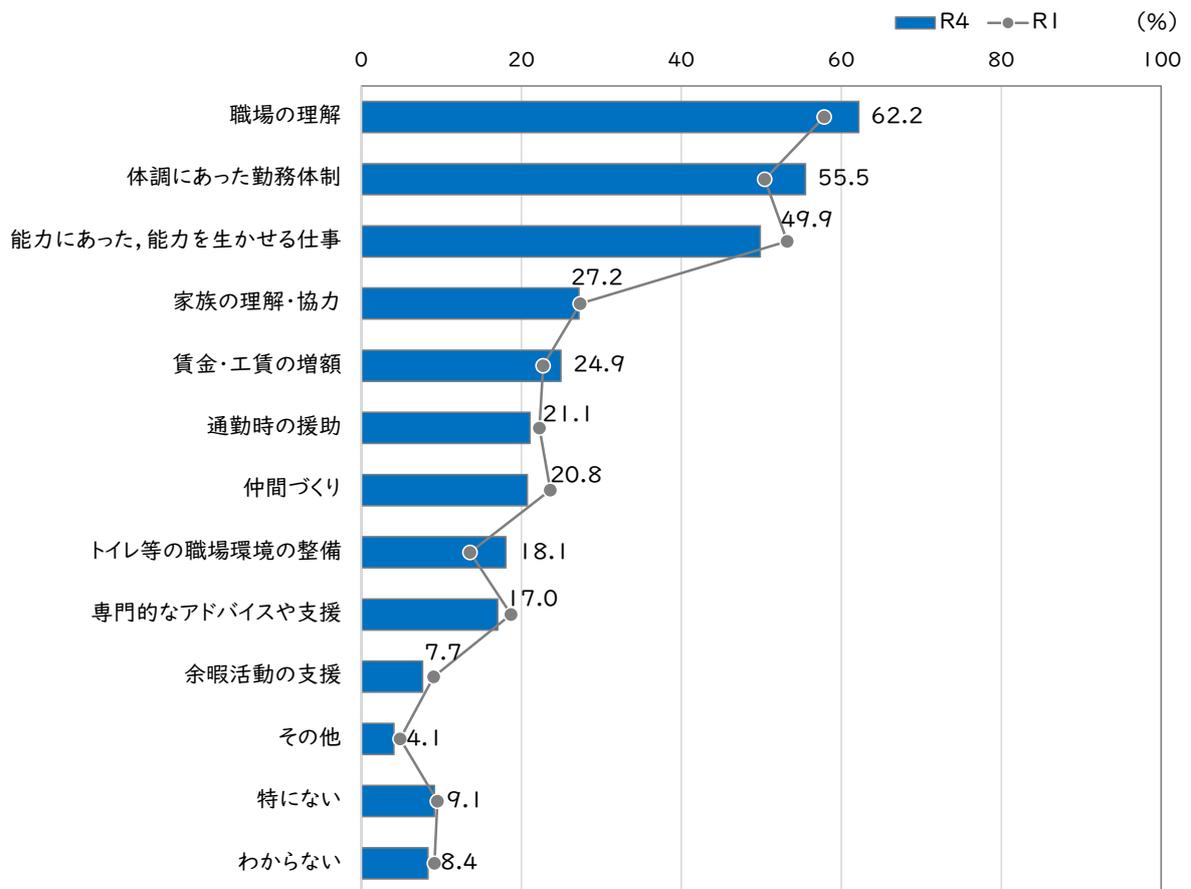
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	339	23	37	108	112	3	1	25	9	48	8	19
職場の理解	35.1	34.8	32.4	32.4	33.9	66.7	0.0	40.0	33.3	39.6	37.5	31.6
体調にあった勤務体制	40.7	43.5	35.1	35.2	49.1	33.3	0.0	48.0	22.2	33.3	75.0	31.6
能力にあった,能力を生かせる仕事	34.8	39.1	27.0	31.5	41.1	66.7	0.0	32.0	11.1	29.2	75.0	10.5
適正な賃金	21.2	13.0	16.2	19.4	26.8	33.3	0.0	4.0	22.2	18.8	12.5	36.8
家族の理解・協力	18.0	17.4	10.8	15.7	20.5	33.3	0.0	16.0	11.1	20.8	25.0	31.6
企業の雇用促進	11.2	0.0	13.5	10.2	11.6	33.3	0.0	4.0	11.1	14.6	25.0	21.1
相談窓口の充実	11.8	17.4	16.2	11.1	10.7	33.3	0.0	0.0	22.2	12.5	25.0	15.8
通勤時の援助	14.5	21.7	10.8	16.7	11.6	33.3	0.0	4.0	0.0	16.7	12.5	10.5
就職後の定着支援	5.6	4.3	13.5	6.5	3.6	33.3	0.0	8.0	22.2	4.2	12.5	5.3
仲間づくり	7.7	4.3	10.8	8.3	4.5	66.7	0.0	8.0	11.1	12.5	0.0	10.5
生活面の支援	9.4	13.0	16.2	11.1	6.3	66.7	0.0	4.0	11.1	8.3	12.5	15.8
資格取得の機会	8.6	4.3	10.8	7.4	9.8	33.3	0.0	4.0	11.1	12.5	25.0	5.3
適職や得意分野等の自己分析や能力判断の支援	6.5	13.0	8.1	5.6	7.1	33.3	0.0	4.0	11.1	6.3	0.0	5.3
職業訓練	6.2	4.3	8.1	6.5	2.7	66.7	0.0	4.0	11.1	8.3	12.5	10.5
技術習得の機会	7.7	8.7	10.8	8.3	7.1	33.3	0.0	0.0	11.1	8.3	25.0	5.3
余暇活動の支援	3.2	4.3	8.1	3.7	0.9	33.3	0.0	4.0	0.0	4.2	0.0	5.3
その他	5.9	8.7	10.8	11.1	4.5	0.0	0.0	4.0	11.1	4.2	0.0	0.0
特にない	19.5	21.7	27.0	19.4	14.3	0.0	100.0	28.0	11.1	20.8	25.0	21.1
わからない	15.0	13.0	8.1	18.5	14.3	0.0	0.0	8.0	44.4	10.4	0.0	26.3

問63. 長期的に働くために必要だと思うことは何ですか（〇はいくつでも）。

全体 「職場の理解」が最も多く6割前半，続いて「体調にあった勤務体制」が5割半ば，「能力にあった，能力を生かせる仕事」が4割後半となっています。前回調査と比べ，大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると，知的障害では「職場の理解」，発達障害では「能力にあった，能力を生かせる仕事」，精神障害では「体調にあった勤務体制」が6割半ば～7割後半で，他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	886	41	60	188	170	105	70	242	22	111	21	49
職場の理解	62.2	56.1	56.7	53.7	52.9	77.1	75.7	73.1	63.6	62.2	66.7	53.1
体調にあった勤務体制	55.5	43.9	45.0	46.3	55.3	49.5	51.4	71.5	40.9	58.6	66.7	49.0
能力にあった,能力を生かせる仕事	49.9	53.7	38.3	41.0	42.9	63.8	64.3	56.6	45.5	47.7	52.4	36.7
家族の理解・協力	27.2	22.0	21.7	19.7	22.4	36.2	35.7	33.9	22.7	28.8	33.3	28.6
賃金・工賃の増額	24.9	24.4	18.3	19.7	13.5	31.4	42.9	35.1	18.2	25.2	33.3	18.4
通勤時の援助	21.1	29.3	25.0	26.6	15.3	33.3	27.1	21.9	13.6	17.1	23.8	20.4
仲間づくり	20.8	9.8	16.7	16.0	12.4	33.3	31.4	30.2	9.1	18.9	23.8	16.3
トイレ等の職場環境の整備	18.1	14.6	23.3	23.9	17.6	20.0	17.1	15.7	27.3	20.7	28.6	20.4
専門的なアドバイスや支援	17.0	12.2	13.3	14.4	7.6	25.7	18.6	27.3	40.9	14.4	19.0	20.4
余暇活動の支援	7.7	4.9	10.0	4.8	3.5	23.8	17.1	10.3	0.0	4.5	14.3	12.2
その他	4.1	2.4	5.0	4.3	1.8	3.8	7.1	4.5	4.5	2.7	0.0	10.2
特にない	9.1	12.2	16.7	13.8	10.6	3.8	0.0	5.4	9.1	12.6	9.5	14.3
わからない	8.4	19.5	6.7	12.2	12.4	4.8	5.7	2.9	22.7	7.2	0.0	10.2

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	550	18	25	81	58	102	69	217	13	64	13	30
職場の理解	72.9	72.2	76.0	74.1	65.5	77.5	76.8	76.5	76.9	71.9	84.6	56.7
体調にあった勤務体制	62.2	50.0	48.0	60.5	60.3	48.0	52.2	74.7	53.8	67.2	69.2	53.3
能力にあった,能力を生かせる仕事	56.4	61.1	56.0	50.6	36.2	63.7	63.8	59.4	53.8	56.3	46.2	46.7
家族の理解・協力	31.1	22.2	32.0	25.9	29.3	36.3	36.2	35.0	30.8	28.1	30.8	20.0
賃金・工賃の増額	32.5	44.4	28.0	29.6	20.7	31.4	43.5	37.8	23.1	31.3	46.2	23.3
通勤時の援助	24.4	27.8	40.0	35.8	19.0	33.3	27.5	24.4	23.1	21.9	23.1	26.7
仲間づくり	26.5	11.1	20.0	17.3	20.7	33.3	31.9	32.7	7.7	26.6	30.8	13.3
トイレ等の職場環境の整備	18.9	5.6	20.0	32.1	20.7	18.6	17.4	15.7	23.1	28.1	38.5	20.0
専門的なアドバイスや支援	21.8	16.7	20.0	22.2	6.9	25.5	18.8	29.5	53.8	17.2	23.1	23.3
余暇活動の支援	10.0	11.1	12.0	7.4	3.4	23.5	17.4	11.5	0.0	3.1	15.4	16.7
その他	4.5	0.0	4.0	2.5	3.4	3.9	7.2	4.1	0.0	3.1	0.0	16.7
特にない	3.1	0.0	4.0	3.7	5.2	3.9	0.0	2.3	7.7	4.7	0.0	10.0
わからない	4.5	16.7	4.0	6.2	6.9	4.9	5.8	2.3	15.4	6.3	0.0	6.7

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	336	23	35	107	112	3	1	25	9	47	8	19
職場の理解	44.6	43.5	42.9	38.3	46.4	66.7	0.0	44.0	44.4	48.9	37.5	47.4
体調にあった勤務体制	44.6	39.1	42.9	35.5	52.7	100.0	0.0	44.0	22.2	46.8	62.5	42.1
能力にあった,能力を生かせる仕事	39.3	47.8	25.7	33.6	46.4	66.7	100.0	32.0	33.3	36.2	62.5	21.1
家族の理解・協力	20.8	21.7	14.3	15.0	18.8	33.3	0.0	24.0	11.1	29.8	37.5	42.1
賃金・工賃の増額	12.5	8.7	11.4	12.1	9.8	33.3	0.0	12.0	11.1	17.0	12.5	10.5
通勤時の援助	15.8	30.4	14.3	19.6	13.4	33.3	0.0	0.0	0.0	10.6	25.0	10.5
仲間づくり	11.3	8.7	14.3	15.0	8.0	33.3	0.0	8.0	11.1	8.5	12.5	21.1
トイレ等の職場環境の整備	16.7	21.7	25.7	17.8	16.1	66.7	0.0	16.0	33.3	10.6	12.5	21.1
専門的なアドバイスや支援	9.2	8.7	8.6	8.4	8.0	33.3	0.0	8.0	22.2	10.6	12.5	15.8
余暇活動の支援	3.9	0.0	8.6	2.8	3.6	33.3	0.0	0.0	0.0	6.4	12.5	5.3
その他	3.3	4.3	5.7	5.6	0.9	0.0	0.0	8.0	11.1	2.1	0.0	0.0
特になし	19.0	21.7	25.7	21.5	13.4	0.0	0.0	32.0	11.1	23.4	25.0	21.1
わからない	14.6	21.7	8.6	16.8	15.2	0.0	0.0	8.0	33.3	8.5	0.0	15.8

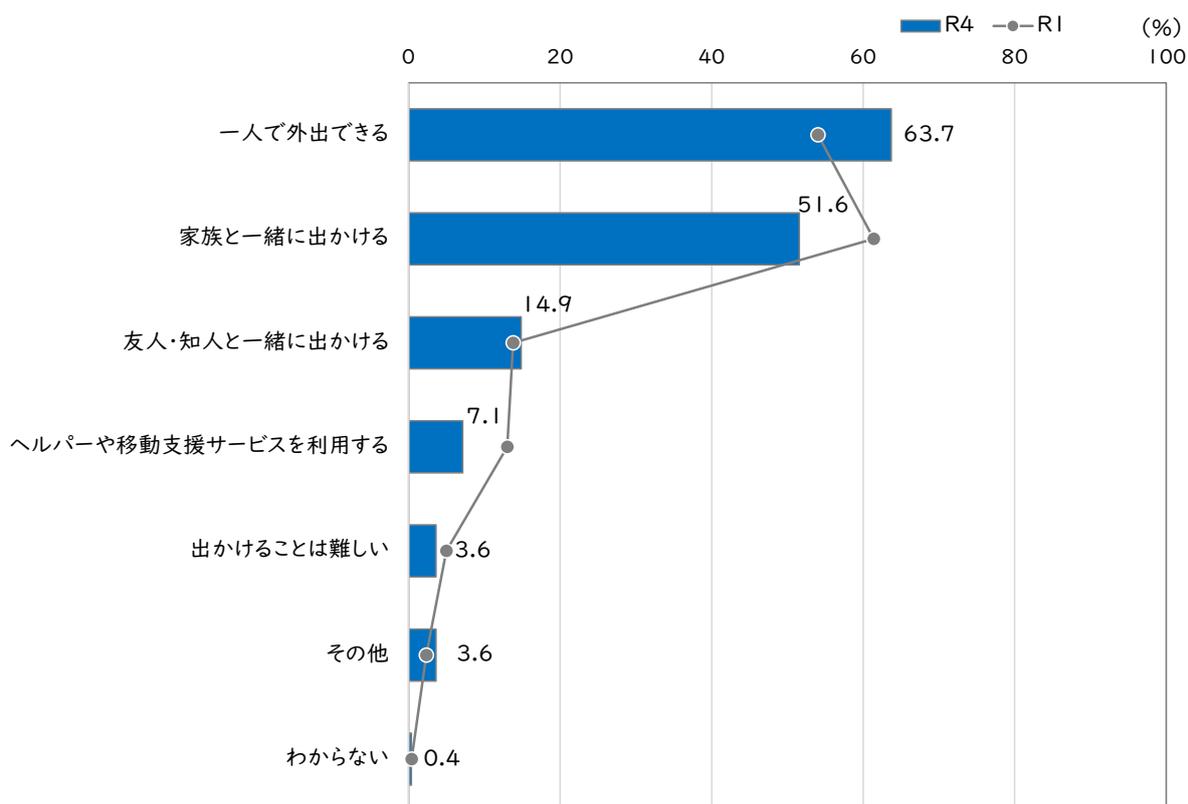
社会参加・余暇活動

問64. 外出する際はどのような手段を使いますか(○はいくつでも)。

全体 「一人で外出できる」が最も多く6割前半, 続いて「家族と一緒に出かける」が5割前半となっています。前回調査と比べ, 大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると, 精神障害では「一人で外出できる」, 知的障害と発達障害では「家族と一緒に出かける」が7割後半で, 他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,414	64	110	309	264	232	182	288	27	154	48	80
一人で外出できる	63.7	35.9	55.5	52.1	73.5	44.0	50.5	79.9	22.2	67.5	45.8	62.5
家族と一緒に出かける	51.6	57.8	54.5	47.6	43.9	77.6	79.7	40.6	55.6	44.2	62.5	43.8
友人・知人と一緒に出かける	14.9	17.2	15.5	10.7	12.9	16.8	18.7	17.0	11.1	16.9	6.3	17.5
ヘルパーや移動支援サービスを利用する	7.1	17.2	7.3	9.4	3.4	20.3	15.4	4.9	11.1	5.2	0.0	3.8
出かけることは難しい	3.6	9.4	5.5	9.1	4.2	2.2	0.5	2.1	14.8	4.5	0.0	7.5
その他	3.6	4.7	8.2	3.9	2.7	4.3	2.7	3.5	3.7	6.5	0.0	11.3
わからない	0.4	1.6	0.0	1.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	202	1	6	18	3	99	100	13	0	7	25	14
一人で外出できる	35.1	100.0	0.0	33.3	33.3	42.4	35.0	61.5	0.0	14.3	4.0	35.7
家族と一緒に出かける	91.6	100.0	100.0	83.3	66.7	91.9	96.0	84.6	0.0	100.0	96.0	85.7
友人・知人と一緒に出かける	16.3	0.0	0.0	5.6	0.0	22.2	19.0	23.1	0.0	0.0	0.0	14.3
ヘルパーや移動支援サービスを利用する	9.9	0.0	16.7	11.1	0.0	15.2	14.0	15.4	0.0	14.3	0.0	21.4
出かけることは難しい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	611	20	27	92	61	125	79	235	14	68	14	33
一人で外出できる	75.6	40.0	63.0	64.1	83.6	46.4	69.6	81.7	28.6	86.8	100.0	69.7
家族と一緒に出かける	42.1	45.0	59.3	46.7	31.1	67.2	59.5	37.0	64.3	35.3	21.4	24.2
友人・知人と一緒に出かける	17.2	20.0	33.3	15.2	11.5	12.8	17.7	19.1	7.1	20.6	14.3	15.2
ヘルパーや移動支援サービスを利用する	7.9	30.0	7.4	9.8	4.9	24.8	17.7	4.7	0.0	2.9	0.0	0.0
出かけることは難しい	2.6	10.0	3.7	7.6	4.9	2.4	1.3	2.1	7.1	0.0	0.0	6.1
その他	3.6	5.0	7.4	4.3	0.0	5.6	2.5	4.3	0.0	2.9	0.0	15.2
わからない	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

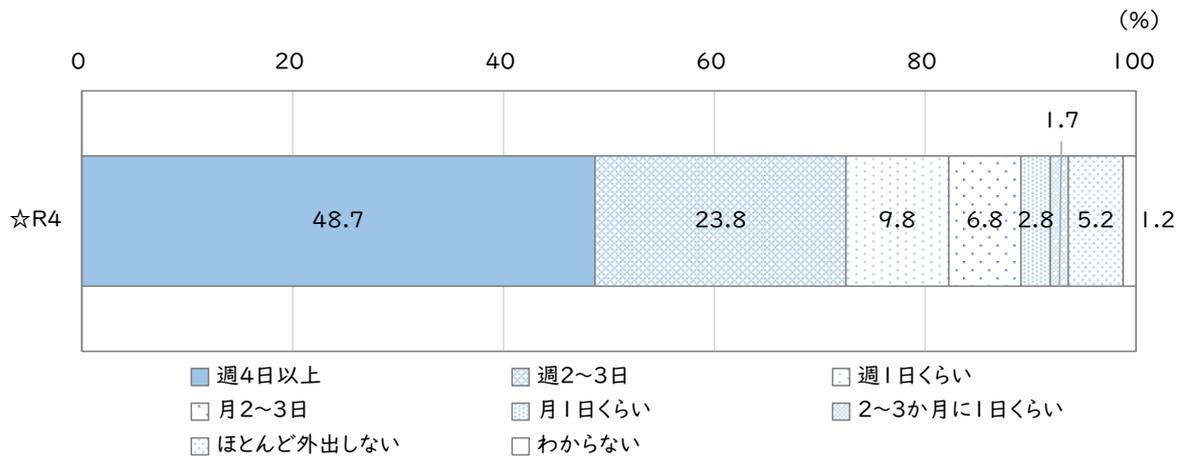
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	582	42	75	193	197	7	2	37	13	78	9	31
一人で外出できる	60.5	31.0	57.3	47.7	71.1	14.3	50.0	73.0	15.4	55.1	77.8	64.5
家族と一緒に出かける	48.1	61.9	48.0	44.6	48.2	57.1	100.0	48.6	46.2	47.4	33.3	48.4
友人・知人と一緒に出かける	11.9	14.3	10.7	8.8	13.7	0.0	50.0	2.7	15.4	15.4	11.1	22.6
ヘルパーや移動支援サービスを利用する	5.5	11.9	6.7	9.3	2.5	14.3	0.0	2.7	23.1	6.4	0.0	0.0
出かけることは難しい	6.0	9.5	6.7	10.9	4.1	28.6	0.0	2.7	23.1	9.0	0.0	12.9
その他	4.3	4.8	9.3	4.1	3.6	0.0	0.0	0.0	7.7	9.0	0.0	12.9
わからない	0.7	2.4	0.0	1.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問65.ここ1年間でどのくらい外出しましたか(○はひとつ)。

全体 「週4日以上」が最も多く4割後半, 続いて「週2~3日」が2割前半となっています。

属性別 障害種別に見ると, 知的障害と発達障害では, 「週4日以上」が6割台で, 他の障害と比べ多くなっています。年代別に見ると, 高齢になるほど, 外出頻度が低くなる傾向がうかがえます。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,403	64	107	308	258	228	181	289	27	153	48	77
週4日以上	48.7	32.8	28.0	37.0	42.2	64.5	68.5	46.0	14.8	45.8	70.8	46.8
週2~3日	23.8	28.1	32.7	22.1	30.2	10.5	16.6	27.3	25.9	25.5	16.7	27.3
週1日くらい	9.8	4.7	15.0	12.0	8.5	7.5	7.2	13.5	11.1	9.8	6.3	7.8
月2~3日	6.8	14.1	6.5	8.8	9.3	6.6	5.5	3.5	11.1	5.9	4.2	7.8
月1日くらい	2.8	4.7	2.8	3.6	2.7	2.2	1.1	4.8	0.0	2.0	0.0	1.3
2~3か月に1日くらい	1.7	3.1	1.9	3.2	2.3	2.6	0.0	0.3	3.7	3.9	0.0	1.3
ほとんど外出しない	5.2	9.4	9.3	11.7	3.9	4.8	1.1	3.1	29.6	5.9	2.1	6.5
わからない	1.2	3.1	3.7	1.6	0.8	1.3	0.0	1.4	3.7	1.3	0.0	1.3

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	202	1	6	18	3	99	100	13	0	7	25	14
週4日以上	77.7	100.0	50.0	77.8	33.3	76.8	83.0	84.6	0.0	85.7	76.0	71.4
週2~3日	11.4	0.0	16.7	5.6	33.3	6.1	12.0	7.7	0.0	14.3	16.0	14.3
週1日くらい	3.0	0.0	0.0	0.0	33.3	5.1	1.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0
月2~3日	4.0	0.0	16.7	5.6	0.0	5.1	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	7.1
月1日くらい	0.5	0.0	0.0	5.6	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2~3か月に1日くらい	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ほとんど外出しない	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	2.0	0.0	16.7	5.6	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	607	20	27	90	60	121	78	236	14	68	14	31
週4日以上	54.4	50.0	25.9	50.0	66.7	57.9	51.3	44.9	28.6	54.4	71.4	54.8
週2~3日	21.6	15.0	48.1	15.6	23.3	13.2	23.1	28.4	28.6	26.5	7.1	19.4
週1日くらい	10.0	5.0	14.8	7.8	1.7	8.3	14.1	14.8	14.3	10.3	14.3	9.7
月2~3日	5.6	15.0	3.7	8.9	5.0	8.3	6.4	2.5	7.1	4.4	0.0	9.7
月1日くらい	2.5	0.0	0.0	4.4	1.7	3.3	2.6	4.2	0.0	1.5	0.0	0.0
2~3か月に1日くらい	1.0	5.0	3.7	3.3	0.0	3.3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	3.2
ほとんど外出しない	4.0	10.0	3.7	8.9	1.7	5.8	2.6	3.0	21.4	1.5	7.1	3.2
わからない	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.5	0.0	0.0

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	575	42	72	194	192	7	2	37	13	77	9	30
週4日以上	32.7	21.4	26.4	27.3	34.9	14.3	0.0	43.2	0.0	33.8	55.6	26.7
週2~3日	30.4	35.7	29.2	26.8	31.8	28.6	0.0	27.0	23.1	26.0	33.3	40.0
週1日くらい	11.8	4.8	16.7	15.5	10.4	14.3	50.0	8.1	7.7	10.4	0.0	10.0
月2~3日	9.0	14.3	6.9	8.8	10.9	0.0	50.0	8.1	15.4	7.8	11.1	6.7
月1日くらい	4.0	7.1	4.2	3.1	3.1	0.0	0.0	10.8	0.0	2.6	0.0	3.3
2~3か月に1日くらい	3.0	2.4	1.4	3.6	3.1	14.3	0.0	0.0	7.7	7.8	0.0	0.0
ほとんど外出しない	8.0	9.5	12.5	13.9	4.7	28.6	0.0	2.7	38.5	10.4	0.0	13.3
わからない	1.0	4.8	2.8	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	7.7	1.3	0.0	0.0

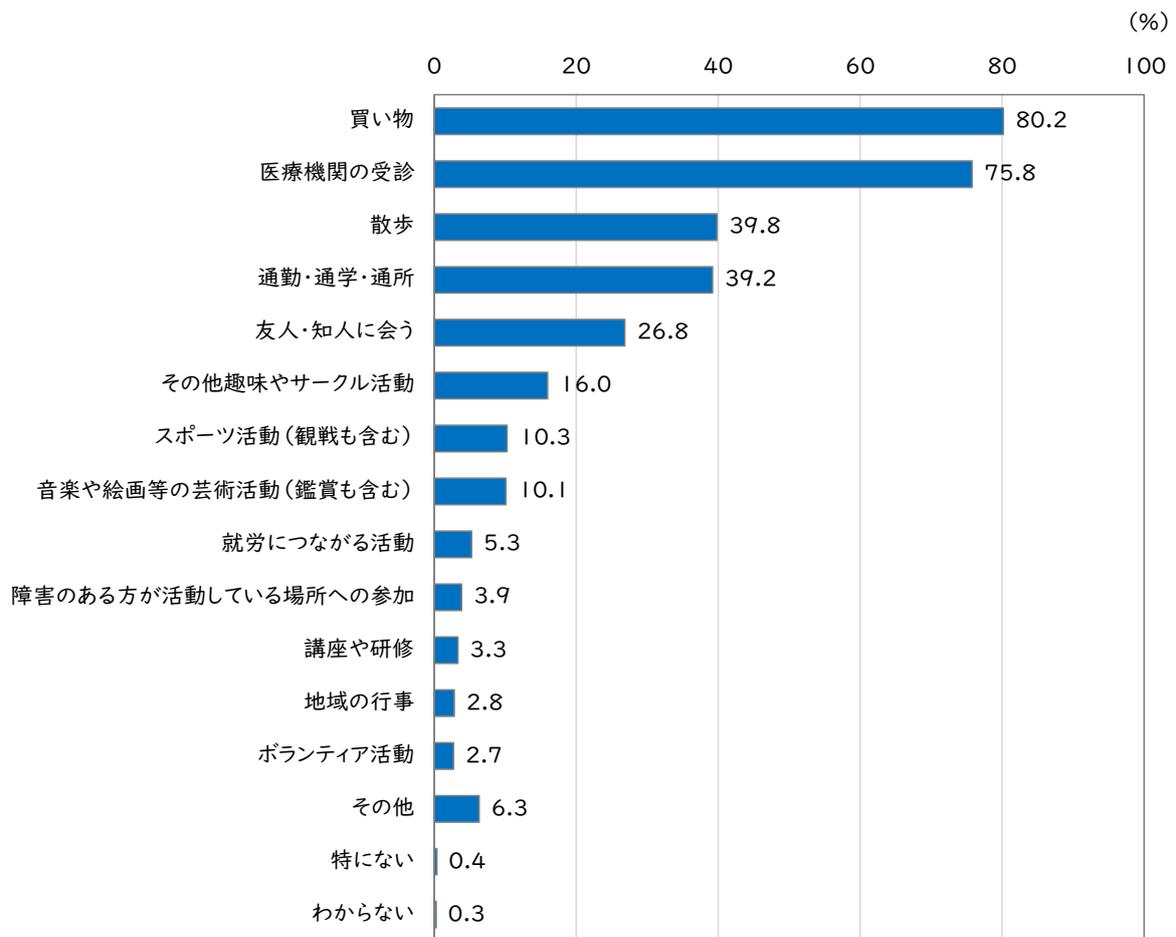
問66. 外出の目的は何ですか（〇はいくつでも）。

（問65で「8. わからない」と答えた方以外の方にお伺いします。）

全体 「買い物」が最も多く8割前半, 続いて「医療機関の受診」が7割半ばとなっています。このほか, 「散歩」と「通勤・通学・通所」が3割後半となっています。

属性別 障害種別に見ると, 内部障害では「医療機関の受診」が最も多く8割後半, 知的障害と発達障害では「通勤・通学・通所」が7割前半で, 他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,140	51	89	251	216	188	141	239	23	127	36	60
買い物	80.2	64.7	75.3	72.1	81.5	73.9	80.1	87.9	47.8	76.4	86.1	86.7
医療機関の受診	75.8	78.4	78.7	77.3	88.9	57.4	59.6	83.7	78.3	82.7	66.7	70.0
散歩	39.8	27.5	39.3	26.7	48.1	37.8	40.4	42.7	30.4	44.1	47.2	43.3
通勤・通学・通所	39.2	17.6	20.2	26.7	18.5	73.4	73.0	38.5	21.7	39.4	66.7	35.0
友人・知人に会う	26.8	11.8	22.5	18.7	24.5	17.6	23.4	36.4	13.0	24.4	58.3	41.7
その他趣味やサークル活動	16.0	15.7	19.1	13.1	19.0	12.8	15.6	15.1	4.3	12.6	19.4	20.0
スポーツ活動(観戦も含む)	10.3	3.9	6.7	9.6	10.2	9.6	11.3	9.6	8.7	11.8	16.7	10.0
音楽や絵画等の芸術活動 (鑑賞も含む)	10.1	3.9	11.2	6.0	9.3	9.6	7.1	13.4	4.3	10.2	19.4	10.0
就労につながる活動	5.3	3.9	3.4	1.6	4.2	5.3	7.1	14.2	4.3	7.1	2.8	6.7
障害のある方が活動している 場所への参加	3.9	2.0	5.6	4.4	2.3	8.0	9.2	5.4	0.0	0.0	0.0	5.0
講座や研修	3.3	2.0	2.2	2.4	4.6	1.1	0.0	3.3	4.3	2.4	11.1	10.0
地域の行事	2.8	2.0	5.6	3.6	3.7	0.5	0.0	1.3	0.0	2.4	2.8	6.7
ボランティア活動	2.7	3.9	1.1	3.2	4.2	1.6	2.1	2.1	0.0	2.4	5.6	0.0
その他	6.3	5.9	9.0	7.2	4.2	8.5	9.2	5.4	8.7	8.7	8.3	8.3
特になし	0.4	2.0	0.0	0.8	0.5	0.0	0.7	0.0	4.3	0.0	0.0	1.7
わからない	0.3	0.0	1.1	0.4	0.0	0.0	0.7	0.4	4.3	0.0	0.0	0.0

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	162	1	2	16	3	83	80	12	0	6	19	11
買い物	74.1	100.0	100.0	50.0	66.7	73.5	75.0	83.3	0.0	66.7	78.9	72.7
医療機関の受診	56.2	0.0	100.0	68.8	66.7	60.2	57.5	83.3	0.0	100.0	52.6	63.6
散歩	36.4	0.0	50.0	25.0	0.0	28.9	40.0	50.0	0.0	66.7	52.6	54.5
通勤・通学・通所	87.7	100.0	50.0	100.0	66.7	89.2	87.5	83.3	0.0	100.0	84.2	81.8
友人・知人に会う	27.2	100.0	0.0	18.8	33.3	18.1	20.0	33.3	0.0	16.7	57.9	63.6
その他趣味やサークル活動	9.3	0.0	0.0	12.5	33.3	10.8	12.5	8.3	0.0	0.0	10.5	0.0
スポーツ活動(観戦も含む)	13.6	0.0	0.0	12.5	33.3	13.3	12.5	25.0	0.0	16.7	15.8	0.0
音楽や絵画等の芸術活動 (鑑賞も含む)	7.4	0.0	50.0	0.0	0.0	9.6	6.3	8.3	0.0	16.7	10.5	0.0
就労につながる活動	4.9	0.0	50.0	0.0	0.0	8.4	5.0	25.0	0.0	16.7	0.0	0.0
障害のある方が活動している 場所への参加	9.3	0.0	100.0	18.8	33.3	10.8	10.0	16.7	0.0	0.0	0.0	18.2
講座や研修	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	9.1
地域の行事	3.1	0.0	0.0	6.3	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	18.2
ボランティア活動	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	11.1	0.0	0.0	6.3	0.0	12.0	11.3	0.0	0.0	0.0	15.8	27.3
特になし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	493	17	26	73	48	100	59	195	13	54	10	27
買い物	85.0	70.6	80.8	75.3	83.3	75.0	86.4	89.2	61.5	87.0	100.0	85.2
医療機関の受診	74.0	64.7	73.1	72.6	83.3	54.0	62.7	83.6	76.9	75.9	80.0	66.7
散歩	37.3	11.8	26.9	26.0	39.6	46.0	40.7	41.0	30.8	35.2	40.0	33.3
通勤・通学・通所	51.9	41.2	46.2	45.2	52.1	64.0	55.9	41.5	30.8	55.6	70.0	40.7
友人・知人に会う	30.8	0.0	38.5	23.3	20.8	17.0	27.1	37.4	15.4	35.2	60.0	33.3
その他趣味やサークル活動	14.0	5.9	26.9	11.0	4.2	15.0	20.3	14.4	7.7	9.3	30.0	11.1
スポーツ活動(観戦も含む)	10.1	0.0	7.7	11.0	8.3	7.0	10.2	8.7	15.4	16.7	20.0	7.4
音楽や絵画等の芸術活動 (鑑賞も含む)	13.6	5.9	7.7	9.6	14.6	9.0	8.5	14.4	7.7	14.8	40.0	7.4
就労につながる活動	9.3	5.9	0.0	4.1	14.6	3.0	10.2	15.9	7.7	13.0	10.0	14.8
障害のある方が活動している 場所への参加	4.1	5.9	7.7	4.1	0.0	6.0	8.5	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
講座や研修	2.8	0.0	3.8	1.4	0.0	2.0	0.0	3.6	7.7	1.9	10.0	11.1
地域の行事	1.4	0.0	7.7	4.1	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ボランティア活動	2.4	0.0	3.8	2.7	2.1	3.0	3.4	2.1	0.0	5.6	10.0	0.0
その他	4.7	5.9	7.7	4.1	0.0	6.0	6.8	5.6	7.7	5.6	0.0	7.4
特にない	0.6	5.9	0.0	1.4	2.1	0.0	1.7	0.0	7.7	0.0	0.0	3.7
わからない	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0

(単位:%)

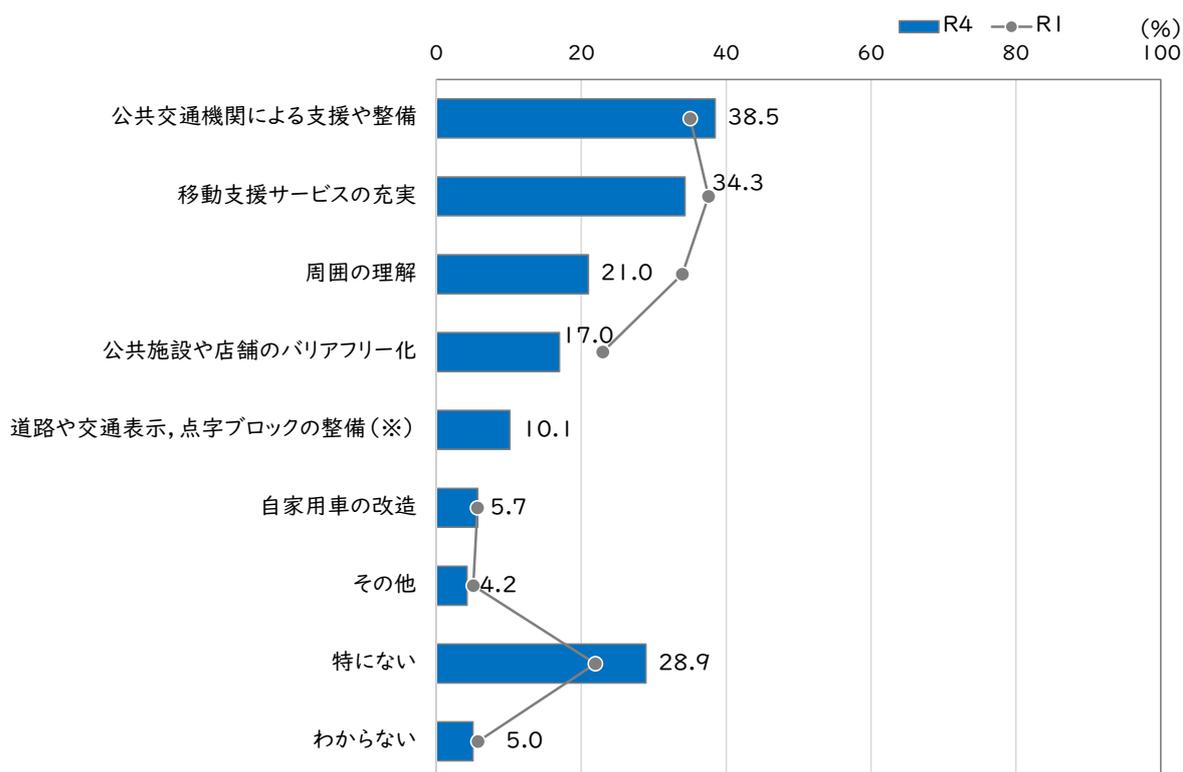
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	472	32	60	158	162	5	2	30	10	66	7	21
買い物	77.3	59.4	71.7	73.4	81.5	60.0	100.0	80.0	30.0	68.2	85.7	95.2
医療機関の受診	84.3	90.6	81.7	80.4	90.7	80.0	50.0	83.3	80.0	86.4	85.7	76.2
散歩	43.0	34.4	43.3	25.9	51.2	20.0	50.0	53.3	30.0	50.0	42.9	47.6
通勤・通学・通所	9.3	3.1	6.7	10.1	7.4	0.0	0.0	3.3	10.0	19.7	14.3	4.8
友人・知人に会う	23.1	12.5	16.7	17.1	25.9	20.0	50.0	33.3	10.0	16.7	57.1	42.9
その他趣味やサークル活動	20.3	18.8	16.7	14.6	23.5	0.0	0.0	23.3	0.0	16.7	28.6	38.1
スポーツ活動(観戦も含む)	9.3	6.3	6.7	8.9	10.5	0.0	0.0	10.0	0.0	6.1	14.3	19.0
音楽や絵画等の芸術活動 (鑑賞も含む)	7.2	0.0	10.0	5.1	8.0	20.0	0.0	10.0	0.0	6.1	14.3	19.0
就労につながる活動	1.3	3.1	3.3	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0
障害のある方が活動している 場所への参加	1.7	0.0	1.7	3.2	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
講座や研修	4.7	3.1	1.7	3.2	6.2	0.0	0.0	3.3	0.0	3.0	28.6	9.5
地域の行事	4.2	3.1	5.0	3.2	4.9	0.0	0.0	3.3	0.0	4.5	0.0	9.5
ボランティア活動	3.8	6.3	0.0	3.8	4.9	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	14.3	0.0
その他	6.6	6.3	10.0	8.9	5.6	0.0	0.0	6.7	10.0	12.1	0.0	0.0
特にない	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	0.2	0.0	1.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0

問67. 外出するために必要だと思うことは何ですか（〇はいくつでも）。

全体 「公共交通機関による支援や整備」が3割後半，続いて「移動支援サービスの充実」が3割半ばとなっています。一方，「特にない」が2割後半となっています。前回調査とは選択肢が異なるため単純な比較はできませんが，前回調査と比べ，「周囲の理解」が13ポイント減少しています。

属性別 障害種別に見ると，視覚障害と肢体不自由では「移動支援サービスの充実」，知的障害と発達障害では「周囲の理解」が4割台で，他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(※) 選択肢を新設

(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,372	65	105	299	249	226	179	281	25	152	48	78
公共交通機関による支援や整備	38.5	47.7	40.0	40.8	41.4	42.0	41.9	36.3	40.0	40.8	35.4	33.3
移動支援サービスの充実	34.3	49.2	43.8	45.5	33.3	44.2	34.1	27.4	44.0	41.4	16.7	25.6
周囲の理解	21.0	18.5	18.1	17.1	11.2	44.2	40.2	22.4	28.0	17.8	27.1	14.1
公共施設や店舗のバリアフリー化	17.0	35.4	27.6	36.5	13.7	15.0	5.6	10.0	40.0	19.7	16.7	11.5
道路や交通表示, 点字ブロックの整備	10.1	44.6	12.4	10.4	5.2	8.4	10.6	10.3	16.0	10.5	12.5	11.5
自家用車の改造	5.7	3.1	10.5	14.4	5.6	4.9	2.2	2.5	12.0	6.6	6.3	3.8
その他	4.2	6.2	5.7	4.7	3.6	4.0	6.1	4.3	12.0	3.9	2.1	10.3
特にない	28.9	15.4	25.7	16.4	38.2	17.7	19.6	32.7	12.0	32.9	39.6	33.3
わからない	5.0	3.1	1.9	4.7	2.4	1.8	7.3	7.5	0.0	3.3	8.3	14.1

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	199	1	6	18	3	99	98	12	0	7	25	14
公共交通機関による支援や整備	39.2	0.0	33.3	61.1	33.3	43.4	41.8	41.7	0.0	57.1	32.0	21.4
移動支援サービスの充実	29.1	0.0	50.0	55.6	33.3	40.4	31.6	33.3	0.0	85.7	8.0	21.4
周囲の理解	37.2	0.0	50.0	50.0	33.3	42.4	45.9	58.3	0.0	57.1	24.0	7.1
公共施設や店舗のバリアフリー化	9.5	0.0	16.7	44.4	0.0	10.1	3.1	8.3	0.0	14.3	8.0	21.4
道路や交通表示,点字ブロックの整備	6.5	100.0	0.0	0.0	0.0	6.1	9.2	8.3	0.0	0.0	4.0	0.0
自家用車の改造	3.0	0.0	0.0	27.8	0.0	4.0	1.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	5.0	0.0	0.0	5.6	0.0	6.1	4.1	8.3	0.0	0.0	4.0	7.1
特にな	24.1	0.0	16.7	5.6	33.3	18.2	19.4	8.3	0.0	0.0	40.0	35.7
わからない	8.0	0.0	0.0	5.6	0.0	2.0	7.1	8.3	0.0	0.0	16.0	21.4

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	595	20	27	88	60	118	78	229	14	68	14	32
公共交通機関による支援や整備	38.8	70.0	55.6	45.5	46.7	42.4	42.3	37.1	42.9	41.2	35.7	28.1
移動支援サービスの充実	32.1	50.0	48.1	40.9	35.0	46.6	38.5	28.4	42.9	26.5	21.4	18.8
周囲の理解	26.6	45.0	29.6	26.1	10.0	48.3	34.6	24.0	35.7	20.6	35.7	15.6
公共施設や店舗のバリアフリー化	17.1	50.0	37.0	47.7	15.0	19.5	9.0	10.0	35.7	25.0	28.6	12.5
道路や交通表示,点字ブロックの整備	12.4	50.0	22.2	18.2	6.7	11.0	11.5	11.4	14.3	19.1	28.6	15.6
自家用車の改造	4.7	0.0	7.4	14.8	5.0	5.9	3.8	2.2	7.1	7.4	14.3	3.1
その他	4.0	5.0	0.0	2.3	3.3	2.5	9.0	4.8	7.1	4.4	0.0	12.5
特にな	30.1	20.0	14.8	18.2	38.3	16.1	20.5	31.0	21.4	38.2	42.9	34.4
わからない	5.4	0.0	3.7	3.4	5.0	0.8	6.4	7.9	0.0	5.9	0.0	12.5

(単位:%)

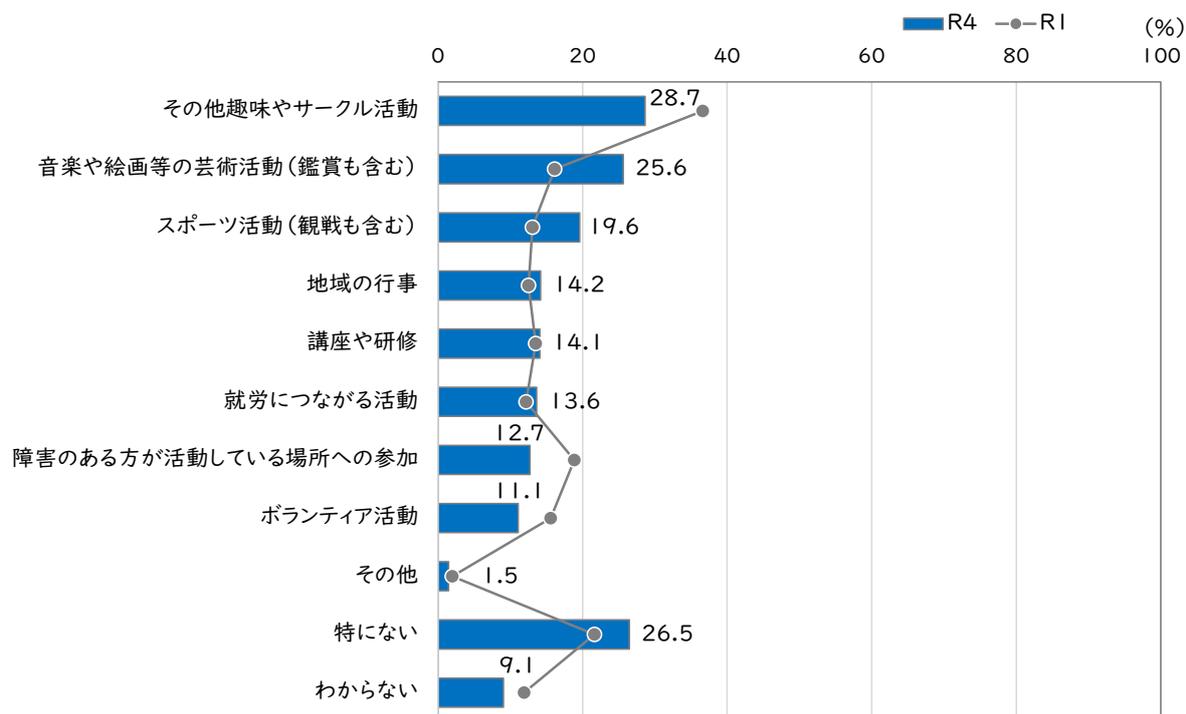
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	561	43	70	188	184	8	2	37	11	76	9	30
公共交通機関による支援や整備	38.0	37.2	35.7	36.7	40.2	25.0	0.0	29.7	36.4	39.5	44.4	43.3
移動支援サービスの充実	38.5	48.8	41.4	46.3	33.2	50.0	0.0	21.6	45.5	51.3	33.3	33.3
周囲の理解	9.6	4.7	11.4	9.6	11.4	12.5	0.0	2.7	18.2	11.8	22.2	16.7
公共施設や店舗のバリアフリー化	19.4	27.9	25.7	30.3	13.6	12.5	0.0	10.8	45.5	15.8	22.2	6.7
道路や交通表示,点字ブロックの整備	8.9	39.5	10.0	7.4	4.9	0.0	50.0	5.4	18.2	3.9	11.1	13.3
自家用車の改造	7.3	4.7	12.9	12.2	6.0	0.0	0.0	2.7	18.2	6.6	11.1	3.3
その他	4.3	7.0	8.6	5.9	3.8	0.0	0.0	0.0	18.2	3.9	0.0	10.0
特にな	29.2	14.0	30.0	17.0	37.5	37.5	0.0	51.4	0.0	30.3	33.3	30.0
わからない	3.6	4.7	1.4	5.3	1.6	12.5	50.0	2.7	0.0	1.3	0.0	13.3

問68. 今後社会参加する、または社会参加を続けるとしたら、どんな活動に参加したいですか(○はいくつでも)。

全体 「その他趣味やサークル活動」が最も多く2割後半、「音楽や絵画等の芸術活動(鑑賞も含む)」が2割半ばとなっています。前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると、精神障害では「就労につながる活動」が2割後半、知的障害と発達障害では「障害のある方が活動している場所への参加」が2割半ば～3割半ばで、他の障害と比べ多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,092	58	87	246	230	126	74	266	21	137	23	58
その他趣味やサークル活動	28.7	17.2	28.7	22.0	32.6	23.0	28.4	33.1	19.0	31.4	39.1	27.6
音楽や絵画等の芸術活動(鑑賞も含む)	25.6	10.3	20.7	20.7	25.7	26.2	28.4	32.3	23.8	27.0	39.1	22.4
スポーツ活動(観戦も含む)	19.6	13.8	16.1	15.0	18.7	19.8	28.4	23.3	14.3	23.4	21.7	12.1
地域の行事	14.2	5.2	16.1	10.6	12.6	19.0	13.5	15.4	4.8	12.4	21.7	24.1
講座や研修	14.1	10.3	12.6	11.0	14.8	9.5	13.5	19.2	4.8	13.1	26.1	17.2
就労につながる活動	13.6	12.1	5.7	7.7	4.3	12.7	21.6	29.7	23.8	12.4	26.1	13.8
障害のある方が活動している場所への参加	12.7	13.8	18.4	8.9	6.1	34.1	24.3	18.8	9.5	4.4	8.7	6.9
ボランティア活動	11.1	5.2	10.3	6.9	13.0	11.1	14.9	13.9	0.0	10.2	13.0	8.6
その他	1.5	1.7	2.3	2.0	0.4	1.6	1.4	2.3	9.5	1.5	0.0	1.7
特にない	26.5	41.4	29.9	33.3	33.5	15.1	14.9	18.0	33.3	27.7	17.4	25.9
わからない	9.1	12.1	5.7	10.6	6.5	12.7	10.8	9.0	14.3	8.0	8.7	10.3

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	584	20	26	86	60	118	73	229	14	66	14	30
その他趣味やサークル活動	28.3	20.0	42.3	27.9	28.3	22.9	28.8	31.9	28.6	28.8	35.7	16.7
音楽や絵画等の芸術活動 (鑑賞も含む)	29.8	10.0	23.1	29.1	31.7	27.1	28.8	32.8	35.7	34.8	42.9	16.7
スポーツ活動(観戦も含む)	22.6	10.0	26.9	18.6	21.7	21.2	28.8	23.1	21.4	30.3	28.6	0.0
地域の行事	14.7	5.0	26.9	11.6	13.3	18.6	13.7	14.4	7.1	10.6	14.3	16.7
講座や研修	14.6	15.0	11.5	12.8	13.3	9.3	13.7	19.7	7.1	16.7	7.1	13.3
就労につながる活動	23.3	25.0	7.7	19.8	8.3	13.6	21.9	33.6	35.7	24.2	35.7	26.7
障害のある方が活動している 場所への参加	18.3	15.0	30.8	12.8	11.7	35.6	24.7	19.7	14.3	4.5	14.3	3.3
ボランティア活動	12.8	5.0	7.7	7.0	16.7	11.0	15.1	14.8	0.0	16.7	14.3	10.0
その他	1.9	0.0	3.8	2.3	0.0	1.7	1.4	2.2	7.1	3.0	0.0	3.3
特にない	17.3	25.0	11.5	17.4	28.3	14.4	15.1	15.7	21.4	16.7	21.4	23.3
わからない	11.5	20.0	7.7	14.0	13.3	12.7	9.6	9.2	7.1	13.6	14.3	16.7

(単位:%)

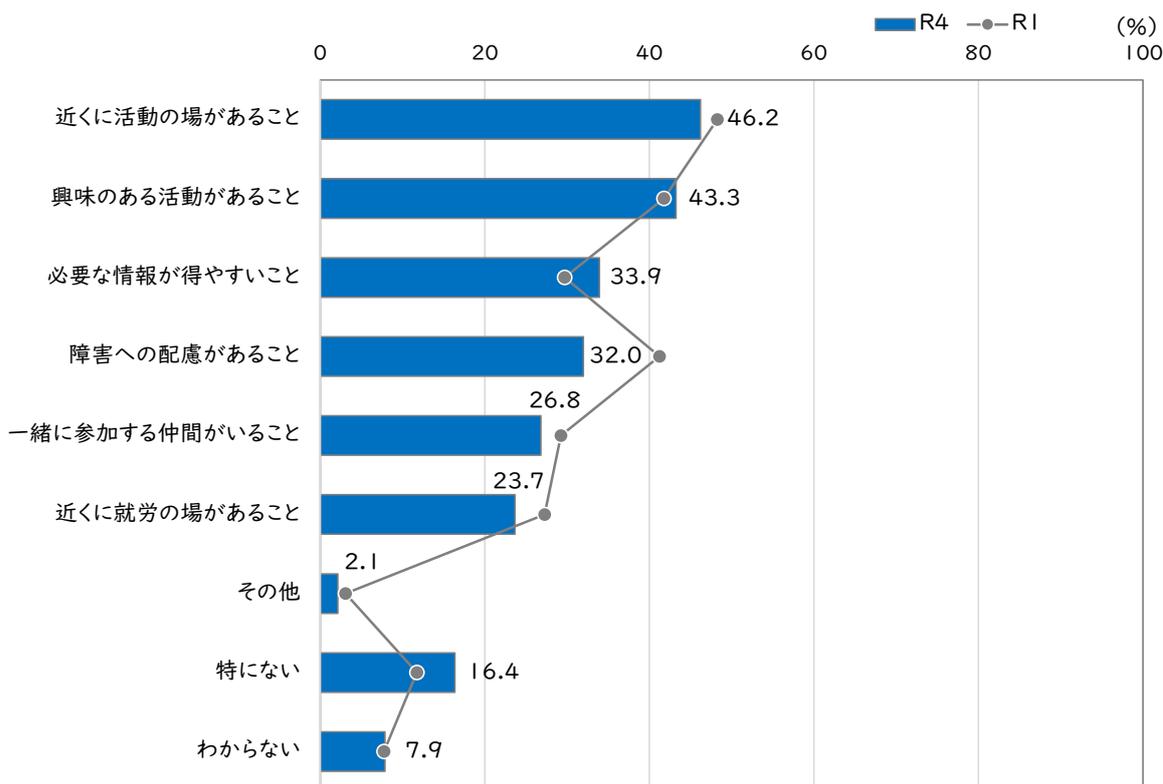
高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	508	38	61	160	170	8	1	37	7	71	9	28
その他趣味やサークル活動	29.1	15.8	23.0	18.8	34.1	25.0	0.0	40.5	0.0	33.8	44.4	39.3
音楽や絵画等の芸術活動 (鑑賞も含む)	20.9	10.5	19.7	16.3	23.5	12.5	0.0	29.7	0.0	19.7	33.3	28.6
スポーツ活動(観戦も含む)	16.1	15.8	11.5	13.1	17.6	0.0	0.0	24.3	0.0	16.9	11.1	25.0
地域の行事	13.6	5.3	11.5	10.0	12.4	25.0	0.0	21.6	0.0	14.1	33.3	32.1
講座や研修	13.6	7.9	13.1	10.0	15.3	12.5	0.0	16.2	0.0	9.9	55.6	21.4
就労につながる活動	2.6	5.3	4.9	1.3	2.9	0.0	0.0	5.4	0.0	1.4	11.1	0.0
障害のある方が活動している 場所への参加	6.3	13.2	13.1	6.9	4.1	12.5	0.0	13.5	0.0	4.2	0.0	10.7
ボランティア活動	9.1	5.3	11.5	6.9	11.8	12.5	0.0	8.1	0.0	4.2	11.1	7.1
その他	1.0	2.6	1.6	1.9	0.6	0.0	0.0	2.7	14.3	0.0	0.0	0.0
特にない	37.0	50.0	37.7	41.9	35.3	25.0	0.0	32.4	57.1	38.0	11.1	28.6
わからない	6.3	7.9	4.9	8.8	4.1	12.5	100.0	8.1	28.6	2.8	0.0	3.6

問69. 今後社会参加する,または社会参加を続けるために必要だと思うことは何ですか
(〇はいくつでも)。

全体 「近くに活動の場があること」が最も多く4割半ば,「興味のある活動があること」が4割前半となっています。前回調査と比べ,大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると,知的障害と発達障害では「障害への配慮があること」が5割半ば~6割,精神障害では「近くに就労の場があること」が3割後半で,他の障害と比べて多くなっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,082	58	87	246	223	125	74	266	23	136	23	59
近くに活動の場があること	46.2	39.7	48.3	37.0	43.0	48.0	56.8	54.9	56.5	50.7	52.2	44.1
興味のある活動があること	43.3	25.9	36.8	36.6	41.3	44.8	52.7	51.5	30.4	47.1	52.2	39.0
必要な情報が得やすいこと	33.9	24.1	27.6	25.6	31.8	37.6	33.8	42.9	26.1	39.0	43.5	35.6
障害への配慮があること	32.0	36.2	40.2	30.1	17.5	60.0	56.8	39.5	47.8	24.3	17.4	28.8
一緒に参加する仲間がいること	26.8	17.2	26.4	21.1	25.1	41.6	23.0	30.5	30.4	30.1	21.7	20.3
近くに就労の場があること	23.7	19.0	13.8	17.9	13.9	31.2	40.5	39.5	21.7	24.3	21.7	25.4
その他	2.1	5.2	3.4	2.0	1.3	3.2	4.1	1.9	8.7	0.7	0.0	6.8
特にない	16.4	20.7	17.2	24.4	20.6	8.8	8.1	10.9	17.4	15.4	13.0	18.6
わからない	7.9	13.8	6.9	8.1	6.3	6.4	6.8	7.9	8.7	9.6	8.7	3.4

【年代別の障害種別】

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	586	20	26	87	60	117	73	228	14	67	14	32
近くに活動の場があること	49.8	45.0	53.8	44.8	45.0	48.7	57.5	55.3	71.4	55.2	35.7	50.0
興味のある活動があること	48.3	30.0	57.7	44.8	41.7	46.2	53.4	52.2	42.9	52.2	57.1	43.8
必要な情報が得やすいこと	39.6	25.0	38.5	33.3	35.0	39.3	34.2	45.2	21.4	46.3	42.9	37.5
障害への配慮があること	41.8	50.0	53.8	40.2	23.3	60.7	57.5	43.4	50.0	32.8	21.4	37.5
一緒に参加する仲間がいること	30.0	15.0	34.6	25.3	25.0	43.6	23.3	31.1	28.6	29.9	21.4	6.3
近くに就労の場があること	35.8	40.0	19.2	31.0	28.3	32.5	41.1	44.7	21.4	40.3	28.6	37.5
その他	2.0	5.0	0.0	2.3	0.0	3.4	4.1	1.8	7.1	0.0	0.0	6.3
特になし	9.0	10.0	11.5	10.3	13.3	7.7	8.2	8.3	14.3	6.0	14.3	15.6
わからない	8.9	10.0	7.7	8.0	11.7	6.0	5.5	8.3	7.1	14.9	14.3	6.3

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	496	38	61	159	163	8	1	38	9	69	9	27
近くに活動の場があること	41.9	36.8	45.9	32.7	42.3	37.5	0.0	52.6	33.3	46.4	77.8	37.0
興味のある活動があること	37.3	23.7	27.9	32.1	41.1	25.0	0.0	47.4	11.1	42.0	44.4	33.3
必要な情報が得やすいこと	27.2	23.7	23.0	21.4	30.7	12.5	0.0	28.9	33.3	31.9	44.4	33.3
障害への配慮があること	20.4	28.9	34.4	24.5	15.3	50.0	0.0	15.8	44.4	15.9	11.1	18.5
一緒に参加する仲間がいること	23.0	18.4	23.0	18.9	25.2	12.5	0.0	26.3	33.3	30.4	22.2	37.0
近くに就労の場があること	9.3	7.9	11.5	10.7	8.6	12.5	0.0	7.9	22.2	8.7	11.1	11.1
その他	2.2	5.3	4.9	1.9	1.8	0.0	0.0	2.6	11.1	1.4	0.0	7.4
特になし	25.0	26.3	19.7	32.1	23.3	25.0	0.0	26.3	22.2	24.6	11.1	22.2
わからない	6.7	15.8	6.6	8.2	4.3	12.5	100.0	5.3	11.1	4.3	0.0	0.0

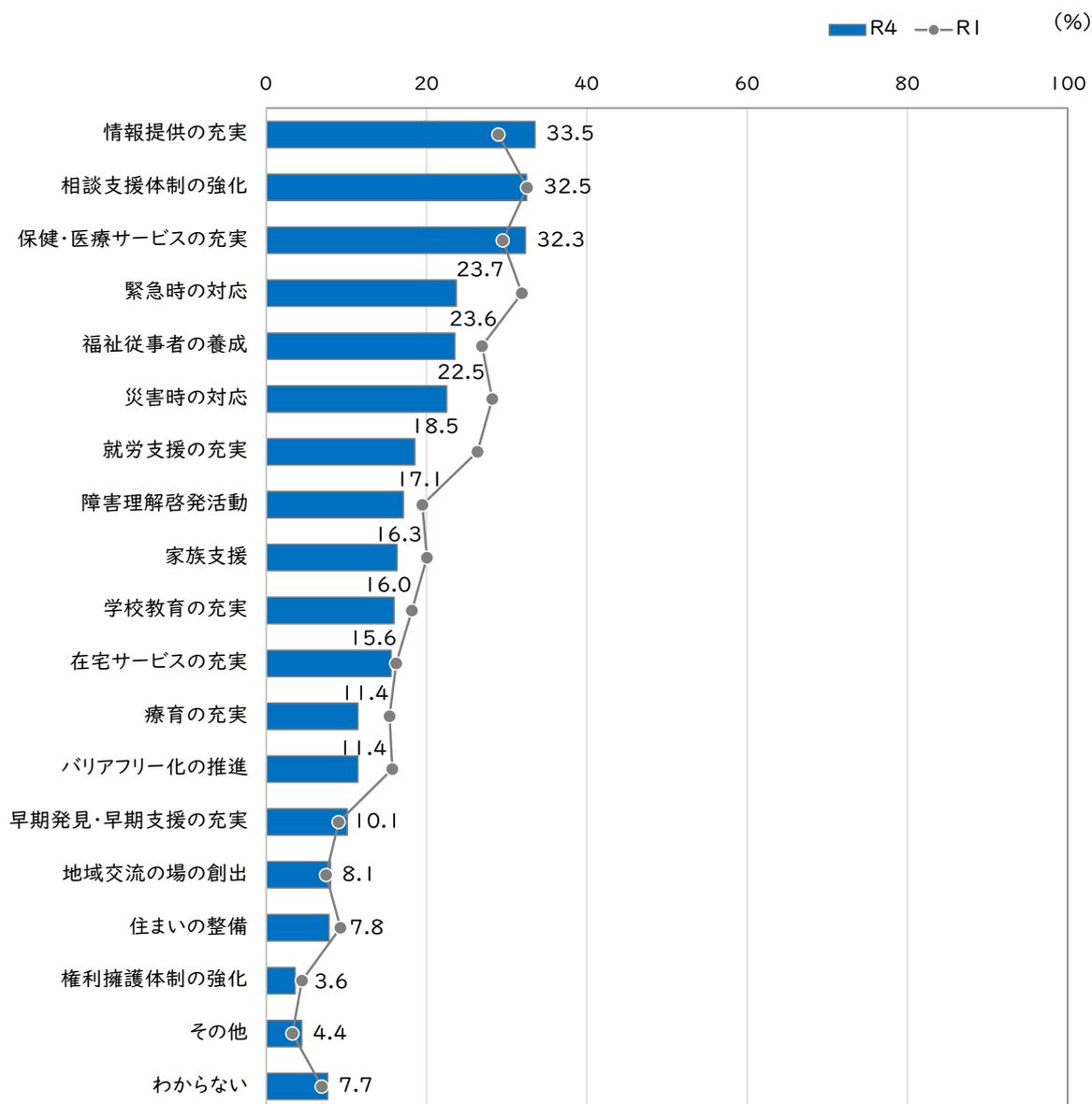
全体を通して

問70. 柏市の資源や財源は限られており、特に必要な取組から優先して実施していかなければなりません。今後、柏市の障害福祉の取組について、特に優先して力を入れてほしいものは何ですか(〇は5つまで)。

全体 「情報提供の充実」、「相談支援体制の強化」、「保健・医療サービスの充実」が3割前半、続いて「緊急時の対応」、「福祉従事者の養成」、「災害時の対応」が2割前半となっています。前回調査と比べ、大きな傾向の違いは見られません。

属性別 障害種別に見ると、知的障害と発達障害では「就労支援の充実」が3割前半～4割前半、難病では「保健・医療サービスの充実」が4割後半で、他の障害と比べて多くなっています。年代別に見ると、児童では「学校教育の充実」が最も多く5割前半となっています。

【全体】



(単位:%)

全体	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	1,354	57	104	299	254	216	178	277	27	147	47	76
情報提供の充実	33.5	31.6	26.9	30.1	40.9	33.3	27.0	35.0	18.5	34.7	25.5	30.3
相談支援体制の強化	32.5	42.1	33.7	24.1	26.8	41.2	42.7	40.4	14.8	31.3	25.5	25.0
保健・医療サービスの充実	32.3	26.3	35.6	31.1	38.6	24.5	28.1	35.0	22.2	48.3	25.5	23.7
緊急時の対応	23.7	22.8	31.7	29.1	28.0	22.7	15.2	20.9	18.5	31.3	8.5	17.1
福祉従事者の養成	23.6	31.6	26.9	18.7	20.5	35.6	28.7	21.3	14.8	28.6	19.1	23.7
災害時の対応	22.5	17.5	32.7	25.8	27.6	24.1	18.0	18.8	25.9	25.2	10.6	18.4
就労支援の充実	18.5	12.3	5.8	9.7	6.7	32.9	41.0	25.6	14.8	10.2	25.5	22.4
障害理解啓発活動	17.1	19.3	23.1	13.0	12.2	27.3	25.8	22.0	18.5	15.0	2.1	10.5
家族支援	16.3	14.0	15.4	14.0	13.0	29.2	28.7	12.6	22.2	15.6	25.5	18.4
学校教育の充実	16.0	10.5	9.6	9.4	12.2	20.8	38.8	11.2	7.4	10.2	55.3	15.8
在宅サービスの充実	15.6	24.6	20.2	20.4	18.9	14.4	11.8	11.9	25.9	21.8	8.5	15.8
療育の充実	11.4	1.8	7.7	5.4	6.3	19.9	29.8	7.2	7.4	6.8	51.1	5.3
バリアフリー化の推進	11.4	24.6	15.4	21.7	9.4	5.6	2.2	5.8	22.2	15.6	6.4	14.5
早期発見・早期支援の充実	10.1	3.5	12.5	6.7	12.2	4.2	11.8	10.1	11.1	8.8	31.9	13.2
地域交流の場の創出	8.1	12.3	8.7	8.7	5.5	9.7	7.3	10.1	11.1	6.1	8.5	6.6
住まいの整備	7.8	7.0	9.6	9.0	5.9	9.7	7.3	7.2	22.2	8.2	6.4	6.6
権利擁護体制の強化	3.6	3.5	4.8	2.7	1.6	4.2	9.0	4.3	0.0	2.0	2.1	5.3
その他	4.4	7.0	3.8	4.3	2.0	5.6	7.9	5.1	0.0	2.7	6.4	7.9
わからない	7.7	5.3	3.8	7.7	8.3	4.2	3.4	9.4	11.1	6.1	6.4	15.8

【年代別の障害種別】

(単位:%)

児童	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	191	1	6	16	3	94	99	11	0	6	24	11
情報提供の充実	27.2	0.0	33.3	18.8	33.3	37.2	26.3	0.0	0.0	33.3	25.0	27.3
相談支援体制の強化	37.7	0.0	50.0	25.0	0.0	41.5	46.5	27.3	0.0	66.7	16.7	9.1
保健・医療サービスの充実	23.0	100.0	16.7	43.8	66.7	29.8	23.2	45.5	0.0	16.7	8.3	18.2
緊急時の対応	12.6	0.0	16.7	43.8	0.0	16.0	11.1	18.2	0.0	16.7	4.2	0.0
福祉従事者の養成	27.2	0.0	33.3	31.3	0.0	31.9	28.3	27.3	0.0	33.3	8.3	27.3
災害時の対応	15.7	0.0	0.0	31.3	0.0	22.3	18.2	18.2	0.0	33.3	8.3	0.0
就労支援の充実	47.6	100.0	16.7	31.3	66.7	54.3	53.5	72.7	0.0	33.3	29.2	36.4
障害理解啓発活動	15.2	0.0	50.0	0.0	0.0	21.3	21.2	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0
家族支援	29.8	0.0	16.7	43.8	66.7	30.9	31.3	9.1	0.0	50.0	33.3	18.2
学校教育の充実	50.8	100.0	16.7	31.3	33.3	41.5	58.6	54.5	0.0	16.7	75.0	36.4
在宅サービスの充実	8.4	0.0	33.3	25.0	33.3	10.6	7.1	9.1	0.0	16.7	8.3	9.1
療育の充実	42.4	0.0	33.3	31.3	33.3	31.9	39.4	27.3	0.0	33.3	83.3	27.3
バリアフリー化の推進	5.2	0.0	0.0	25.0	0.0	7.4	3.0	18.2	0.0	16.7	4.2	0.0
早期発見・早期支援の充実	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	12.1	0.0	0.0	0.0	50.0	9.1
地域交流の場の創出	6.8	0.0	16.7	6.3	0.0	9.6	8.1	18.2	0.0	0.0	4.2	0.0
住まいの整備	5.2	0.0	16.7	12.5	0.0	8.5	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2
権利擁護体制の強化	6.3	0.0	16.7	0.0	0.0	5.3	10.1	9.1	0.0	0.0	4.2	0.0
その他	5.2	0.0	16.7	6.3	0.0	5.3	5.1	0.0	0.0	16.7	4.2	9.1
わからない	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	2.0	0.0	0.0	0.0	4.2	18.2

(単位:%)

成人	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	580	16	24	85	58	112	76	224	15	66	14	33
情報提供の充実	35.5	37.5	16.7	30.6	44.8	32.1	27.6	38.8	6.7	34.8	21.4	36.4
相談支援体制の強化	34.3	50.0	29.2	22.4	24.1	40.2	36.8	42.9	13.3	28.8	28.6	30.3
保健・医療サービスの充実	35.0	31.3	33.3	32.9	50.0	20.5	32.9	34.4	20.0	54.5	35.7	24.2
緊急時の対応	22.2	25.0	25.0	29.4	25.9	26.8	18.4	20.1	13.3	27.3	21.4	18.2
福祉従事者の養成	22.9	37.5	29.2	17.6	12.1	41.1	30.3	20.5	13.3	27.3	28.6	27.3
災害時の対応	22.8	18.8	45.8	22.4	27.6	25.9	17.1	18.3	20.0	30.3	14.3	15.2
就労支援の充実	23.4	25.0	12.5	15.3	13.8	17.9	25.0	28.1	20.0	16.7	35.7	36.4
障害理解啓発活動	22.6	18.8	45.8	21.2	13.8	33.0	30.3	24.1	33.3	16.7	7.1	18.2
家族支援	16.6	18.8	20.8	15.3	8.6	29.5	26.3	15.2	13.3	13.6	14.3	24.2
学校教育の充実	13.3	12.5	12.5	16.5	19.0	5.4	14.5	10.3	13.3	18.2	35.7	9.1
在宅サービスの充実	11.4	18.8	16.7	5.9	19.0	17.0	17.1	11.2	20.0	15.2	7.1	18.2
療育の充実	9.3	6.3	12.5	4.7	12.1	10.7	18.4	7.6	6.7	7.6	28.6	3.0
バリアフリー化の推進	9.7	31.3	12.5	29.4	8.6	4.5	1.3	4.9	26.7	15.2	14.3	9.1
早期発見・早期支援の充実	10.2	0.0	16.7	8.2	15.5	3.6	11.8	10.7	0.0	9.1	14.3	18.2
地域交流の場の創出	6.6	6.3	0.0	5.9	1.7	10.7	6.6	8.9	20.0	3.0	7.1	6.1
住まいの整備	9.5	6.3	20.8	11.8	6.9	11.6	11.8	8.9	20.0	4.5	21.4	6.1
権利擁護体制の強化	3.6	0.0	0.0	2.4	1.7	3.6	7.9	4.5	0.0	4.5	0.0	6.1
その他	5.5	12.5	0.0	5.9	0.0	6.3	11.8	5.8	0.0	1.5	14.3	12.1
わからない	8.3	6.3	0.0	7.1	3.4	4.5	5.3	9.4	20.0	6.1	14.3	15.2

(単位:%)

高齢者	★ 全障害	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	発達	精神	高次脳	難病	未認定	その他/ わからない
有効回答数(人)	565	39	72	192	190	9	2	39	12	74	9	30
情報提供の充実	33.8	30.8	27.8	30.7	40.0	11.1	50.0	23.1	33.3	35.1	33.3	26.7
相談支援体制の強化	29.2	41.0	33.3	25.5	27.9	44.4	50.0	33.3	16.7	31.1	44.4	26.7
保健・医療サービスの充実	32.6	23.1	36.1	28.6	34.7	22.2	50.0	35.9	25.0	45.9	55.6	26.7
緊急時の対応	28.3	23.1	33.3	27.1	28.9	44.4	50.0	25.6	25.0	35.1	0.0	23.3
福祉従事者の養成	23.5	30.8	26.4	18.8	23.7	11.1	0.0	25.6	16.7	28.4	33.3	20.0
災害時の対応	24.6	17.9	29.2	26.0	27.9	22.2	50.0	23.1	33.3	20.3	11.1	30.0
就労支援の充実	3.4	2.6	2.8	4.7	3.2	0.0	0.0	0.0	8.3	1.4	0.0	3.3
障害理解啓発活動	12.2	20.5	13.9	10.9	11.6	22.2	50.0	7.7	0.0	13.5	0.0	6.7
家族支援	11.7	12.8	13.9	10.9	12.6	11.1	0.0	0.0	33.3	14.9	22.2	13.3
学校教育の充実	7.1	7.7	8.3	4.7	10.0	0.0	0.0	5.1	0.0	1.4	33.3	13.3
在宅サービスの充実	22.5	28.2	20.8	26.6	18.4	22.2	50.0	17.9	33.3	28.4	11.1	16.7
療育の充実	3.5	0.0	4.2	3.6	4.2	11.1	0.0	0.0	8.3	4.1	0.0	0.0
バリアフリー化の推進	15.4	20.5	16.7	18.2	10.0	0.0	0.0	7.7	16.7	16.2	0.0	26.7
早期発見・早期支援の充実	9.0	5.1	12.5	6.8	11.6	0.0	0.0	10.3	25.0	9.5	11.1	6.7
地域交流の場の創出	9.7	12.8	11.1	9.9	6.8	0.0	0.0	15.4	0.0	9.5	22.2	6.7
住まいの整備	7.1	7.7	5.6	7.3	5.8	0.0	0.0	0.0	25.0	12.2	0.0	3.3
権利擁護体制の強化	2.8	5.1	5.6	3.1	1.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	6.7
その他	3.2	5.1	4.2	3.6	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	2.7	0.0	3.3
わからない	8.1	5.1	5.6	8.9	10.0	11.1	0.0	10.3	0.0	6.8	0.0	13.3

5. 自由意見のまとめ

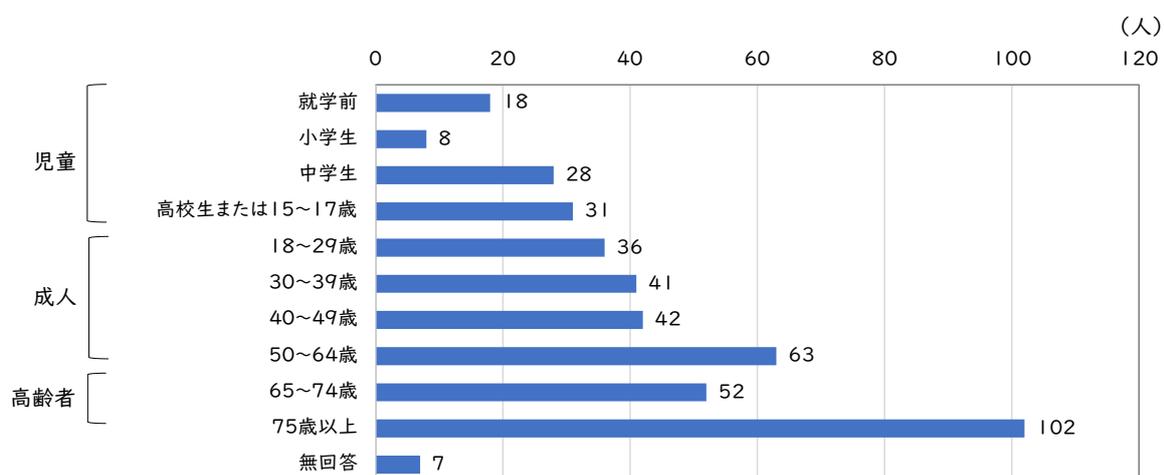
問71. 全体を通して、また、親や介護者の立場として何かご意見があればご自由に記入してください。(自由記述)

自由記述欄に記載いただいた回答をアンケートにおけるカテゴリに基づいて分類し、代表的な回答を抜粋して概要をまとめました。なお、一人の回答につき、複数の意見を含む場合は、それぞれを分類し、件数としてカウントしています。428人から合計535件の意見をいただきました。

※ 掲載する意見は、できる限り原文のまま掲載しています。

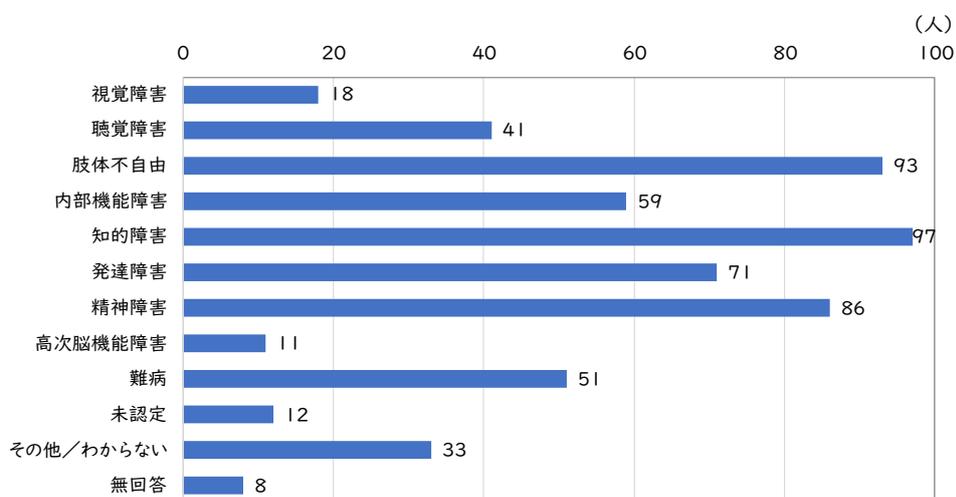
(1) 年齢別回答者数

自由記述欄の回答者数は428人でした。うち、児童は85人、成人は182人、高齢者は154人となっています。



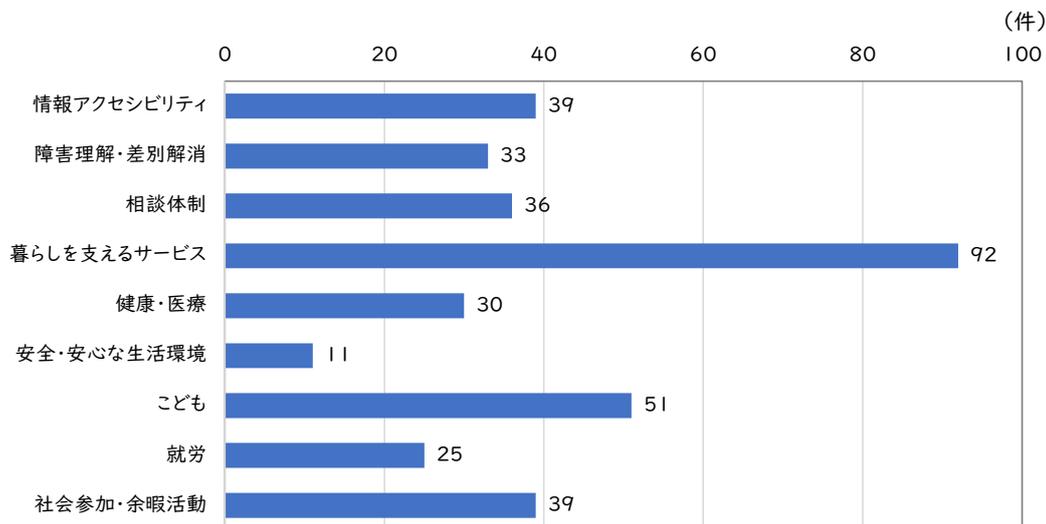
(2) 障害別回答者数

回答者のうち、知的障害が最も多く97人、肢体不自由が93人、精神障害が86人となっています。



(3) 分類ごとの回答件数

分類ごとの回答件数は以下のとおりです。535件のご意見のうち、「暮らしを支えるサービス」に関する意見が最も多く92件となっています。続いて、「こども」に関する意見が51件、「情報アクセシビリティ」と「社会参加・余暇活動」が39件、「相談体制」が36件となっています。なお、アンケートのカテゴリには分類できない「その他」の意見が179件ありました。



(4) 分類ごとの意見のまとめ

情報アクセシビリティ (39件)

「情報アクセシビリティ」に関する意見のうち、「情報提供」に関する意見が最も多く34件ありました。続いて、「意思疎通支援」に関する意見が5件となっています。

「情報提供」(34件)

市役所による情報提供のあり方や、情報入手方法の不明瞭さ、情報の得にくさ等に関する意見が見られました。

- 申請できる制度の情報を得やすくするため、市役所でも横のつながりを意識してほしい。1ヶ所に相談に行ったとして、その1ヶ所の情報提供で終わらず、他の申請も可能であると思われるなら、別の部署に行くよう案内してほしい。
- 障害福祉サービスがこんなにあることを知らなかったのもっと周知してほしい。
- 市役所の福祉に関する全体像がつかめないの分かる資料を提供してほしい。精神障害者に関する制度などの詳細をとりまとめた内容をホームページに掲載してほしい。
- 「障害認定」がない場合でも、困りごとは多くあります。どんな支援を受けることができて、それはどの課に相談をし、どんな書類が必要なのかがわかるフローチャートがあると、スムーズに解決されると思います。

- 柏市に引っ越してまいりましたが、孤立しております。サークルに入りたくても、何のサークルがあるのかさえ公開されておらず、孤独感が高まるばかりです。大まかな情報だけでも、公開していただくと、柏市で精神的に安定した暮らしができるかと期待致します。
- 精神通院の自立支援医療受給者証のことを、通院などをしてからも知らなかったのも、病院などで医師や看護師から伝えるだけでなく、知ることができるよう、必要な人に必要な情報が届くようになったらもっと良いと思う。
- 子どもが高校を卒業した後の就労や生活のこと、親亡き後のサポートについて情報が少なく、どのようにいつ頃どこで相談したらいいのか知りたいです。また、大きな災害時の避難やサポート体制についても情報がほしいなと感じています。

「意思疎通支援」(5件)

意思疎通の困難さやそれに対する支援に関する意見が見られました。

- 大活字本(図書館)を利用しました。もっと種類があるとありがたいです。
- コロナでマスクの時代となって、(難聴のため)口読する自分としては、人とのコミュニケーションが、以前より減ったなど感じる事がとても多いが…。それでもマスク越しに言葉を読み取ったり、筆談したりと、私の場合は医療機関とか薬局とか交流できる場所は少ないけれど、それでも有難いことなのかなと思ったりします。

障害理解・差別解消 (33件)

障害に対して理解が不足している現実に関する意見や、障害理解や相手を思いやる気持ちを求める意見等が見られました。

- 障害について知っている人は、もう頑張っていると思う。自分に何ができるか、何をしたいか。障害を知らない人はずーっと何も知らないし、ヘルプマークも知らない。誰でも「知ることができ」授業を学生のうちに受けてほしい。
- 精神の障害には体調の良い時は健常者と見分けがつかないので、体調が悪くなった時に嫌な目で見られたり、差別されることが多いです。理解してもらえるような活動をお願いします。
- 福祉従事者養成に向けては、若い世代の理解を促進する策が大切だと感じます。親世代に任せては進まない実情があり、行政の皆さんには、小・中・高における教育の中で、若い世代に福祉に関わることの意義を植え付ける工夫を考えていただきたいと思います。
- 不動産会社で、障害名の聞き取りをされました。大家さんは嫌がるそうです。これは、差別なのではないのですか?住宅決めるのに苦労しましたし、嫌な思いをしました。
- 障害にもっと理解を持ってもらえると、相手を思いやる気持ちも育ち、ギスギスした空気になることも少なくなると思うので、皆(障害者も含む)で学ぶ機会をぜひこれからも作って下さい。「お互い様」と思えるようになればいいと思います。
- 障害といっても人それぞれ違いがあることを知ってほしい。同じ「うつ病」でも、全く同じ症状ではないということを知ってほしいと思います

- 助けたり, 助け合ったりと, 世の中の人々が障害者の気持ちに寄り添っていければよいと思いました。

相談体制 (36件)

「相談体制」に関する意見のうち, 「相談支援の質や相談体制の充実・改善」に関する意見が最も多く16件ありました。続いて, 「相談先がわからない・相談できていない」(11件), 「日々や将来に対する不安」(9件)となっています。

「相談支援の質や相談体制の充実・改善」(16件)

相談窓口のワンストップ化や, 専門職の十分な配置を求める意見等が見られました。

- 何か困ったことや相談事その他があった時に(医療や娯楽等), 1つの電話窓口にかけて, そこで専門的な相談先を紹介してくれる所があると助かる。
- 本人と, その子どもが当事者の場合, 「家庭」として包括的に支援・情報共有してほしい。親は精神障害, 子どもは児童発達支援として(我が家は)縦割りで対処されているように感じるが, 一番困っていることへの解決策がわからない。
- 保護者は障害について医学も福祉も分かりません。症状や必要な支援が複数の場合, 相談窓口が複数のため, 何とか時間を作っても一つずつしか相談できず, 何もわからずいろいろと相談したい保護者には大変な負担です。
- 個別事象に対して, どういう支援が可能なのかがわからないので, 相談できる体制, 専門知識のある方の育成等, 5年後, 10年後の準備をお願いします。

「相談先がわからない, 相談できていない」(11件)

どこに相談したらよいかわからない, 困り事があるにもかかわらず相談できていないといった意見が見られました。

- まずどこに相談したらよいかかわからず, さまざまなところで1から説明をして回らなければならなかったことが大変だった。
- 子ども自身, 親亡き後の心配をとてしているもので, 知的障害があっても, 生活していけるのか, どこに相談したらいいのか, ちゃんと働いてお金をかせげるのかなど, そういった相談や支援を充実してほしい。
- パニック, 自傷, 他害のある子は本人も家族もみんな大変ですが, それが日常化してるため悩みを悩みと認識できなくなってきました。「大変なことはありますか?」「困ってることはありますか?」と聞かれても, あまり支援を受けられないことがわかってるので「大丈夫です」と答えています。将来も常に不安。

「日々や将来に対する不安」(9件)

個別の環境における日々または将来に対する不安に関する意見が見られました。

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| • 発達障害の外見ではわからない障害をどう支援していけばいいのか、支援してもらえばいいか。この先、親の努力だけでは共倒れになりそうで不安です。 |
| • 病気を持ちながら今後も仕事を続けて生活をしていけるか、また、今後、親が介護が必要な時、私自身も病気を持ちながらやっていけるか不安はありますが、相談させていただきながらやっていきたいと思います。 |

暮らしを支えるサービス (92件)

「暮らしを支えるサービス」に関する意見のうち、「サービスの充実・改善」に関する意見が最も多く28件ありました。続いて、「外出支援の充実・改善」(20件)、「グループホーム(GH)・施設」(15件)となっています。

「サービスの充実・改善」(28件)

親亡き後への不安や、生活全般に関わるサービスについての質や量などに関する意見が見られました。

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| • 親亡き後、困らないように生活できるようになればよいと思います。 |
| • 私がいずれできなくなった時、人の助けがないと、生きていけない息子が心配です。 |
| • 障害が重く、一人で生活することができない者は、施設に入所することが当然の道とされてしまうのは残念。一人ひとりに、自分の生き方に関する決定権が保証され、なるべく希望する形の生活が送れるよう、支援体制の充実を望みます。 |
| • 難病本人として、老々介護をされる身として、家族の負担が大きすぎると思う。もっと気楽にサービスが受けられたら幸いです(そうじ、ゴミ出し、ゴミステーションのそうじ当番、町会の役員輪番制、外出時の支援、買い物支援、etc.)。 |
| • 個々のニーズに対応した支援の拡大を希望したい(グループホームでの昼の生活のための余暇活動、生活スキルトレーニング、通院の同行、送迎サービス等)。 |

「外出支援の充実・改善」(20件)

病院等への移動の困難さや、市内循環バスやガソリン補助の必要性に関する意見が見られました。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| • 現在ガソリン代の補助を受けているが、ある程度物価にスライドして考えてもらえれば大変助かる。 |
| • 今は自立した生活を送っていますが、長く続けるには、老人会の行事やサークル等に参加して近隣の人々と交わっていくのが良いかなと思っています。今はそれができていると思っています。病院、市役所等に行く循環バスがあるといいなと思っています。少額ならお金を払ってもよい。 |

- 両親が高齢(80歳を過ぎている)で「病院等」への通院,通所等難しい。
- 公共交通機関の乏しい東部地域は,移動は全て家族が支援している現状です。高齢となり親の支援が難しくなる可能性がある。

「グループホーム(GH)・施設」(15件)

親亡き後に安心して生活できる場や,障害が重度でも入所できる施設を求める意見が見られました。

- 親が亡き後,障害を持つ子が,安心して生活していけるための場を作ってほしいと思います。老人施設は,たくさんありますが,障害者施設は,あまりないので,親は年をとってゆくと共に,子供の将来がとても心配です。親亡き後,安心して生活できる場を是非作ってほしいと思います。
- 重度重複障害者のGHや入所施設がない状況で,しかもそこに医療的ケアも必要となると入所先はハードルが高くなり,このまま自宅で共倒れになるのではないかと危惧しています。GHも必要ですが,入居できる人数は少なく,そう考えると20人程度の小規模施設(医ケア,重度重複障害者,重度知的,行動障害者用)が必要なのでは?と思います。
- 障害者の自立を前提としているようですが,最重度の知的障害者には正直無理ですし,家族で自宅で面倒を見ていくことも精神的・体力的に困難なので,入所施設の拡充や増設を心より希望致します。

「福祉サービス従事者」(9件)

福祉サービス従事者の待遇改善と人材不足解消を求める意見が見られました。

- 福祉従事者の不足を耳にします。充実したサポートが可能な現場にして欲しいと思います。同性介護(介助)を希望する場合は可能であってほしい。
- 事業所にもっと金銭的支援を増額してほしい。職員のお給料が少しでも多くなるように,そして待遇が良くなるよう願っています。

「家族の負担・家族支援・緊急時対応」(7件)

緊急時の対応や家族に対する支援を求める意見が見られました。

- 親自身のケアもとても大事になってくると思います。心身共に休めるために,子どもを丸1日預けることが出来るサービスが欲しいです。
- 緊急時の介護。特に夜間支援。

「手当等」(7件)

福祉手当等による経済的な支援を求める意見が見られました。

- 金銭給付(福祉手当等)の充実を望んでいます。

- 私は、精神障害があり、シングルマザーです。無理をすれば、働ける状況ですが、働かなきゃ食べていけなくなります。障害年金だけでは、生活が困難です。このままでは、生活保護も考えなければいけません。こういう障害者はとても多いと思います。もう少し手厚い金銭給付があれば、日々の不安はなくなります。

「在宅での地域生活」(6件)

在宅で一人で地域生活をしていくための支援・体制整備を求める意見が見られました。

- 長期的に考えると、いつまでも親のサポートが受けられるわけではないので、地域で生活していくことができる体制の整備が必要だと思います。
- 一人暮らしができる支援の充実をお願いします。

健康・医療 (30件)

「健康・医療」に関する意見のうち、「症状の悪化・高齢化に伴う不安」に関する意見が最も多く14件ありました。続いて、「医療・通院費」(9件)、「医療施設・内容・人材の充実」(7件)となっています。

「症状の悪化・高齢化に伴う不安」(14件)

症状の悪化や高齢化により、今できていることが今後できなくなる不安等に関する意見が多く見られました。

- 現在は1人で身の回りのことや外出はできますが、5年先、10年先のことを思うと不安が多くあります。福祉がさらに充実することを願っています。
- 親も本人も年をとります。体調も年々悪くなり本人の老後が一番の心配ごとです。自立できることが希望です。
- 子ども達も皆独立し、それぞれ皆忙しく仕事をする生活をしており、近くにいる一人暮らしの兄弟等に助けられています。皆年齢も近いので、近い将来、病院への通院、庭木の整理等、安価なサービスがあるとよいと思っています。

「医療・通院費」(9件)

医療費や通院費の負担が大きいという意見が見られました。

- 医療費補助が収入によってあったりなかったりするので、毎年びくびくしています。他の病気やけがは別として、障害の原因となっている病気の治療費の補助はお願いしたいです。私は内部障害なので、毎月、検査や薬代がかかって負担になっています。この障害の治療の部分は、人生が終わるまで続くので、補助援助をお願いします(治療費・投薬料の部分です)。
- 通院にかかる費用もあるので通院費の免除をしてほしい。

「医療施設・内容・人材の充実」(7件)

通える範囲に適切な医療施設が必要であるといった意見や、医療従事者の対応、医療の内容の改善を求める意見が見られました。

- | |
|-----------------------------------------------------|
| • 医療従事者の質の向上(専門知識, 患者への対応等)。 |
| • 柏の病院では診られないと言われる子が多く、遠方に通う子が殆ど。高度な医療が提供出来る病院が欲しい。 |

安全・安心な生活環境 (11件)

災害等の緊急時に対する不安や、避難に関する困難さ等の意見が見られました。

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| • 在宅避難を考えております。車椅子でも入れるトイレ, ベッド等も必要なので, よくある避難所は利用できないと思います。 |
| • 災害時の障害児者の避難場所について, すぐに福祉避難所の設置が難しい場合, 一時避難所の中で, 障害児者や高齢者, 弱者に対して配慮できるような福祉スペースなどを設置していただきたい。 |
| • 子どもの年齢が上がるにつれ, 物理的に親とは離れた所で過ごす時間が増えますが, 自然災害, 事件や事故に巻きこまれた時, 誰にならヘルプマークを提示してよいのか, 難しい判断になると思います。不審者対応等も含め, 練習ができるような講座等あれば, 親子で参加したいと思います。 |

こども (51件)

「こども」に関する意見をライフステージごとに整理すると、「乳幼児期」(9件), 「学齢期」に関する意見が最も多く18件, 「卒業後の支援」(11件), 「サービスの充実・改善」(13件)となっています。

「乳幼児期」(9件)

保育園・幼稚園での対応や早期発見や早期支援に関する意見が見られました。

- | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| • 自分から動かなければ手帳も受給者証も何の支援も受けられません。でも親から手を伸ばすことにはかなり勇気がいったのも事実です。1歳半健診, 3歳健診の時がいいので, 一人一人とゆっくり面談をする時間をとれないでしょうか。相談したいと思っても, 「こんなことくらいで」「周りの目が気になる」と一歩踏み出せない方も多いと思います。 |
| • 幼稚園で発達障害についてはプロではないのでわからないと言われるので, 保育士さんには発達障害の勉強やセミナーなどは行えないのでしょうか。私の子が通っている発達支援事業所の先生は, 保育士さんが多いので, その差は何なのか? 少し理解しきれない部分はある。 |

「学齢期」(18件)

学校での障害理解やより良い教育を求める意見や、教員不足に関する意見等が見られました。

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">• 学校の中で、本人の周りにいる子ども達が自然とさまざまな障害について偏見など持たないよう理解していけるような教育をしてほしいと思う(例えば、同じクラスの中に問題行動を起こす子がいても、先生が特性などを子ども達に伝えて、どう関わっていけばいいのかを子ども達が考えるような場をつくるとか。単に「困った子」という扱いを皆がしないように皆で考えていく学校であってほしい)。 |
| <ul style="list-style-type: none">• 学校教員の支援拡充に一層力を入れてほしい。普通級に在籍している児童(希望している児童)で全体の進度に遅れぎみの子をサポートする教員が少ない。1年生時は担任以外に1名サポートがいるが、2年生以降も各クラス最低1名はサポート教員を配置してほしい。 |
| <ul style="list-style-type: none">• LD(学習障害)は学校でもあまり知られていなく、やる気がないだけなどと誤解され、辛い面も多く、かなりたいへんです。中学生、情緒学級でも知識を持った先生はごく少数です。 |
| <ul style="list-style-type: none">• 障害児は進学先の選択肢が少ない。特別支援学校を選びたいが、その先進学ができるわけではない。就労するために高等学園に行くしかない。健常者のように、学校、職場を選ぶ事ができない。高等学校でも特別支援級など作ってほしい(現在情緒クラスは増えているが支援が少ない)。 |

「卒業後の支援」(11件)

学齢期と比較した場合に、卒業後の支援先や情報量の少なさ等に関する意見が見られました。

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">• 特別支援学校在学中に放課後デイサービスを利用することになり、フルタイムで勤務できておりました。卒業して通所するようになってから、短時間のパートしかできなくなり、就活も困難です。またフルタイムで働きたいので、障害者サービスを充実させてほしいです。 |
| <ul style="list-style-type: none">• 高2男子の母です。現在、放デイを利用しています。放課後に居場所があり、そこで体を動かしたり、デイに通っている時間に兄弟へのフォローができたりと、とても助かっています。ただ卒業後、利用できる福祉サービスが少なく限られており(福祉就労の時間は9~15時です)、運動量の減少からの肥満や家庭での見守りが増えたり、介護者の就労時間等で少し不安になっています。大人が利用できる余暇支援や日中一時など、利用できる場所を増やしていただけるととても助かります。 |
| <ul style="list-style-type: none">• 障害児支援利用計画を作成してもらっている事業所から、「18歳以上は作成できないので、18歳以上のサービス等利用計画をやっている所を自分で探して下さい」と言われました。いろいろな事業所に聞きましたが、どこも「今は受けつけていない」とか、「いっぱいできない」とか「一年後くらいにできるかもしれない」等の返事ばかりで、自分で探すのは難しい状態でした。18歳以上でも支援計画を立てられる事業所を市の方で利用しやすく整備してほしいです。 |

「サービスの充実・改善」(13件)

相談先に関する意見や、保護者の負担を軽減する支援の充実等に関する意見が見られました。

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">療育に関わる民間事業所に将来の就労や、特別支援学校への進学について相談しても知見がないので相談できない。 |
| <ul style="list-style-type: none">支援が必要な障害児の場合、保護者の日常生活での負担、特に肉体的な負担の軽減が最大の課題となります。このため、通学通院等の外出時や入浴の介助の利用可能な時間帯と総時間の拡大を希望します。サービス時間拡大により保護者は勤務可能になるため、福祉支援は保護者の勤務時間と等価の経済活動と考えられます。 |
| <ul style="list-style-type: none">小学校(小学生)への発達支援サービスについても、未就学児と同様に所得制限をなくしてほしい。子どもに関する給付等も、所得制限もなくしてほしいです。来年から小学生ですが、療育の費用(自己負担)が高額になるため、通えません。 |

就労 (25件)

一般企業における雇用促進、十分な就労先の確保、職場における理解ある対応や、安定した給与などを求める意見が見られました。

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">障害者の雇用促進については、法制化されてはいるものの、まだまだ一般企業に馴染んでいないように思います。企業側の理解不足も、その一因の気がします。ジョブコーチの育成・活用などで積極的な企業訪問、企業への障害者の雇用啓発活動を強力に展開できたらよいように思います。 |
| <ul style="list-style-type: none">障害者の雇用はありがたいと思いますが、一般就労の方より圧倒的に収入が少ないため、どのように経済的に自立していくのか心配です。 |
| <ul style="list-style-type: none">一般企業の障害者枠の求人の数が増え、会社内での配慮と理解が高まり、給与も最低賃金のアルバイトではなく、1人で安定して生活ができるくらいの金額がもらえるようになることを望みます。 |
| <ul style="list-style-type: none">「年金収入+家族の援助」より支出が上回っており、少しでも収入を増やせればよいと思う。高齢で持病がある(週3通院)ので、通勤することは不可能だと思いますが、入所施設の行事として内職のようなことや、生産性のあることを取り入れてほしいと思う。 |
| <ul style="list-style-type: none">もうすぐ社会に出なければならない年齢の子どもを持つ親として、今、就労の場が乏しいと感じています。 |

社会参加・余暇活動 (39件)

「社会参加・余暇活動」に関する意見のうち、「バリアフリー」に関する意見が最も多く21件ありました。続いて、「社会参加・交流」(18件)となっています。

「バリアフリー」(21件)

歩道の整備や、トイレやエレベーターの増設等の意見が見られました。

• 公共施設などのエレベーターの増設, 多目的トイレの増設, 少ない段差にも手すりの設置。
• 市全体の歩道が斜めのため危険な段差が多い。道路全体がデコボコのため歩きづらく, 雨が降ると水たまりが多く困る。
• 移動に三輪自転車を使うことがあり, 歩道と車道との段差で転ぶことがよくあります。縁石や側溝の蓋による段差は必要だと思いますが, 自転車が安全に通行できる道づくりを望みます。
• 公共施設等の表示をもっと大きく見やすいようにしてほしい。見づらいのが多い。
• てすり, 点字ブロック等, 障害者の目で設置してほしいです。車椅子でも移動しやすい点字ブロックの設置。使いにくいトイレがあります。

「社会参加・交流」(18件)

社会参加・交流できる場を求める意見や, 参加する上での困難さに関する意見が見られました。

• 障害者がさまざまな所で社会参加できるものを作ってほしいと思っています。
• 障害を持つ人はとかく外へ出ていくことをいやがります。しかし地域交流の場が多くあれば家族も一緒に連れて行くことができます。そのような場作りをお願いしたい。
• 就職後も障害者同士が, 気軽に参加できるコミュニティの場所がほしい。
• 以前より障害者等の対応は良くなっていると思います。そこで, 健常者, 障害者の区別を, 極端に行わないでお互いに活動できる, 活動を増やしてもらうなどできればいいです。みんなで, すごしやすい生活を。

その他 (179件)

上記分類には該当しない意見として, 職員の接遇や介護保険等の制度に関する「市・県・国への意見」(66件)や, 「感謝・応援等メッセージ」(40件), 「アンケートへの意見」(33件)に加え, 回答者個人の状況(23件)が寄せられました(その他分類不能な意見が17件ありました)。

Ⅱ. 市民向けアンケート

Ⅰ. 質問項目一覧

ご本人のことについて
問1. あなたの性別をお答えください。
問2. あなたは何歳ですか(2022年4月1日現在)。※宛名のご本人についてお答えください。
興味・関心
問3. あなたは障害福祉に関する次の用語を知っていますか。 (1) ヘルプマーク, またはヘルプカード (2) ほじょ犬(盲導犬, 介助犬, 聴導犬を含む) (3) ノーマライゼーション (4) 地域共生社会 (5) 障害者差別解消法 (6) 成年後見制度 (7) インクルーシブ教育 (8) 医療的ケア(医ケア) (9) ノーマライゼーションかしわプラン
問4. あなたは障害福祉や障害のある人についてどこかで知る・学ぶ機会がありましたか。
問5. あなたは障害福祉や障害のある人に関心がありますか。
問6. あなたが障害福祉や障害のある人に関心を持ったきっかけは何ですか。(問5で「1. 関心があり, 何らかの形で行動に移している」「2. 関心はあるが, 特に何もしていない」と答えた方にお伺いします。)
障害のある人に対する意識
問7. あなたは「障害者」と聞いてどんな印象を持っていますか。
問8. 障害のある人に対する偏見や差別は社会全体としてあると思いますか。
問9. どんな場所や場面で障害のある人に対する偏見や差別があると思いますか。(問8で「1. あると思う」「2. 少しはあると思う」と答えた方にお伺いします。)
問10. 障害のある人に対する偏見や差別をあなた自身が持っていると思いますか。
障害のある人との交流
問11. あなたは障害のある人との関わりや交流がありますか, または, ありましたか。
問12. あなたは街なかで困っているように見える障害のある人がいたら, 声をかけますか。また, 障害のある人から声をかけられたらどうしますか。
問13. あなたは障害のある人に関するボランティア活動に参加したことがありますか。
問14. ボランティア活動に参加するためには何が必要だと思いますか。(問13で「4. 参加したいとは思わない」「5. わからない」と答えた方以外の方にお伺いします。)

障害のある人の地域移行
問15. 国は障害のある人もない人も地域の中で暮らせるように方針を打ち出しています。あなたは障害のある人が施設ではなく、地域の中で暮らすことをどう思いますか。
問16. あなたが障害のある人が自分の近所に暮らすことに抵抗がある、または地域の中で暮らすことは良いことだと思わない理由は何ですか。(問15で「2. 地域の中で暮らすことは良いと思うが、自分の近所に障害のある人が暮らすことには抵抗がある」「3. 地域の中で暮らすことは良いことだと思わない」と答えた方にお伺いします。)
全体を通して
問17. 市では国の方針を受け、障害のある人も地域で自分らしく暮らすことができる社会づくりに取り組んでいます。あなたは市が障害福祉について、今後力を入れるべきことは何だと思えますか。

2. 調査結果を見る際の留意点

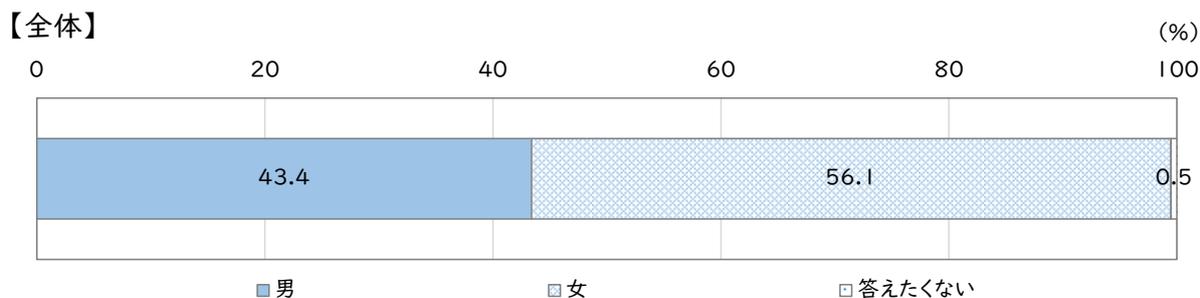
- ・回答は各質問の有効回答数(n)を基数とした百分率(%)で示しています。
- ・回答の比率(%)は、各質問の有効回答数を母数として算出しているため、複数回答の質問については、選択肢ごとの比率を合計すると100%を超えることがあります。
- ・回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、属性ごとの回答比率の合計が100%にならないことがあります。
- ・割合の表記は、1割前半は10～13%、1割半ばは14～16%、1割後半は17～19%を指します。また、1割程度は8～12%、1割台は10～19%を指し、複数の比率をまとめて言及する場合に使用しています(小数点以下は切り捨て)。
- ・原則として、全体の有効回答数が41人(有効回答総数の約1割)以上あるものについて傾向を記載しています。
- ・クロス集計分析に当たっては、属性ごとの有効回答数が30人未満の場合は傾向に記載しません。
- ・問7の自由記述は、代表的な回答を抜粋し概要を記載しています。なお、自由記述の件数は、年代などの属性が無回答であった方も含め、記載のあった全ての意見数を掲載しています。

3. 各質問項目の回答結果

ご本人のことについて

問1. あなたの性別をお答えください(○はひとつ)。

全体 「男」が4割前半, 「女」が5割半ばとなっています。



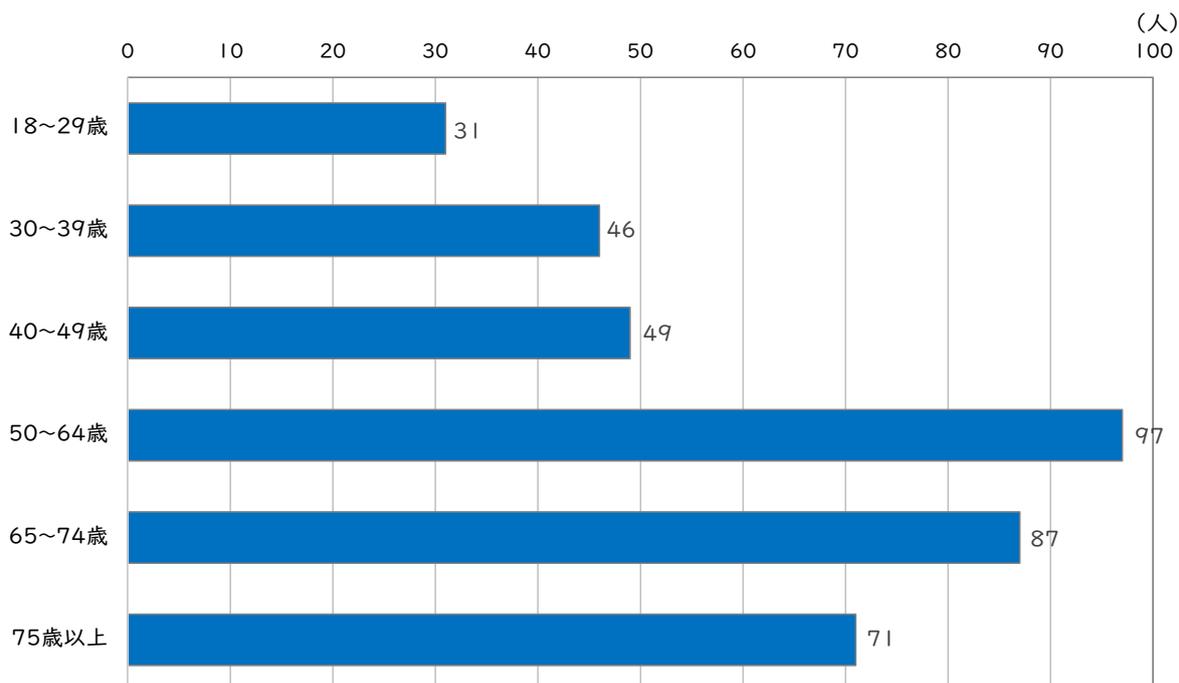
【年代別】

(単位:%)

	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	378	30	46	48	96	87	71
男	43.4	56.7	26.1	43.8	36.5	51.7	47.9
女	56.1	43.3	73.9	52.1	63.5	48.3	52.1
答えたくない	0.5	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0

問2. あなたは何歳ですか(2022年4月1日現在)(○はひとつ)。

全体 「50~64歳」が97人で最も多く, 全体の2割半ばとなっています。



興味・関心

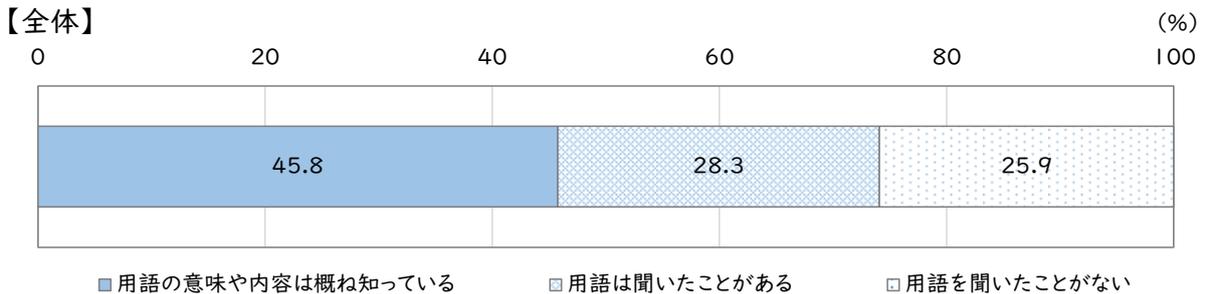
問3. あなたは障害福祉に関する次の用語を知っていますか。

《問3の用語説明》

(1) ヘルプマーク、ヘルプカード	ヘルプマークとは、支援や配慮を必要としていることを周囲に知らせるマーク。ヘルプカードとは、障害のある方などが災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に自己の障害への理解や支援を求めるためのカード。
(2) ほじょ犬(盲導犬, 介助犬, 聴導犬を含む)	目や耳, 手足に障害のある方の生活を支援する, 身体障害者補助犬法に基づき認定された犬。
(3) ノーマライゼーション	障害のある方を特別視するのではなく, 一般社会の中で普通の生活が送れるよう条件を整え, 共に生きる社会こそが当たり前(ノーマル)であるという考え方。
(4) 地域共生社会	全ての人々が一人一人の暮らしと生きがいを共に創り, 高め合う社会。または困難を持つあらゆる方を地域で支えるための仕組みを目指す考え方。
(5) 障害者差別解消法	障害を理由とする差別の解消の推進について定めた法律。
(6) 成年後見制度	知的障害や精神障害, 発達障害, 認知症などの理由により判断能力が不十分で自分自身の権利を守ることができない方を保護・支援する制度。
(7) インクルーシブ教育	障害の有無にかかわらず, 子どもたちが共に学ぶ教育。
(8) 医療的ケア(医ケア)	自宅で家族等が日常的に行う, 医療的生活援助行為。痰(たん)の吸引や経管栄養などが含まれる。
(9) ノーマライゼーションかしわプラン	柏市の障害福祉に関する計画。法定計画である障害者基本計画, 障害福祉計画, 障害児福祉計画の3つの計画を一体的に策定している。

(1) ヘルプマーク, またはヘルプカード

全体 「用語の意味や内容は概ね知っている」が最も多く4割半ば, 「用語は聞いたことがある」が2割後半, 「用語を聞いたことがない」が2割半ばとなっています。



【年代別】

(単位: %)

	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	378	31	46	49	97	86	69
用語の意味や内容は概ね知っている	45.8	48.4	50.0	40.8	49.5	46.5	39.1
用語は聞いたことがある	28.3	29.0	28.3	32.7	23.7	24.4	36.2
用語を聞いたことがない	25.9	22.6	21.7	26.5	26.8	29.1	24.6

(2) ほじょ犬(盲導犬, 介助犬, 聴導犬を含む)

全体 「用語の意味や内容は概ね知っている」が最も多く8割後半で、「用語は聞いたことがある」が1割未満、「用語を聞いたことがない」はわずかとなっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

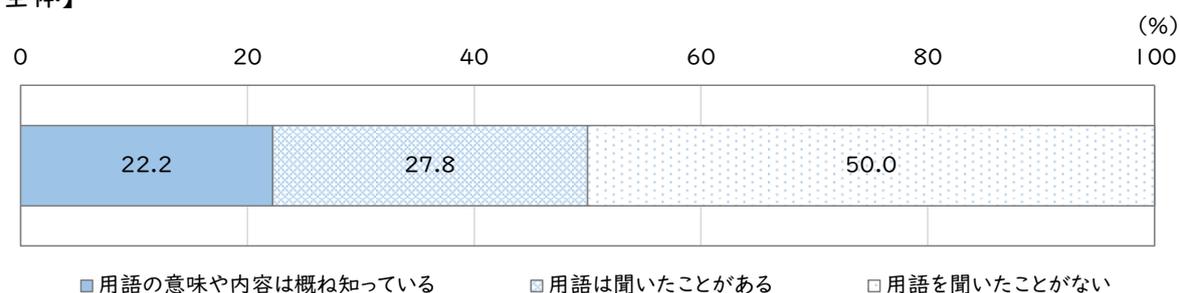
	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	380	31	46	49	97	86	71
用語の意味や内容は概ね知っている	89.7	93.5	91.3	91.8	91.8	86.0	87.3
用語は聞いたことがある	9.7	6.5	8.7	8.2	8.2	12.8	11.3
用語を聞いたことがない	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.4

(3) ノーマライゼーション

全体 「用語の意味や内容は概ね知っている」が2割前半、「用語は聞いたことがある」が2割後半、「用語を聞いたことがない」が最も多く5割となっています。

年代別 18~29歳では「用語の意味や内容は概ね知っている」が3割半ばであるのに対し、75歳以上では「用語を聞いたことがない」が6割半ばとなっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

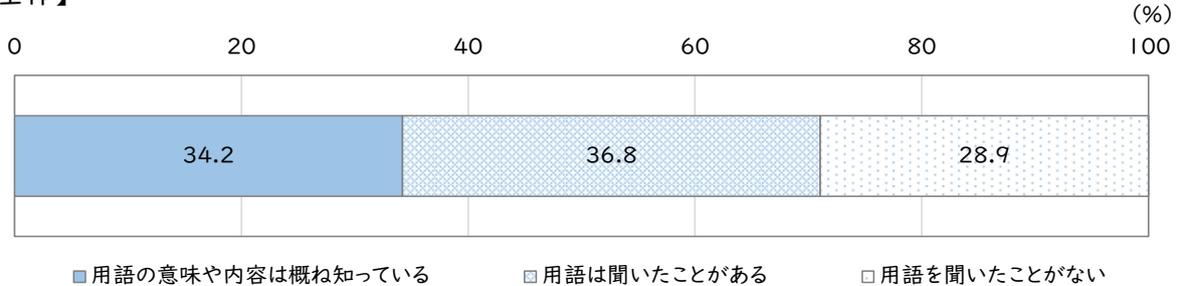
	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	378	31	46	49	97	85	70
用語の意味や内容は概ね知っている	22.2	35.5	28.3	20.4	26.8	17.6	12.9
用語は聞いたことがある	27.8	38.7	23.9	22.4	27.8	32.9	22.9
用語を聞いたことがない	50.0	25.8	47.8	57.1	45.4	49.4	64.3

(4) 地域共生社会

全体 「用語の意味や内容は概ね知っている」と「用語は聞いたことがある」が3割半ば、「用語を聞いたことがない」は2割後半となっています。

年代別 75歳以上では「用語の意味や内容は概ね知っている」が4割半ばであるのに対し、40～49歳では「用語を聞いたことがない」が4割半ばとなっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

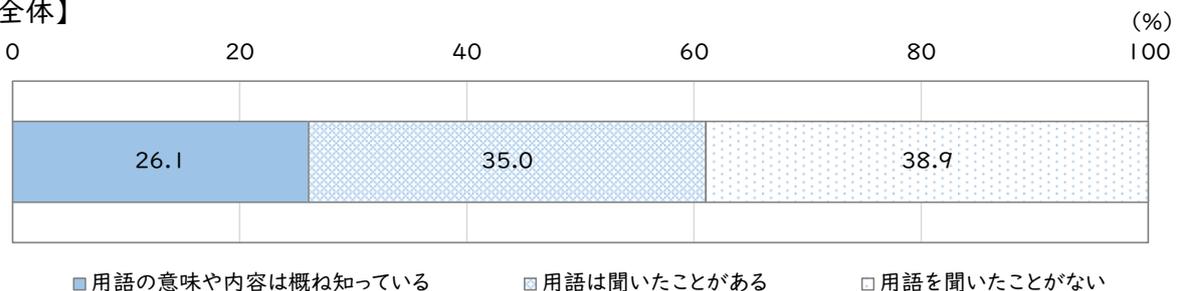
	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
有効回答数(人)	380	31	46	49	97	86	71
用語の意味や内容は概ね知っている	34.2	35.5	26.1	18.4	28.9	43.0	46.5
用語は聞いたことがある	36.8	41.9	41.3	36.7	41.2	34.9	28.2
用語を聞いたことがない	28.9	22.6	32.6	44.9	29.9	22.1	25.4

(5) 障害者差別解消法

全体 「用語の意味や内容は概ね知っている」が2割半ば、「用語は聞いたことがある」が3割半ば、「用語を聞いたことがない」が最も多く3割後半となっています。

年代別 年代が高いほど「用語の意味や内容は概ね知っている」が多くなる傾向が見られ、18～29歳が1割前半であるのに対し、75歳以上では4割半ばとなっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

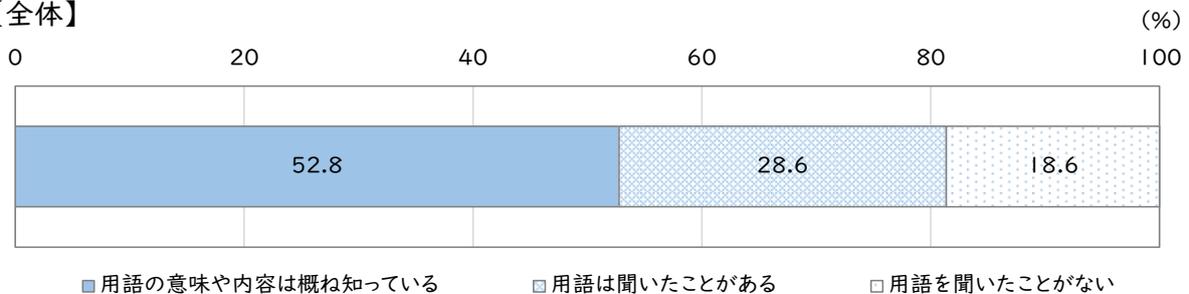
	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
有効回答数(人)	380	31	46	49	97	86	71
用語の意味や内容は概ね知っている	26.1	12.9	17.4	16.3	24.7	25.6	46.5
用語は聞いたことがある	35.0	29.0	37.0	30.6	41.2	30.2	36.6
用語を聞いたことがない	38.9	58.1	45.7	53.1	34.0	44.2	16.9

(6) 成年後見制度

全体 「用語の意味や内容は概ね知っている」が最も多く5割前半で、「用語は聞いたことがある」が2割後半、「用語を聞いたことがない」が1割後半となっています。

年代別 年代が高いほど「用語の意味や内容は概ね知っている」が多くなる傾向が見られ、18～29歳が3割前半であるのに対し、65歳～74歳と75歳以上では6割前半となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

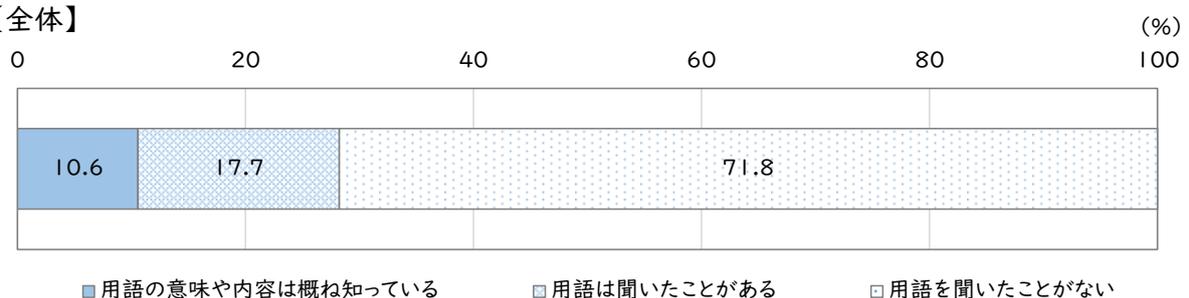
	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
有効回答数(人)	381	31	46	49	97	87	71
用語の意味や内容は概ね知っている	52.8	32.3	37.0	44.9	53.6	63.2	63.4
用語は聞いたことがある	28.6	16.1	41.3	28.6	37.1	21.8	22.5
用語を聞いたことがない	18.6	51.6	21.7	26.5	9.3	14.9	14.1

(7) インクルーシブ教育

全体 「用語の意味や内容は概ね知っている」が1割前半、「用語は聞いたことがある」が1割後半、「用語を聞いたことがない」が最も多く7割前半となっています。

年代別 18～29歳は「用語は聞いたことがある」が2割後半、30～39歳は「用語の意味や内容は概ね知っている」が2割前半となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

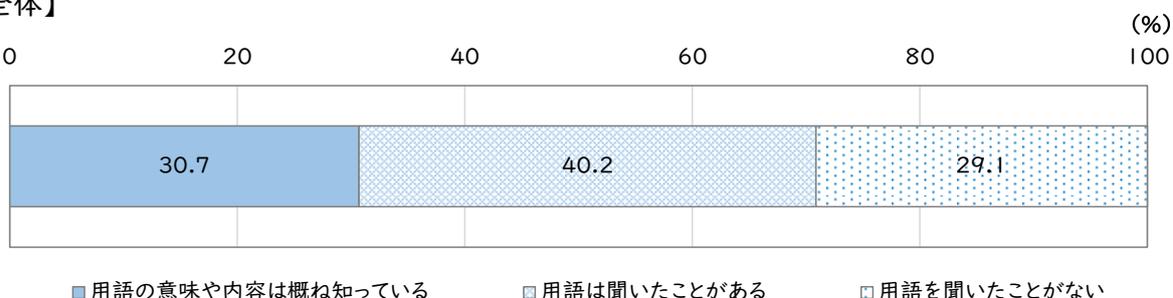
	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
有効回答数(人)	379	31	46	49	97	86	70
用語の意味や内容は概ね知っている	10.6	9.7	21.7	12.2	12.4	5.8	5.7
用語は聞いたことがある	17.7	29.0	15.2	10.2	21.6	17.4	14.3
用語を聞いたことがない	71.8	61.3	63.0	77.6	66.0	76.7	80.0

(8) 医療的ケア(医ケア)

全体 「用語の意味や内容は概ね知っている」が3割前半, 「用語は聞いたことがある」が最も多く4割前半, 「用語を聞いたことがない」が2割後半となっています。

年代別 75歳以上は「用語の意味や内容は概ね知っている」が4割前半となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

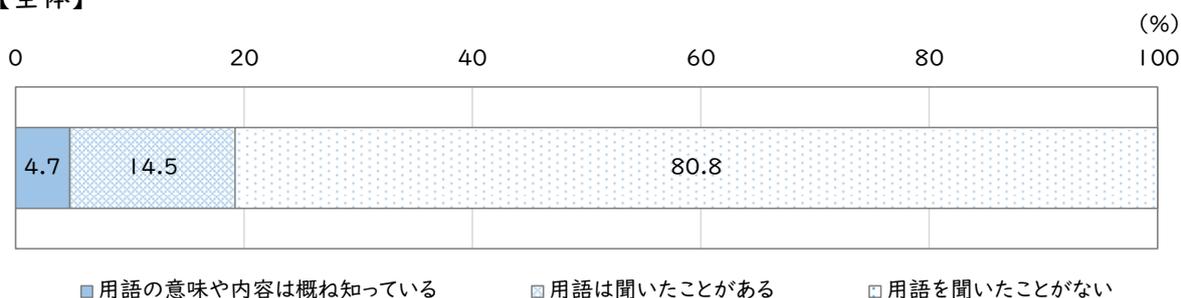
	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	381	31	46	49	97	87	71
用語の意味や内容は概ね知っている	30.7	22.6	37.0	22.4	27.8	29.9	40.8
用語は聞いたことがある	40.2	41.9	28.3	40.8	40.2	44.8	40.8
用語を聞いたことがない	29.1	35.5	34.8	36.7	32.0	25.3	18.3

(9) ノーマライゼーションかしわプラン

全体 「用語の意味や内容は概ね知っている」が1割未満, 「用語は聞いたことがある」が1割半ば, 「用語を聞いたことがない」が最も多く8割前半となっています。

年代別 40~49歳は「用語を聞いたことがない」が9割前半となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

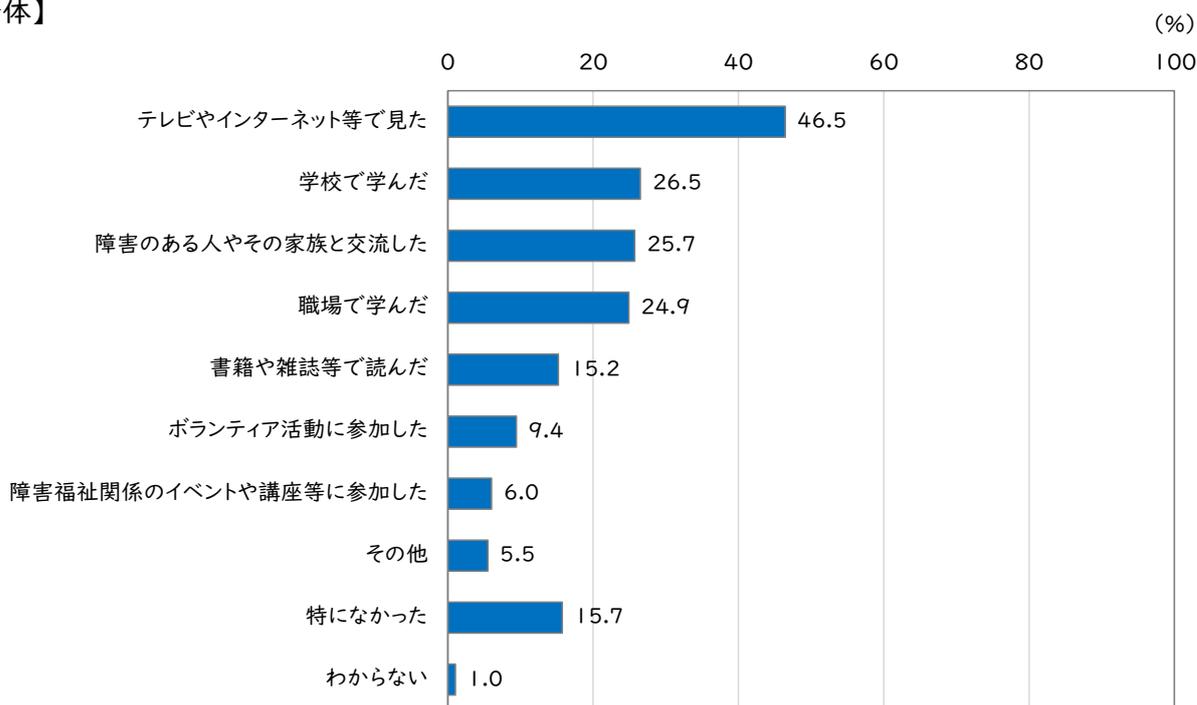
	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	380	31	46	49	97	86	71
用語の意味や内容は概ね知っている	4.7	3.2	4.3	4.1	5.2	4.7	5.6
用語は聞いたことがある	14.5	6.5	13.0	4.1	16.5	15.1	22.5
用語を聞いたことがない	80.8	90.3	82.6	91.8	78.4	80.2	71.8

問4. あなたは障害福祉や障害のある人についてどこかで知る・学ぶ機会がありましたか
(〇はいくつでも)。

全体 「テレビやインターネット等で見た」が最も多く4割半ば、続いて「学校で学んだ」、「障害のある人やその家族と交流した」、「職場で学んだ」が2割半ばとなっています。

年代別 50～64歳では「テレビやインターネット等で見た」が5割半ばとなっています。「学校で学んだ」は、18～29歳が6割後半、30～39歳が7割前半であるのに対し、65歳～74歳と75歳以上では1割未満となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

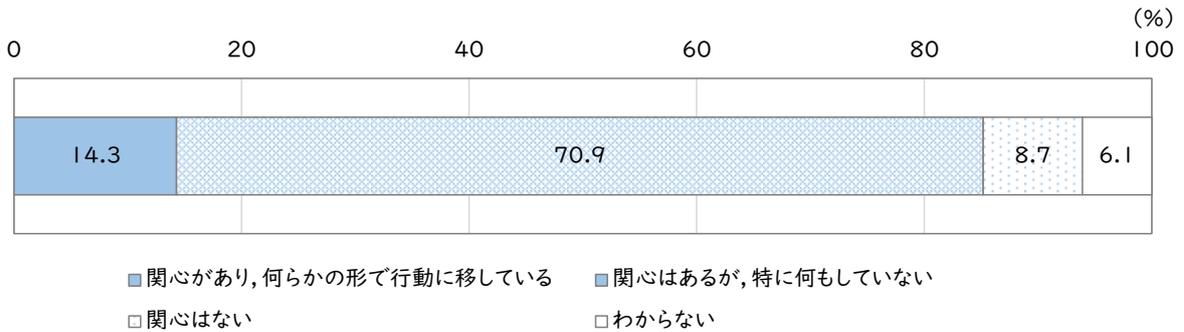
	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
有効回答数(人)	381	31	46	49	97	87	71
テレビやインターネット等で見た	46.5	48.4	39.1	46.9	56.7	35.6	49.3
学校で学んだ	26.5	67.7	73.9	32.7	22.7	8.0	1.4
障害のある人やその家族と交流した	25.7	19.4	19.6	32.7	29.9	24.1	23.9
職場で学んだ	24.9	3.2	45.7	18.4	28.9	27.6	16.9
書籍や雑誌等で読んだ	15.2	6.5	13.0	14.3	16.5	17.2	16.9
ボランティア活動に参加した	9.4	0.0	8.7	14.3	8.2	9.2	12.7
障害福祉関係のイベントや講座等に参加した	6.0	3.2	13.0	6.1	5.2	3.4	7.0
その他	5.5	3.2	10.9	6.1	3.1	5.7	5.6
特になかった	15.7	3.2	4.3	14.3	15.5	26.4	16.9
わからない	1.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	4.2

問5. あなたは障害福祉や障害のある人に関心がありますか(○はひとつ)。

全体 「関心があり,何らかの形で行動に移している」が1割半ば,「関心はあるが,特に何もしていない」が最も多く7割前半,「関心はない」と「わからない」が1割未満となっています。

年代別 18~29歳では「関心はない」が1割後半となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	378	31	46	49	95	86	71
関心があり,何らかの形で行動に移している	14.3	16.1	17.4	14.3	10.5	16.3	14.1
関心はあるが,特に何もしていない	70.9	64.5	63.0	67.3	74.7	70.9	76.1
関心はない	8.7	19.4	15.2	10.2	10.5	4.7	1.4
わからない	6.1	0.0	4.3	8.2	4.2	8.1	8.5

問6. あなたが障害福祉や障害のある人に関心を持ったきっかけは何ですか

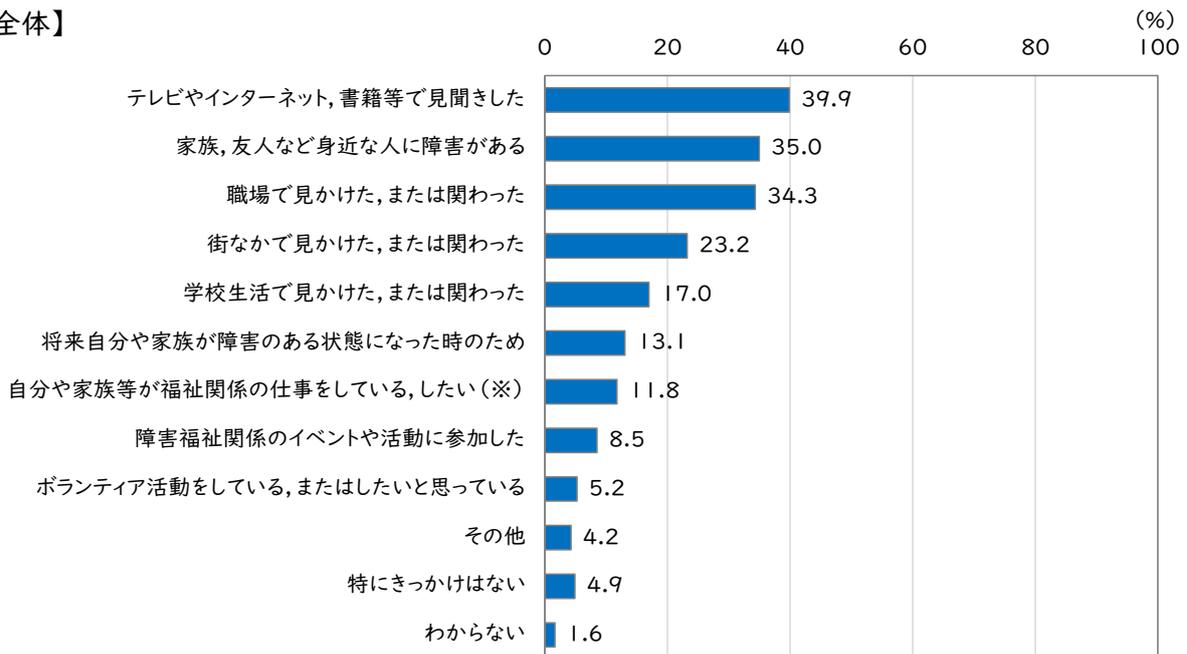
(〇はいくつでも)。

(問5で「1. 関心があり, 何らかの形で行動に移している」「2. 関心はあるが, 特に何もしていない」と答えた方にお伺いします。)

全体 「テレビやインターネット, 書籍等で見聞きした」が最も多く3割後半, 続いて「家族, 友人など身近な人に障害がある」と「職場で見かけた, または関わった」が3割半ばとなっています。

年代別 30~39歳では「学校生活で見かけた, または関わった」が3割半ば, 50~64歳では「職場で見かけた, または関わった」が4割後半となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	306	23	37	37	79	69	61
テレビやインターネット, 書籍等で見聞きした	39.9	60.9	37.8	35.1	41.8	39.1	34.4
家族, 友人など身近な人に障害がある	35.0	30.4	27.0	40.5	35.4	31.9	41.0
職場で見かけた, または関わった	34.3	26.1	45.9	35.1	49.4	29.0	16.4
街なかで見かけた, または関わった	23.2	26.1	13.5	16.2	22.8	31.9	23.0
学校生活で見かけた, または関わった	17.0	47.8	35.1	24.3	15.2	7.2	3.3
将来自分や家族が障害のある状態になった時のため	13.1	4.3	16.2	21.6	8.9	8.7	19.7
自分や家族等が福祉関係の仕事をしている, したい(※)	11.8	8.7	21.6	13.5	13.9	7.2	8.2
障害福祉関係のイベントや活動に参加した	8.5	0.0	8.1	5.4	5.1	15.9	9.8
ボランティア活動をしている, またはしたいと思っている	5.2	4.3	2.7	5.4	5.1	4.3	8.2
その他	4.2	0.0	8.1	2.7	5.1	4.3	3.3
特にきっかけはない	4.9	0.0	2.7	2.7	3.8	5.8	9.8
わからない	1.6	0.0	0.0	5.4	0.0	2.9	1.6

(※) 自分や家族, 友人等が福祉関係の仕事をしている, またはしたいと思っている

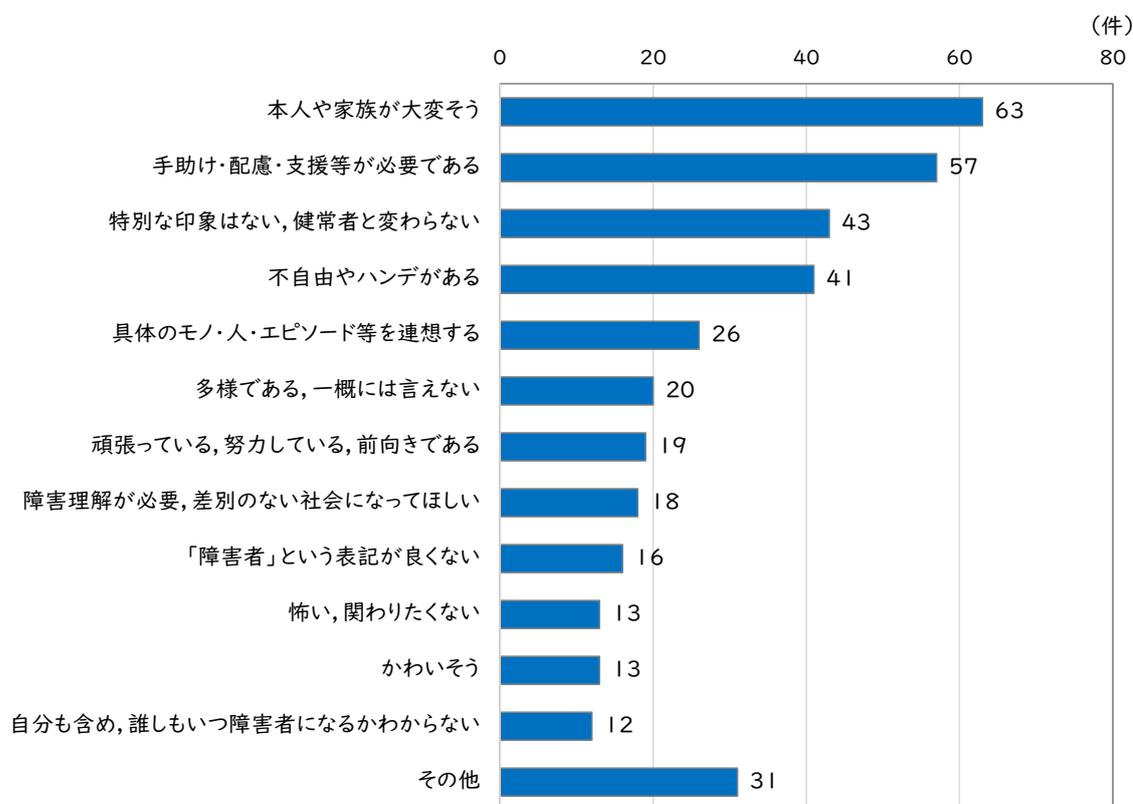
障害のある人に対する意識

問7. あなたは「障害者」と聞いてどんな印象を持っていますか(自由記述)。

自由記述欄に記載いただいた回答を分類し、その中の代表的な意見を抜粋して概要をまとめました。なお、一人の回答につき、複数の意見を含む場合は、それぞれを分類し、件数としてカウントしています。275人から合計372件の意見をいただきました。

全体 記載内容を分類すると、「本人や家族が大変そう」が最も多く63件、続いて「手助け・配慮・支援等が必要である」が57件、「特別な印象はない、健常者と変わらない」が43件、「不自由やハンデがある」が41件となっています。

【全体】



【自由記述の分類別意見例】 ※ 掲載する意見は、できる限り原文のまま掲載しています。

「本人や家族が大変そう」(63件)

障害があることによって、日常生活が大変そう、支える家族も大変そうという印象を持っているといった意見が見られました。

- | |
|-----------------------------|
| • 心身のどこかに不調をきたし、生活に不便がある方。 |
| • 社会の中で生きていくのが大変だと思う。 |
| • 本人や家族が大変そうだな、苦勞しているなど感じる。 |

「手助け・配慮・支援等が必要である」(57件)

手助けや社会的支援の必要な方、配慮すべき方であるといった意見が見られました。

- | |
|-------------------------------------|
| • 社会生活を営む上で、何かしらの制度や人の手助けが必要な人。 |
| • 社会全体でフォローしていかなければならないと思う。 |
| • 身近にそういう人がいたら出来るだけの支援や援助をしたいと考えます。 |

「特別な印象はない、健常者と変わらない」(43件)

障害があっても健常者と変わらない、特別な印象はないといった意見が見られました。

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------|
| • 周りにも何らかの障害を持っている方も多く見かけるため、特別な印象は無く、普通に対応している。 |
| • 不得意なことや出来ないことがあるのは誰にでもあること。障害者という言葉に特別な印象はない。一人の人として見ていきたいし関わっていきたく思っている。 |
| • 色々な種類の病気があるけれど「一個性」だと思っている。 |

「不自由やハンデがある」(41件)

身体的や精神的に不自由がある、ハンディキャップがある方という印象を持っているといった意見が見られました。

- | |
|--------------------------|
| • 身体又は精神の一部に不自由なところがある方。 |
| • 日常生活の中でハンディキャップのある方々。 |
| • 生活する上で何らかの不自由を抱えている人。 |

「具体のモノ・人・エピソード等を連想する」(26件)

具体的なモノ、人、エピソード等を連想した意見が見られました。

- | |
|-----------------------------|
| • 手帳, 車いす, パラリンピック |
| • 身体障害より知的障害を持った方を先に思い浮かべる。 |

「多様である、一概には言えない」(20件)

障害にもさまざまな種類があるので一括りにはできない、障害の程度は一人一人異なるといった意見が見られました。

- | |
|----------------------------------------------|
| • 障害者と一口で言っても、精神的、あるいは知的障害者と身体障害者ではかなり違うと思う。 |
| • 障害といってもさまざまなので、どのような、どの程度の障害で何が苦手なのか気にしてる。 |

「頑張っている, 努力している, 前向きである」(19件)

一生懸命頑張っている, 努力しているという印象を持っているといった意見が見られました。

- | |
|-----------------------------|
| • 健常者よりたくさん努力をしている。 |
| • 明るく前向きに生きていこうとするパワーがある印象。 |

「障害理解が必要, 差別のない社会になってほしい」(18件)

障害者をより理解する必要がある, 差別のない社会であってほしいといった意見が見られました。

- | |
|----------------------------------------------------|
| • 障害者の方の気持ちを察して行動し, 皆みんなでサポートできたらと思います。 |
| • もっと理解できる場を多く作っていただき, 差別のない社会, 世の中になってほしいと思っています。 |

「「障害者」という表記が良くない」(16件)

「障害者」という呼び方は良くない, 印象が良くないといった意見が見られました。

- | |
|-------------------------------------------------------|
| • 差別的な用語としての印象がある。より親しみやすい言い方が望ましい。 |
| • マイノリティなだけで, 決して「害」ではないと思うので, 漢字の「害」を使われるのは違和感を感じます。 |

「怖い, 関わりたくない」(13件)

怖く感じてしまうことがある, 関わりたくないという印象を持っているという意見が見られました。

- | |
|--------------------------------------------|
| • 少し近寄りにくい。 |
| • 電車などの公共交通機関で, 大声を出していたりすると, 少し怖いと思ってしまう。 |

「かわいそう」(13件)

かわいそうであるという印象を持っているという意見が見られました。

- | |
|------------------------------------------|
| • 自分のあずかり知らぬところで生まれ成長していくことに本当に辛いことだと思う。 |
| • 本人又家族に気の毒だと思う。 |

「自分も含め, 誰もいつ障害者になるかわからない」(12件)

誰でも障害者になる可能性がある, 他人事ではないといった意見が見られました。

- | |
|---------------------------------------------------------------|
| • 将来いつ自分が障害者になるかわからないので障害者を優しく見守りたいです。 |
| • 自分自身が高齢化により, その様な状況になることも考えられるので, 他人事と考えないようにと自分を戒めるようにしたい。 |

「その他の意見」(31件)

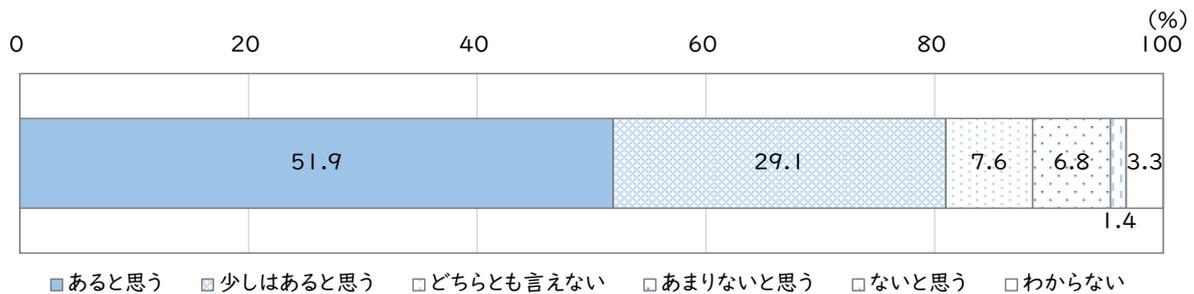
上記分類には該当しない意見として, 「対応がわからない・難しい」(8件), 「恵まれている・優遇されている」(5件), 「当人は障害がある状況を普通だと思っている」(4件), 「健常者とは違う」(3件)が寄せられました。(その他分類できなかった意見が11件ありました。)

問8. 障害のある人に対する偏見や差別は社会全体としてあると思いますか（○はひとつ）。

全体 「あると思う」が最も多く5割前半, 続いて「少しはあると思う」が2割後半となっており, これらを合わせると8割前半となっています。

年代別 18~29歳では「あると思う」が6割後半, 50~64歳は6割前半であるのに対し, 75歳以上は2割後半となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	368	31	46	48	94	82	67
あると思う	51.9	67.7	56.5	54.2	63.8	47.6	28.4
少しはあると思う	29.1	22.6	32.6	33.3	24.5	29.3	32.8
どちらとも言えない	7.6	0.0	10.9	4.2	7.4	4.9	14.9
あまりないと思う	6.8	3.2	0.0	4.2	4.3	7.3	17.9
ないと思う	1.4	3.2	0.0	0.0	0.0	3.7	1.5
わからない	3.3	3.2	0.0	4.2	0.0	7.3	4.5

問9. どんな場所や場面で障害のある人に対する偏見や差別があると思いますか

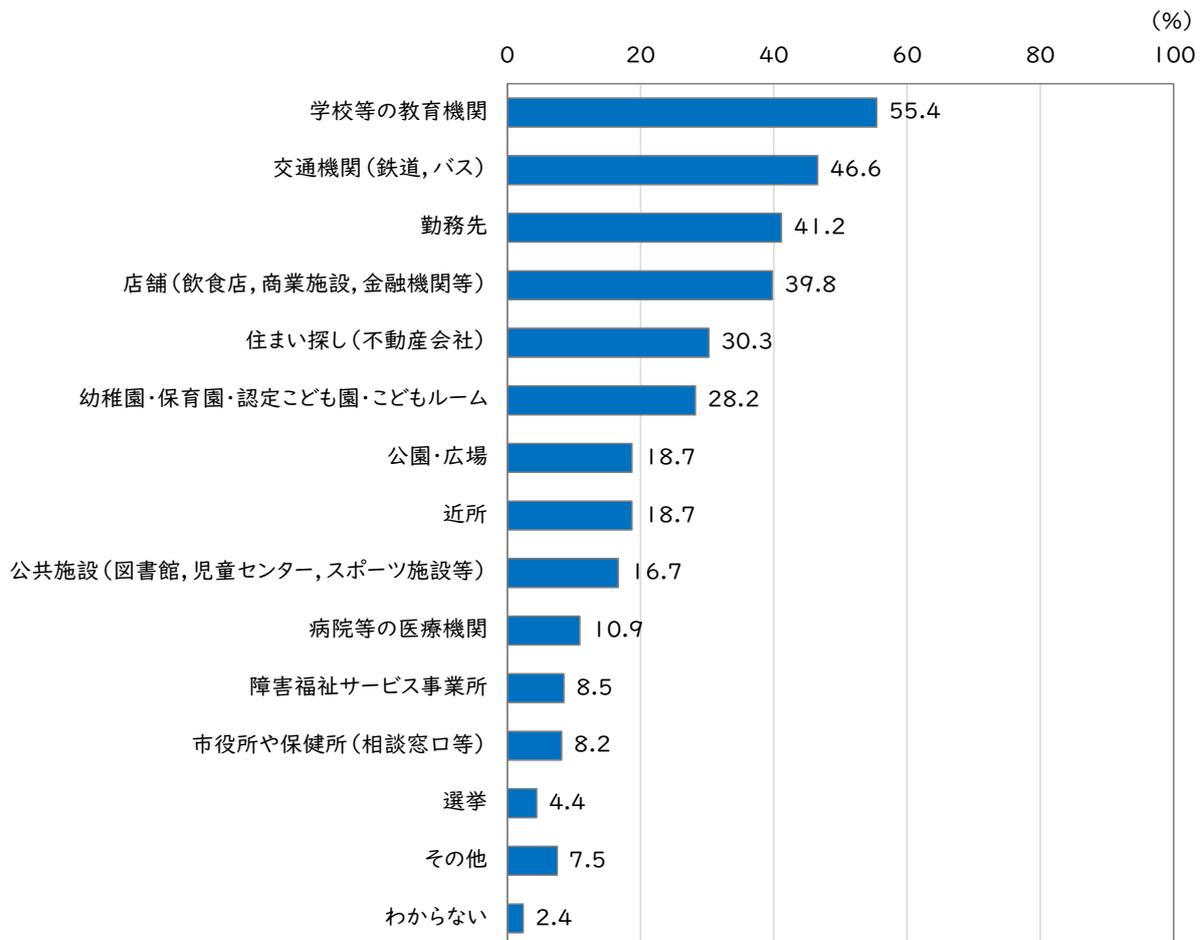
(〇はいくつでも)。

(問8で「1. あると思う」「2. 少しはあると思う」と答えた方にお伺いします。)

全体 「学校等の教育機関」が最も多く5割半ば, 続いて「交通機関(鉄道, バス)」が4割半ば, 「勤務先」と「店舗(飲食店, 商業施設, 金融機関等)」が4割程度となっています。

年代別 30~39歳では「勤務先」が6割前半, 40~49歳では「学校等の教育機関」が6割後半となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

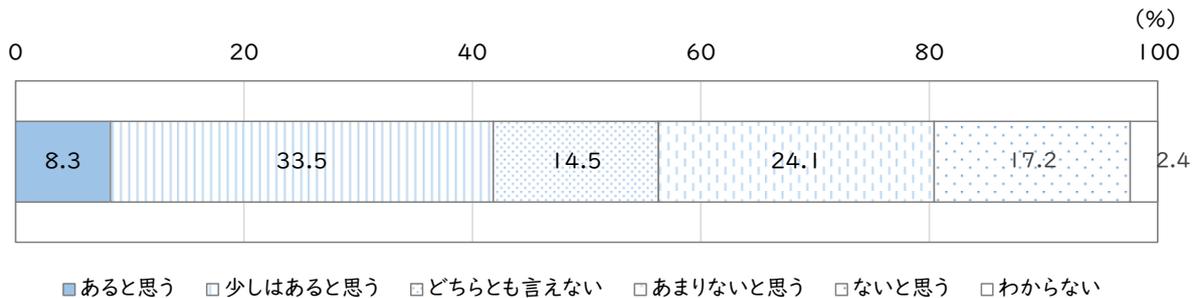
	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	294	28	41	42	81	61	41
学校等の教育機関	55.4	57.1	58.5	69.0	61.7	52.5	29.3
交通機関(鉄道,バス)	46.6	42.9	53.7	42.9	50.6	42.6	43.9
勤務先	41.2	42.9	61.0	45.2	37.0	37.7	29.3
店舗(飲食店,商業施設,金融機関等)	39.8	39.3	48.8	42.9	37.0	42.6	29.3
住まい探し(不動産会社)	30.3	14.3	39.0	35.7	35.8	23.0	26.8
幼稚園・保育園・認定こども園・こどもルーム	28.2	21.4	39.0	35.7	27.2	24.6	22.0
公園・広場	18.7	14.3	29.3	26.2	14.8	19.7	9.8
近所	18.7	14.3	22.0	21.4	16.0	18.0	22.0
公共施設(図書館,児童センター,スポーツ施設等)	16.7	21.4	26.8	21.4	13.6	16.4	4.9
病院等の医療機関	10.9	14.3	12.2	14.3	9.9	8.2	9.8
障害福祉サービス事業所	8.5	3.6	14.6	14.3	4.9	1.6	17.1
市役所や保健所(相談窓口等)	8.2	3.6	14.6	9.5	6.2	6.6	9.8
選挙	4.4	3.6	4.9	2.4	2.5	4.9	9.8
その他	7.5	7.1	4.9	7.1	4.9	8.2	14.6
わからない	2.4	3.6	2.4	0.0	2.5	3.3	2.4

問10. 障害のある人に対する偏見や差別をあなた自身を持っていると思いますか
(○はひとつ)。

全体 「あると思う」と「少しはあると思う」を合わせると4割前半となっています。一方、「あまりないと思う」と「ないと思う」を合わせた割合も4割前半となっています。

年代別 75歳以上では「ないと思う」が2割後半となっています。

【全体】



■あると思う □少しはあると思う □どちらとも言えない □あまりないと思う □ないと思う □わからない

【年代別】

(単位:%)

	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	373	31	46	49	94	84	69
あると思う	8.3	9.7	8.7	12.2	6.4	11.9	2.9
少しはあると思う	33.5	38.7	30.4	26.5	40.4	31.0	31.9
どちらとも言えない	14.5	19.4	26.1	16.3	14.9	8.3	10.1
あまりないと思う	24.1	16.1	21.7	22.4	19.1	32.1	27.5
ないと思う	17.2	12.9	10.9	14.3	17.0	15.5	27.5
わからない	2.4	3.2	2.2	8.2	2.1	1.2	0.0

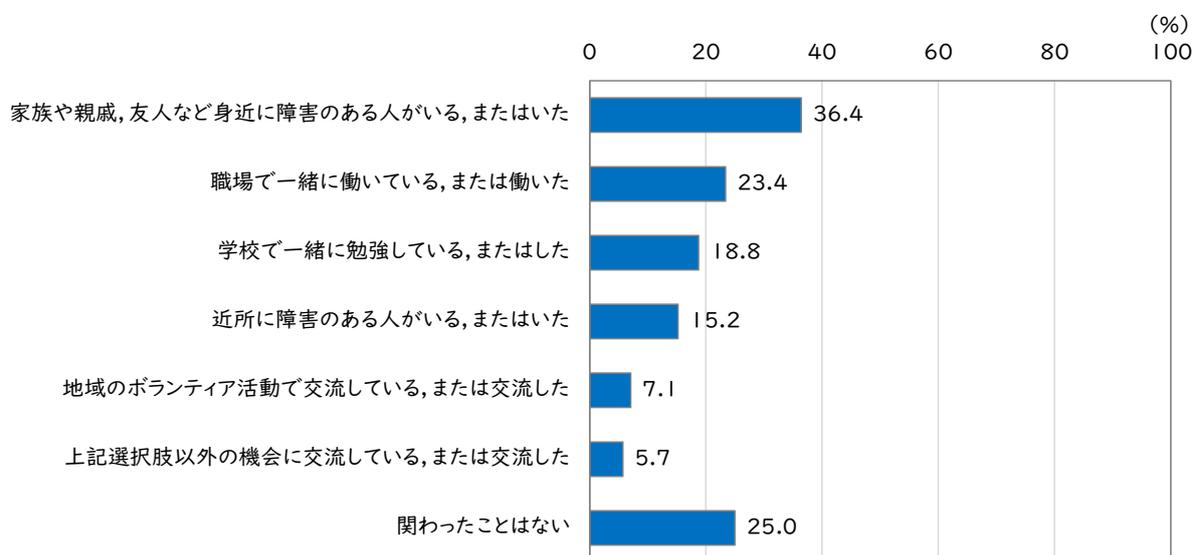
障害のある人との交流

問11. あなたは障害のある人との関わりや交流がありますか、または、ありましたか
(〇はいくつでも)。

全体 「家族や親戚, 友人など身近に障害のある人がいる, またはいた」が最も多く3割半ば, 続いて「職場で一緒に働いている, または働いた」が2割前半となっています。一方, 「関わったことはない」が2割半ばとなっています。

年代別 年代が高いほど「学校で一緒に勉強している, またはした」が少なくなる傾向が見られ, 18~29歳が5割前半であるのに対し, 65歳~74歳と75歳以上では1割未満となっています。

【全体】



【年代別】

(単位: %)

	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	368	30	45	48	92	84	69
家族や親戚, 友人など身近に障害のある人がいる, またはいた	36.4	20.0	33.3	41.7	40.2	34.5	39.1
職場で一緒に働いている, または働いた	23.4	6.7	33.3	25.0	31.5	22.6	13.0
学校で一緒に勉強している, またはした	18.8	53.3	42.2	29.2	15.2	4.8	2.9
近所に障害のある人がいる, またはいた	15.2	13.3	8.9	14.6	9.8	14.3	29.0
地域のボランティア活動で交流している, または交流した	7.1	6.7	4.4	8.3	5.4	9.5	7.2
上記選択肢以外の機会に交流している, または交流した	5.7	3.3	11.1	4.2	7.6	4.8	2.9
関わったことはない	25.0	20.0	15.6	18.8	20.7	32.1	34.8

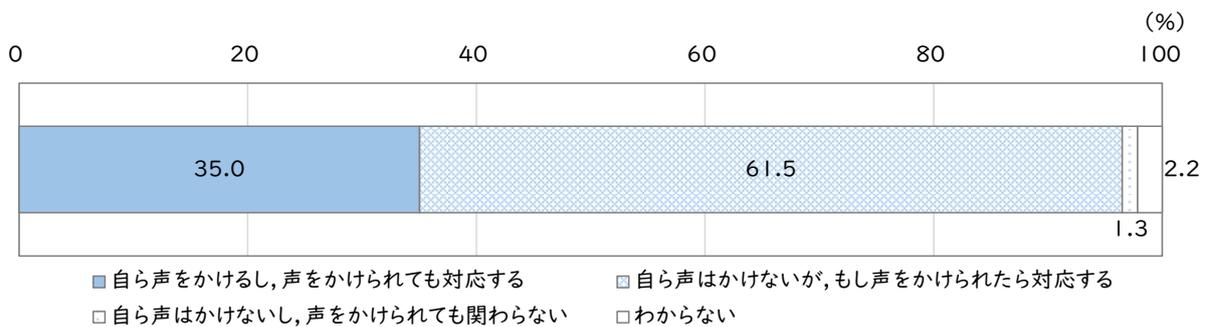
問12. あなたは街なかで困っているように見える障害のある人がいたら、声をかけますか。

また、障害のある人から声をかけられたらどうしますか（○はひとつ）。

全体 「自ら声をかけるし、声をかけられても対応する」が3割半ば、「自ら声はかけないが、もし声をかけられたら対応する」が最も多く6割前半となっています。

年代別 18～29歳では「自ら声はかけないが、もし声をかけられたら対応する」が7割前半となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
有効回答数(人)	371	30	45	48	93	86	69
自ら声をかけるし、声をかけられても対応する	35.0	26.7	33.3	43.8	39.8	37.2	24.6
自ら声はかけないが、もし声をかけられたら対応する	61.5	73.3	62.2	54.2	57.0	58.1	71.0
自ら声はかけないし、声をかけられても関わらない	1.3	0.0	2.2	0.0	2.2	2.3	0.0
わからない	2.2	0.0	2.2	2.1	1.1	2.3	4.3

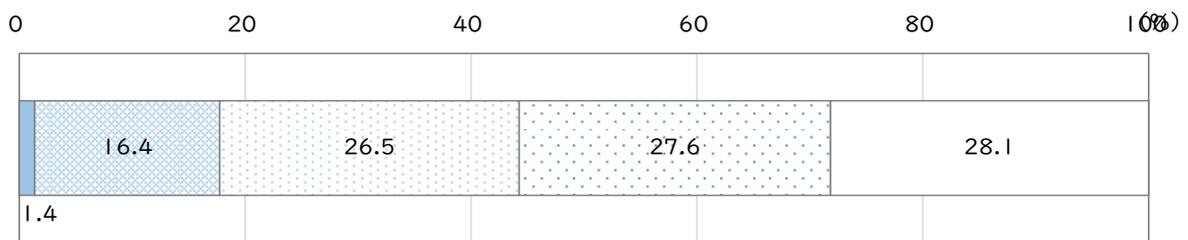
問13. あなたは障害のある人に関するボランティア活動に参加したことがありますか

(○はひとつ)。

全体 「現在、参加している」と「参加したことがある」を合わせると1割後半、「参加したことはないが、したいと思う」が2割半ばとなっています。一方、「参加したいと思わない」と「わからない」が2割後半となっています。

年代別 18～29歳では「参加したいと思わない」が4割前半となっています。

【全体】



■ 現在、参加している ■ 参加したことがある □ 参加したことはないが、したいと思う □ 参加したいと思わない □ わからない

【年代別】

(単位:%)

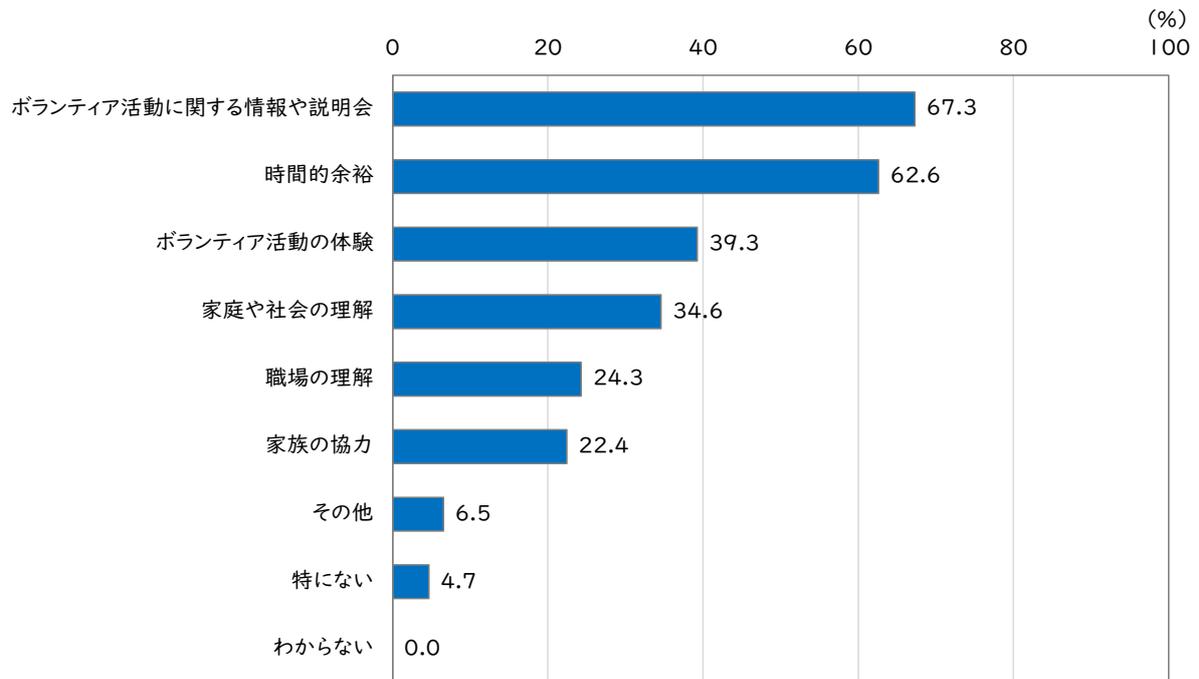
	全体	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
有効回答数(人)	366	30	45	48	94	85	64
現在、参加している	1.4	0.0	2.2	2.1	2.1	1.2	0.0
参加したことがある	16.4	3.3	22.2	16.7	10.6	17.6	25.0
参加したことはないが、したいと思う	26.5	36.7	17.8	25.0	33.0	23.5	23.4
参加したいと思わない	27.6	43.3	28.9	31.3	21.3	32.9	18.8
わからない	28.1	16.7	28.9	25.0	33.0	24.7	32.8

問14. ボランティア活動に参加するためには何が重要だと思いますか（〇はいくつでも）。

（問13で「4. 参加したいとは思わない」「5. わからない」と答えた方以外の方にお伺いします。）

全体 「ボランティア活動に関する情報や説明会」が最も多く6割後半，続いて「時間的余裕」が6割前半，「ボランティア活動の体験」と「家庭や社会の理解」が3割台となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

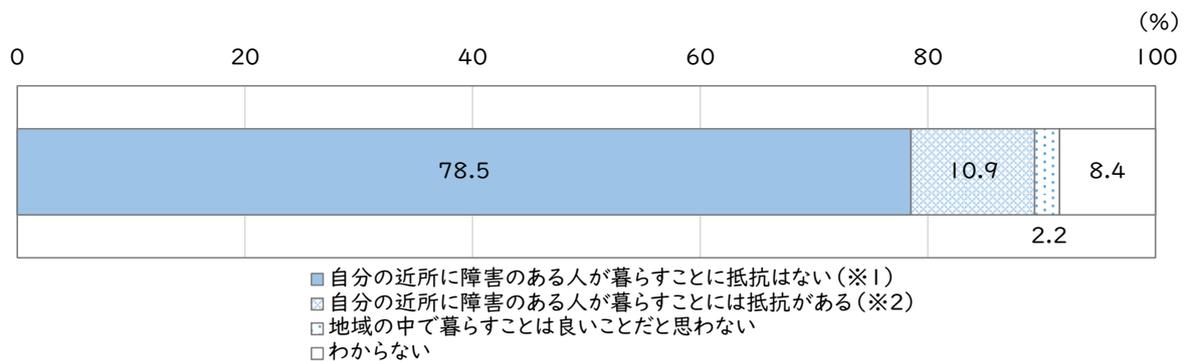
	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	107	9	9	14	28	27	20
ボランティア活動に関する情報や説明会	67.3	88.9	44.4	78.6	71.4	59.3	65.0
時間的余裕	62.6	88.9	88.9	85.7	67.9	55.6	25.0
ボランティア活動の体験	39.3	33.3	44.4	42.9	32.1	51.9	30.0
家庭や社会の理解	34.6	44.4	22.2	35.7	42.9	29.6	30.0
職場の理解	24.3	22.2	33.3	42.9	32.1	14.8	10.0
家族の協力	22.4	11.1	33.3	14.3	25.0	22.2	25.0
その他	6.5	0.0	11.1	7.1	3.6	7.4	10.0
特にない	4.7	0.0	11.1	0.0	10.7	3.7	0.0
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

障害のある人の地域移行

問15. 国は障害のある人もない人も地域の中で暮らせるように方針を打ち出しています。
あなたは障害のある人が施設ではなく、地域の中で暮らすことをどう思いますか。
(最も当てはまるものを一つ選んでください)。

全体 「自分の近所に障害のある人が暮らすことに抵抗はない」が最も多く7割後半となっています。一方、「自分の近所に障害のある人が暮らすことには抵抗がある」が1割前半となっています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	368	31	45	48	93	83	68
自分の近所に障害のある人が暮らすことに抵抗はない(※1)	78.5	77.4	68.9	81.3	76.3	78.3	86.8
自分の近所に障害のある人が暮らすことには抵抗がある(※2)	10.9	19.4	20.0	10.4	10.8	10.8	1.5
地域の中で暮らすことは良いことだと思わない	2.2	0.0	0.0	2.1	2.2	2.4	4.4
わからない	8.4	3.2	11.1	6.3	10.8	8.4	7.4

(※1) 地域の中で暮らすことは良いと思うし、自分の近所に障害のある人が暮らすことに抵抗はない

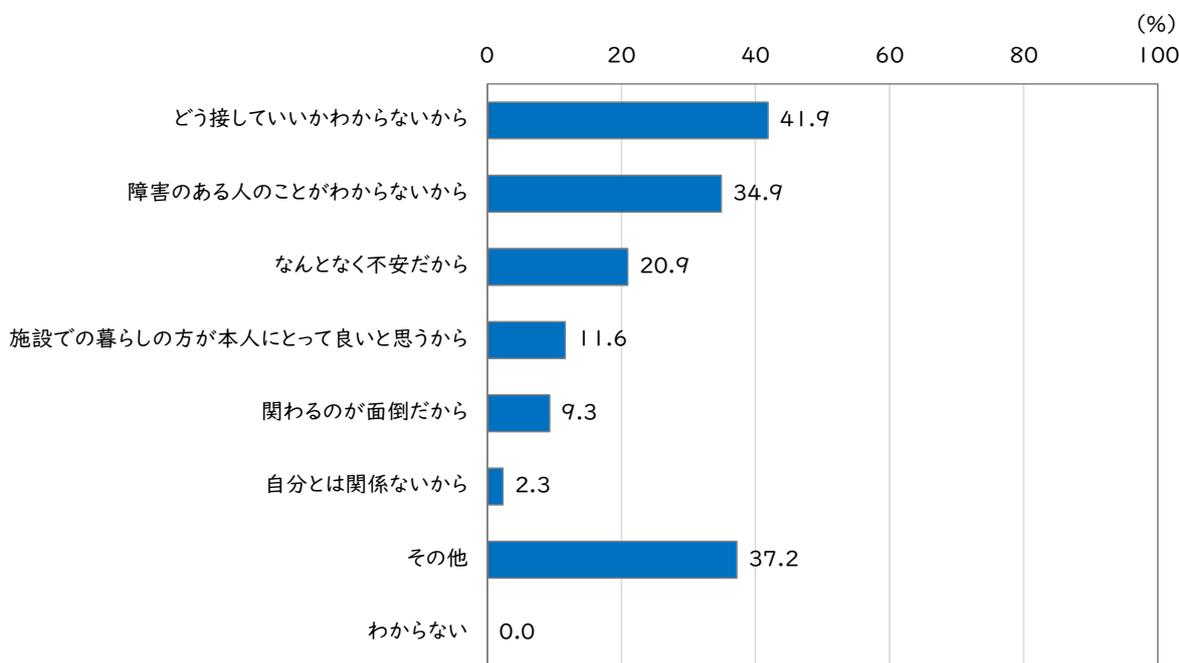
(※2) 地域の中で暮らすことは良いと思うが、自分の近所に障害のある人が暮らすことには抵抗がある

問16. あなたが障害のある人が自分の近所に暮らすことに抵抗がある、または地域の中で暮らすことは良いことだと思わない理由は何ですか（○は2つまで）。

（問15で「2. 地域の中で暮らすことは良いと思うが、自分の近所に障害のある人が暮らすことには抵抗がある」「3. 地域の中で暮らすことは良いことだと思わない」と答えた方にお伺いします。）

全 体 「どう接していいかわからないから」が最も多く4割前半、続いて「障害のある人のことがわからないから」が3割半ばとなっています。また、「その他」が3割後半となっており、「障害のある人が地域で暮らすための支援体制が十分ではない」等の意見が挙げられています。

【全体】



【年代別】

(単位:%)

	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	43	5	8	6	10	11	3
どう接していいかわからないから	41.9	60.0	25.0	50.0	40.0	45.5	33.3
障害のある人のことがわからないから	34.9	40.0	37.5	33.3	10.0	54.5	33.3
なんとなく不安だから	20.9	20.0	25.0	66.7	10.0	9.1	0.0
施設での暮らしの方が本人にとって良いと思うから	11.6	0.0	0.0	0.0	10.0	27.3	33.3
関わるのが面倒だから	9.3	20.0	12.5	0.0	10.0	9.1	0.0
自分とは関係ないから	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
その他	37.2	40.0	50.0	33.3	50.0	18.2	33.3
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

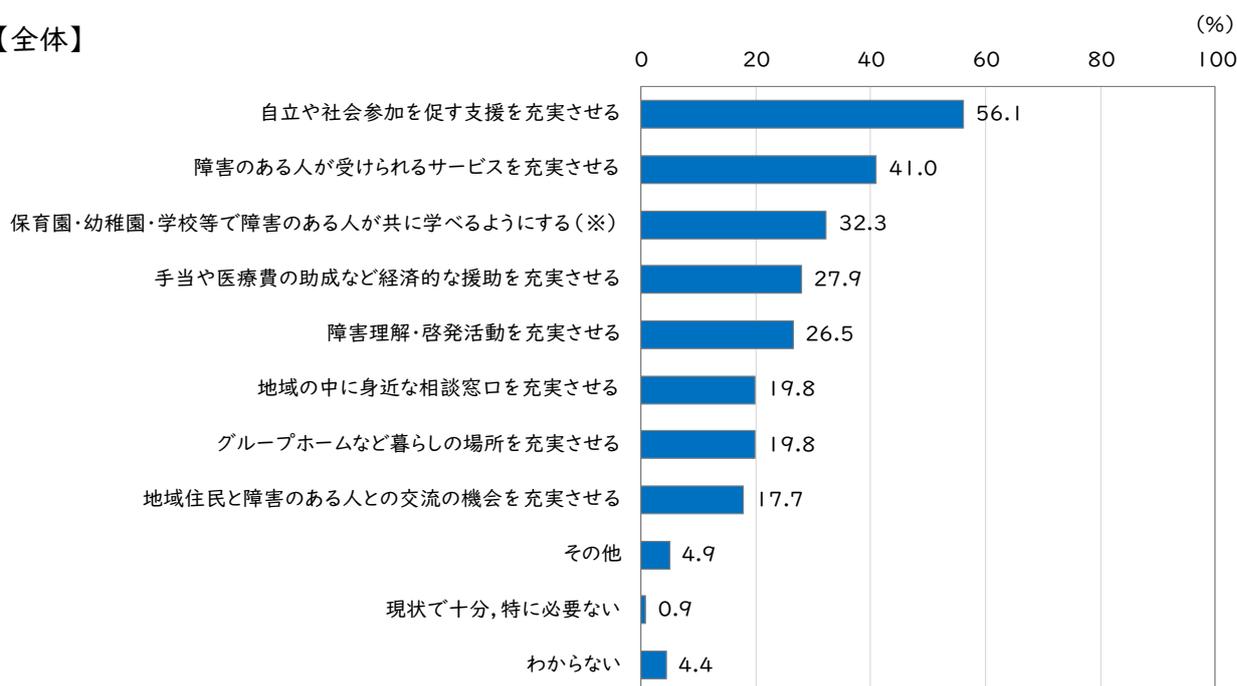
全体を通して

問17. 市では国の方針を受け、障害のある人も地域で自分らしく暮らすことができる社会づくりに取り組んでいます。あなたは市が障害福祉について、今後力を入れるべきことは何だと思いますか(○は3つまで)。

全体 「自立や社会参加を促す支援を充実させる」が最も多く5割半ば、続いて「障害のある人が受けられるサービスを充実させる」が4割前半となっています。

年代別 75歳以上では「手当や医療費の助成など経済的な援助を充実させる」が4割半ばとなっています。

【全体】



【年代別】

(単位: %)

	全体	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~64歳	65~74歳	75歳以上
有効回答数(人)	344	28	41	45	85	80	65
自立や社会参加を促す支援を充実させる	56.1	46.4	56.1	51.1	61.2	61.3	50.8
障害のある人が受けられるサービスを充実させる	41.0	39.3	48.8	37.8	41.2	36.3	44.6
保育園・幼稚園・学校等で障害のある人が共に学べるようにする(※)	32.3	17.9	36.6	24.4	35.3	40.0	27.7
手当や医療費の助成など経済的な援助を充実させる	27.9	21.4	19.5	24.4	25.9	25.0	44.6
障害理解・啓発活動を充実させる	26.5	39.3	14.6	35.6	30.6	25.0	18.5
地域の中に身近な相談窓口を充実させる	19.8	21.4	19.5	22.2	17.6	18.8	21.5
グループホームなど暮らしの場所を充実させる	19.8	28.6	31.7	28.9	12.9	16.3	15.4
地域住民と障害のある人との交流の機会を充実させる	17.7	10.7	9.8	26.7	15.3	18.8	21.5
その他	4.9	3.6	14.6	4.4	2.4	3.8	4.6
現状で十分, 特に必要ない	0.9	0.0	2.4	0.0	0.0	1.3	1.5
わからない	4.4	3.6	2.4	2.2	5.9	5.0	4.6

(※) 保育園・幼稚園・学校等で、障害のある人が共に同じ場所で学べるよう、支援や環境整備を充実させる

Ⅲ. 障害福祉関係団体ヒアリング

1. 対象団体

以下の9団体を対象に調査を実施しました。

団体名	略称	関連する障害種別
柏市視覚障害者協会	視覚	視覚障害
柏市聴覚障害者協会	柏聴協	聴覚障害
千葉県中途失聴者・難聴者協会柏地区会	中難協	聴覚障害
柏市肢体不自由児(者)を育てる会	育てる会	肢体不自由
柏市手をつなぐ育成会	育成会	知的障害
柏市自閉症協会	自閉症	発達障害
精神障害者家族会よつば会	よつば	精神障害
東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」	高次脳	高次脳機能障害
パーキンソン病友の会	友の会	難病

2. ヒアリングの内容

以下の9つの分野に関し、現状を5段階で評価してもらい[※]、各団体が認識する課題や優先的な取組が必要な分野について意見を聴取しました。また、4つの分野(*)においては、各団体の取組を確認しました。

※ 「とてもそう思う」「ややそう思う」「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の5つの尺度から選択

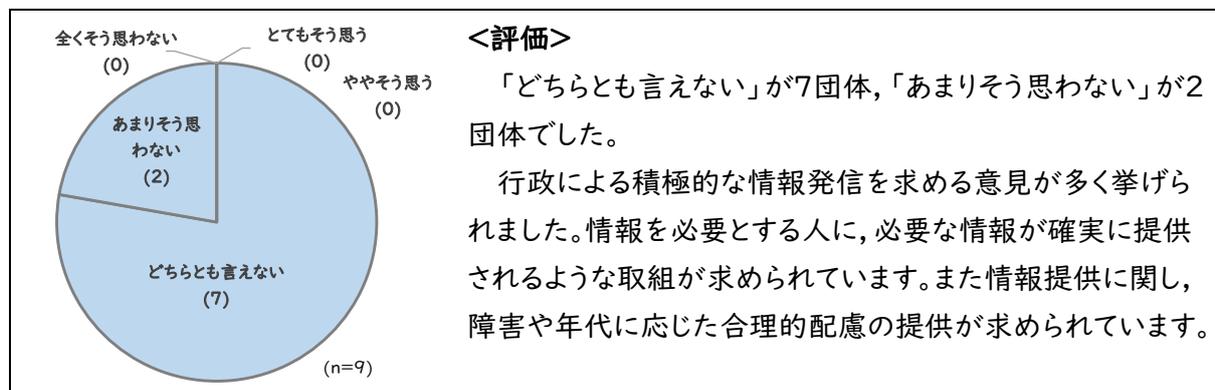
分野	評価内容	取組
情報アクセシビリティ	障害福祉に関する情報は入手しやすいか	*
障害理解・差別解消	障害理解は進んでいると思うか	*
相談体制	相談先を探しやすいと思うか	—
暮らしを支えるサービス	サービスを利用しやすいと思うか	—
健康・医療	医療を受けやすい(通院等がしやすい)と思うか	—
安全・安心な生活環境	安全・安心な生活環境の整備がなされていると思うか	*
子ども	18歳未満の子どもとその家族は適切な支援につながっていると思うか	—
就労	就労支援体制は充実していると思うか	—
社会参加・余暇活動	社会参加しやすい環境は整っていると思うか	*

3. ヒアリングの結果

情報アクセシビリティ

1) 団体から寄せられた意見

評価内容：障害福祉に関する情報は入手しやすいか



<障害者全般に共通する意見>

- 市の広報で、障害理解を進めるような内容を取り上げ、市民に広く伝えてほしい。
- スマートフォンやパソコンを使える人もいるが、全ての人がそれらを使って情報入手できるわけではない。高齢の障害者も多いため、インターネットを活用しない人に配慮し、紙媒体での情報提供も必要である。情報を伝える手段はたくさんあると良い。
- 障害の状況により精神的に落ち込む人もいるため、相談につながるための情報提供が必要と感じている。市などのホームページを通じて団体につながる人もいるが人数は少ない。相談支援専門員や事業所職員等により団体に関する情報を提供してもらえると良い。
- 制度が変わった時などわからない場合が多い。行政による積極的な情報発信をお願いしたい。市から定期的に届く通知文書に、新しい情報を掲載してほしい。
- さまざまな情報を得ることができるのは「広報かしわ」だと思う。若年層含め広く情報提供を行う方法として、「広報かしわ」を中心に据えるのが良いのではないかと。
- 他市では、さまざまな障害を対象とした障害者向けのウェブサイトがあり、いろいろな情報を検索できると聞いた。そのようなウェブサイトがあると良い。

<障害特性ごとの意見>

- Zoomを使い始めたが、音だけを頼りに操作することは難しい。(視覚)
- 文章が読み込めない人もいるため、直接会って、内容を手話で伝える方法が望ましい。(柏聴協)
- 聴覚障害のある人に対しては文字や見えるものによる確実な情報提供が必要である。情報提供及び意思疎通支援の充実を求める。(中難協)
- 知的障害のある人向けの生活に関するわかりやすい情報が通所施設にあると良い。(育成会)

2) 団体の取組

多くの団体が、さまざまな媒体を活用して情報を入手し、会員に対し会報やメール等を通じた情報提供を実施しています。コロナ禍における情報提供の難しさ、多様な情報提供媒体の活用に関する課題について意見が挙げられました。

<団体の活動例>

- 関連障害者団体や上部団体等の会合、柏市自立支援協議会等の市の会議への参加を通じ、情報を入手している。(育成会、よつばなど)
- 「広報かしわ」等の行政発行文書より情報を入手している。(育てる会、よつばなど)
- 会報等の団体発行文書により情報を提供している。(育成会、高次脳など)
- LINE、ブログ、ホームページ等により情報発信している。(育てる会、自閉症など)
- わかりやすい会議資料の作成や、意思疎通が苦手な会員に運営会役員がそばに付き添うなど、会員一人一人の状況に応じた配慮をしている。(高次脳)

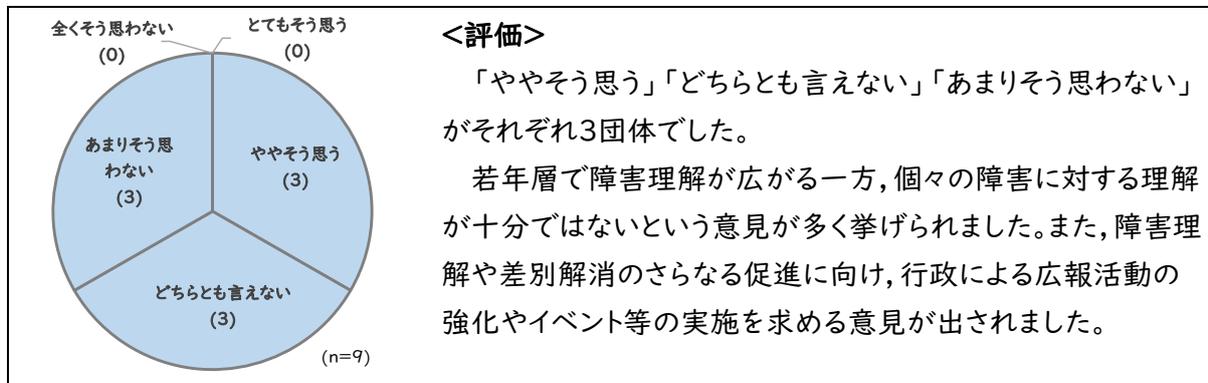
<団体の活動における課題>

- 柏市、千葉県、各省庁ホームページなどは探したい情報がなかなか見つけられないことがある。また、専門用語や制度など、見つけた情報を理解することが難しい場合もある。(育てる会)
- コロナ禍では例会が持たず、対面で会って話すことが難しいため、情報提供の手段に限られる。(柏聴協、高次脳など)
- 紙媒体での情報発信ではすぐに情報を伝えるのが難しく、郵送代や郵送の作業に手間がかかるといった課題がある。(育てる会、高次脳)
- 情報発信の方法は拡大墨字、点字、音訳、メール配信と会員ごとに異なるため、方法によっては情報伝達に労力と時間がかかる。市内ボランティア団体の支援に支えられている。(視覚)
- 会員の年齢層が幅広いため、SNSなど通信ツールでの情報発信は限られた会員になってしまう。いかに会員や会員以外の人々に、福祉の情報を素早く伝えていくのが課題である。(育てる会)
- インターネット使用が難しい高齢の本人や保護者が多く、郵送で送る定期的な福祉情報が唯一の伝達方法だが、新しい用語や制度、仕組みが伝わりにくい。(育成会)
- 障害者団体による情報提供は会員以外の方には伝わりにくいという課題がある。社会福祉協議会など公的な機関が広報することで、一般の人にも伝わりやすいのではないか。(育成会)

障害理解・差別解消

1) 団体から寄せられた意見

評価内容：障害理解は進んでいると思うか



<障害者全般に共通する意見>

- 一般市民に障害理解や差別解消が浸透しているとは言えない。一定の世代以上では昔の障害者のイメージが強いのではないかと。一方、子どもや若い世代では障害理解が進んでいる。
- 障害理解が進まず、見えにくい障害が理解されない。そのため、外出時や職場等で誤解を受けることや、必要な支援を得られないことがある。
- 直接的に差別的なことを言われるようなことはないが、見た目でわかる障害は、じっと見られるなど特別な目で見られることは長年続いている。誰にとってもバリアフリーやノーマライゼーションを身近にしていくことが大切。日々の生活から少しずつ障害理解に対する意識を変えていくことが重要である。
- 市民からの認知度も高い「広報かしわ」などで障害理解に関するページを常設し、障害理解や福祉に関する情報を提供してはどうか。
- 障害福祉に関する興味や理解を高めるため、講演会やボランティア体験会等を柏市として開催してほしい。

<障害特性ごとの意見>

- 補助犬(盲導犬、聴導犬、介助犬)の同行など、公共施設を始め、障害理解、差別解消の啓発が必要である。(視覚)
- 聞こえないということで、コミュニケーションが取れないと思われる状況を変えたい。また、コロナ禍でほとんどの人がマスクを付けているが、ろう者共通の意見として、透明マスクだと口が読み取りやすい。(柏聴協、中難協)
- 聴覚障害者に対する理解を高める環境づくりをお願いしたい。耳マークを見せると書いてくれる人が少し増えて嬉しいが、いまだ「聞こえない」というと変な態度を取る人もいて、誤解もある。また、どの公共施設にも要約筆記の機材を置いてほしい。(中難協)

- 他者との交流が苦手な精神障害者に対する配慮が必要。また会社においても精神障害について周知や啓発が重要である。(よつば)

2) 団体の取組

多くの団体が、イベント開催や出前講座など、障害理解や啓発の活動を実施していますが、これら活動に関する一般市民への情報提供や啓発が課題との意見が挙げられました。また、障害理解を促進する活動を積極的に実施するための資金や人材の確保も課題との意見が挙げられました。

<団体の活動例>

- イベント開催や出前講座など、障害理解や啓発の活動を実施。(視覚, 育てる会など)
- 病気の症状が一般の人には理解できないことがあるため、会員に対し外出時にはヘルプマークをつけるよう勧めている。(友の会)

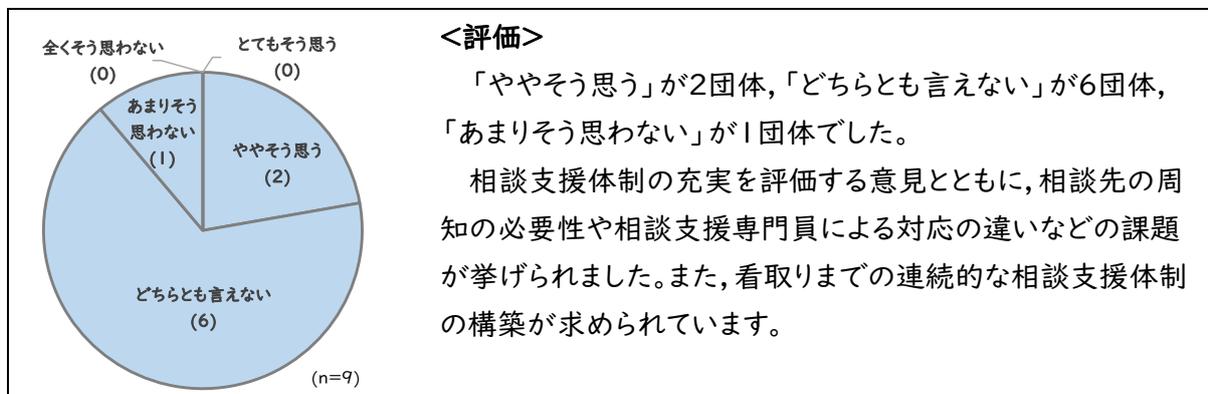
<団体の活動における課題>

- 一般市民への情報提供や啓発が課題である。(自閉症, よつばなど)
- 障害理解のための出前講座やイベント開催について、資金や人材の確保が課題である。
(育てる会, 高次脳)
- 団体の活動に来てくれる人が少しずつ増えていたが、コロナにより振り出しに戻った。また、コロナの影響により活動の受入先や参加者が限られる。(育てる会)

相談体制

1) 団体から寄せられた意見

評価内容：相談先を探しやすいと思うか



<障害者全般に共通する意見>

- 相談する場所は増えてきており、民生委員など身近な相談員の存在もあることから、必要な相談先につながる可能性は広がっている。
- さまざまな相談先があることを知っている人は一部であり、一人で悩みを抱えている人もいる。新しく設置された総合相談窓口を含む相談先の周知が必要。
- ここ数年、相談支援に関しては体制、連携、相談員の対応を含め充実してきている。一方、依然として包括的な相談支援にたどりつけず、複数の部署を案内される場合もある。また、引継ぎや、一度支援が切れてしまった時のフォローが上手くいかないことが多い。
- 相談支援事業所間のネットワーク構築とあわせて、相談支援専門員による対応の違いの解消してほしい。
- 相談する環境について、こちらから行きやすい場所の提供が望まれる。市民にとって役所は敷居が高い。理想としてはカフェのようにリラックスできる場所で相談できると良い。
- 看取りを含めた将来（成年後見制度）への連続した相談支援体制の構築が望まれる。

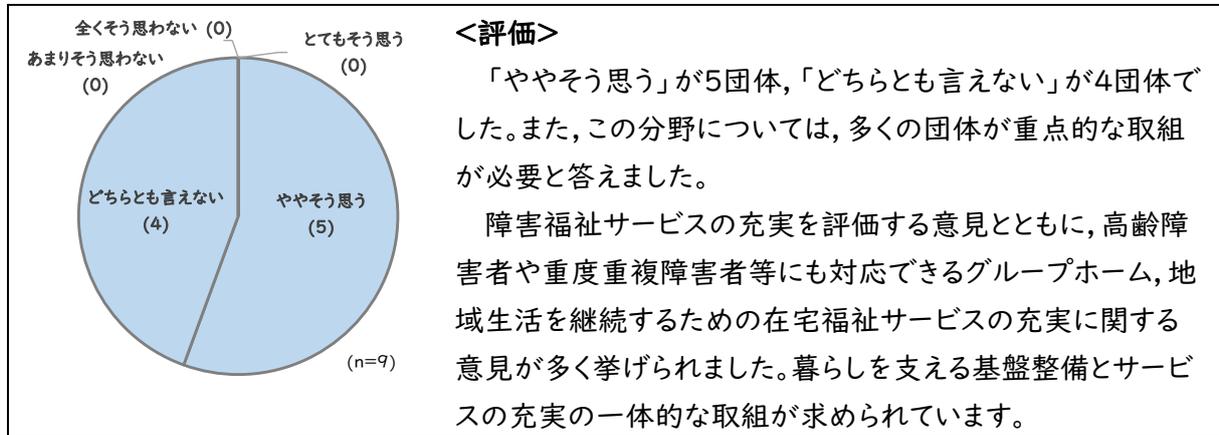
<障害特性ごとの意見>

- 聴覚障害者の主な相談先は、手話通訳者が配置されているコミュニケーションセンターかしわである。手話通訳者は知っている人だと安心するため、新しい相談場所には行きにくい。（柏聴協）
- 肢体不自由児者、重度重複障害者、医療的ケア児者の相談支援体制の充実が必要。（育てる会）

暮らしを支えるサービス

1) 団体から寄せられた意見

評価内容： サービスを利用しやすいと思うか



<障害者全般に共通する意見>

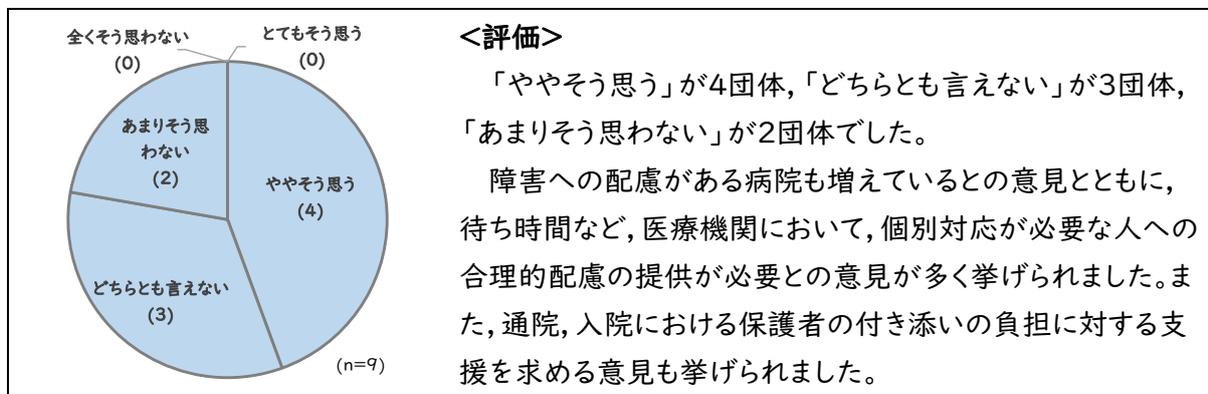
- 障害者に対するサービスの種類が増えたことで、生活に関する必要なサービスの提供も充実してきた。
- 高齢障害者、重度重複障害者等にも対応できる共生型のグループホームの充実を図ってほしい。
- 親の高齢化が進んでおり、親亡き後の生活を心配する声が多い。最期まで在宅で暮らし続けるためには、暮らしを支えるサービスの充実が必要である。
- 暮らしを支える基盤整備とサービスの充実に一体的に取り組んでほしい。
- 自立に向けた生活体験がしやすい環境づくりとそれらの情報提供が必要である。
- 不足するサービスがある。特に重度重複障害者向けのグループホーム、単身生活の場合の訪問サービス、地域定着支援事業が少ない。
- より豊かな地域生活をおくるために、日中活動を充実させたい。働く場と日中活動できる場をうまく組み合わせることが求められている。
- 看取りまでつながるような一貫した制度を検討してほしい。

<障害特性ごとの意見>

- 視覚障害者に対応したグループホームを含む住居、移動環境の整備をお願いしたい。また、ガイドヘルパーの利用範囲の拡大についても検討をお願いしたい。(視覚)
- 特に肢体不自由児者や医療的ケア児者を介護できる事業所が少なく、喀痰吸引等医療的ケアに対応した介護事業所も少ない。(育てる会)
- 親亡き後に一人暮らしをしている人は、最低でも1か月に一度、訪問による支援が必要である。一方、マンパワーの問題があるので、グループホームを整備してほしい。(よつば)

1) 団体から寄せられた意見

評価内容：医療を受けやすい(通院等がしやすい)と思うか



<障害者全般に共通する意見>

- 社会における障害理解が広がるとともに, 障害に対する理解や配慮がある病院も増えている。
- 声を出す人, マスクができない人, じっとしていることができない人等への少しの配慮(パーテーションや, 時間の配慮など)があれば, 待ち時間の心的負担は軽くなると思う。
- 柏市内には障害に関する専門病院が少なく, 市外, 県外へ通院する場合もある。市外, 県外の通院が, 障害当事者や保護者の高齢化により困難になっている障害者が増えてきている。それらを解消するためにも, 保護者一人では通院介助が困難な障害児者に対し, 居宅介護の通院等介助(院内介助も含む)の柔軟なサービス支給決定をお願いしたい。
- 障害を理由に入院できない, 保護者の付き添いが必須の病院が多い。コロナ禍で難しい状況ではあるが, 入院時のヘルパー派遣の充実が必要である。

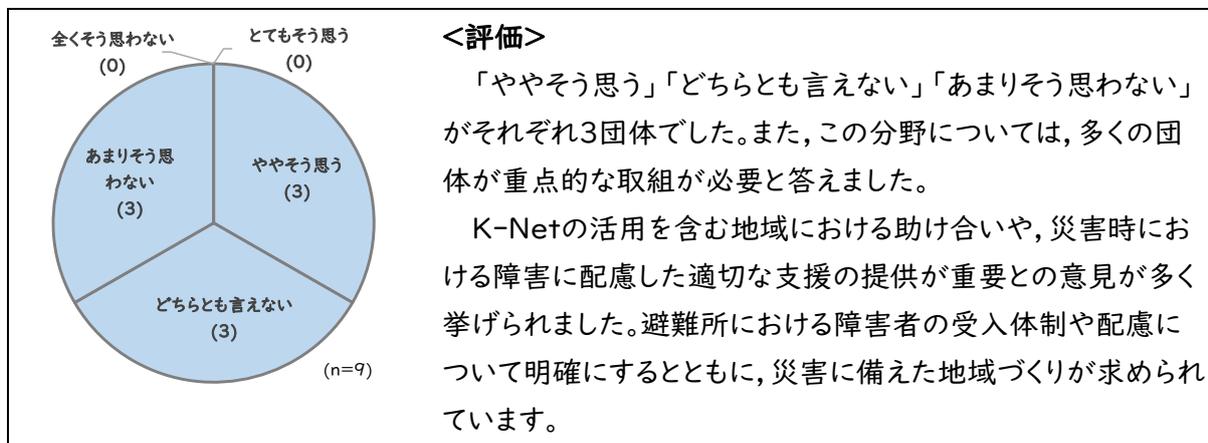
<障害特性ごとの意見>

- 電話でしか予約を受け付けていない病院があり課題である。(柏聴協)
- 耳マークの普及により理解のある病院は増えたが, 障害の受容ができていない人もいることを理解してほしい。聴覚障害者のなかには窓口で「聞こえない」と言わない人もいる。(中難協)
- 重度重複障害者, 医療的ケア児者を訪問で診療する病院が少なく, またそのような訪問診療病院の情報も限られている。(育てる会)
- 病気が今どのような状態なのか, 薬は効いているのかといった専門的なことを知りたい人が多いが, 専門の医者が少ないため医療機関が込み合い, じっくり話を聞いてもらえないことが多く, 不安になっている。(友の会)

安全・安心な生活環境

1) 団体から寄せられた意見

評価内容：安全・安心な生活環境の整備がなされているかと思うか



<障害者全般に共通する意見>

- 災害時に障害者が安心して避難できる場所や、避難所での障害者に対する配慮などについて明確にしてほしい。
- 避難先では、パーティションによる目隠しや個別スペースの確保等、障害特性に配慮した場の提供をお願いしたい。
- 福祉避難所について、誰もがわかるようホームページなどで情報提供をお願いしたい。また、福祉避難所の設営においては、障害のある人の声や意見を反映してほしい。
- 個別避難計画において、福祉避難所を含む避難所の受入体制の明確化が課題だと思う。
- 災害時に、実際に十分な対応がとれるか心配である。緊急を想定しての努力はしているが、避難所に関し不安がある。いざという時にどうすればよいかわからない。
- 災害対策に関し、障害者向けの情報が限られている。地域ごとの情報をもっと充実させてほしい。
- 総合防災訓練において、小学校区の範囲で障害者を含めての避難訓練を実施してほしい。
- K-Netに登録しているが、活用されるのか不明である。また、町会により活用に差がある。
- 災害時に適切に行動するには、日常的に民生委員や地域の人とつながっておく必要がある。
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種時に、一般の人と同じ会場であったが、配慮が必要である。

<障害特性ごとの意見>

- 医療的ケア児者に対する災害時対応の強化が必要である（災害時の電源や医療品の確保等）。
（育てる会）
- 災害弱者対策について、高次脳機能障害は目に見えない障害のため、名簿を作成する自治会等に適切に情報を伝える必要がある。（高次脳）

- 災害発生に音で気づくことができないため、状況がわかった時には手遅れとなることが想定される。また、高齢の聴覚障害者も多く、対応の検討が求められる。(中難協)

2) 団体の取組

多くの団体が、災害対策に関する研修や会員への情報提供を実施しています。また、必要な支援や合理的配慮に関する要望活動にも取り組んでいます。災害に備えた活動が実施されていますが、実際の災害時において十分な対応を取ることができるか不安であるという意見が挙げられました。

<団体の活動例>

- 災害対策・防災に関する研修や情報の提供。(柏聴協, 育てる会など)
- 避難指示が発令された時などに、会員の避難者を確認する仕組みを導入。(育成会, 視覚)
- 市の関係部署や自治会, 福祉機関等に対し、災害時に必要な配慮等に関する情報提供や協議を実施。(中難協, 高次脳)
- 災害対策や感染症対策に関する市への要望書の提出。(中聴協, 育てる会など)
- K-Netへの登録の推進。(視覚)
- 東日本大震災時に、会員の状況を確認するため、はがき送付によるアンケートを実施。(友の会)
- 街角点検と称し、毎年、ウォーキングを兼ねてハード面及びソフト面でのバリアフリー点検を行っている。(視覚)

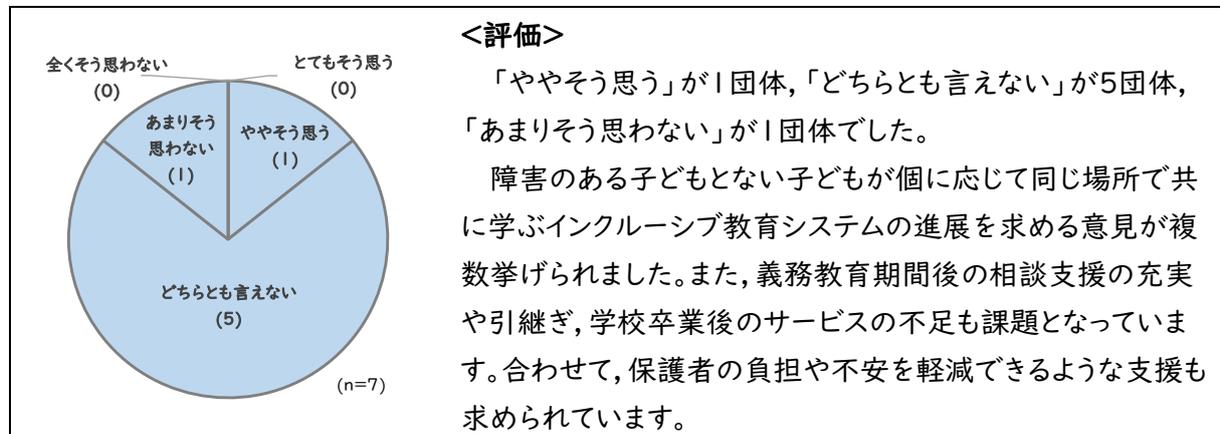
<団体の活動における課題>

- K-Net支援者とのマッチングが課題。また、支援を踏まえたハード面及びソフト面での当事者としての備えも重要。(視覚)
- 定期的に災害対応の訓練を行っているわけではないため、災害時に適切な対応がとれるか心配である。(育成会)

こども

1) 団体から寄せられた意見

評価内容：18歳未満のこどもとその家族は適切な支援につながっていると思うか



<障害者全般に共通する意見>

- 将来の多様性社会のためにも学齢期のインクルーシブ教育システムを進展させてほしい。
- 障害児の保護者の就業支援のため、幼稚園・保育園の受入体制を強化してほしい。
- 義務教育期間の相談支援は充実しているが、15歳以上の子どもに対する相談先が限られている。また、中退や学校への不適応があった場合は、自分に合った相談先を自分で探すしかない。
- 幼い時からの相談先も年齢で区切られてしまい、その後の引継ぎがない。
- 放課後等デイサービスなどの障害児に対するサービスは増えたが、成人になると余暇のサービスはほとんどなくなってしまふ。
- 障害のある子どもの特性理解と学習や生活の計画が適切に行われているかなどがわかりづらい。

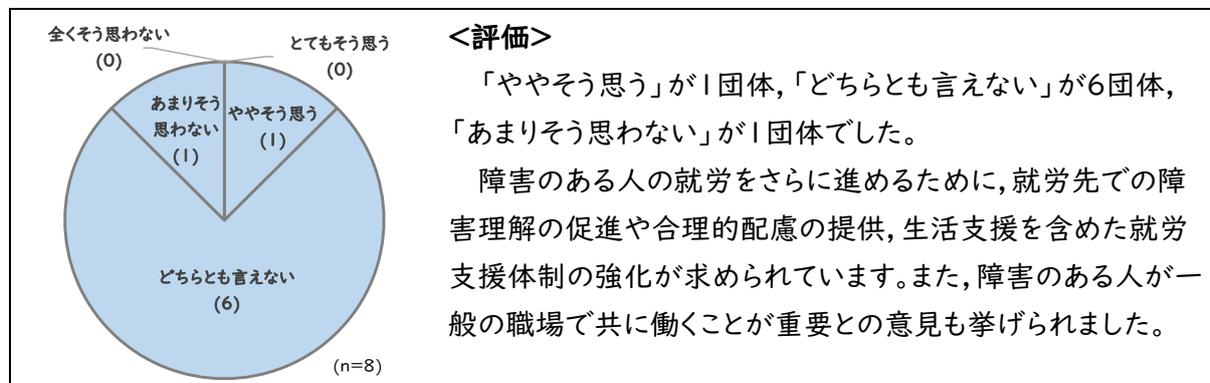
<障害特性ごとの意見>

- 協会のサークルで、子育ての悩み等をろう者同士で相談できるが、サークルに行かない人は相談できる環境は限られる。(柏聴協)
- 肢体不自由児や医療的ケア児の卒後の生活の場(生活介護や就労等)について不安を持つ保護者が多い。地域格差なく、安心して卒後も通える生活の場を増やしてほしい。また、特別支援学校の学区編成が変わったことにより、野田特別支援学校まで送迎可能な重症心身障害児や医療的ケア児を受け入れることができる放課後等デイサービス事業所の充実をお願いしたい。(育てる会)
- 精神障害の早期発見は家族にとって非常に困難である。(よつば)
- 子どもの場合、障害の事実を当事者として理解することが難しいため、リハビリを含め後手後手になってしまう傾向がある。保護者を含めた総合的な対応が必要である。(高次脳)

就労

1) 団体から寄せられた意見

評価内容：就労支援体制は充実していると思うか



<障害者全般に共通する意見>

- 以前に比べ就労支援は充実していると感じているが、障害者が地域で働ける場所はまだまだ限られており、雇用先での障害理解も課題である。障害特性に応じた仕事の切り出しや職場での支援体制、本人の生活支援、企業の悩みや困惑などへの相談の仕組みが整ってほしい。
- 社会参加しながら、障害者の声を発信するという障害者雇用促進法の理念をもってノーマライゼーションを実現させていきたい。そのために、法定雇用率を達成してほしい。
- 障害者の働く先が隔離されるのではなく、一般の職場で一緒に働くことが理想と考えている。少しの配慮があればうまくいくこともある。
- 就労後の定着支援のための企業側との仲介を行う障害者就業・生活支援センターの事業が広がってほしい。
- ジョブコーチが活躍できる企業が少ない。ジョブコーチ派遣事業の拡大が課題である。
- 障害者の一般就労が継続している、あるいは継続できなかった理由が次につながるよう、就労支援事業所への情報提供がさらに必要である。
- 長期の自宅待機を余儀なくされたり、就労のための体験や面接の機会が減ったりするなど、コロナ過で障害者の活動が制限を受けている。

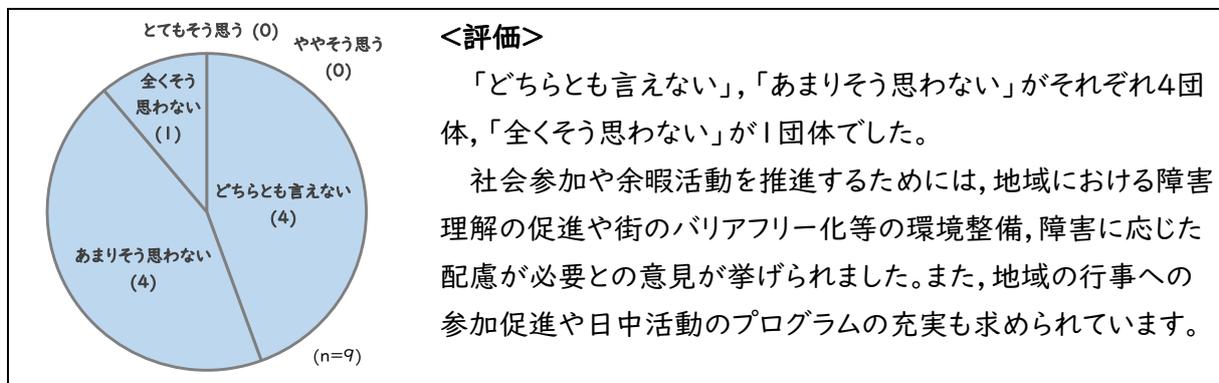
<障害特性ごとの意見>

- スムーズにコミュニケーションをとることができれば働ける。今のようにマスク生活だと口元が隠れてしまい、話していることを理解するのは難しい。(中難協)
- 就労継続支援事業所(A型・B型)において、身体障害者の受入れに対応できるよう施設のバリアフリー化と受入体制の充実をお願いしたい。(育てる会)
- 自閉症の当事者が就職先でつまずいた場合、この方法なら大丈夫というものはないので、周囲の障害理解が重要だと感じている。(自閉症)

社会参加・余暇活動

1) 団体から寄せられた意見

評価内容：社会参加しやすい環境は整っていると思うか



<障害者全般に共通する意見>

- 障害者が社会参加や余暇活動をするためには、多くの支援の手が必要である。支援者の充実や街のバリアフリー化により、社会参加や余暇活動がしやすくなる。
- 地域における障害理解が不足しているため、参加できるイベントはほとんどが福祉関係のイベントで、一般のイベントや教室への参加は難しい。
- 障害者枠を設けることによって、障害者が積極的に参加できる。
- 地域のお祭りなど、自分たちが参加できるようになったら良い。祭りなどに参加できれば、近所の人とのつながりもできる。
- 道路の道幅が狭く車の往来も激しいため、歩行者の安全が十分に守られていない。バスや電車等の交通機関における安全対策も重要である。
- 市役所や教育福祉会館を始めとする公共施設への交通手段の充実が必要である。

<障害特性ごとの意見>

- 障害当事者が地域と日常的に交流できる常設の居場所がほしい。視覚障害者の場合、移動に関する制約から、活動場所がある程度固定されていないと、通う手段などがその都度問題になる。(視覚)
- 聴覚障害者が社会参加する上では、情報保障が必須である。いつでもどこに行っても参加しやすい環境を望む。(柏聴協, 中難協)
- 精神障害者にとって社会参加は最も苦手な分野であり、作業所などに通うことができる人は一部だけである。(よつば)
- 外に出たいという気持ちは強いが、一人での外出は難しい。家族が車で連れてくる等が必要になる。(友の会)

- 視覚障害者が安心して外出できるよう、エスコートゾーン（道路横断帯）や音響併設信号機の充実を図ってほしい。（視覚）
- 社会参加を促すには、ベンチの設置や道路の改善などハード面の整備も重要である。（友の会）

2) 団体の取組

多くの団体が、イベント等の開催を通じ、会員間、関係機関、市民との交流を図っています。また会員に対し、旅行や施設見学などさまざまな体験ができる機会の提供も行っています。コロナ禍における活動実施の難しさ、会員以外の参加に関する課題等について意見が挙げられました。また、会員の減少等、団体運営における課題も見られます。

<団体の活動例>

- 講演会やイベントなどを通じた会員間、関係機関、市民との交流。（視覚、育てる会など）
- 家族やボランティアとの旅行や施設見学などさまざまな体験ができる機会の提供。
（育てる会、育成会など）
- 福祉関連のイベント情報を会員に情報発信し、参加を促進。（柏聴協、育成会など）

<団体の活動における課題>

- ここ数年はコロナ禍の影響でイベントや活動の開催が難しく、感染対策が課題である。
（育てる会、高次脳）
- 参加する人は一部の人に限られており、イベントの告知等、どのように幅広く宣伝したら良いのかが課題である。障害者団体として開催するイベントへの会員以外の参加には壁があったが、社会福祉協議会との共催で実施した時は、会員以外の参加が増えた。（育成会）
- イベントを開催するために広い部屋を確保するのが難しい。要約筆記者をつけるため、機械を置くために広いスペースが必要である。（中難協）
- ボランティアや一般市民の参加を募集しても、なかなか人数が集まらない。一般市民から参加者を募ることは難しく、課題である。（育てる会）
- 障害のある人でも、団体のことは知らないのではないか。会員になる人も限られている。
（育てる会、よつば）
- 最近では、学齢期、特に子どもが普通学級や特別支援学級に在籍している人が入会するケースが多い。以前は、話を聞いて一緒に学校や事業所の見学に行くこともあったが、現在はコロナ禍のため、情報を提供する程度に留まっている。（自閉症）
- 高齢化等が理由で退会する会員も多くなり、会自体の存在が危なくなっている。（高次脳）

IV. 委託相談支援事業所ヒアリング

1. 対象事業所

市内を4つの地区を担当する以下の5事業所を対象に調査を実施しました。

事業所名	担当地区
社会福祉法人青葉会 地域生活相談センターシャル	北部
社会福祉法人ワーナーホーム たんぽぽセンター	中央
特定非営利活動法人権利擁護あさひ	中央
社会福祉法人ぶるーむ ぶるーむの風相談室	南部
社会福祉法人桐友学園 サポートセンター沼南	東部

2. ヒアリングの内容

以下の分野ごとに、それぞれの事業所が担当する地区における状況について意見を聴取しました。

分野	内容
包括的相談支援体制の構築	• 体制づくりの中核機関として、担当する地域の包括的相談支援体制の構築の達成度※ → 達成できていること・課題・その対応策
権利擁護体制の充実	• 一次相談窓口として、権利擁護体制の充実の達成度※ → 達成できていること・課題・その対応策
地域における相談支援	• 地域における委託相談について、令和3年度に相談件数が多いものと相談の傾向 • 困難事例と困難事例の中での役割
地域における課題	• 委託相談支援を通じて発見される課題
人材育成	• 相談支援専門員の資質向上に向けた課題と対応策

※ 「達成できている」「概ね達成できている」「どちらとも言えない」「あまり達成できていない」「全く達成できていない」の5つの尺度から選択

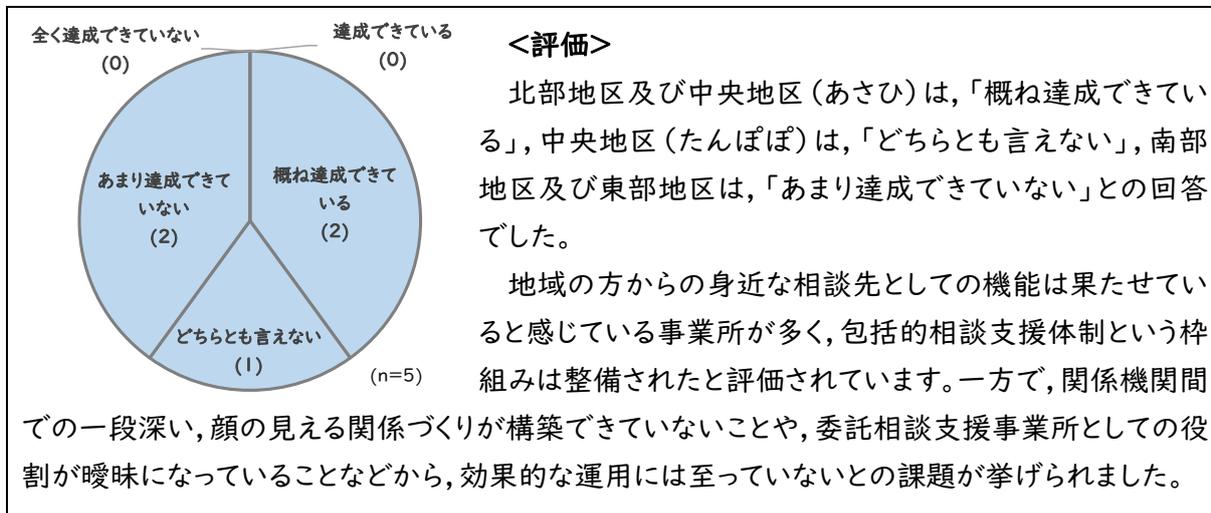
(参考)本文中で使用する「相談」に関する用語について

- 基本相談:障害者の悩みや困りごとに関する、いわゆる「相談」のこと。結果としてサービス利用支援につながる(指定相談になる)こともあるが、相談者はサービス利用を直接的な目的としないことが多い。
- 指定相談(計画相談):サービス利用を目的とした相談のこと。サービス等利用計画の作成に直結する。
- 委託相談:委託相談支援事業所で受ける福祉に関する相談全般のこと。

3. ヒアリングの結果

包括的相談支援体制の構築

評価内容：体制づくりの中核機関として、担当する地域の包括的相談支援体制の構築の達成度



<評価の内容>

（包括的相談支援体制の効果的な運用）

- 包括的相談支援の入口としての体制は整備されているが、マンパワーやコミュニケーションの充実を図り、入口だけでなく、問題解決までの手段を揃えることが必要である。
- 地域における身近な相談先として地区割が浸透してきた印象がある一方で、中央地区では、精神障害の相談ということで委託相談支援事業所に依頼が多く、担当地区外からの依頼にも応じている。地区割に沿っていないことによる業務量の増加という葛藤も抱えている。

（関係機関との連携）

- 個別の事例では、他機関との連携はある程度できている。一方で、偶発的に起こる事例のみでのつながりではなく、より深くお互いを理解するような仕組みを作る必要がある。会議のみの開催では、担当者レベルの連携には至りにくいため、避難訓練などの行事を一緒に企画して取り組むなど、一段深い、顔の見える関係づくりが非常に大事だと感じている。関係機関がお互いの顔を知らない、包括的相談支援体制の構築は難しいと感じる。
- 児童分野において、子育てに関する部分は他機関にお願いしたいが、関係機関との役割分担が進まないことに課題を抱えている。
- 南部地区では、役立つだろうテーマを考えて地区別研修を企画するが、相談支援事業所からの参加が少ないという課題を抱えている。負担にならない程度の義務付けをして研修を行った方が、皆が顔を合わせる良い機会になるのではと考えている。

- 北部地区では、市町村や県を越えて引っ越してくる方が多いが、他の自治体から相談の内容が共有されるまでにタイムラグがあるなど、引継ぎや連携がうまくいかない場合が増えている。

（基本相談の扱い）

- 本来指定相談支援事業所で行うべき基本相談を、市から委託費を受けている委託相談支援事業所が行うべきだと理解している事業所もある。
- 基本相談と計画相談に線引きをするよりも、個々の指定相談支援事業所に合わせた対応が必要だと思う。そのためにも、日頃からお互いをよく知って、あの人ならここまでをお願いできるなどの対応ができるようにすることが必要だと思う。

（相談受付対応）

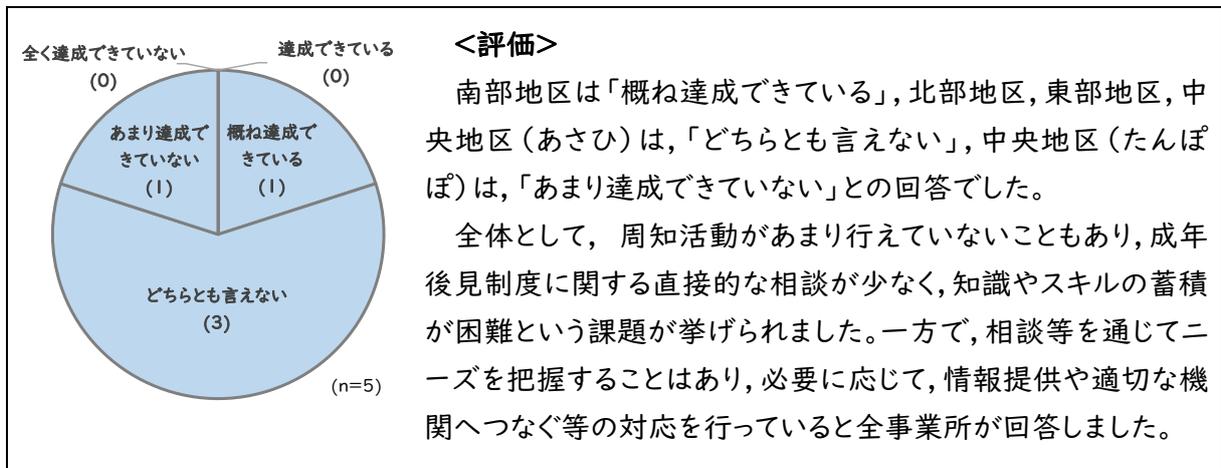
- 相談者が未だにたらい回しにされたと感じる場合がある。どこからも断られてしまうと、絶望感や怒りなどを感じ、相談の気持ちが低下してしまう。断らざるを得ない場合は、紹介先に電話をかけて、先方と繋いだことも合わせて案内するなど、つなぎ方を検討する必要がある。
- 相談者に障害があると、主訴が障害範疇ではないにもかかわらず、関係機関から委託相談支援事業所に相談が来ることがある。また、初めから福祉の総合相談窓口を紹介していた方がよかった複雑な事例であっても、一次相談窓口だからという理由で、相談が来ることがある。相談者の負担を減らすためにも、最初の受付で丁寧に話を聞いて、相談先を見極める必要がある。

（体制における役割）

- 北部地区では、基幹相談支援センターや委託相談支援事業所として、全体のコーディネートをするよりも、福祉サービスに繋いでほしいという依頼が圧倒的に多い。
- 中央地区では、どこからも断られてしまったからという理由で、計画相談の依頼件数が多く、委託相談の担当者も指定相談機能を担わないと対応しきれない状況であり、指定相談機能を分けた業務整理を行いたいと考えている。また、他市（我孫子、松戸、流山）からの依頼もあり、地域課題として考える必要がある。
- 南部地区では、委託相談支援事業所への相談のほとんどがケースワークが必要なものであり、一步下がって全体を俯瞰して助言等を行うというよりも、前線に立ってケースマネジメントをしているのが現状である。本来の委託相談支援事業所の役割を超えていると感じている。また、解決し難い困り事の声を自立支援協議会に届けることも委託相談支援事業所の役割だと思う。
- 東部地区では、地域の相談支援事業所から、相談者のインテーク（初回面接）をしてほしいという依頼が多い。インテーク後の計画は立てると言われるが、人間関係の構築に直結するインテークのみを行うことは良い方法ではないと考えている。また、本来の委託相談支援事業所の役割である事業所への助言等の提供よりも、困難事例を引き継ぐことの方が多い。

権利擁護体制の充実

評価内容：一次相談窓口としての権利擁護体制の充実の達成度



<評価の内容>

（一次相談窓口としての機能）

- 成年後見制度に関する新規相談は圧倒的に少ない。また、委託相談支援事業所が成年後見制度の一次相談窓口であるという広報や周知活動もあまりできていない。
- 相談員のスキルがまだ足りていないと感じている。依頼があった時に、スムーズに説明できる程の知識がまだ身に付けられていない。

（成年後見制度に対する潜在的ニーズへの対応）

- 後見人を利用したいという直接的な相談はないが、相談等を通じて、ゆくゆくは後見人が必要だと思われる方を自分達で掘り起こすことが多い。指定相談で関わっている方の親から、成年後見制度に関心があるという声を多く聞く。埋もれている事例が多数存在すると思う。
- 「親亡き後が心配だ」という親からの相談があった時に、利用できる制度の1つとして、成年後見制度を紹介することがある。

（後見人選定につなげるまでの課題）

- 座学の知識ではなく、実務的なスキル（申立て機関と繋ぐ、具体的な手続き、裁判所への同行等）が不足していることが課題だが、事例が少なくスキルを身に付けることが難しい。
- 成年後見制度の説明をしても、後見人に支払う報酬額が障壁になってしまう方がかなり多い。
- 後見人をつけると、保護者が子どものことを行うのに後見人を通さないといけない等、物事が煩雑になることが多い。そのため、まだ必要ないと保留にしている場合も多い。

（関係機関との連携）

- 後見人の申請に当たって、中核機関を含め、各機関の役割が不明瞭だと思う。
- 成年後見制度における社会福祉協議会との関わりは、連携というよりも、研修会への参加になる。

地域における相談支援

1) 相談傾向

令和3年度に相談件数が多かった分野を13カテゴリー※の中から各事業所3つまで選択してもらいました。相談件数が多かったのは、「福祉サービス」、「健康・医療」、「不安解消・情緒安定」でした。

※ 1.福祉サービス 2.障害・病状の理解 3.健康・医療 4.不安解消・情緒安定 5.保育・教育 6.家族関係・人間関係
7.家計・経済 8.生活技術 9.就労 10.社会参加・余暇活動 11.ひきこもり 12.権利擁護 13.その他

【福祉サービス】（全5事業所が選択）

- 新規の相談が多いと、福祉サービスにつなげるかどうかの話になるため、必然的に福祉サービスの件数は多くなる。福祉サービスを利用したいという直接的な相談はあまりない。
- 地域の事業所に断られて別の計画立案先を探す、または直接立案してほしいという相談がある。

【健康・医療】（3事業所が選択）

- 発達障害や精神障害の方では、医療機関へのつなぎ、安定した通院・服薬を促す相談も多い。
- 地域の医療機関からの相談も増えており、退院支援や福祉サービスへのつなぎを行っている。

【不安解消・情緒安定】（3事業所が選択）

- 本人、または家族の不安が強くなり、話を聞いてほしいと電話や面談の希望がある。内容も複雑化している。同居家族との関係に対する悩みや将来の不安が多い。

また、相談件数としては多くはないものの、丁寧な相談が求められる内容として、「家族関係・人間関係」、「保育・教育」、「生活技術」などが挙げられていました。地域的な特徴としては、北部地区は転入に伴う相談、南部地区は8050問題によるひきこもりの相談が多いという傾向がありました。

2) 困難事例の傾向と困難事例に対応する上での事業所の役割

（困難事例の傾向）

- 世帯全体に支援が必要な事例。医療、介護、子育て、経済面など相談内容が多岐にわたり、障害福祉だけでは解決が困難である。
- 自ら助けを求められない重度心身障害者に対する虐待や、重複障害（難病、医ケア、知的・行動障害）のある児童の虐待（ネグレクト）事例。

（困難事例に対応する上での事業所の役割）

- 地域の相談支援事業所（特に一人運営の事業所）のサポートや相談役。時には、一緒に前線に立って動いたり、中心的な役割を担うこともある。
- できる、できないは別としても、困難事例でも率先して対応する姿勢を見せること。
- 障害分野だけでは対応できない事例もあり、分野を超えて地域全体を巻き込んだ体制づくりの検討・提言や、社会資源の開拓を行う役割がある。

地域における課題

1) 情報アクセシビリティ

- 支援が必要な状況の人は自分から情報にアクセスできないという現状があり、例えば、8050問題を抱えてひきこもっている家庭では、インターネット環境が整っていないことも多い。
- 社会資源の情報にアクセスしにくい。福祉関連情報が一括でわかるホームページがあると良い。

2) 福祉サービス

- グループホームは入居希望者を探す一方、医療的ケアが必要な方、行動障害のある方等特別な支援が必要な方はなかなか入居できないなど、個々の利用者が抱えるニーズに対応できない状況がある。
- 指定相談支援事業所の数が不足している。児童の計画相談を行える事業所も少ない。新規立案を希望する待機者数を把握・管理することが必要だと思う。
- グループホーム及び放課後等デイサービスの増加に伴う支援の質の維持が課題である。
- 児童を対象とした短期入所の受入先が少ない。また、母子で受入可能な宿泊場所がない。児童の施設入所支援も受入先が少ない状況である。

3) 健康・医療

- 基幹相談支援センターや地域生活支援拠点を周知するなどして、医療機関との関係づくりが必要とされています。
- 依存症や発達などにおける専門の医療機関や、障害者に対する訪問診療・在宅医療の充実が必要とされています。

4) こども

- 18歳以降の支援へのつなぎに難しさを感じている。支援が途切れてしまうことがある。
- 家庭全体を支えるサポートにおける各機関の連携や役割分担が不明瞭である。
- 保護者へのサポート(障害理解、関わり方、親同士の交流など)や相談先が不足している。
- 障害児の親(特に一人親世帯)に対する育児支援の充実が図られていない。
- 日常的に生命維持のためのケアが必要な医療的ケア児への支援や、働かなければならない保護者(特に、ひとり親、低所得、共働き)への支援も求められている。

5) 就労・社会参加

- コミュニケーションが苦手なため、対人関係等で挫折を余儀なくされ、就労が継続しない場合が少なくない。
- 地域には社会参加の機会は多数あるが、一人では参加しづらいため、余暇活動等への参加をサポートする機関が必要だと思う。
- ひきこもりの方の気軽に行ける居場所、地域活動支援センター、相談機能の充実が必要である。

- 自宅から出ることが難しい方(肢体不自由者含む)が社会と交流できる手段が少ない。

6) その他

- 障害の程度にかかわらず、一人暮らしを望む人はそれを叶えられるような社会が求められている。自立生活援助だけでなく、障害福祉サービス以外の支援も必要である。
- 障害当事者団体や家族会、勉強会の情報も少ないため、同じような境遇の本人や家族同士が話せる場所が不足していると感じる。居場所づくりや家から出る機会になると思う。
- 65才になって介護保険が適応されると、利用しているサービスの内容や費用に変更があるか不安な方への適切な支援が課題だと感じている。

人材育成

(基幹相談支援センターの役割)

- 地域の相談支援事業所へ助言を行うなど、人材育成の中心的役割を基幹相談支援センターに担ってもらいたいとの希望はあるが、地域づくりや人材育成の機能を1か所で担うことはできないと思う。一方で、他の委託相談支援事業所でも、現状マンパワーが不足している中、その機能を分散させることは難しいと感じる。
- 今は地区別に担当が分かれているが、柏市全体の事業所に対して助言等の提供を行っていく仕組みができ、マンパワーを確保できれば、市全体への展開も可能だと考える。

(相談支援専門員の資質向上の方法)

- 困難事例においても丁寧にソーシャルワークをすることが大切なので、地区別研修で相談支援についてしっかり取り扱わないといけないと考える。
- 相談支援連絡会の頻度を高めて、対面で実施することが大事だと思う。対面であれば会の前後で、さまざまな参加者との雑談を通じて、気軽に相談ができる。
- 相談支援専門員の現任研修で、本来あるべき相談員の資質という点において、実際の相談業務でどの程度できているかを振り返る機会を設けることができれば良いと思う。
- 相談支援専門員に基本相談をしっかりやるという意識を持ってもらうことが大事だが、セルフプランを策定する割合が増えたことから、相談支援専門員の資質向上を促す環境が整っていない。